2022年度 履修の手引
外国語学部

Languages & Cultures

MEIKAI UNIVERSITY

はじめに

大学における学修が中学校や高等学校と異なるのは、自らが自らの責任において毎年の学修計画を立て、卒業に必要な単位を満たしていくという点にあります。

この『履修の手引』は、受講する科目の選択・登録から試験・単位の修得、さらには進級・卒業等の重要な手続や要件を、学則や関係する諸規程等に基づいて編集したものです。

毎年、『履修の手引』や掲示の見落とし、誤った解釈等による履修手続の不備や期限遅れが原因で、受講したい科目が受けられなくなるばかりか、進級・卒業できずに留年するような事態が起きています。こうした事態を未然に防ぐためにも、学年の始めには常にこの『履修の手引』を携帯し、機会あるごとに参照して正しい認識の下に各自で学修計画を立ててください。もし不明なところがある場合は、自己流の解釈をせず、学事課（教務担当）に相談し、解決するように努めてください。

なお、『履修の手引』の記載内容が変更された場合は、掲示でお知らせしますので、見落としのないように注意してください。

『履修の手引』の構成について

各ページにある
インデックスを
利用すると
掲載項目が一目で
分かります。

Ⅰ 共通事項（全学生共通）

全学生を対象とした項目です。
ただし、項目によっては、入学年度・学科別に掲載されている箇所がありますので、注意してください。

授　業 1
履　修 2
試験・成績 3
単位認定制度 4
学　籍 5
その他 6
教務事務 7
教育課程の構成 8
進級・卒業 9
教育課程表 10
他学部・他学科開放科目／産学連携教育プログラム 11
教職課程 12
編

Ⅱ 編入学生特記事項

編入学生を対象とした項目です。
編入学生のみを対象とした制度等について掲載されています。

※各項目の詳細は次のページの目次を参照してください。

目　次

2022年度学年暦／建学の精神／明海大学の教育のポリシー／三つのポリシー／学部長メッセージ／学科概要

Ⅰ　共通事項

1　授　業

1 授　業 …… 1
[1]学　期 …… 1
[2]授業時間 …… 1
[3]授業の出席 …… 1
[4]授業の欠席 …… 2
[5]休　講 …… 3
[6]補　講 …… 3

2 授業科目 …… 3
[1]開講期 …… 3
[2]配当年次 …… 3
[3]授業科目の種類 …… 3

3 単位制 …… 4
[1]単位制とは …… 4
[2]単位を修得するための学修時間 …… 4
[3]各授業科目の単位数 …… 4
[4]単位の認定 …… 4

2　履　修

1 履修のルール …… 5
[1]履修登録とは …… 5
[2]履修単位数の上限 …… 6
[3]クラス指定 …… 6
[4]再履修 …… 7
[5]履修できない科目 …… 7

2 履修登録方法 …… 8

3　試験・成績

1 試　験 …… 11
[1]試験の種類 …… 11
[2]定期試験の欠席 …… 12
[3]試験日程・受験手続 …… 12
[4]試験時間 …… 13
[5]受験資格・受験上の注意 …… 13

2 成　績 …… 14
[1]成績評価・成績表記 …… 14
[2]GPA(成績平均点数制) …… 15
[3]成績発表 …… 16
[4]成績調査 …… 16

4　単位認定制度

1 単位認定制度について …… 17
2 各制度の内容及び申請方法等 …… 18
[1]既修得単位 …… 18
[2]知識及び技能に係る審査の成果 …… 20
[3]派遣留学生(約半年~1年間の海外留学) …… 28
[4]派遣留学生(短期海外研修) …… 29
[5]派遣学生(国内) …… 29
[6]インターンシップ …… 30
[7]GSMインターンシップ …… 30
[8]ボランティア活動 …… 31
[9]GSMボランティア …… 31

5　学　籍

1 修業年限と在学期間 …… 32
2 学籍の異動 …… 33
[1]休　学 …… 33
[2]復　学 …… 34
[3]退　学 …… 34
[4]除　籍 …… 34
[5]復　籍 …… 34
[6]転学部・転学科 …… 34

6　その他

1 明海多言語コミュニケーションコモンズ(MLACC) …… 35
2 コンピュータ・コンサルティング・サロン(CCS) …… 35
3 科目等履修生 …… 36
4 研究生 …… 36

7　教務事務

1 証明書 …… 37
2 事務取扱時間 …… 38
3 問い合わせ …… 38
4 学生への連絡 …… 39
[1]Webポータルシステムによる掲示配信 …… 39
[2]掲示板の場所と掲示内容 …… 39
5 シラバス …… 40
6 manaba …… 41
7 メールアカウントの付与 …… 41
8 交通機関の運休又は自然災害等による休講措置 …… 41

8　教育課程の構成

1 授業科目の構成 …… 43
2 専 門 科 目 …… 45
[1]専攻概要 …… 45
[2]専攻登録 …… 46
[3]専攻変更 …… 47
[4]日本語教員養成課程修了証明書 …… 47
3 履修のガイドライン …… 49
4 カリキュラムマップ(履修系統図) …… 55
5 クラス担任制 …… 67

9　進級・卒業

1 進　　級 …… 68
[1]進 級 要 件 …… 68
[2]進 級 発 表 …… 70
2 卒　　業 …… 71
[1]卒 業 要 件 …… 71
[2]卒業単位充足者・卒業予定者発表 …… 80
[3]学　　位 …… 80
3 年次(学期)別基準単位数 …… 81

10　教育課程表

教育課程表 …… 91

11　他学部・他学科開放科目／産学連携教育プログラム

他学部・他学科開放科目の履修 …… 118
産学連携教育プログラムの履修 …… 123

12　教職課程

1 趣　　旨 …… 125
2 取得できる免許状の種類 …… 125
3 免許状の授与条件 …… 125
4 教職課程の履修 …… 125
5 教職課程の履修開始から教育職員免許状取得まで …… 126
6 教職課程表 …… 127

Ⅱ　編入学生特記事項

1 修業年限と在学期間 …… 135
2 2年間の学修計画 …… 135
3 既修得単位の認定 …… 135
[1]包括・弾力認定 …… 135
[2]個別認定(α)
—英米語学科2022年度編入学生— …… 135
4 専攻選択(2022年度編入学生) …… 136
5 卒 業 要 件 …… 137
6 そ　の　他 …… 138
[1]クラス指定 …… 138
[2]修得(認定)済科目の履修 …… 138
7 教育課程表(編入学生用) …… 139

2022年度 浦安キャンパス学年暦

■前学期　4/1（金）～9/14（水）

：通常授業実施日
：休日授業実施日
：試験実施日

2022/ 4 April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
3/27	28	29	30	31	1	2
		履修登録期間				
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
		履修登録修正期間				
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29 昭和の日	30

Date	Schedule
4/1(金)	学年始め
3/25(金)	オリエンテーション(３年)
3/28(月)	オリエンテーション(４年)
3/29(火)	オリエンテーション(２年)
3/29(火)～4/1(金)	履修登録期間・履修相談期間
3/30(水)～4/1(金)	オリエンテーション(新入生･編入学生)
3/30(水)～4/5(火)	単位認定申請期間
3/31(木)	産学連携教育プログラム履修ガイダンス
4/4(月)	入学式
4/5(火)	前学期授業開始
4/11(月)	学生定期健康診断(１年)
4/12(火)	学生定期健康診断(２年)
4/13(水)	学生定期健康診断(３年)
4/14(木)	学生定期健康診断(４年)
4/15(金)	学生定期健康診断(予備日)
4/12(火)	単位認定発表
4/12(火)～17(日)	履修登録修正期間
4/29(金)	休日授業実施日(昭和の日)
4/30(土)	前学期授業料等納入期限

5 May

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 休業日	7 休業日
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17 創立記念日	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

Date	Schedule
5/6(金)・7(土)	振替休日(休業)
5/17(火)	創立記念日(休日授業実施日)

6 June

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

Date	Schedule
6/1(水)～30(木)	クリーンキャンペーン月間

7 July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 海の日	19	20	21	22	23
24 / 31	25	26	27	28	29	30

Date	Schedule
7/8(金)	前学期定期試験時間割発表
7/18(月)	休日授業実施日(海の日)
7/23(土)	前学期授業終了
7/25(月)～30(土)	前学期定期試験期間

8 August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6 休業日
7	8	9	10	11 山の日	12	13
14	15	16	17	18	19	20 休業日
21	22	23	24	25	26	27 休業日
28	29	30	31			

Date	Schedule
8/1(月)	前学期定期試験欠席届提出期限
8/1(月)～9/14(水)	夏季休暇
8/6(土)	振替休日(休業)
8/19(金)	９月卒業単位充足者発表
8/19(金)・22(月)	前学期追(再)試験時間割、該当者発表
8/19(金)・22(月)	前学期追(再)試験受験手続期間
8/20(土)	振替休日(休業)
8/23(火)～25(木)	前学期追(再)試験期間
8/26(金)	単位認定申請期限(前学期成績反映分)
8/27(土)	振替休日(休業)

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3 休業日
4	5	6	7	8	9	10 休業日
11	12	13	14			

履修登録修正期間

履修登録修正期間

Date	Schedule
8/1(月)～9/14(水)	夏季休暇
9/3(土)	振替休日(休業)
9/5(月)	９月進級発表
9/5(月)	９月卒業予定者発表
9/5(月)	前学期成績発表
9/5(月)・6(火)	前学期成績調査願提出期間　４年(８学期)
9/5(月)～8(木)	前学期成績調査願提出期間 １年(１学期)～４年(７学期)
9/7(水)～12(月)	履修登録修正期間(授業開始前)
9/10(土)	振替休日(休業)
9/14(水)	９月学位記授与式

■後学期　9/15（木）～3/31（金）

：通常授業実施日
：休日授業実施日
：試験実施日

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			7	8	9	10 休業日
11	12	13	14	15	16	17
18	19 敬老の日	20	21	22	23 秋分の日	24
25	26	27	28	29	30	

履修登録修正期間（7～10）
履修登録修正期間（11～12）
履修登録修正期間（21～23）

Date	Schedule
8/1(月)～9/14(水)	夏季休暇
9/7(水)～12(月)	履修登録修正期間(授業開始前)
9/8(木)	オリエンテーション(9月進級者・復学者)
9/10(土)	振替休日(休業)
9/14(水)	9月入学式
9/15(木)	後学期授業開始
9/19(月)	休日授業実施日(敬老の日)
9/21(水)～23(金)	履修登録修正期間(授業開始後)
9/23(金)	休日授業実施日(秋分の日)

10 October

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 スポーツの日	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 / 30	24 / 31	25	26	27	28	29

Date	Schedule
10/10(月)	休日授業実施日(スポーツの日)
10/31(月)	後学期授業料等納入期限

11 November

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3 文化の日	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23 勤労感謝の日	24	25	26
27	28	29	30			

Date	Schedule
11/1(火)～30(水)	クリーンキャンペーン月間
11/11(金)～14(月)	明海祭(休講)※準備、片付けを含む。
11/23(水)	休日授業実施日(勤労感謝の日)

12 December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28 休業日	29	30	31

Date	Schedule
12/16(金)	後学期定期試験時間割発表
12/26(月)～2023年1/7(土)	冬季休暇
12/28(水)	振替休日(休業)

2023/ 1 January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 元日	2 振替休日	3	4	5	6	7
8	9 成人の日	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

Date	Schedule
12/26(月)～ 2023年1/7(土)	冬季休暇
1/10(火)～12(木)	後学期補講期間
1/10(火)～12(木)	休講日
1/13(金)	大学入学共通テスト準備日(休講)
1/14(土)・15(日)	大学入学共通テスト(休業)
1/16(月)	後学期授業再開
1/23(月)	後学期授業終了
1/24(火)～30(月)	後学期定期試験期間
1/31(火)	単位認定申請期限　４年(８学期)
1/31(火)	後学期定期試験欠席届提出期限
1/31(火)	春季休暇開始

2 February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4 休業日
5	6	7	8	9	10	11 建国記念の日
12	13	14	15	16	17	18 休業日
19	20	21	22	23 天皇誕生日	24	25 休業日
26	27	28				

Date	Schedule
2/4(土)	振替休日(休業)
2/13(月)	卒業単位充足者発表
2/13(月)・14(火)	後学期追(再)試験時間割、該当者発表
2/13(月)・14(火)	後学期追(再)試験受験手続期間
2/15(水)～17(金)	後学期追(再)試験期間
2/18(土)	振替休日(休業)
2/24(金)	単位認定申請期限 １年(１学期)～４年(７学期)
2/25(土)	振替休日(休業)

3 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4 休業日
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21 春分の日	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

Date	Schedule
3/1(水)	卒業予定者発表
3/1(水)	成績発表　４年(８学期)
3/1(水)・2(木)	成績調査願提出期間　４年(８学期)
3/4(土)	振替休日(休業)
3/15(水)	学位記授与式
3/15(水)	進級発表
3/15(水)	成績発表 １年(１学期)～４年(７学期)
3/16(木)～22(水)	成績調査願提出期間 １年(１学期)～４年(７学期)
3/31(金)	学年終了

注意　学年暦の変更、授業に直接関係のある緊急事項及び諸行事等の詳細日程・場所等については随時掲示で告知します。
また、休業日は事務窓口取扱等は一切行いません。

建学の精神

社会性・創造性・合理性を身につけ、
広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす

社　会　性

今や、人類共存の理念は、地球の資源問題、環境問題を抜きに考えられない時代を迎えました。地球規模で進行しつつある高齢化社会に伴う労働社会問題、低迷を続ける国際経済問題、発展途上国における社会経済問題等々、解決すべき問題は山積しています。これら全人類の課題と取り組み、人類の繁栄と幸福を推進するため、和を重んじ、心豊かな社会性に富む人間を育成し、学際領域にも及ぶ総合的教育研究を行います。

創　造　性

今日、科学技術・学術研究の先端が次々に新しい展開をしており、大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しています。しかし、大切なことは、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければなりません。人類の生き方について、未来からの挑戦を受けていると言われる今日において、学問の世界は、まさに自然科学はもとより人文・社会科学などの分野においても激動の時代を迎え、学際的な領域から価値の見直しが迫られています。知の継承、創造の拠点である大学はより国際競争力を強化し、大学の多様性を発揮して、このような時代において、総合的見地から、国際未来社会を切り拓く創造性豊かな教育研究を行います。

合　理　性

高度情報化社会を迎え、情報量は増大し、情報なくして個々の人間は、自己の意思決定すら出来ない感を呈しています。科学技術の発達は、人々の生活様式を変え、価値観にも大きな影響を及ぼすことから、科学技術の独り歩きは許されるところではありません。従って、科学技術のコントロールの完全を期するとともに人間性の発揚に心がけ、未来社会を切り拓く信念が重要となります。このため、合理性ある教育研究の場を醸成します。

このように本学の建学の精神は、社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成を目指すものであります。

明海大学の教育のポリシー

**本学では、「建学の精神」に基づき、大学全体としての
ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、
アドミッション・ポリシーを定めている。**

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

明海大学は、厳格な成績評価の下、建学の精神としての社会性（変わりゆく社会の中でも課題を発見し、主体的に解決する、思考力や判断力）の資質、創造性（自らの求めゆく理想に到達するための思考過程や技術の創造と表現力）の資質、そして合理性（主体的に行動する自律性・自立性と自己の確立）の資質が認められる人材を学位授与の基礎とし、各学部学科および研究科にて基準を定めている。

※ディプロマ・ポリシーとは、各大学、学部、学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標となるもの。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

明海大学は、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たすという創造性を建学の精神の一つとしている。大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しながらも、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければならない。その意味において、１）大学生としての学修を通じて社会性、創造性、そして合理性を身につけ明海大学の人間力を形成するための基盤を形成する基礎教育、自らの知識技能を高める人間力形成科目、そして培った力を社会で発揮するためのキャリア教育を共通科目に置き、２）各学部学科および研究科のディプロマ・ポリシーに到達するためのカリキュラムを専門科目として配置している。

※カリキュラム・ポリシーとは、ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方針を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

明海大学は、建学の精神「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成」をめざして、豊かな人間力を基盤とした高度専門職業人養成を含む幅広い職業人養成を教育の目的としている。そのため、入学予定者には、学業、技術･技能、文化、芸術、スポーツなどの分野で活躍した体験を活かし、入学後、本学での学修を通して、これからの国際社会で通用する実力を身につけ、将来、各分野で活躍したいという強い意志を持つ学生を求めている。さらに、生涯学習社会の到来に対し、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していく資質を有する人材の育成を目途として、生涯学習型学修に意欲的に取り組み、自己の更なる確立をめざす者を求めている。

※アドミッション・ポリシーとは、各大学、学部、学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学修成果（「学力の３要素」についてどのような成果を求めるのか）を示すもの。

・「学力の３要素」…①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

三つのポリシー
―日本語学科―

2021年度以降入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

日本語学科では、主体的に判断・行動する教養をもち、グローバル時代のさまざまな問題に向き合える人物を育てることを目標としており、次の要件を満たした者に学士（日本語学）の学位を授与する。

【日本語専攻】

①日本と世界の文化・社会・歴史の多面性を把握することができる。
②日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力が身についている。
③日本語（国語）、日本語教育、国語教育を理解し、応用できる。

【グローバル・スタディーズ専攻】

①日本語、英語、中国語を用い、適切に情報を集約･分析し、表現することができる。
②自己の主張をグローバル的視野で的確に表現できる。
③多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる。
④対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

日本語学科のカリキュラムの最大の特徴は「日本語教育ができる国語教員」を育成できるという点にある。日本語と日本文化を深く理解した上で「国語（母語としての日本語）」や「日本語（外国語としての日本語）」を教え、海外に日本文化を伝える能力を育成することを目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

1　少人数編成のクラスにおいて、基礎学力の育成（1 年次）、専門分野における課題探求能力の涵養（2 年次）、専門領域別研究の推進（3 年次）、卒業研究による学修の集大成（4 年次）を段階的に指導し、職業人としての総合力の育成を図る。
2　3 年次進級要件に日本語検定 3 級を課し、確かな日本語運用能力を育成する。
3　各専攻の概要
（1）　日本語専攻では、国語科教員・日本語教員、または編集者等日本語を専門とする職業人として活躍するために必要な高度な日本語運用能力や指導力を涵養する。
（2）　グローバル・スタディーズ専攻では、日本語、英語、中国語を身につけ、さらに日本及び周辺諸国・地域の文化、社会、経済、ビジネスを幅広く学び、国際的なセンスと人間力を養う。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

日本語学科では、日本語と日本文化、外国語と外国文化の深い造詣を求め、学ぼうとする意欲を持ち、さらに身につけた言語力、言語教育力、教養力を生かして国際社会で活躍することを志望する次のような人材を求めている。

1　日本語専攻では、学校教育における国語科教員、国内外の機関での日本語教員、言語教育に関わる仕事、言語や言語教育の研究を志望する人
2　グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、多文化に対する柔軟な思考力を身につけ、国際社会で活躍しようとする人

対応する入試【総合型選抜（ＡＯ）】【総合型選抜（スポーツ･文化活動）】【総合型選抜（生涯学習型社会人）】

3　日本語専攻では、学校教育における国語科教員、国内外の機関で言語教育に関わる仕事を志望する人
4　グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、多文化に対する柔軟な思考力を身につけ、国際社会で活躍する意欲のある人

対応する入試【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】

5　日本語専攻では、母国での日本語教員、日本語教育に関わる仕事を志望する人で、基礎的な日本語運用能力を有し、入学後の日本語運用能力と日本文化の知識を高めようと努力する強い意志のある人
6　グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力を身につけ、日本と母国との発展に貢献する強い意志を持ち、国際社会で活躍する意欲のある人

対応する入試【外国人留学生特別入試】

7　日本語専攻では、国語科教員、日本語教員、その他言語教育に関わる仕事、言語や言語教育の研究者、また編集者など日本語についての見識を生かす職業を志望する人
8　グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、異文化適応力を身につけ、日本社会と国際社会に貢献する意欲を持つ人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】

三つのポリシー
―日本語学科―

2020年度以前入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

日本語学科では、主体的に判断・行動する教養を持ち、グローバル時代のさまざまな問題に向き合える人物を育てることを目標としており、次の要件を満たした者に学士（日本語学）の学位を授与する。

【日本語専攻】

①日本と世界の文化・社会・歴史に多面的な関心を持ち、②日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力を身につけ、③日本語（国語）、日本語教育、国語教育の問題解決に寄与できる。

【グローバル・スタディーズ専攻】

①日本語、英語、中国語を用い、情報を適切に集約・分析・表現ができる、②自己の主張を的確に表現できる、③多様な文化を理解し自らの文化を発信できる、④対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

日本語学科のカリキュラムの最大の特徴は「日本語教育ができる国語教員」を育成できるという点にある。日本語と日本文化を深く理解した上で「国語（母語としての日本語）」や「日本語（外国語としての日本語）」を教え、海外に日本文化を伝える能力を育成することを目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

1　少人数編成のクラスにおいて、基礎学力の育成（1 年次）、専門分野における課題探求能力の涵養（2 年次）、専門領域別研究の推進（3 年次）、卒業研究による学修の集大成（4 年次）を段階的に指導し、職業人としての総合力の育成を図る。
2　3 年次進級要件に日本語検定 3 級を課し、確かな日本語運用能力を育成する。
3　各専攻の概要
（1）　日本語専攻では、国語科教員・日本語教員、または編集者等日本語を専門とする職業人として活躍するために必要な高度な日本語運用能力や指導力を涵養する。
（2）　グローバル・スタディーズ専攻では、日本語、英語、中国語を身につけ、さらに日本及び周辺諸国・地域の文化、社会、経済、ビジネスを幅広く学び、国際的なセンスと人間力を養う。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

日本語学科では、日本語と日本文化、外国語と外国文化の深い造詣を求め、学ぼうとする意欲を持ち、さらに身につけた言語力、言語教育力、教養力を生かして国際社会で活躍することを志望する次のような人材を求めている。

1　日本語専攻では、学校教育における国語科教員やスポーツ指導者、国内外の機関での日本語教員、言語教育に関わる仕事、言語や言語教育の研究を志望する人
2　グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、多文化に対する柔軟な思考力を身につけ、国際社会で活躍しようとする人

対応する入試【ＡＯ入試】【スポーツ・文化活動特別入試】

3　日本語専攻では、学校教育における国語科教員、国内外の機関で言語教育に関わる仕事を志望する人
4　グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、多文化に対する柔軟な思考力を身につけ、国際社会で活躍する意欲のある人（日本語検定３級以上が望ましい）

対応する入試【推薦入試】

5　日本語専攻では、母国での日本語教員、日本語教育に関わる仕事を志望する人で、基礎的な日本語運用能力を有し、入学後の日本語運用能力と日本文化の知識を高めようと努力する強い意志のある人
6　グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力を身につけ、日本と母国との発展に貢献する強い意志を持ち、国際社会で活躍する意欲のある人

対応する入試【外国人留学生特別入試】

7　日本語専攻では、国語科教員、日本語教員、その他言語教育に関わる仕事、言語や言語教育の研究者、また編集者など日本語についての見識を生かす職業を志望する人
8　グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、異文化適応力を身につけ、日本社会と国際社会に貢献する意欲を持つ人

対応する入試【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】

三つのポリシー
―英米語学科―

2021年度以降入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

英米語学科では、次の要件を満たした者に、学士（英米語学）を授与する。

1　国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力が身についている。
2　言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力が身についている。
3　社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格が身についている。
4　教育・研究の分野で活躍できる能力が身についている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

英米語学科は、英語による実践的なコミュニケーション能力の修得とその基盤となる文化的背景の理解を深めることを目指すと共に、グローバル社会の進展を見据え、多言語能力（英語＋中国語等）と国際教養（諸外国の文化・社会・ビジネスに関する基礎知識）の涵養を目指し、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

1　1､2 年次の必修英語プログラム「Intensive English Program (IEP)」を中心に、週 6 コマのレベル別少人数クラスで､英語の 4 技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）の育成を図る。
2　2 年次からは、英米語専攻（English Language Major,ELM）とグローバル・スタディーズ専攻（Global Studies Major,GSM）からなる 2 専攻制に移行し、目標進路の達成に必要となる基礎力及び専門能力の養成を図る。
3　各専攻の概要
（1）　英米語専攻では、言語や文化や教育についての理解やスキルの向上を目指す「英米語・英米文化関連科目」を中心に履修することにより、高度で実践的な英語力と幅広い教養を身につける。
（2）　グローバル･スタディーズ専攻では､「グローバル･スタディーズ関連科目」（コア科目、地域研究科目等）を中心に履修することにより、グローバル人材に必要とされる素養（実務的語学力、ビジネス思考等）を身につける。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

英米語学科では、英語コミュニケーション能力と、多言語・多文化・歴史・ビジネス等についての幅広い教養や資格を武器に、社会のさまざまな分野で活躍することのできる力を育てることを目指している。

そのため、英語を学ぶことに対して強い意欲を持つと同時に、次に示すような資質、興味・関心、目標を持つ人材を求めている。なお入学時に CEFR-A2 レベル以上と認められる英語運用能力を持つことが望ましい。

１　健全な倫理観と責任感を持ち、目標実現のために粘り強く、自律的に努力することができる人

対応する入試【総合型選抜（ＡＯ)】

２　継続的な活動を通じて成果をあげた経験をもとに、英語を学ぶことに対して不断の努力をする強い意欲を持つ人

対応する入試【総合型選抜（スポーツ・文化活動)】

３　世界の言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について学び、深く理解することに意欲を持つとともに、学校で提供される諸科目に真摯に取り組み、幅広く学んでいる人

対応する入試【学校推薦型選抜（指定校)】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生)】【外国人留学生特別入試】

４　豊かな教養と実社会で通用する知識・技能や資格を身につけ、英語を通して持続可能な国際未来社会創造に貢献する意欲を持つ人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（生涯学習型社会人)】

なお、英米語学科では、主として英語と日本語の基礎学力をベースに入学者選抜を行っている。特に、英語については、高等学校の学習指導要領に基づく基本的な英語の知識とスキルを修得しておくことが必要である。また、一定の文章力と口頭表現力が必要となるため、日本語の基礎学力も求められる。入学後には多分野にわたる科目の履修が要求されるため、得意・不得意の違いはあれ、学校で提供される諸科目に真摯に取り組み、幅広く学んでいることが期待される。

三つのポリシー
―英米語学科―

2020年度以前入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

英米語学科では、次の要件を満たした者に、学士（英米語学）を授与する。

1　国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力を身につけていると判断できる。
2　言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力を身につけていると判断できる。
3　社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格を身につけていると判断できる。
4　教育・研究の分野で活躍できる能力を身につけていると判断できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

英米語学科は、英語による実践的なコミュニケーション能力の修得とその基盤となる文化的背景の理解を深めることを目指すと共に、グローバル社会の進展を見据え、複言語能力（英語＋中国語等）と国際教養（諸外国の文化・社会・ビジネスに関する基礎知識）の涵養も目指し、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

1　1､2 年次の必修英語プログラム「Intensive English Program (IEP)」を中心に、週 6 コマのレベル別少人数クラスで､英語の 4 技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）の育成の徹底を図る。
2　2 年次からは、英米語専攻（English Language Major,ELM）とグローバル・スタディーズ専攻（Global Studies Major,GSM）からなる 2 専攻制に移行し、目標進路の達成に必要となる基礎力及び専門能力の養成を図る。
3　各専攻の概要
（1）　英米語専攻では、言語や文化や教育についての理解やスキルの向上を目指す「英米語・英米文化関連科目」を中心に履修することにより、高度で実践的な英語力と幅広い教養を身につける。
（2）　グローバル･スタディーズ専攻では､「グローバル･スタディーズ関連科目」（コア科目、フィールドワーク科目等）を中心に履修することにより、グローバル人材に必要とされる素養（実務的語学力、ビジネス思考等）を身につける。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

英米語学科では、英語コミュニケーション能力と、複言語・複文化・歴史・ビジネス等についての幅広い教養や資格を武器に、社会のさまざまな分野で活躍することのできる力を育てることを目指している。

そのため、英語を学ぶことに対して強い意欲を持つと同時に、次に示すような資質、興味・関心、目標を持つ人材を求めている。

健全な倫理観と責任感（他者への思いやり、協働の精神、時間や約束を守る強い意志など）を持ち、目標実現のために粘り強く、自律的に努力することができる人

対応する【ＡＯ入試】

継続的な活動を通じて成果をあげた経験をもとに、英語を学ぶことに対して不断の努力をする強い意欲を持つ人

対応する入試【スポーツ・文化活動特別入試】

世界の言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について学び、深く理解することに意欲を持つとともに、学校で提供される諸科目に真摯に取り組み、幅広く学んでいる人

対応する入試【推薦入試】

豊かな教養と実社会で通用する能力（知識・技能）や資格を身につけて、国際未来社会で活躍することに意欲を持つとともに、一定レベルの英語力（できれば英検２級以上、少なくとも英検準２級以上の英語力）を身につけている人

対応する入試【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】

なお、英米語学科では、主として英語と日本語の基礎学力をベースに入学者選抜を行っている。特に、英語については、高等学校の学習指導要領に基づく基本的な英語の知識とスキルを修得しておくことが必要である。また、一定の文章力と口頭表現力が必要となるため、日本語の基礎学力も求められる。入学後には多分野にわたる科目の履修が要求されるため、得意・不得意の違いはあれ、学校で提供される諸科目に真摯に取り組み、幅広く学んでいることが期待される。

三つのポリシー
―中国語学科―

2021年度以降入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中国語学科では、次の要件を満たした者に学士（中国語学）の学位を授与する。

1　中国語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の４技能をバランスよく修得し、中国語による情報収集ができ、中国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
2　アジアにおけるグローバル社会に適応する能力として、中国の歴史・文化・経済・社会についての体系的知識を有し、これらの分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論することができる。
3　多様な文化的背景を持つ人々と協働していくために、コミュニケーションに必要な実践的言語力（中国語・英語・日本語）を有するとともに、主体的に異文化コミュニケーションを実践することができる。
4　中国語専攻学生は、通訳・翻訳に通じる高度な中国語能力を持ち、中国の文化・社会に対する知識を有し、中国語を必要とする仕事において活躍できる。
5　グローバル・スタディーズ専攻学生は、経済・経営・会計・統計などビジネスに必要となる知識を持ち、グローバル社会で活躍できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

中国語学科は、実践的な中国語力を涵養し、各専攻に特化した中国語運用能力、専門知識の修得を目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

1　1、2年次には、独自の教授法により、「読む」「書く」「聞く」「話す」の４技能を育成するとともに、中国の社会、歴史、文学、思想についての基本的知識の修得を図る。
2　2年次からは、二つの専攻ごとにその特色を生かした専門科目を段階的に学ぶことにより、それぞれの専攻分野の基礎力及び進路に応じた高度な能力の養成を図る。
3　各専攻の概要
（1）　中国語専攻では、教員、通訳、出版、広く社会での一般職の職業を目指す者に、中国語学・中国文化を体系的に学んで、中国語教授力及びことばの高度な運営力の育成を図ると同時に、豊かな感受性、自己表現能力、抽象的思考力を身につける。
（2）　グローバル・スタディーズ専攻（GSM）では、中国語による実践的語学力を養成した上で、現代社会についての幅広い知識を身につけ、現代のビジネス社会が求める社会学的教養を修得して、21世紀社会に脚光を浴びるであろう東アジア、東南アジア社会を中心に、国際ビジネス社会で活躍できる能力を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

中国語学科では、いまや世界有数の経済大国となった中国の重要性を認識し、国際未来社会で活躍するひとつの方法として、中国語を核とする言語運用能力、関連する歴史・文化・経済・社会などの教養を身につけ、実践的コミュニケーション能力を涵養していくことに強い意欲のある次のような人材を求めている。

1　中国語習得に対して強い意欲を持ち、学修が一定の水準に達するまで努力を重ねる力のある人
2　異文化コミュニケーションに主体的に関わる意欲のある人

対応する入試【総合型選抜（ＡＯ)】【総合型選抜（スポーツ・文化活動)】

3　高等学校における授業内容を十分に理解し、勉学において継続的かつ着実に努力する力のある人
4　中国語を身につけ、関連する歴史・文化・経済・社会など幅広い教養を修得し、国際社会で自らの力を発揮していくことに強い意欲のある人

対応する入試【学校推薦型選抜（指定校)】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生)】

5　外国語学習の基礎となる十分な国語力と、学習経験のある外国語について一定の達成が見られる人
6　中国語を身につけ、関連する歴史・文化・経済・社会など幅広い教養の修得に向けて、不断の努力を続ける力があり、広く国際未来社会で活躍しようとする意欲のある人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】

7　日本で中国語を学んでいくための基礎となる十分な日本語力を有し、中国語および関連する歴史・文化・経済・社会など幅広い教養を修得して、広く国際未来社会で活躍しようとする強い意欲のある人

対応する入試【外国人留学生特別入試】

8　少人数制で集中的に独自のカリキュラムを用いて中国語を学修し、加えて関連する歴史・文化・経済・社会など幅広い教養をも修得して、国際未来社会を支える有為な人材となる強い意志のある人

対応する入試【総合型選抜（生涯学習型社会人)】

三つのポリシー
―中国語学科―

2020年度以前入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中国語学科では、次の要件を満たした者に学士（中国語学）の学位を授与する。

1　中国語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の４技能をバランスよく修得し、中国語による情報収集ができ、中国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
2　アジアにおけるグローバル社会に適応する能力として、中国の歴史・文化・経済・社会についての体系的知識を有し、これらの分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論する力を修得していると判断できる。
3　多様な文化的背景を持つ人々と協働していくために、コミュニケーションに必要な実践的言語力（中国語・英語・日本語）を有するとともに、主体的に異文化コミュニケーションを実践する能力を修得していると判断できる。
4　中国語専攻学生は、通訳・翻訳に通じる高度な中国語能力を持ち、中国の文化・社会に対する知識を有し、中国語を必要とする仕事において活躍し得る能力を修得していると判断できる。
5　グローバル・スタディーズ専攻学生は、経済・経営・会計・統計などビジネスに必要となる知識を持ち、グローバル社会で実践的に活躍し得る能力を修得していると判断できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

中国語学科は、実践的な中国語力を涵養し、各専攻に特化した中国語運用能力、専門知識の修得を目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

1　1、2年次には、独自の教授法により、「読む」「書く」「聞く」「話す」の４技能を育成するとともに、中国の社会、歴史、文学、思想についての基本的知識の修得を図る。
2　2年次からは、二つの専攻ごとにその特色を生かした専門科目を段階的に学ぶことにより、それぞれの専攻分野の基礎力及び進路に応じた高度な能力の養成を図る。
3　各専攻の概要
（1）　中国語専攻では、教員、通訳、出版、広く社会での一般職の職業を目指す者に、中国語学・中国文化を体系的に学んで、中国語教授力及びことばの高度な運営力の育成を図ると同時に、豊かな感受性、自己表現能力、抽象的思考力を身につける。
（2）　グローバル・スタディーズ専攻（GSM）では、中国語による実践的語学力を養成した上で、現代社会についての幅広い知識を身につけ、現代のビジネス社会が求める社会学的教養を修得して、21世紀社会に脚光を浴びるであろう東アジア、東南アジア社会を中心に、国際ビジネス社会で活躍できる能力を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

中国語学科では、物や情報がグローバルに行き交う社会において、コミュニケーション手段としての言語の重要性は明らかなため、日本語、英語の基礎力を持ち、中国語と合わせて、それらを発展させていく意欲のある次のような人材を求めている。

1　中国語習得に対して強い意欲を持ち、進級に必要な一定の語学力に達するまで努力を厭わない積極的な人
2　異文化コミュニケーションに主体的に関わる意欲のある人

対応する入試【ＡＯ入試】

3　高等学校における授業内容を着実に理解し、継続的に努力する強い意欲のある人
4　経済・社会・歴史・文化など幅広い教養の修得に対し、継続的に努力する強い意思を持った人

対応する入試【推薦入試】

5　自らの考えを客観的に整理・要約し、的確な表現で合理的に説明していきたいと考える人
6　語学学習だけでなく、経済・社会・文化など幅広い教養の修得に向けて、不断の努力を続ける強い意欲を持つ人

対応する入試【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】

外国語学部で学ぶ学生諸君へ

外国語学部長　中川　仁

外国語学部へようこそ。新入生の学生諸君には、大学生になったという実感が、この「履修の手引」を開いた瞬間にうまれたのではないでしょうか。また在学生諸君には、コロナ禍ということもあり、学修環境の異なりを余儀なくされるなか、新年度を迎え、新たな気持ちで、継続的な学修に臨んでいただきたいと思っています。

外国語学部における学びは、それぞれの学生諸君の「母語」の運用能力を磨き、外国語学修に必要な読む、書く、話す、聞くの四技能を身に付けていくことを主眼とし、その外国語との相関関係にある学問的な分野（人文科学、社会科学、自然科学）をも網羅し、理解することから始まります。つまり外国語を理解するためには、「言葉」を学ぶ或いは、習得していくということのみならず、文化的な背景（その人々が歩んできた歴史的な背景、その人々が育んできた文学的な背景、その人々を形成してきた社会的な仕組み、その人々が生活してきたなかで育まれた慣習）を含めそれを理解し、これらの諸要因が存在してこそ、その「言葉」が成り立っているということを、あらためて理解していただきたいです。またそれぞれの「言葉」（日本語、英米語、中国語）には、これらのことがらが潜んでいるということと、その「言葉」が、どのように生成されてきたのかということを、外国語学部で探究していってほしいと思っています。そして「言葉」を運用するための専門的な知識も涵養し、「論理的な思考」を実践していける要素を身に付けていくことを心がけていくことを望みます。大学での学びを基礎とし、社会で実践できる能力をこの外国語学部で養ってください。

外国語学部での４年間の学びを提示します。

１年次は初年次教育として、「学修の基礎」の科目をはじめとし、本学の特色を知り、基礎知識を定着させます。そして外国語研究概論、フレッシュパーソンセミナーⅠ・Ⅱ（１年次ゼミクラス）を中心に、各学科の基礎専門科目を学修し、それぞれの言葉における基礎知識を培養します。

２年次は各学科の特色ある基礎専門科目の始まりです。そして言語専攻とグローバル・スタディーズ専攻に分けられ、専攻別による基礎専門科目を学修していきます。言語専攻では、主に言語の本質を知り、言語文化の探究をしていきます。グローバル・スタディーズ専攻では、経済学及び経営学をはじめとするビジネススキルの基礎を学び、実践的な語学力を培養していきます。これらは課題探求セミナーⅠ・Ⅱ（２年次ゼミクラス）で実践されていくことになります。

３年次は各学科の専門領域研究講座（３年次ゼミクラス）を通して、専門的な分野に言及していきます。そして将来を視野に入れた活動も開始し、就職活動セミナーにも参加していきます。

４年次は各学科の卒業研究指導が開始され、各ゼミによる指導、論文の執筆、論文発表会などを含め４年間の集大成をしていきます。また同時に就職活動も進めていきます。

この４年間で「言葉」を学びつつ、そして「論理的な思考」を実践していき、「知」を身に付け、グローバル社会で活躍できる行動力をも養っていくことに力を注いでいきましょう。

学 科 概 要

日本語学科

言葉力　人間は「言葉」を使って考えます。人間は、家族、友だち、配偶者、先生、先輩・後輩、同僚・上司・部下など、多くの人と接し、自分の考えや意思や感情を伝え、相手の意図を理解して生きています。「言葉」はコミュニケーションに不可欠のものです。将来どの道を歩もうとも、あなたの国語力・日本語力が求められます。

情報力　現代社会には大量の情報が流れています。どの情報が価値があり、どのように情報を使いこなすか。正確な情報、役立つ情報を見分ける力、正確でわかりやすく情報を発信する力であなたの人生は変わります。

教養力　確かな知識と経験をもとに、論理的に考え、わかりやすく述べる力、自分の考えを他の人に理解してもらう力、その場の雰囲気を読む力、人に好かれる態度や行動などの総合力が社会では必要です。

日本語学科は、生きる力の源＝**学ぶ力**、それを支える**言葉力**、**情報力**、**教養力**を身に付ける学科です。国語力・日本語力と、日本や世界についての豊かな知識と経験を身につけるところです。将来、中学校・高等学校の国語教員及び国内外の非母語話者に日本語を教える日本語教員［日本語専攻（JLM：Japanese Language Major)］、国内外のホテル・観光業、金融業、商業、販売業、製造業、出版業、広告業などでの仕事に就く人材［グローバル・スタディーズ専攻（GSM：Global Studies Major)］を少人数制、担任制、特別対策指導を通じて育てます。

英米語学科

英語による実践的なコミュニケーション能力の習得とその能力の基盤となる文化的背景の理解―これが、本学科の基本的な教育目標です。さらに、グローバル社会の進展を見据え、多言語能力（英語＋中国語）＋αと国際教養（諸外国の文化・社会・ビジネスに関する基礎知識）の涵養を目指します。

21世紀のグローバル社会で活躍するためには、英語に関するコミュニケーション能力や文化的背景の理解は言うに及ばず、英語以外の外国語についての理解と様々な地域の文化・社会・経済・ビジネスについての教養を深める必要があります。そのため、本学科では、英米語専攻（ELM：English Language Major）とグローバル・スタディーズ専攻（GSM：Global Studies Major）の２専攻を設け、学生それぞれの希望や資質を踏まえて、専門性を高めていきます。ELMに所属する学生は、言語や文化や教育についての理解やスキルの向上を目指す科目を中心に履修することにより、将来の進路達成を目指します。GSMに所属する学生は、ビジネス関連のコア科目、世界の政治・経済を学ぶグローバル科目、フィールドワーク科目等の履修を通して、グローバルな人材に必要とされる素養を身につけ、卒業後の進路の実現を目指します。

中国語学科

グローバル時代に必要な能力とは何でしょうか。それは、外国語をその社会的背景を含めて理解・運用できる「異文化コミュニケーション能力」と、時代や状況の変化に柔軟に対応し得る「教養力」であると考えています。

世界で第二位と第三位のGDPを誇る中国と日本、そして急成長を続けるASEANを視野に入れるとき、21世紀のグローバル社会の主役の一つがアジアであることは明らかです。この地域で最も話されている言語が中国語と英語であることを考えれば、いま中国語を学ぶ意義も明らかでしょう。本学科では、これまで少し学んだ経験のある人も、全くのゼロからはじめる人も、実用的で「使える」中国語が修得できます。たった４年間で実用的な中国語が修得できる理由は、明海大学独自の「明海メソッド」にあります。週８コマの少人数クラスの中国語の授業は、すべての講義が相互に関連を持っており、無理なく文法をマスターし、話せるようになってきます。

中国語専攻（CLM：Chinese Language Major）では、中国語を訓練し、さらに中国の歴史・社会・文化を理解して、中国に精通した人材の育成を目指しています。

グローバル・スタディーズ専攻（GSM：Global Studies Major）では、経済や会計などビジネスに直結する講義や、グローバルに活躍する先人たちの話を聞く授業も用意されています。

いずれの専攻も、一人ひとりの「学び」をサポートする、しっかりとしたカリキュラムが用意されています。

Ⅰ 共通事項

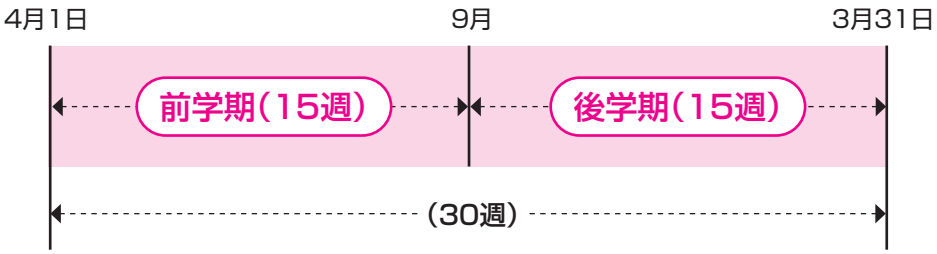
全学生に共通する項目です。

1 授　業

1 授　業

[1] 学　期

1年間は前学期と後学期の2学期で構成され、授業はおおむね前学期が15週、後学期が15週、年間30週にわたり開講されます。



参照➡「学年暦」

[2] 授業時間

授業は1時限当たり90分で行われ、原則として、月曜日から金曜日の1時限から5時限となります。

ただし、月曜日から金曜日の6時限及び土曜日の1・2時限に、集中授業、特別授業、補講及び就職等各種ガイダンス等が行われることがあります。

時限＼曜日	月	火	水	木	金	土
1	9：00～10：30					
2	10：40～12：10					
3	13：00～14：30					
4	14：40～16：10					
5	16：20～17：50					
6	18：00～19：30					

参照➡P.3「補講」

[3] 授業の出席

授業にはすべて出席しなければなりません。

原則として、実授業回数の５分の４以上の出席がなければ試験を受けることができません。

[4] 授業の欠席

やむを得ない事由により授業を欠席する（した）場合、次のとおり手続を行ってください。

欠席の事由	提出書類		提出先	取扱い
	届出書類	添付書類		
父母、祖父母、兄弟、姉妹に不幸があった場合	授業欠席届（所定様式）※1	会葬礼状等	学事課（教務担当）	次の期間については、欠席の扱いをしません。 父母： 連続した7日間と往復の日数 祖父母、兄弟、姉妹： 連続した5日間と往復の日数
学校保健安全法施行規則第18条に定められた感染症にかかった場合		感染症名、発症日及び治癒までにかかった期間が判断できる診断書		原則、当該期間中は欠席の扱いをしません。※3
教育実習・介護等の体験（事前打合せを含む。）				当該期間中は欠席の扱いをしません。
裁判員等に選任され、裁判所に出向いた場合		裁判所が発行する証明書類		
体育会所属クラブと学友会体育会連盟会所属のスポーツ・文化活動特別入学試験指定クラブの学生が公式試合等に参加した場合	欠席届（体育クラブ活動）（所定様式）※2		学生支援課（学生支援担当）	欠席の扱いをしません。
	体育会所属クラブ等の公式試合等参加に伴う授業の欠席については、「明海大学体育会所属クラブ等の活動に係る浦安キャンパス学生の授業欠席に関する取扱要領」に基づき取り扱います。詳細については『CAMPUS GUIDE』で確認の上、学生支援課（学生支援担当）窓口に問い合わせてください。			
上記以外の事由 例：病気、ケガ、事故など	欠席事由を証明できるもの		授業担当教員（事務窓口での取扱いは一切行いません。）	授業担当教員の判断によりますので、各自で確認してください。

※1
「授業欠席届」（所定様式）は学事課（教務担当）で受領してください。

※2
「欠席届（体育クラブ活動）」（所定様式）は学生支援課（学生支援担当）で受領してください。

※3
以下のいずれかに該当する場合は保健管理センターの判断によります。
①連続した７日間を超える欠席期間
②第３種「その他の感染症」

注意１ 欠席した授業の内容は、後日必ず授業担当教員に確認してください。

注意２ 授業科目によっては、授業担当教員から出席の代わりに課題（レポート等）が課されることがあります。

注意３ 平常授業時に実施される試験の欠席については、欠席の事由を証明する書類を**授業期間内に**授業担当教員に直接提出し、その取扱いについて授業担当教員の指示を受けてください。学事課（教務担当）での取次ぎ等は一切行いません。

注意４ 添付書類は原本を提出してください。
なお、原本の返却が必要な場合は、提出時に学事課（教務担当）に申し出てください。

参照➡P.12
「定期試験の欠席」

参考：学校保健安全法施行規則第18条に定められた感染症の種類

種別	病名
第１種	エボラ出血熱、クリミア･コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARSコロナウイルス）、中東呼吸器症候群（MERSコロナウイルス）、特定鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ等感染症※１、指定感染症、新感染症
第２種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）、百日咳、麻しん（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風しん、水痘（水ぼうそう）、咽頭結膜熱（プール熱）、結核、髄膜炎菌性髄膜炎
第３種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症※２

※1
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は新型インフルエンザ等感染症に含まれます。

※2
第３種「その他の感染症」の詳細については、文部科学省HPを参照してください。

[5] 休　講

参照➡『Webポータルシステム利用マニュアル』
参照➡P.39「学生への連絡」

やむを得ず授業が休講となることがあります。原則として授業の休講はWebポータルシステムの掲示配信及び掲示板で告知しますので、始業前に必ず確認してください。

なお、休講の掲示配信等がなく、授業開始時刻から30分以上経過しても授業担当教員が出講しない場合は、学事課（教務担当）で指示を受けてください。

[6] 補　講

参照➡『Webポータルシステム利用マニュアル』
参照➡P.39「学生への連絡」

授業の進度や休講状況等により、授業担当教員の判断で補講を実施することがあります。

補講は、学年暦に定める補講期間のほか、平常授業期間、夏季・冬季・春季休暇中に実施される場合もあります。日時等の詳細については、Webポータルシステムの掲示配信及び掲示板で告知します。

2　授業科目

[1] 開講期

授業科目は、開講される期間別に次のとおり分けられます。

セメスター科目（15週）	前学期又は後学期のいずれかの学期で授業が行われ、成績が評価される科目 注 意　セメスター科目には、１週間に１回授業を行う科目と、１週間に２回授業を行う科目の２種類があります。
通　年　科　目（30週）	前学期と後学期の１年間を通して授業が行われ、成績が評価される科目
集　中　科　目	ある一定の期間に集中的に授業が行われ、成績が評価される科目

[2] 配当年次

参照➡「教育課程表」

授業科目には、それぞれ配当年次が定められています。これは、各授業科目を系統的に学修するために履修できる年次の配当を定めているものです。

自分の在籍年次より下位の年次に配当されている科目の履修は認められますが、上位の年次に配当されている科目の履修は認められません。

なお、『授業時間割』及び『シラバス』には、配当年次のうち履修可能な最低年次が記載されています。

※同一名称科目でも入学年度によって配当年次が異なる場合があります。履修登録の際は、必ず教育課程表を確認してください。

[3] 授業科目の種類

授業科目には、次のとおり3つの種類があります。

科目の種類	定　義
必　修	卒業するために必ず単位を修得しなければならない科目
選択必修	必修科目以外で特定の分野又は科目の中から所定の単位数を修得しなければならない科目
選　択	必修科目及び選択必修科目以外の科目

3　単位制

[1] 単位制とは

大学における学修は単位制により行われています。単位制とは、所定の授業科目を一定の基準に従い履修（受講）し、試験に合格することで、その科目ごとに定められている単位を修得していく制度をいいます。

[2] 単位を修得するための学修時間

単位の算定は、大学設置基準により、１単位の授業科目を45時間の学修（各自が行う自習時間を含む。）を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業外に必要な学修等を考慮して、各大学において定めるとされています。

本学においては、原則として講義及び演習の科目については15時間の授業と授業外の学修30時間をもって１単位、実験、実習、実技及び外国語の科目については30時間の授業と授業外の学修15時間をもって１単位としており、１単位を修得するための授業時間数と授業外の学修時間数の割合は次のとおりです。

講義・演習	
授業 15時間	授業外(事前・事後)の学修 30時間
45時間　１単位	

実験・実習・実技・外国語	
授業 30時間	授業外(事前・事後)の学修 15時間
45時間　１単位	

単位を修得するためには、授業だけでなく、毎回の授業に対する事前の準備及び事後の展開などの主体的な学びに要する十分な学修時間が必要です。主体的な学修の仕方を身に付けてください。

なお、各授業科目の授業外（事前･事後）の学修内容及び学修目安時間については、『シラバス』等で確認してください。

[3] 各授業科目の単位数

授業の方法・開講期ごとの学修時間数及び単位数は、次のとおりです。

授業の方法	開講期	学　修　時　間　数	単位数
講　義 演　習	セメスター （週１回）	［２時間（授業）＋４時間（授業外）］×15週＝90時間	2
	セメスター （週２回）	［４時間（授業）＋８時間（授業外）］×15週＝180時間	4
	通　年	［２時間（授業）＋４時間（授業外）］×30週＝180時間	4
実　験 実　習 実　技 外国語	セメスター （週１回）	［２時間（授業）＋１時間（授業外）］×15週＝45時間	1
	セメスター （週２回）	［４時間（授業）＋２時間（授業外）］×15週＝90時間	2
	通　年	［２時間（授業）＋１時間（授業外）］×30週＝90時間	2

※１授業（90分）は、２時間として換算します。

[4] 単位の認定

履修した科目の単位は、原則として、試験に合格したときに初めて認定されます。試験の方法は、筆記試験、レポート・論文・作品の提出、実技、実習等がありますが、授業科目によっては、平常の成績をもって試験の成績に代えることがあります。

なお、単位の認定に際し、出席数が不足していたり、あるいは中途で受講を放棄したような場合は、その科目の単位は認定されません。

2 履　修

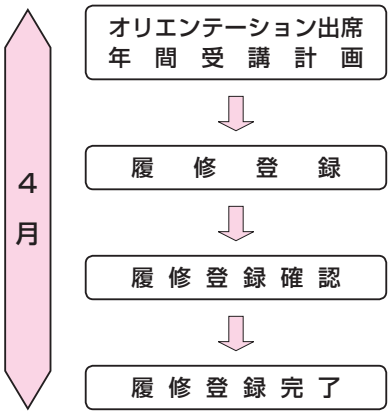
履修とは、各学部・学科で定めている授業科目を一定の規則に従い習い修めることです。

授業科目を履修するに当たっては、進級・卒業要件はもちろんのこと、次に掲げる規則を十分踏まえて、履修計画を立てなければなりません。

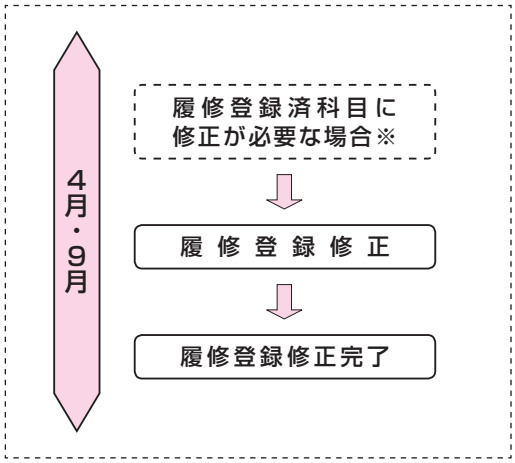
1　履修のルール

[1] 履修登録とは

履修登録とは、学年の始めに年間受講計画を立て、履修するすべての授業科目を登録する手続のことで、その流れはおおむね次のとおりです。



※履修登録修正は、やむを得ず修正が必要な場合のみ行うことができます。



履修登録は、１年間の学修を始めるために欠かすことのできない大学生活で最も重要な手続です。

しかし、履修登録時の単純なミスや、履修登録期間に登録を忘れたことなどが原因で単位を修得できなくなったり、留年するような事態が毎年起きています。

このような事態を未然に防ぐためにも、この『履修の手引』をよく読み、自己の責任において正しい履修登録手続を行ってください。

[2] 履修単位数の上限

※履修登録に当たっては、単位を修得するための学修時間を考慮し、年間40単位を目安に登録することが望ましい。

単位を修得するには、「単位制」の項目で説明したとおり、授業外にも学修のための時間が必要となります。このことから、学修が無理なく行われるように次のとおり履修できる単位数の上限が定められています。

年次	学　期		履修単位数の上限	備　　考
1年	前学期	1学期	22	※通年科目については、単位数の1／2を前学期及び後学期にそれぞれ算入します。 例：4単位の通年科目→2単位　前学期 →2単位　後学期 ※以下の科目の単位数は上限に含まれません。 1　集中授業 2　単位認定制度により認定を受けようとする科目 3　教職専門科目 ※教職専門科目とは、教職課程にのみ開講している科目です。詳細はオリエンテーション及び該当する入学年度の教職課程表で確認してください。
	後学期	2学期	22	
2年	前学期	3学期	24	
	後学期	4学期	24	
3年	前学期	5学期	26	
	後学期	6学期	26	
4年	前学期	7学期	28	
	後学期	8学期	28	

なお、2年（3学期）から4年（8学期）の履修単位数の上限を24単位から28単位としているのは、前年度までの修得単位数が不十分な学生に配慮したものです。また、4年次にこの上限内で卒業要件を満たす履修ができない場合、その時点で留年が確定することになりますので、履修した科目については確実に単位を修得するよう、授業への出席はもちろんのこと、予習・復習をおろそかにしないことが重要です。

[3] クラス指定

語学、実習等授業科目の性質から、適正人数（少人数等）で授業を行うためにクラスが指定される科目があります。原則として、指定されたクラス以外での履修は認められません。

	2022年度新入生	2022年度2年次生
クラス発表	3月30日（水） 2101・2103大講義室横掲示板	3月29日（火） 2101・2103大講義室横掲示板
クラス変更	原則としてクラス変更は認められませんが、クラス指定された科目が再履修等により必修科目と重複し、履修に制約を受ける場合に限り、次の手続を行うことでクラス変更が認められることがあります。	
クラス変更手　　続	①　学事課（教務担当）で「クラス変更許可願」（所定様式）を受領し、必要事項を記入する。 ②　変更前及び変更希望先の両授業担当教員に提示し、変更の許可を願い出る。 ③　授業担当教員の許可を得た場合、上記の「クラス変更許可願」に両授業担当教員の署名を受ける。 ④　両授業担当教員の署名を受けた「クラス変更許可願」を学事課（教務担当）へ提出する。 提出期間：3月29日（火）～4月15日（金） ⑤　変更したクラスに基づき、各自履修登録を行う。	
そ　の　他	授業科目によっては、クラス編成を変えることがあります。この場合、オリエンテーション又は掲示で発表します。	

注意1　2020年度以前入学生のクラスは前年度と変わりません。

注意2　編入学生のクラス指定は原則としてありません。

[4] 再　履　修

再履修とは、不合格になった科目を翌学期以降に再び履修することをいいます。

再履修しなければならない科目	不合格になった科目が進級や卒業の要件となる必修科目の場合、再履修して単位を修得しなければなりません。選択必修科目や選択科目の場合、同分野の他の科目で必要単位を満たすことができます。
再履修科目のクラス指定	再履修者のクラスが指定されている場合は、必ずそのクラスで履修しなければなりません。クラス指定については、2101・2103大講義室横掲示板で確認してください。 クラスが指定されていない場合は、どのクラスでも履修できますが、科目によっては履修人数の制限がありますので、履修登録前に必ず授業担当教員に許可を得てください。授業担当教員に無断で登録した場合、履修登録が取り消されることがあります。
再履修科目の優先履修	再履修科目と在籍する年次の配当科目が授業時間割上重なっている場合は、配当年次の低い再履修科目を優先して履修してください。

[5] 履修できない科目

カリキュラムが異なる科目	カリキュラムが改正されたことによって、入学年度により開講される授業科目や卒業要件が異なりますので、自分が入学した年度の教育課程表をよく確認し、履修することができない異なる入学年度のカリキュラム科目を誤って履修しないよう注意してください。
他学部・他学科開講科目	開放科目の授業科目以外の他学部・他学科開講科目を履修することはできません。
単位修得済科目	一度単位を認定された科目は、再度履修することができません。
同一名称科目	授業担当教員や開講時限が異なっていても、同一名称の科目は重複して履修することはできません。

2　履修登録方法

履修登録は、Webポータルシステムで行います。詳細については、『Webポータルシステム利用マニュアル』を参照し、正しい登録を行ってください。

（前学期）

❶ オリエンテーション・資料配布・時間割組立　3月25日（金）～ 4月1日（金）

チェックポイント
□（1・2年生）自分のクラスを確認する。
□（2～4年生）前年度の成績表をもとに、教育課程表で修得済及び未修得科目を確認する。
□（2～4年生）再履修が必要な必修科目がある場合、クラスが指定されていないか掲示等で確認する。
□（1～4年生）以下の要件等を踏まえて、履修する科目を選択し、4月1日（金）までに時間割を組み立て、巻末の『時間割（控）』に記入する。 ●進級要件　→ P.68参照 ●卒業要件　→ P.71参照 ●履修単位数の上限　→ P.6参照 ●履修できない科目　→ P.7参照 ●クラス指定　→ P.6参照

❷ 履修相談期間　3月29日（火）～4月1日（金）
時間・場所：9：00 ～ 17：00
学事課（教務担当）

チェックポイント
□（1 ～ 4年生）相談するときは、『履修の手引』等配布資料や掲示板等をもう一度よく確認し、疑問点を明確にしておくこと。

❸ 履修登録期間（Webポータルシステム「履修登録」）　3月29日（火）9：00 ～ 4月1日（金）23：59

チェックポイント
□（1～4年生）1年間分（通年・前学期・後学期）の科目を登録する。 ＊『Webポータルシステム利用マニュアル』で履修登録方法をよく確認する。 ＊ 期間内であれば、何度でも登録・修正可能 ＊ 学内・学外から利用可能
□（1～4年生）あらかじめ登録されている必修科目の曜日・時限・クラス等を確認する。 ＊登録されていない必修科目については、各自で登録する。
□（2年生）　進級見込判定を行い、進級要件を満たしているか確認し、必要に応じて登録内容を修正する。
□（4年生）　卒業見込判定を行い、卒業要件を満たしているか確認し、必要に応じて登録内容を修正する。
□（1～4年生）通年・前学期・後学期とも登録が終了した後は、必ず学生時間割表を出力し、正しく登録されているか確認し、各自で保管すること。

④ 履修登録完了・履修登録内容の確認（Webポータルシステム「時間割照会」）manaba利用開始	4月2日（土）13：00以降
⑤ 前学期授業開始	4月5日（火）

チェックポイント

- □（1～4年生）初回授業から必ず出席すること。（履修者の選抜を行う場合があります。）
- □（1～4年生）以下の手続きが必要な場合は、『履修の手引』等配布資料や掲示板等を確認し、必ず所定の期限までに手続きを行うこと。
  - ●（新入生） 既修得単位認定申請 → P.18参照
  - ●（新入生） 本学入学前に行った知識及び技能に係る審査の成果（資格取得等）に対する単位認定申請 → P.20参照
  - ●（2～4年生）クラス変更手続 → P.6参照

（やむを得ない事由で履修登録済科目に修正が必要な場合）

⑥ 履修登録修正期間（Webポータルシステム「履修登録」）	4月12日（火）9：00 ～ 4月17日（日）23：59

注意 履修登録修正もWebポータルシステム「履修登録」で行います。操作方法等は、履修登録と同じです。

⑦ 履修登録内容の確認（Webポータルシステム「時間割照会」）manabaへ履修登録修正内容反映	4月18日（月）13：00以降

（後学期）

履修登録修正期間（Webポータルシステム「履修登録」）	授業開始前 9月7日（水）9：00 ～ 9月12日（月）23：59 授業開始後 9月21日（水）9：00 ～ 9月23日（金）23：59
履修登録内容の確認（Webポータルシステム「時間割照会」）manabaへ履修登録修正内容反映	授業開始前 9月13日（火）13：00以降 授業開始後 9月24日（土）13：00以降

！ 今年度履修する科目がない学生は、履修登録期間内に学事課（教務担当）で所定の用紙を受領し、履修する科目がない旨を必ず届け出てください。（Webポータルシステムでの届出はできません。）

MEMO

3 試験・成績

1 試　験

履修した科目について単位の認定を受けるためには、試験を受けなければなりません。

試験の方法は、筆記試験、レポート・論文・作品の提出、実技、実習等がありますが、平常授業時の成績等を試験に代えることもあります。

注意 レポート・論文・作品の提出に当たっては、その提出方法等を授業担当教員に確認してください。学事課（教務担当）での取次ぎ等は一切行いません。

[1] 試験の種類

試験には、学年暦に定められた期間に行われる以下に掲げる種類の試験があります。ただし、授業科目によっては平常授業時に試験が行われることがあります。

区　分	試験の種類等	摘　　要
学年暦に定められた期間に行われる試験	定期試験	前学期又は後学期に終了する科目について定期試験時間割に基づき実施されます。 通年科目は、必要に応じて前学期にも行われる場合もあります。
	追試験	定期試験当日にやむを得ない事由（忌服、傷病、感染症、交通機関の遅れ、就職採用試験、出張等）のため受験できなかった者に対し、その欠席事由が正当と判断された場合に実施されます。
	再試験	定期試験等の結果、不合格（D評価）となった4年生に対し、授業担当教員が必要と認めた場合に実施されます。 なお、再試験の成績評価は「C」が最高となります。
平常授業時に行われる試験	授業担当教員が学修上必要と認めた場合、平常授業時に随時試験が行われます。 ● 試験の方法、時期等については、授業担当教員から指示があります。 ● 追試験の対象となりません。やむを得ない事由により受験できなかった場合の措置は、事前に授業担当教員に確認をしておいてください。 ● 学事課（教務担当）での取次ぎ等は一切行いません。	

参照➡P.12
「試験日程・受験手続」

**！ 追試験・再試験を受験する場合は、所定の手続が必要です。
所定の手続を行わなかった場合、受験することができません。**

[2] 定期試験の欠席

やむを得ない事由により、学年暦に定められた期間に行われる定期試験を欠席した場合、次のとおり手続を行ってください。

欠席の事由	提出書類		提出先	取扱い
	届出書類	添付書類		
父母、祖父母、兄弟、姉妹に不幸があった場合	定期試験欠席届（所定様式）※2	会葬礼状等	学事課（教務担当）	欠席事由が正当であると判断される場合に追試験を実施します。
傷病		診断書又は医療機関の発行する領収書		
学校保健安全法施行規則第18条に定められた感染症にかかった場合 ※1		感染症名、発症日及び治癒までにかかった期間が判断できる診断書		
交通機関の遅れ		交通機関の発行する遅延証明書		
就職採用試験（会社訪問、説明会を除く。）		採用試験通知		
社会人学生の出張		出張証明書（社印又は公印が必要）		
裁判員等に選任され裁判所に出向いた場合		裁判所が発行する証明書類		

※1
学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症（P.2参照）の詳細については文部科学省HPを参照してください。

※2
「定期試験欠席届」（所定様式）は学事課（教務担当）で受領してください。

注意1 上記の取扱いは、平常授業時に行われる試験は除きます。

注意2 平常授業時に行われる試験の欠席については、欠席の事由を証明する書類を**授業期間内に**授業担当教員に直接提出し、その取扱いについて授業担当教員の指示を受けてください。学事課（教務担当）での取次ぎ等は一切行いません。

注意3 添付書類は原本を提出してください。
なお、原本の返却が必要な場合は、提出時に学事課（教務担当）に申し出てください。

[3] 試験日程・受験手続

		前学期	後学期
定期試験	試験時間割発表	7月8日（金） 2101・2103大講義室横掲示板	12月16日（金） 2101・2103大講義室横掲示板
	試験期間	7月25日（月）～30日（土）	1月24日（火）～30日（月）
追試験	定期試験欠席届の提出	定期試験欠席届に欠席事由を証明するものを添付して提出してください。	
	提出期限	8月1日（月）	1月31日（火）
	該当者発表 試験時間割発表 受験手続期間	8月19日（金）・22日（月） 2101・2103大講義室横掲示板	2月13日（月）・14日（火） 2101・2103大講義室横掲示板
	受験手続方法	1科目ごとに「追・再試験受験願」（受験料として1,000円の証紙を貼付）を提出し、受験票の交付を受けてください。 **注意** 受験票は受験の際に学生証とともに提示してください。	
	試験期間	8月23日（火）～25日（木）	2月15日(水）～17日(金)
再試験	該当者発表 試験時間割発表 受験手続期間	8月19日（金）・22日（月） 2101・2103大講義室横掲示板	2月13日（月）・14日（火） 2101・2103大講義室横掲示板
	受験手続方法	1科目ごとに「追・再試験受験願」（受験料として2,000円の証紙を貼付）を提出し、受験票の交付を受けてください。 **注意** 受験票は受験の際に学生証とともに提示してください。	
	試験期間	8月23日（火）～25日（木）	2月15日(水）～17日(金)
書類提出・受験手続		学事課（教務担当）	

注意 追試験及び再試験は、所定の手続を行わなかった場合、受験することができません。

[4] 試験時間

学年暦に定められた期間に行われる試験は１時限当たり60分で行われます。

なお、時間割は平常授業の曜日・時間・教室とは異なりますので、必ず2101・2103大講義室横掲示板で確認してください。

時限＼曜日	月	火	水	木	金	土
1	9：30～10：30					
2	11：00～12：00					
3	13：00～14：00					
4	14：30～15：30					
5	16：00～17：00					

[5] 受験資格・受験上の注意（学年暦に定められた期間に行われる試験）

受験資格

次に該当する者は、受験資格がありません。

- 履修登録をしていない者
- 学生証を所持していない者
- 追・再試験については、所定の受験料の納入及び手続を行っていない者

受験上の注意

- 試験監督者の指示に従ってください。
- 試験科目によっては、試験室の座席が１人置きに指定されていますので、事前に試験時間割で確認し、適宜着席してください。
  ただし、試験監督者の指示により変更することがあります。
- 試験開始後20分以上遅刻した者は、受験することができません。
- 試験開始後30分間は、試験室から退室することができません。
- 学生証を必ず持参し、机上の見やすいところに置いてください。
  なお、忘れた場合は、学生支援課（学生支援担当）で仮学生証の発行を受けてください。
- 学生証、筆記用具（ペンケースを除く。）、その他試験で使用を許可された物以外は、すべてカバン等の中に入れ、椅子の下に置いてください。携帯電話・スマートフォン等は電源を切ってカバン等の中に入れてください。また、試験中の物の貸し借りは認めません。
- 試験中に不正行為を行った者は、事情のいかんを問わず直ちに受験停止となり、以後、学則等に基づき処分されます。

！ 平常授業時に行われる試験の受験資格・受験上の注意については、授業担当教員の指示に従ってください。

不正行為者の懲戒処分

受験停止・退場

試験場において試験監督者の指示に従わなかった者は、受験停止となり、退場となる。

訓　告　処　分

次のいずれかに該当する者は、訓告処分とし、当該学期の全履修科目の成績を0点とする。

①カンニングペーパー等を使用した者
②所持品、身体、机及び壁等に書込みをした者
③答案を見せた者及び見て書き写した者
④私語及び動作等で連絡した者及び連絡を受けて答案を書いた者
⑤使用が許可されていない物を使用した者
⑥試験場において試験監督者の指示に従わなかった者
⑦①～⑥に準ずる不正行為を行った者

停　学　処　分

次のいずれかに該当する者は、停学処分とし、当該年度の全履修科目の成績を0点とする。

①受験を依頼した者及び依頼されて受験した者
②答案を交換した者
③訓告処分に該当する不正行為を再度行った者
④①～③に準ずる不正行為を行った者

! 携帯電話・スマートフォン等を時計の代わりとして使用するケースがみられます。
この行為は、不正行為者の懲戒処分に該当し、訓告又は停学処分の対象となりますので、試験時は必ず電源を切り、カバン等の中へ入れてください。

2　成　績

[1] 成績評価・成績表記

成績評価及び成績表記は、次のとおりです。

判　定	合　　格				不合格		認定	編入学時認定
点　数	100～90	89～80	79～70	69～60	59～0	評　価対象外		
成績表に表記される評価	S	A	B	C	D	*	N	H
成績証明書に表記される評価	A		B	C	表記されない		N	H
成績評価の標準分布	10%程度	20%程度	–	–	20%以内	–	–	–

- 評価対象外とは、授業期間を通じ出席不良、試験の未受験又はレポート未提出等のため、成績評価ができないものを指します。
- 「N」（認定）は、単位認定制度等により認定を受けた授業科目について表記されます。
- 「H」（編入学時認定）は、編入学生が入学時に包括・弾力的に認定を受けた科目等について表記されます。
- 成績評価の標準分布は、S 評価、A 評価及びD 評価の標準的な分布を表したものです。各授業科目の評価方法等については、『シラバス』で確認してください。

[2] GPA（成績平均点数制）

本学では、一定期間の履修及び学修状況をより明確に把握するために、GPA（Grade Point Average：成績平均点数制）による成績・単位修得状況評価を行っています。

GPAは、それぞれの評価に設定されたグレード・ポイント（GP）に単位数を乗じた成績点数の和を、総履修単位数で除することによって算出されますので、一旦履修した科目については、途中で放棄することなく、確実に単位を修得するようにしてください。

なお、GPAは、学生への個別指導、奨学金の給付対象者の選考、宮田賞及び学長賞（学業成績優秀者への表彰）授与選考の基準となる他、派遣留学生の選抜及び履修者数の制限等に使用されます。

GPAの算出方法等

GPAの具体的な算出方法等は、次のとおりです。

判　定	合　格				不合格		認定	編入学時認定
成績評価	S	A	B	C	D	*	N	H
グレード・ポイント（GP）	4	3	2	1	0	0	除く	除く

①GPAの算出方法

$$GPA=\frac{（単位×グレード・ポイント）の和}{総履修単位数^{※}}$$

※総履修単位数には、成績評価がN又はHの単位数は含まれません。

〔GPAの算出例〕

授業科目名	単位数	評　価	単位数×グレード・ポイント
日本の歴史	2	B	2×2=4
日本国憲法	2	D	2×0=0
英語Ⅰ－a	1	C	1×1=1
日本語表現研究Ⅰ	2	S	2×4=8
日本語学講義Ⅱ	2	A	2×3=6
漢文学講義	2	*	2×0=0
合　計	11		19

$$GPA=\frac{19}{11}=1.73$$　※小数点第３位を四捨五入

②総合評価

前記の方法により算出されたGPA によって、次のとおり評価を行います。

GPA	総　合　評　価
3.50～4.00	特に優れている
3.00～3.49	優れている
2.00～2.99	良好
1.00～1.99	努力が必要
0～0.99	より一層の努力が必要

注意 総合評価は、履修科目全体の学修成果について評価したものであり、進級又は卒業要件単位の充足状況について評価したものではありません。

[3] 成績発表

※住所変更等がある場合は、速やかにWebポータルシステムで変更の手続を行ってください。

成績発表は、次のとおり行います。

成績発表スケジュール

区　分	対象年次等	発表日	
前 学 期 終了科目	1年（1学期） 〜 4年（8学期）	学　生	9月5日（月）
		保証人	9月上旬
後 学 期 終了科目	1年（1学期） 〜 4年（7学期）	学　生	3月15日（水）
		保証人	3月中旬
	4年（8学期）	学　生	3月1日（水）
		保証人	3月中旬

確認方法

学　生	Webポータルシステム「成績照会」で確認
保証人	成績表を郵送（ただし、学費を自己負担している学生の保証人を除きます。）

参照➡『Webポータルシステム利用マニュアル』

[4] 成績調査

※成績調査願（所定様式）は手続期間内に学事課（教務担当）で受領してください。

成績評価について疑問があり、授業担当教員に成績評価の調査を依頼する場合は、所定の期間内に手続を行ってください。期間外の問い合わせには一切応じません。

区　分	対象年次等	手続期間	提出書類	提出先	調査結果発表
前 学 期 終了科目	1年（1学期） 〜 4年（7学期）	9月5日（月） 〜8日（木）	成績調査願 （所定様式）※	学事課 （教務担当）	学事課 （教務担当） Webポータルシステム及び掲示で呼び出しますので、必ず本人が学生証を持参の上、直接学事課（教務担当）で確認してください。
	9月卒業 対象者 4年（8学期） 注意3 参照	9月5日（月） ・6日（火）			
後 学 期 終了科目	1年（1学期） 〜 4年（7学期）	3月16日（木） 〜22日（水）			
	4年（8学期）	3月1日（水） ・2日（木）			

注意1　成績調査願には、調査を依頼する理由を具体的に記入してください。

注意2　成績調査願は、受けた評価に対して疑問がある場合に成績評価の再確認を依頼するためのものであり、成績評価の変更を依頼したり、具体的な評価内容・点数等を確認するためのものではありません。

注意3　前学期に4年（8学期）に在籍している者の成績調査手続期間は、9月5日（月）・6日（火）です。この期間以外に手続を行うことはできません。

4 単位認定制度

1　単位認定制度について

本学では他の大学等における学修や知識及び技能に係る審査の成果に対して、単位を認定する制度があります。

学修の種類等	概　　要	対象となる学修の時期		認定される単位数の上限	
		入学前	入学後		
入学前の既修得単位等の認定	[1]既修得単位 → P.18 本学入学前に他の大学又は短期大学で修得した単位の認定 （外国の大学若しくは短期大学で修得した単位又は科目等履修生として修得した単位を含む。）	○	—	30	合計60単位
大学以外の教育施設等における学修	[2]知識及び技能に係る審査の成果 → P.20 本学入学前及び入学後に行った知識及び技能に係る審査の成果（資格取得等）に対する単位の認定	○	○	8～20 注：入学年度、学科により異なります。	
他の大学又は短期大学における授業科目の履修等	[3]派遣留学生（約半年～１年間の海外留学）→ P.28 海外の協定校等に派遣留学生として約半年～１年間留学し、所定の互換科目を修得したことによる単位の認定	—	○	20～40 注：学科・留学先により異なります。	
	[4]派遣留学生（短期海外研修）→ P.29 海外の協定校等に派遣留学生として学生の休暇期間中に短期間研修留学し、所定のプログラムを修めたことによる単位の認定	—	○	2～6 注：学科・研修先により異なります。	
	[5]派遣学生（国内）→ P.29 単位互換に関する包括協定を締結している千葉県内の26私立大学、８短期大学及び放送大学の35校において修得した単位の認定	—	○	8	
その他	[6]インターンシップ → P.30 企業等における実習・研修的な就業体験の成果に対して行う単位の認定	—	○	8	
	[7]GSMインターンシップ → P.30 外国語学部グローバル・スタディーズ専攻が実施する企業等における実習・研修的な就業体験の成果に対して行う単位の認定	—	○	4	
	[8]ボランティア活動 → P.31 社会貢献活動の成果に対して行う単位の認定	—	○	4	
	[9]GSMボランティア → P.31 外国語学部グローバル・スタディーズ専攻が実施するボランティア活動の成果に対して行う単位の認定	—	○	4	

2　各制度の内容及び申請方法等

前頁に記載されているそれぞれの単位認定制度の内容及び申請方法等は、次のとおりです。

［1］既修得単位

認定申請できる科目と単位数

科目区分等			認定単位数（上限）		備考
共通科目	基礎教育	学修の基礎Ⅲ－a	2	30	各科目区分単位数の合計30単位まで申請することができます。
		学修の基礎Ⅲ－b（情報リテラシー）	2		
	人間力形成教育	人間形成	4		
		国際理解	4		
		社会生活	4		
	キャリア形成教育	インターンシップA	2		
		インターンシップB	2		
専門科目			12		

対象・申請方法等

対象	2022年度入学の１年
申請期間	3月30日（水）～4月5日（火）
申請書類	①　単位認定申請書兼単位認定通知書（本学所定様式） ②　成績証明書又は単位修得証明書 ③　認定申請する科目の授業内容を明らかにする文書で、次のａ又はｂのいずれかのもの ａ　出身校が発行した授業内容の証明書 ｂ　シラバス（写）
所定様式配布及び申請書類提出先	学事課（教務担当）
単位認定発表	4月12日（火） 学事課（教務担当）で、単位認定通知書を直接本人へ交付します。

注意１　申請書類②及び③について、英語以外の外国語で記載されている場合は、日本語又は英語の訳文を添付してください。

注意２　外国の大学又は短期大学で修得した単位の認定を希望する場合及び申請書類③のａ又はｂのいずれの書類も用意できない場合は、事前に学事課（教務担当）で相談してください。

認定申請の留意点

認定申請を行うに当たり、次に掲げる要件を満たしていることが認定の目安となりますので留意してください。

① 申請する科目は、本学の認定を受けようとする科目と単位数又は総授業時間数（実授業時間数）が同じ又はそれ以上であること。

注意 外国の大学等で修得した科目は、単位制によらない場合や、単位の換算基準が異なることがありますので、本学所定様式により総授業時間数等を申告してください。（成績証明書等に時間数の記載がない場合は、出身校に問い合わせの上、申告してください。）

② 申請する科目の授業内容を『シラバス』で確認し、本学で認定を受けようとする科目の内容に相当したものであること。

—申請例—

	他大学等開設科目	単位数（時間数）の比較	本学開設科目	備　考
○（申請可）	日本史（2単位 30時間）	≧	日本の歴史（2単位　30時間）	
×（申請不可）	日本国憲法（1単位 15時間）	＜	日本国憲法（2単位　30時間）	授業内容が本学開設科目に相当しても、単位数（時間数）が少ないので、認定されません。

既修得単位認定申請と履修登録

既修得単位認定申請と履修登録手続の流れは、次のとおりです。

年間の受講計画を立てる際は、**申請する科目がすべて認定されることを前提に検討し、履修登録は行わないでください。**

なお、履修登録修正期間は、授業開始から数日が経過しており、学修に支障をきたすことがあるので、認定申請に当たっては、十分に検討し、安易な申請は慎んでください。

単位認定申請科目を決める

⇩

単位認定申請必要書類準備

⇩

単位認定申請　3月30日（水）～4月5日（火）

履修登録期間　3月29日（火）～4月1日（金）
※単位認定申請する科目は、履修登録を行わないでください。

⇩

単位認定発表　4月12日（火）

⇩

履修登録修正期間　4月12日（火）～ 17日（日）

注意 認定されなかった科目がある場合は、年間受講計画を見直し、履修登録内容を修正する必要がある場合は履修登録修正期間内に必ず修正してください。

[2] 知識及び技能に係る審査の成果

認定申請できる科目と単位数

日本語学科

<table>
<tr><th>学修の種類等</th><th colspan="4">認定単位数（上限）</th><th>授業科目（単位数）</th></tr>
<tr><td>TOEFL iBT 52点以上63点未満</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="4">4</td><td rowspan="6">6</td><td rowspan="8">合計8単位</td><td rowspan="15">英語Ⅰ－a（1）
英語Ⅰ－b（1）
英語Ⅱ－a（1）
英語Ⅱ－b（1）
英語Ⅲ－a（1）
英語Ⅲ－b（1）
ビジネススキルA（2）
ビジネススキルB（2）
ビジネススキルC（2）
ビジネススキルD（2）</td></tr>
<tr><td>TOEIC Listening & Reading Test 500点以上600点未満</td></tr>
<tr><td>実用英語技能検定準１級</td><td rowspan="3">4</td></tr>
<tr><td>TOEFL iBT 63点以上76点未満</td></tr>
<tr><td>TOEIC Listening & Reading Test 600点以上700点未満</td></tr>
<tr><td>TOEFL iBT 76点以上89点未満</td><td colspan="2" rowspan="2">6</td></tr>
<tr><td>TOEIC Listening & Reading Test 700点以上800点未満</td></tr>
<tr><td>実用英語技能検定１級</td><td colspan="3" rowspan="3">8</td></tr>
<tr><td>TOEFL iBT 89点以上</td></tr>
<tr><td>TOEIC Listening & Reading Test 800点以上</td></tr>
<tr><td>日本語検定　２級</td><td colspan="2">4</td><td rowspan="3">6</td><td rowspan="18">合計8単位</td><td rowspan="3">日本語基礎演習（4）
ビジネススキルA（2）
ビジネススキルB（2）
ビジネススキルC（2）
ビジネススキルD（2）</td></tr>
<tr><td>日本語検定　準１級</td><td colspan="2">6</td></tr>
<tr><td>日本語検定　１級</td><td colspan="3">8</td></tr>
<tr><td>日本漢字能力検定（漢検）２級・準１級</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">4</td><td rowspan="18">合計14単位</td><td rowspan="18">ビジネススキルA（2）
ビジネススキルB（2）
ビジネススキルC（2）
ビジネススキルD（2）</td></tr>
<tr><td>日本漢字能力検定（漢検）１級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>日本語教師検定C・B</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">6</td></tr>
<tr><td>日本語教師検定A</td><td>6</td></tr>
<tr><td>BJTビジネス日本語能力テスト　J2</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">8</td></tr>
<tr><td>BJTビジネス日本語能力テスト　J1・J1＋</td><td>8</td></tr>
<tr><td>日商PC検定（文書作成）２級</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>日商PC検定（文書作成）１級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>日商PC検定（データ活用）２級</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>日商PC検定（データ活用）１級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>日本語文章能力検定（文検）準2級・２級・準１級（2009年７月まで）</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>日本語文章能力検定（文検）１級（2009年７月まで）</td><td>4</td></tr>
<tr><td>漢語水平考試（HSK）４級（2010年６月から）</td><td>2</td><td rowspan="3">4</td><td rowspan="3">8</td><td rowspan="9">合計8単位</td></tr>
<tr><td>漢語水平考試（HSK）５級（2010年６月から）</td><td>4</td></tr>
<tr><td>漢語水平考試（HSK）６級（2010年６月から）</td><td colspan="2">8</td></tr>
<tr><td>中国語コミュニケーション能力検定（TECC）500点以上700点未満</td><td>2</td><td rowspan="3">4</td><td rowspan="3">8</td></tr>
<tr><td>中国語コミュニケーション能力検定（TECC）700点以上800点未満</td><td>4</td></tr>
<tr><td>中国語コミュニケーション能力検定（TECC）800点以上</td><td colspan="2">8</td></tr>
<tr><td>中国語検定試験３級・２級</td><td>2</td><td rowspan="3">4</td><td rowspan="3">8</td></tr>
<tr><td>中国語検定試験準１級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>中国語検定試験１級</td><td colspan="2">8</td></tr>
<tr><td>ファイナンシャル・プランニング技能士３級</td><td>2</td><td rowspan="3">4</td><td rowspan="3">8</td></tr>
<tr><td>ファイナンシャル・プランニング技能士２級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>ファイナンシャル・プランニング技能士１級</td><td colspan="2">8</td></tr>
<tr><td>２次元CAD利用技術者試験２級［旧：CAD利用技術者２級］</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>２次元CAD利用技術者試験１級［旧：CAD利用技術者１級］</td><td>4</td></tr>
<tr><td>ビジネス能力検定（B検）ジョブパス２級</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>ビジネス能力検定（B検）ジョブパス１級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>文部科学省後援　色彩検定２級</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>文部科学省後援　色彩検定１級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>建設業経理事務士検定３級</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="3">4</td></tr>
<tr><td>建設業経理士検定２級</td><td>2</td></tr>
<tr><td>建設業経理士検定１級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>情報活用試験１級</td><td rowspan="2">2</td><td colspan="2" rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>情報システム試験プログラマ認定</td></tr>
<tr><td>情報システム試験システムエンジニア認定</td><td>4</td></tr>
</table>

学修の種類等	認定単位数（上限）				授業科目（単位数）
販売士検定２級	2	4	（合計８単位）	（合計14単位）	ビジネススキルA（2） ビジネススキルB（2） ビジネススキルC（2） ビジネススキルD（2）
販売士検定１級	4				
秘書技能検定２級・準１級	2	4			
秘書技能検定１級	4				
簿記検定（日商）３級・２級	2	4			
簿記検定（日商）１級	4				
法学検定スタンダード〈中級〉コース	2	4			
法学検定アドバンスト〈上級〉コース	4				
経済学検定『EREミクロ・マクロ』Bランク	2	4	6		
経済学検定『EREミクロ・マクロ』B ＋ランク	4				
経済学検定『EREミクロ・マクロ』Aランク	6				
経済学検定『EREミクロ・マクロ』A ＋・Sランク	8				
通訳技能検定（通検）２級（2008年10月まで）	6	8			
通訳技能検定（通検）準１級・１級（2008年10月まで）	8				
世界遺産検定２級	2	4			
世界遺産検定１級	4				
管理業務主任者試験	各2				
不動産コンサルティング技能試験					
国内旅行業務取扱管理者試験					
初級システムアドミニストレータ試験（AD）（2009年５月まで）					
税務会計能力検定２級（2012年２月まで）					
所得税法能力検定１級					
法人税法能力検定１級					
消費税法能力検定１級					
福祉住環境コーディネーター３級・２級					
東京シティガイド検定					
ボランティア通訳検定（V通検）A級（2008年10月まで）	各4				
総合旅行業務取扱管理者試験					
基本情報技術者試験					
行政書士					
宅地建物取引士					
通関士					
測量士補					
ITパスポート試験					
マンション管理士	各6				
司法書士					
社会保険労務士					
税理士（科目合格を含む。）					
測量士					
中小企業診断士					
土地家屋調査士					
福祉住環境コーディネーター１級					
証券アナリスト					
日本語教育能力検定	各8				
会計士補（2005年12月まで） 公認会計士試験（論文試験合格）（科目合格を含む。）（2006年１月から）					
公認会計士					
司法試験					
不動産鑑定士補（2006年３月まで）					
不動産鑑定士					
通訳案内士（ガイド）試験					

備考
1　資格取得に係る学修については、当該資格を得るための所要資格（試験の合格及び実務経験等）を有する者を含みます。
2　申請時において修得済み及び履修中の授業科目については、認定を受けることができません。
3　学修の種類等（資格）の名称等が変更されている場合でも、認定を受けられることがありますので、学事課（教務担当）で確認してください。
4　英語科目の単位認定は、低年次に開講されている授業科目を優先します。
5　実用英語技能検定は、（公財）日本英語検定協会が実施するものとします。
6　簿記検定は、日本商工会議所が実施するものとします。
7　情報活用試験及び情報システム試験は、（一財）職業教育・キャリア教育財団［旧：（財）専修学校教育振興会］が実施するものとします。
8　中国語検定試験は、（一財）日本中国語検定協会が実施するものとします。
9　次の語学等試験については、当該言語を母語とする学生は申請できません。
（1）TOEFL iBT
（2）TOEIC Listening & Reading Test
（3）実用英語技能検定
（4）中国語検定試験
（5）漢語水平考試（HSK）
（6）中国語コミュニケーション能力検定（TECC）
（7）BJT ビジネス日本語能力テスト

認定申請できる科目と単位数

英米語学科

<table>
<tr><th>学修の種類等</th><th colspan="4">認定単位数（上限）</th><th>授業科目（単位数）</th></tr>
<tr><td>TOEFL iBT 64点以上70点未満</td><td colspan="2" rowspan="2">2</td><td rowspan="19">合計8単位</td><td rowspan="2">ビジネススキルA（2）
ビジネススキルB（2）
ビジネススキルC（2）
ビジネススキルD（2）</td></tr>
<tr><td>TOEIC Listening & Reading Test 650点以上700点未満</td></tr>
<tr><td>実用英語技能検定準１級</td><td colspan="2" rowspan="3">4</td><td rowspan="6">8</td><td rowspan="6">英米語基礎演習（4）
ビジネススキルA（2）
ビジネススキルB（2）
ビジネススキルC（2）
ビジネススキルD（2）</td></tr>
<tr><td>TOEFL iBT 70点以上76点未満</td></tr>
<tr><td>TOEIC Listening & Reading Test 700点以上800点未満</td></tr>
<tr><td>TOEFL iBT 76点以上89点未満</td><td colspan="2" rowspan="2">6</td></tr>
<tr><td>TOEIC Listening & Reading Test 800点以上945点未満</td></tr>
<tr><td>実用英語技能検定１級</td><td colspan="2" rowspan="3">8</td></tr>
<tr><td>TOEFL iBT 89点以上</td></tr>
<tr><td>TOEIC Listening & Reading Test 945点以上</td></tr>
<tr><td>漢語水平考試（HSK）４級（2010年６月から）</td><td>2</td><td rowspan="3">4</td><td rowspan="3">8</td><td rowspan="19">ビジネススキルA（2）
ビジネススキルB（2）
ビジネススキルC（2）
ビジネススキルD（2）</td></tr>
<tr><td>漢語水平考試（HSK）５級（2010年６月から）</td><td>4</td></tr>
<tr><td>漢語水平考試（HSK）６級（2010年６月から）</td><td colspan="2">8</td></tr>
<tr><td>中国語コミュニケーション能力検定（TECC）500点以上700点未満</td><td>2</td><td rowspan="3">4</td><td rowspan="3">8</td></tr>
<tr><td>中国語コミュニケーション能力検定（TECC）700点以上800点未満</td><td>4</td></tr>
<tr><td>中国語コミュニケーション能力検定（TECC）800点以上</td><td colspan="2">8</td></tr>
<tr><td>中国語検定試験３級・２級</td><td>2</td><td rowspan="3">4</td><td rowspan="3">8</td></tr>
<tr><td>中国語検定試験準１級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>中国語検定試験１級</td><td colspan="2">8</td></tr>
<tr><td>日本漢字能力検定（漢検）２級・準１級</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>日本漢字能力検定（漢検）１級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>日本語教師検定C・B</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">6</td></tr>
<tr><td>日本語教師検定A</td><td>6</td></tr>
<tr><td>BJTビジネス日本語能力テスト J2</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">8</td></tr>
<tr><td>BJTビジネス日本語能力テスト J1・J1+</td><td>8</td></tr>
<tr><td>日本語検定 ３級</td><td>2</td><td rowspan="3">4</td><td rowspan="3">6</td></tr>
<tr><td>日本語検定 準２級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>日本語検定 ２級・準１級</td><td colspan="2">6</td></tr>
<tr><td>日本語検定 １級</td><td colspan="3">8</td></tr>
<tr><td>日商PC検定（文書作成）２級</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>日商PC検定（文書作成）１級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>日商PC検定（データ活用）２級</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>日商PC検定（データ活用）１級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>日本語文章能力検定（文検）準２級・２級（2009年７月まで）</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">8</td></tr>
<tr><td>日本語文章能力検定（文検）準１級・１級（2009年７月まで）</td><td>8</td></tr>
<tr><td>ファイナンシャル・プランニング技能士３級</td><td>2</td><td rowspan="3">4</td><td rowspan="3">8</td></tr>
<tr><td>ファイナンシャル・プランニング技能士２級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>ファイナンシャル・プランニング技能士１級</td><td colspan="2">8</td></tr>
<tr><td>２次元CAD利用技術者試験２級［旧：CAD利用技術者２級］</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>２次元CAD利用技術者試験１級［旧：CAD利用技術者１級］</td><td>4</td></tr>
<tr><td>ビジネス能力検定（B検）ジョブパス２級</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>ビジネス能力検定（B検）ジョブパス１級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>文部科学省後援　色彩検定２級</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>文部科学省後援　色彩検定１級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>建設業経理事務士検定３級</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="3">4</td></tr>
<tr><td>建設業経理士検定２級</td><td>2</td></tr>
<tr><td>建設業経理士検定１級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>情報活用試験１級</td><td rowspan="2">2</td><td colspan="2" rowspan="3">4</td></tr>
<tr><td>情報システム試験プログラマ認定</td></tr>
<tr><td>情報システム試験システムエンジニア認定</td><td>4</td></tr>
</table>

学修の種類等	認定単位数（上限）				授業科目（単位数）
販売士検定２級	2	4		（合計8単位）	ビジネススキルA（2） ビジネススキルB（2） ビジネススキルC（2） ビジネススキルD（2）
販売士検定１級	4				
秘書技能検定２級・準１級	2	4			
秘書技能検定１級	4				
簿記検定（日商）３級・２級	2	4			
簿記検定（日商）１級	4				
法学検定スタンダード〈中級〉コース	2	4			
法学検定アドバンスト〈上級〉コース	4				
経済学検定『EREミクロ・マクロ』Bランク	2	4	6		
経済学検定『EREミクロ・マクロ』B+ランク	4				
経済学検定『EREミクロ・マクロ』Aランク	6				
経済学検定『EREミクロ・マクロ』A+・Sランク	8				
通訳技能検定（通検）2級（2008年10月まで）	6	8			
通訳技能検定（通検）準１級・１級（2008年10月まで）	8				
世界遺産検定２級	2	4			
世界遺産検定１級	4				
管理業務主任者試験	各2				
不動産コンサルティング技能試験					
国内旅行業務取扱管理者試験					
初級システムアドミニストレータ試験（AD）（2009年５月まで）					
税務会計能力検定２級（2012年２月まで）					
所得税法能力検定１級					
法人税法能力検定１級					
消費税法能力検定１級					
福祉住環境コーディネーター３級・２級					
東京シティガイド検定					
ボランティア通訳検定（V通検）A級（2008年10月まで）	各4				
総合旅行業務取扱管理者試験					
基本情報技術者試験					
行政書士					
宅地建物取引士					
通関士					
測量士補					
ITパスポート試験					
マンション管理士	各6				
司法書士					
社会保険労務士					
税理士（科目合格を含む。）					
測量士					
中小企業診断士					
土地家屋調査士					
福祉住環境コーディネーター１級					
証券アナリスト					
日本語教育能力検定	各8				
公認会計士試験（論文試験合格）（科目合格を含む。）（2006年１月から）					
公認会計士					
司法試験					
不動産鑑定士					
通訳案内士（ガイド）試験					

備考
1　資格取得に係る学修については、当該資格を得るための所要資格（試験の合格及び実務経験等）を有する者を含みます。
2　申請時において修得済み及び履修中の授業科目については、認定を受けることができません。
3　学修の種類等（資格）の名称等が変更されている場合でも、認定を受けられることがありますので、学事課（教務担当）で確認してください。
4　実用英語技能検定は、（公財）日本英語検定協会が実施するものとします。
5　簿記検定は、日本商工会議所が実施するものとします。
6　情報活用試験及び情報システム試験は、（一財）職業教育・キャリア教育財団［旧：（財）専修学校教育振興会］が実施するものとします。
7　中国語検定試験は、（一財）日本中国語検定協会が実施するものとします。
8　次の語学等試験については、当該言語を母語とする学生は申請できません。
（1）TOEFL iBT
（2）TOEIC Listening & Reading Test
（3）実用英語技能検定
（4）中国語検定試験
（5）漢語水平考試（HSK）
（6）中国語コミュニケーション能力検定（TECC）
（7）BJT ビジネス日本語能力テスト

認定申請できる科目と単位数

中国語学科（2017年度以降入学生）

学修の種類等	認定単位数（上限）					授業科目（単位数）
TOEFL iBT 52点以上63点未満 TOEIC Listening & Reading Test 500点以上600点未満	2	4	6	合計8単位	合計20単位	英語文化研究A（2） 英語文化研究B（2） ビジネススキルA（2） ビジネススキルB（2） ビジネススキルC（2） ビジネススキルD（2） 英語Ⅰ-a（1） 英語Ⅰ-b（1） 英語Ⅱ-a（1） 英語Ⅱ-b（1） Preparation for TOEICⅠ-a（1） Preparation for TOEICⅠ-b（1） Preparation for TOEICⅡ-a（1） Preparation for TOEICⅡ-b（1）
実用英語技能検定準１級 TOEFL iBT 63点以上76点未満 TOEIC Listening & Reading Test 600点以上700点未満	4					
TOEFL iBT 76点以上89点未満 TOEIC Listening & Reading Test 700点以上800点未満	6					
実用英語技能検定１級 TOEFL iBT 89点以上 TOEIC Listening & Reading Test 800点以上	8					
中国語検定試験４級	4		8	合計12単位		中国語基礎演習B（4）
中国語検定試験３級	4	6				中国語基礎演習A（4） ビジネススキルA（2） ビジネススキルB（2） ビジネススキルC（2） ビジネススキルD（2）
中国語検定試験２級・準１級	6					
中国語検定試験１級	8					
漢語水平考試（HSK）４級（2010年６月から）	4	6	8			中国語基礎演習B（4） ビジネススキルA（2） ビジネススキルB（2） ビジネススキルC（2） ビジネススキルD（2）
漢語水平考試（HSK）５級（2010年６月から）	6					中国語基礎演習A（4） ビジネススキルA（2） ビジネススキルB（2） ビジネススキルC（2） ビジネススキルD（2）
漢語水平考試（HSK）６級（2010年６月から）	8					
中国語コミュニケーション能力検定（TECC）500点以上700点未満	2	4	8	合計8単位		ビジネススキルA（2） ビジネススキルB（2） ビジネススキルC（2） ビジネススキルD（2）
中国語コミュニケーション能力検定（TECC）700点以上800点未満	4					
中国語コミュニケーション能力検定（TECC）800点以上	8					
日本漢字能力検定（漢検）２級・準１級	2	4				
日本漢字能力検定（漢検）１級	4					
日本語教師検定C・B	2	6				
日本語教師検定A	6					
BJTビジネス日本語能力テスト J2	2	8				
BJTビジネス日本語能力テスト J1・J1+	8					
日本語検定 ３級	2	4	6			
日本語検定 準２級	4					
日本語検定 ２級・準１級	6					
日本語検定 １級	8					
日商PC検定（文書作成）２級	2	4				
日商PC検定（文書作成）１級	4					
日商PC検定（データ活用）２級	2	4				
日商PC検定（データ活用）１級	4					
日本語文章能力検定（文検）準２級・２級（2009年７月まで）	2	8				
日本語文章能力検定（文検）準１級・１級（2009年７月まで）	8					
ファイナンシャル・プランニング技能士３級	2	4	8			
ファイナンシャル・プランニング技能士２級	4					
ファイナンシャル・プランニング技能士１級	8					
２次元CAD利用技術者試験２級［旧：CAD利用技術者２級］	2	4				
２次元CAD利用技術者試験１級［旧：CAD利用技術者１級］	4					
ビジネス能力検定（B検）ジョブパス２級	2	4				
ビジネス能力検定（B検）ジョブパス１級	4					
文部科学省後援　色彩検定２級	2	4				
文部科学省後援　色彩検定１級	4					
建設業経理事務士検定３級	2	4				
建設業経理士検定２級	2					
建設業経理士検定１級	4					
情報活用試験１級 情報システム試験プログラマ認定	2	4				
情報システム試験システムエンジニア認定	4					
販売士検定２級	2	4				
販売士検定１級	4					
秘書技能検定２級・準１級	2	4				
秘書技能検定１級	4					
簿記検定（日商）３級・２級	2	4				
簿記検定（日商）１級	4					

<table>
<tr><th>学修の種類等</th><th colspan="4">認定単位数（上限）</th><th>授業科目（単位数）</th></tr>
<tr><td>法学検定スタンダード〈中級〉コース</td><td>2</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="11">（合計8単位）</td><td rowspan="26">（合計20単位）</td><td rowspan="26">ビジネススキルA（2）
ビジネススキルB（2）
ビジネススキルC（2）
ビジネススキルD（2）</td></tr>
<tr><td>法学検定アドバンスト〈上級〉コース</td><td>4</td></tr>
<tr><td>経済学検定『EREミクロ・マクロ』Bランク</td><td>2</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="3">6</td></tr>
<tr><td>経済学検定『EREミクロ・マクロ』B+ランク</td><td>4</td></tr>
<tr><td>経済学検定『EREミクロ・マクロ』Aランク</td><td colspan="2">6</td></tr>
<tr><td>経済学検定『EREミクロ・マクロ』A+・Sランク</td><td colspan="3">8</td></tr>
<tr><td>通訳技能検定（通検）2級（2008年10月まで）</td><td>6</td><td rowspan="2">8</td></tr>
<tr><td>通訳技能検定（通検）準1級・1級（2008年10月まで）</td><td>8</td></tr>
<tr><td>世界遺産検定2級</td><td>2</td><td rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>世界遺産検定1級</td><td>4</td></tr>
<tr><td>管理業務主任者試験</td><td colspan="3" rowspan="10">各2</td></tr>
<tr><td>不動産コンサルティング技能試験</td></tr>
<tr><td>国内旅行業務取扱管理者試験</td></tr>
<tr><td>初級システムアドミニストレータ試験（AD）（2009年5月まで）</td></tr>
<tr><td>税務会計能力検定2級（2012年2月まで）</td></tr>
<tr><td>所得税法能力検定1級</td></tr>
<tr><td>法人税法能力検定1級</td></tr>
<tr><td>消費税法能力検定1級</td></tr>
<tr><td>福祉住環境コーディネーター3級・2級</td></tr>
<tr><td>東京シティガイド検定</td></tr>
<tr><td>ボランティア通訳検定（V通検）A級（2008年10月まで）</td><td colspan="3" rowspan="8">各4</td></tr>
<tr><td>総合旅行業務取扱管理者試験</td></tr>
<tr><td>基本情報技術者試験</td></tr>
<tr><td>行政書士</td></tr>
<tr><td>宅地建物取引士</td></tr>
<tr><td>通関士</td></tr>
<tr><td>測量士補</td></tr>
<tr><td>ITパスポート試験</td></tr>
<tr><td>マンション管理士</td><td colspan="3" rowspan="8">各6</td></tr>
<tr><td>司法書士</td></tr>
<tr><td>社会保険労務士</td></tr>
<tr><td>税理士（科目合格を含む。）</td></tr>
<tr><td>測量士</td></tr>
<tr><td>中小企業診断士</td></tr>
<tr><td>土地家屋調査士</td></tr>
<tr><td>福祉住環境コーディネーター1級</td></tr>
<tr><td>証券アナリスト</td></tr>
<tr><td>日本語教育能力検定</td><td colspan="3" rowspan="6">各8</td></tr>
<tr><td>公認会計士試験（論文試験合格）（科目合格を含む。）（2006年1月から）</td></tr>
<tr><td>公認会計士</td></tr>
<tr><td>司法試験</td></tr>
<tr><td>不動産鑑定士</td></tr>
<tr><td>通訳案内士（ガイド）試験</td></tr>
</table>

備考
1　資格取得に係る学修については、当該資格を得るための所要資格（試験の合格及び実務経験等）を有する者を含みます。
2　申請時において修得済み及び履修中の授業科目については、認定を受けることができません。
3　学修の種類等（資格）の名称等が変更されている場合でも、認定を受けられることがありますので、学事課（教務担当）で確認してください。
4　英語科目の単位認定は、低年次に開講されている授業科目を優先します。
5　実用英語技能検定は、（公財）日本英語検定協会が実施するものとします。
6　簿記検定は、日本商工会議所が実施するものとします。
7　情報活用試験及び情報システム試験は、（一財）職業教育・キャリア教育財団［旧：（財）専修学校教育振興会］が実施するものとします。
8　中国語検定試験は、（一財）日本中国語検定協会が実施するものとします。
9　中国語検定試験及び漢語水平考試（HSK）により単位認定する授業科目は、中国語基礎演習を優先します。
10　次の語学等試験については、当該言語を母語とする学生は申請できません。（中国語基礎演習A及び中国語基礎演習Bを除く。）
（1）　TOEFL iBT
（2）　TOEIC Listening & Reading Test
（3）　実用英語技能検定
（4）　中国語検定試験
（5）　漢語水平考試（HSK）
（6）　中国語コミュニケーション能力検定（TECC）
（7）　BJT ビジネス日本語能力テスト

認定申請できる科目と単位数

中国語学科（2016年度入学生）

学修の種類等	認定単位数（上限）					授業科目（単位数）
TOEFL iBT 52点以上63点未満	2	4	6	合計8単位	合計20単位	英語文化研究A（2） 英語文化研究B（2） ビジネススキルA（2） ビジネススキルB（2） ビジネススキルC（2） ビジネススキルD（2） 英語Ⅰ-a（1） 英語Ⅰ-b（1） 英語Ⅱ-a（1） 英語Ⅱ-b（1） Preparation for TOEICⅠ-a（1） Preparation for TOEICⅠ-b（1） Preparation for TOEICⅡ-a（1） Preparation for TOEICⅡ-b（1）
TOEIC Listening & Reading Test 500点以上600点未満						
実用英語技能検定準１級	4					
TOEFL iBT 63点以上76点未満						
TOEIC Listening & Reading Test 600点以上700点未満						
TOEFL iBT 76点以上89点未満	6					
TOEIC Listening & Reading Test 700点以上800点未満						
実用英語技能検定１級	8					
TOEFL iBT 89点以上						
TOEIC Listening & Reading Test 800点以上						
中国語検定試験３級	4	6	8	合計12単位		中国語基礎演習（4） ビジネススキルA（2） ビジネススキルB（2） ビジネススキルC（2） ビジネススキルD（2）
中国語検定試験２級・準１級	6					
中国語検定試験１級	8					
漢語水平考試（HSK）４級（2010年６月から）	4	6	8			ビジネススキルA（2） ビジネススキルB（2） ビジネススキルC（2） ビジネススキルD（2）
漢語水平考試（HSK）５級（2010年６月から）	6					中国語基礎演習（4） ビジネススキルA（2） ビジネススキルB（2） ビジネススキルC（2） ビジネススキルD（2）
漢語水平考試（HSK）６級（2010年６月から）	8					
中国語コミュニケーション能力検定（TECC）500点以上700点未満	2	4	8		合計8単位	ビジネススキルA（2） ビジネススキルB（2） ビジネススキルC（2） ビジネススキルD（2）
中国語コミュニケーション能力検定（TECC）700点以上800点未満	4					
中国語コミュニケーション能力検定（TECC）800点以上	8					
日本漢字能力検定（漢検）２級・準１級	2	4				
日本漢字能力検定（漢検）１級	4					
日本語教師検定C・B	2	6				
日本語教師検定A	6					
BJTビジネス日本語能力テスト J2	2	8				
BJTビジネス日本語能力テスト J1・J1+	8					
日本語検定 ３級	2	4	6			
日本語検定 準２級	4					
日本語検定 ２級・準１級	6					
日本語検定 １級	8					
日商PC検定（文書作成）２級	2	4				
日商PC検定（文書作成）１級	4					
日商PC検定（データ活用）２級	2	4				
日商PC検定（データ活用）１級	4					
日本語文章能力検定（文検）準２級・２級（2009年７月まで）	2	8				
日本語文章能力検定（文検）準１級・１級（2009年７月まで）	8					
ファイナンシャル・プランニング技能士３級	2	4	8			
ファイナンシャル・プランニング技能士２級	4					
ファイナンシャル・プランニング技能士１級	8					
２次元CAD利用技術者試験２級［旧：CAD利用技術者２級］	2	4				
２次元CAD利用技術者試験１級［旧：CAD利用技術者１級］	4					
ビジネス能力検定（B検）ジョブパス２級	2	4				
ビジネス能力検定（B検）ジョブパス１級	4					
文部科学省後援　色彩検定２級	2	4				
文部科学省後援　色彩検定１級	4					
建設業経理事務士検定３級	2	4				
建設業経理士検定２級	2					
建設業経理士検定１級	4					
情報活用試験１級	2	4				
情報システム試験プログラマ認定						
情報システム試験システムエンジニア認定	4					
販売士検定２級	2	4				
販売士検定１級	4					
秘書技能検定２級・準１級	2	4				
秘書技能検定１級	4					
簿記検定（日商）３級・２級	2	4				
簿記検定（日商）１級	4					

学修の種類等	認定単位数（上限）					授業科目（単位数）
法学検定スタンダード〈中級〉コース	2	4		（合計8単位）	（合計20単位）	ビジネススキルA（2） ビジネススキルB（2） ビジネススキルC（2） ビジネススキルD（2）
法学検定アドバンスト〈上級〉コース	4					
経済学検定『EREミクロ・マクロ』Bランク	2	4	6			
経済学検定『EREミクロ・マクロ』B+ランク	4					
経済学検定『EREミクロ・マクロ』Aランク	6					
経済学検定『EREミクロ・マクロ』A+・Sランク	8					
通訳技能検定（通検）2級（2008年10月まで）	6	8				
通訳技能検定（通検）準1級・1級（2008年10月まで）	8					
世界遺産検定2級	2	4				
世界遺産検定1級	4					
管理業務主任者試験	各2					
不動産コンサルティング技能試験						
国内旅行業務取扱管理者試験						
初級システムアドミニストレータ試験（AD）（2009年5月まで）						
税務会計能力検定2級（2012年2月まで）						
所得税法能力検定1級						
法人税法能力検定1級						
消費税法能力検定1級						
福祉住環境コーディネーター3級・2級						
東京シティガイド検定						
ボランティア通訳検定（V通検）A級（2008年10月まで）	各4					
総合旅行業務取扱管理者試験						
基本情報技術者試験						
行政書士						
宅地建物取引士						
通関士						
測量士補						
ITパスポート試験						
マンション管理士	各6					
司法書士						
社会保険労務士						
税理士（科目合格を含む。）						
測量士						
中小企業診断士						
土地家屋調査士						
福祉住環境コーディネーター1級						
証券アナリスト						
日本語教育能力検定	各8					
公認会計士試験（論文試験合格）（科目合格を含む。）（2006年1月から）						
公認会計士						
司法試験						
不動産鑑定士						
通訳案内士（ガイド）試験						

備考
1　資格取得に係る学修については、当該資格を得るための所要資格（試験の合格及び実務経験等）を有する者を含みます。
2　申請時において修得済み及び履修中の授業科目については、認定を受けることができません。
3　学修の種類等（資格）の名称等が変更されている場合でも、認定を受けられることがありますので、学事課（教務担当）で確認してください。
4　英語科目の単位認定は、低年次に開講されている授業科目を優先します。
5　実用英語技能検定は、（公財）日本英語検定協会が実施するものとします。
6　簿記検定は、日本商工会議所が実施するものとします。
7　情報活用試験及び情報システム試験は、（一財）職業教育・キャリア教育財団［旧：（財）専修学校教育振興会］が実施するものとします。
8　中国語検定試験は、（一財）日本中国語検定協会が実施するものとします。
9　中国語検定試験及び漢語水平考試（HSK）により単位認定する授業科目は、中国語基礎演習を優先します。
10　次の語学等試験については、当該言語を母語とする学生は申請できません。
（1）　TOEFL iBT
（2）　TOEIC Listening & Reading Test
（3）　実用英語技能検定
（4）　中国語検定試験
（5）　漢語水平考試（HSK）
（6）　中国語コミュニケーション能力検定（TECC）
（7）　BJT ビジネス日本語能力テスト

対象・申請方法等

対象	入学前に行った学修	入学後に行った学修		
	2022年度入学の１年のみ	１～４年	４年（８学期）	１～４年（７学期）
申請期間	３月30日（水） ～４月 ５日（火）	第１回 前年度２月28日（月） ～８月26日（金）	第２回 ８月29日（月） ～１月31日（火）	第２回 ８月29日（月） ～２月24日（金）
提出書類	① 申請書類 a 入学前に行った学修（2022年度入学の１年のみ） 単位認定申請書兼単位認定通知書（本学所定様式） b 入学後に行った学修 単位認定申請書（本学所定様式） ② 知識及び技能に係る審査の成果に関する証明書（原本） 以下の項目が記載されている合格証明書等（原本）を提出してください。 ●氏名 ●合格・級数・取得スコア等（学修の種類等で指定された要件） ●合格又は試験の年月日 ＊原則、インターネットからダウンロードした合格証明書等では申請できません。各自、試験実施団体が発行する公式の証明書を取得し、提出してください。 ＊手続終了後、返却します。			
所定様式配布及び申請書類等提出先	学事課（教務担当）			
単位認定発表	４月12日（火） 学事課（教務担当）で単位認定通知書を直接本人へ交付します。	学期末の成績発表をもって単位認定発表に代えます。第１回申請期間に申請のあったものについては、前学期に単位を修得したものとして前学期成績表に記載します。また、第２回申請期間に申請のあったものについては、後学期に単位を修得したものとして後学期成績表に記載します。		
備考	－	入学後に行った学修のうち、第１回申請期間に申請のあったものについては９月の進級及び卒業の要件に、第２回申請期間に申請のあったものについては３月の進級及び卒業の要件に反映されますので、該当者は留意してください。		

[3] 派遣留学生（約半年～１年間の海外留学）

※右記の留学先や留学期間はこれまでの実績に基づくものであり、国際情勢やその他の影響により、変更または中止となることがあります。

各学科の留学先と留学年次等

学科等	留学先（国名等）	留学年次	留学期間	認定される単位数の上限
英米語	シーキューユニバーシティ（オーストラリア）	3	約10か月	40
	アルバータ大学（カナダ）	3	約９か月	
	セントラルフロリダ大学（アメリカ）	3	約８か月	
中国語	北京師範大学（中国）	3	約12か月	40
	復旦大学（中国）	3	約12か月	
	浙江大学（中国）	3	約12か月	
	東呉大学（台湾）	3	約８か月	20
	北京師範大学（中国）	3	約４か月	
日本語・英米語・中国語（グローバル・スタディーズ専攻のみ）	北京師範大学（中国）	3	約４か月	20

認定申請できる科目及び手続等

別途開催されるオリエンテーション等で説明があります。希望者は、必ず出席してください。

なお、留学を検討する際は、自身の在籍年次や単位修得状況と、帰国時期及び単位認定申請期限等を十分確認してください。

[4] 派遣留学生（短期海外研修）

※右記の研修先や研修期間はこれまでの実績に基づくものであり、国際情勢やその他の影響により、変更または中止となることがあります。

各学科の研修先と研修時期等

学科等	研修先（国名等）	対象年次	研修期間	認定される単位数の上限		備　考
日本語	釜山外国語大学校（韓国）	2～4	約2週間（夏季）	2		日本語教育実習
英米語	UCLA（アメリカ）	2・3	約3週間（夏季）	2	4	英語研修
	カンタベリークライストチャーチ大学（イギリス）	1～4	約3週間（夏季）	2		
	シーキューユニバーシティ（オーストラリア）	1～4	約4週間（春季）	2		
中国語	北京師範大学（中国）	2～4	約4週間（夏季）	2		中国語研修
日本語・英米語・中国語〔グローバル・スタディーズ専攻のみ〕	JTBシンガポール支店他（シンガポール）	2～4	約1週間（夏季）	2		現地企業研修

認定申請できる科目及び手続等

別途開催されるオリエンテーション等で説明があります。希望者は、必ず出席してください。

なお、留学を検討する際は、自身の在籍年次や単位修得状況と、帰国時期及び単位認定申請期限等を十分確認してください。

単位認定発表について

夏季休暇中に実施したものについては、実施年度の前学期に単位を修得したものとして当該年度の後学期成績表に記載します。また、春季休暇中に実施したものについては、実施年度の後学期に単位を修得したものとして翌年度の前学期成績表に記載します。

[5] 派遣学生（国内）

〔千葉県私立大学（短期大学を含む。）及び放送大学間の単位互換制度〕

協　定　校

① 大学（27大学）

敬愛大学	和洋女子大学	麗澤大学	千葉商科大学
千葉工業大学	中央学院大学	淑徳大学	帝京平成大学
神田外語大学	千葉経済大学	東京情報大学	秀明大学
国際武道大学	川村学園女子大学	江戸川大学	聖徳大学
東京基督教大学	城西国際大学	東京成徳大学	二松学舎大学
清和大学	愛国学園大学	開智国際大学	植草学園大学
三育学院大学	国際医療福祉大学		
放送大学※			

※第２学期（後学期）のみ

② 短期大学（８短期大学）

千葉明徳短期大学	千葉経済大学短期大学部	千葉敬愛短期大学
昭和学院短期大学	清和大学短期大学部	聖徳大学短期大学部
東京経営短期大学	植草学園短期大学	

注意 開放されている授業科目等については、各協定校の「特別聴講学生募集要項」に掲載されます。

認定申請できる科目と単位数等

科目区分		授業科目名（単位数）	認定される単位数の上限
共通科目	キャリア形成教育	特別聴講科目A（2） 特別聴講科目B（2） 特別聴講科目C（2） 特別聴講科目D（2）	8

諸 手 続 等

出願資格、出願手続及び単位認定申請の手続等に関する詳細は、学事課（教務担当）で配布される「千葉県私立大学（短期大学を含む。）及び放送大学間の単位互換に関する包括協定に基づく派遣学生出願要項」及び各協定校の「特別聴講学生募集要項」に掲載されます。

[6] インターンシップ

本学が定める企業等における実習・研修的な就業体験（インターンシップ）の成果に対して単位の認定を行います。

インターンシップの実施機関、参加手続及び単位認定申請手続等については、キャリアサポートセンターで確認してください。

認定申請できる科目と単位数等

科目区分		授業科目名（単位数）	認定される単位数の上限
共通科目	キャリア形成教育	インターンシップA（2） インターンシップB（2） インターンシップC（2） インターンシップD（2）	8

単位認定発表について

夏季休暇中に実施したものについては、実施年度の前学期に単位を修得したものとして当該年度の後学期成績表に記載します。また、春季休暇中に実施したものについては、実施年度の後学期に単位を修得したものとして翌年度の前学期成績表に記載します。

[7] GSMインターンシップ

外国語学部グローバル・スタディーズ専攻が実施する企業等における実習・研修的な就業体験（インターンシップ）の成果に対して単位の認定を行います。

インターンシップの実施機関、参加手続及び単位認定申請手続等については、別途掲示にてお知らせします。

認定申請できる科目と単位数等

科目区分		授業科目名（単位数）	認定される単位数の上限
専門科目	グローバル・スタディーズ関連科目フィールドワーク	GSMインターンシップⅠ（2） GSMインターンシップⅡ（2）	4

単位認定発表について

夏季休暇中に実施したものについては、実施年度の前学期に単位を修得したものとして当該年度の後学期成績表に記載します。また、春季休暇中に実施したものについては、実施年度の後学期に単位を修得したものとして翌年度の前学期成績表に記載します。

注意　GSMインターンシップⅠ：国内活動
GSMインターンシップⅡ：海外活動

[8] ボランティア活動

本学が定める社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位の認定を行います。単位認定申請手続等については、学生支援課（学生支援担当）で確認してください。

認定申請できる科目と単位数等

科目区分			授業科目名（単位数）	認定される単位数の上限
共通科目	人間力形成教育	人間形成	ボランティア活動A（2） ボランティア活動B（2）	4

単位認定発表について

5月～7月に開催されるボランティア活動報告会に参加した場合は、前学期に単位を修得したものとして前学期成績表に記載します。また、10月～1月に開催されるボランティア活動報告会に参加した場合は、後学期に単位を修得したものとして後学期成績表に記載します。

注意　ボランティア活動A：国内活動
ボランティア活動B：海外活動

[9] GSM ボランティア

外国語学部グローバル・スタディーズ専攻が実施するボランティア活動の成果に対して単位の認定を行います。

単位認定申請手続等については、外国語学部担当教員に確認してください。

認定申請できる科目と単位数等

科目区分		授業科目名（単位数）	認定される単位数の上限
専門科目	グローバル・スタディーズ関連科目フィールドワーク	GSMボランティアⅠ（2） GSMボランティアⅡ（2）	4

単位認定発表について

当該年度の後学期に単位を修得したものとして後学期成績表に記載します。

注意　GSMボランティアⅠ：国内活動
GSMボランティアⅡ：海外活動

5 学　籍

1　修業年限と在学期間

修業年限とは、本学の教育課程を修了するために必要な期間で、通算４年（８学期）と定めています。また、在学期間とは、本学に在籍することができる期間で、上限を通算８年（16学期）と定めています。

修業年限　通算4年（8学期）	在学期間　通算8年（16学期）以内

参照➡編入学生の修業年限と在学期間
→P.135「修業年限と在学期間」

2　学籍の異動

[1] 休　学

傷病その他やむを得ない事由により、引き続き３か月以上出席することができない者は、許可を得て休学することができます。

	概　　要
休学単位	学期
休学期間	（１）休学できる期間は、３か月以上で学期の期間（１学期）以内又は１年（２学期）以内とします。 ※年度を越えて１年（２学期）にわたる休学の場合は、各学期ごとに休学の願い出を行い、許可を得ること。 （２）休学の継続は、１年（２学期）以内〔連続して休学できる期間の上限は２年（４学期）〕とします。 ※あらためて休学の願い出を行い、許可を得ること。 （３）休学期間は、通算して３年（６学期）を超えることはできません。
休学期間満了日	当該年度の前学期末の９月30日又は当該年度末（後学期末）の３月31日
休学期間と修業年限・在学期間	休学期間は修業年限及び在学期間に算入されません。 修業年限 通算４年（８学期） 在学期間 通算8年（16学期）以内 休学期間 3年（6学期）以内
提出書類	保証人連署の「休学願」（所定様式・自署）（傷病による休学は診断書を添付）
手続期限	休学開始希望日の１か月前
休学の許可	休学が許可された場合、「休学許可書」が交付されます。
休学による授業料等の免除	３月31日以前または９月30日以前に休学を願い出て許可された者は、休学が許可された学期に納付すべき授業料、施設維持費及び教育充実費が免除されます。
在籍料	休学を許可された者は、在籍料として１学期当たり５万円を納付してください。
学期の途中からの休学	学期の途中からの休学は１学期として換算します。 （１）当該学期に開講されている授業科目の単位は認定されません。 （２）当該学期に納入すべき学生納付金が完納されていない場合は、休学は許可されません。
取扱窓口	学生支援課（学生支援担当）

参考：休学期間一覧

休学期間		備　　考
開始日	満了日	
４月１日	９月30日	前学期の１学期間休学
	年度末の３月31日	前学期と後学期の１年（２学期）間休学
前学期の途中	９月30日	前学期の１学期間休学
	年度末の３月31日	前学期と後学期の１年（２学期）間休学
10月１日	年度末の３月31日	後学期の１学期間休学
	翌年度９月30日	後学期と翌年度前学期の１年（２学期）間休学 ※各学期ごとに休学手続が必要
後学期の途中	年度末の３月31日	後学期の１学期間休学
	翌年度９月30日	後学期と翌年度前学期の１年（２学期）間休学 ※各学期ごとに休学手続が必要

[2] 復　学

休学の事由が解消し復学を希望する者は、許可を得て復学することができます。

ア　復学の時期

復学の時期は、休学期間満了日の翌日とし、休学開始時と同じ学期へ復学するものとします。

復学する際には、自分の在籍する学期（年次）をよく確認し、学修計画を立ててください。

イ　復学手続

提出書類	保証人連署の「復学願」（所定様式・自署） ※傷病の回復による復学の場合は、診断書を添付してください。
手続期限	復学希望日の1か月前
復学の許可	復学が許可された場合、「復学許可書」が交付されます。
取扱窓口	学生支援課（学生支援担当）

[3] 退　学

傷病その他やむを得ない事由により退学を希望する者は、許可を得て退学することができます。

なお、退学希望日の属する学期に納入すべき学生納付金が完納されていない場合、退学は許可されません。

提出書類	保証人連署の「退学願」（所定様式・自署） ※傷病による退学の場合は、極力、診断書を添付してください。
手続期限	退学希望日の1か月前
退学の許可	退学が許可された場合、「退学許可書」が交付されます。
取扱窓口	学生支援課（学生支援担当）

※学生証を退学日までに返却してください。

[4] 除　籍

次のいずれかに該当する者は、除籍となります。

●学生納付金の納入を怠り、督促を受けてもなお納入しない者

納入期限	前学期	4月末
	後学期	10月末

●学則に定められた在学期間を超えた者

●学則に定められた休学期間を超えた者

※傷病その他の事由により、卒業の見込みがないと認められる者は、除籍となることがあります。

※学生証を返却してください。

[5] 復　籍

学生納付金等の納入を怠り、督促を受けてもなお納入せずに除籍となった者が、除籍日の翌日から起算して2年以内に願い出た場合は、復籍を許可する場合があります。復籍を希望する場合は、学生支援課（学生支援担当）に相談してください。

[6] 転学部・転学科

転学部・転学科を志望する者があるときは、異動を希望する学部・学科に欠員がある場合に限り、選考の上、許可することがあります。

当該選考の有無並びに選考を行う場合の出願資格、受験手続及び日程等の詳細については、12月頃掲示で発表します。

異動区分	他学部・他学科（2年次）への異動
対象者	転学部・転学科する年度の4月1日現在で、本学に1年以上在学（休学期間は除く。）する者 ※各学科の条件等は、「転学部・転学科試験要項」で確認してください。
選考方法	出願書類、試験の成績、単位の修得状況及び成績等を総合判定
出願・選考の時期	2～3月頃

6 その他

1　明海多言語コミュニケーションコモンズ(MLACC)

明海多言語コミュニケーションコモンズ〔Meikai Multilingual And Communication Commons 通称MLACC（エムラック)〕は、建学の精神に則り、幅広い教養に裏打ちされたコミュニケーション能力を身につけ、主体的に異文化コミュニケーションを実践できるよう、支援する場所です。MLACCは、日本語ゾーン、英語ゾーン、中国語ゾーンの３つの言語ゾーンと多目的ゾーンと呼ばれる交流スペースで構成されます。日本語ゾーンでは、ライティングサポート及び留学生のための目的別日本語学習指導を行なっています。英語ゾーンでは、英語ネイティブ教員や他の学生たちと親しく交わりながら、英語によるコミュニケーションのスキルアップを図ったり、英語に関する質問をしたりすることができます。フレンドリーな雰囲気の中、日常会話やゲームなどを通じて自然に英語が身につき、キャンパスにいながらにして留学生活を体験できます。

明海多言語コミュニケーションコモンズ（MLACC）の利用について

対　　象　学部・学科を問わず、誰でも利用できます。
場　　所　第２管理・研究棟２階
※利用時間等の詳細については、掲示等で確認してください。

2　コンピュータ・コンサルティング・サロン（CCS）

コンピュータ・コンサルティング・サロン（CCS）では、コンピュータを使った授業の分からないところを質問したり、レポートをまとめる際の集計や分析の手法を相談するなどコンピュータのスキルアップを図ることができます。

また、上級者はホームページの作成やプログラミングなどのより高度なスキルを学ぶこともできます。

コンピュータ・コンサルティング・サロン（CCS）の利用について

対　　象　学部・学科を問わず、誰でも利用できます。
実施期間　前学期・後学期の授業期間内
利用時間　サロンに掲示します。
利用方法　予約の必要はありません。
時間内はいつでも気軽に参加してください。
場　　所　30周年記念館（図書館）２階

3　科目等履修生

本学では、高等学校を卒業した者、通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は文部科学省の定めるところにより高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、授業科目の一又は複数の科目について履修することにより、教養を高め、理論を深める目的を持つ者を科目等履修生として受け入れる制度があります。

科目等履修生は、履修を許可された授業科目の実授業回数の５分の４以上出席し、かつ所定の試験に合格した場合は、単位を認定します。

選考方法等詳細は、「科目等履修生出願要項」に掲載します。

注意　在学中は、本学の科目等履修生になることができません。

4　研　究　生

本学では、特定の課題について研究することを目的とした者を研究生として受け入れる制度があります。

出願資格は、本学の大学院への入学を希望し、かつ、その他「研究生出願要項」に掲載されている条件に該当する者とします。

入学を希望する者は、指導を受けようとする本学教員の許可を得た上で出願しなければなりません。また、研究修了時には、研究成果の概要等を記載した「研究修了届」を提出しなければなりません。

出願方法等詳細については、「研究生出願要項」に掲載しますので、出願を希望する者は、事前に学事課（教務担当）に問い合わせてください。

7 教務事務

1 証　明　書

成績及び学籍等教務関係の諸証明書は、その種類に応じてStudent Information Services（以下「S.I.S.」という。）又は学事課（教務担当）で交付します。

S.I.S.以外の窓口での発行は、「証明書交付願」（所定の証紙を貼付）に必要事項を記入し申し込んでください。

証明書の種類によって交付に要する日数が異なり、また、証明書の申込みが集中する時期には、所定以上の日数を要することもありますので、時間に余裕をもって申し込んでください。

教務関係証明書

対象	証　明　書	取扱窓口	交付所要日数	手数料	備　　考
在学生	☆成績証明書	S. I. S.	即時	300円	成績証明書には単位を修得した科目のみ記載されます。
	☆卒業見込証明書				卒業要件を満たす履修登録がされている４年（９月卒業見込者を含む。）のみ発行します。ただし、後学期に４年７学期の者を除きます。
	単位修得証明書	学事課（教務担当）	２日	300円〔所定の証紙を購入〕	
	単位修得見込証明書				
	調査書・推薦書等（大学院受験用）		７日		ゼミ担当教員又は学科主任等が必要事項（学習の所見、在学中の状況、記載責任者署名等）を記入したものを窓口へ提出し、申し込んでください。
卒業生等	☆成績証明書	学事課（教務担当）	２日	300円〔所定の証紙を購入〕	成績証明書には単位を修得した科目のみ記載されます。
	単位修得証明書				
	☆卒業証明書				
	☆在学期間証明書				
	調査書・推薦書等（大学院受験用）		７日		ゼミ担当教員又は学科主任等が必要事項（学習の所見、在学中の状況、記載責任者署名等）を記入したものを窓口へ提出し、申し込んでください。
教職課程履修者	学力に関する証明書	学事課（教務担当）	７日	300円〔所定の証紙を購入〕	
	教育職員免許状取得見込証明書				免許状取得見込年度のみ発行します。
	人物考査書・身上調書等				各学科の教職科目担当教員又は学科主任等が必要事項を記入したものを窓口へ提出し、申し込んでください。

※☆印は英文発行可能な証明書です。申込みは学事課（教務担当）で、交付所要日数は２日です。
※卒業生に限り郵便による申込みを受け付けます。手続方法等は、明海大学ホームページで確認してください。
※その他定型以外の証明書の発行については、学事課（教務担当）へ問い合わせてください。

注意　学事課（教務担当）で申し込んだ証明書の保管期限は、申込日から３か月までとします。この期限を過ぎた証明書は、受領の意思がないものとみなし廃棄します。なお、この場合の証明書発行手数料は返還しません。

学生生活関係証明書

学生生活関係の諸証明書は次のとおりです。詳細については『CAMPUS GUIDE』を参照してください。

対象	証　明　書	取扱窓口	交付所要日数	手数料	備　　考
在学生	☆健康診断証明書	S. I. S.	即時（窓口発行は3日後）	300円	定期健康診断を受診し、本学が指定した全受診科目において診断結果が異常なしの学生に発行
	☆在　学　証　明　書		即時（窓口発行は翌日）		
	学　　割　　証			無料	年度内10枚まで発行可能。発行日から3か月間有効
	通　学　証　明　書	学生支援課（学生支援担当）	即時		通学定期券を学生証の提示のみで購入できないときにのみ発行

※☆印は英文発行可能な証明書です。申込みは学生支援課（学生支援担当）で行ってください。
（交付所要日数：在学証明書は翌日、健康診断証明書は7 日）

2　事務取扱時間

教務関係の事務取扱は、管理・研究棟２階の学事課（教務担当）において行います。窓口取扱時間は、次のとおりとなっていますので時間を厳守してください。

区　　分		窓口取扱時間
授業期間	月～金	9：00 ～ 18：30
	土	9：00 ～ 13：00
試験期間	月～金	9：00 ～ 17：30
	土	9：00 ～ 13：00
その他（夏季・冬季・春季休暇中等）	月～金	9：00 ～ 17：00
	土	9：00 ～ 13：00

注 意　日曜日及び祝日（休日授業実施日を除く。）は休業となり、窓口取扱は一切行いません。また、入学試験及び大学行事等による休業や窓口取扱時間の変更については、掲示及び浦安キャンパスホームページで告知します。

3　問い合わせ

（1）行事予定、休講、その他授業や試験・成績等についての電話での問い合わせには、一切応じません。
（2）教員の個人情報（住所、電話番号及びメールアドレス等）に関する問い合わせには、一切応じません。

4　学生への連絡

大学では、学生への告知、発表、諸手続等の連絡は、Webポータルシステムによる掲示配信又は掲示板への掲示で行います。Webポータルシステムや掲示板の掲示を見ないことを理由にしての諸手続の遅延や免責は認められませんので、十分注意してください。Webポータルシステムを毎日こまめに確認するとともに、登下校時には、必ず掲示板を見る習慣を身につけてください。

[1] Webポータルシステムによる掲示配信

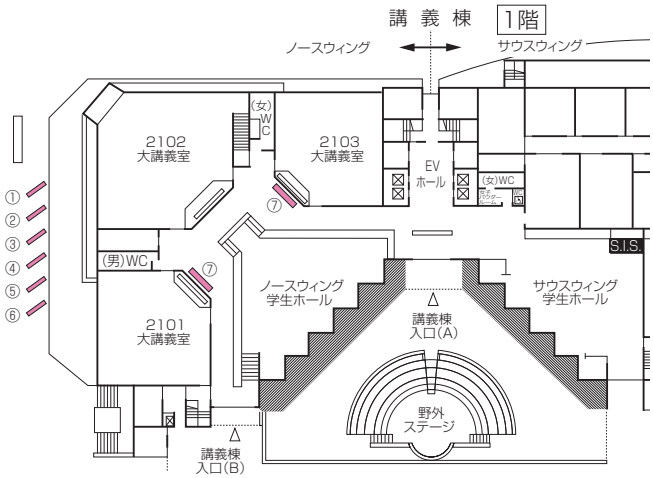
参照➡『Webポータルシステム利用マニュアル』

大学からの緊急連絡、休講・補講・教室変更・学生呼出し等の諸連絡については、Webポータルシステムによる掲示配信で行いますので、こまめに確認してください。

また、パソコン・スマートフォン・携帯電話等のメールアドレスを登録すると各種掲示情報がメール配信されますので、必ず登録してください。

[2] 掲示板の場所と掲示内容

掲示板の場所及び掲示内容は、原則として次のとおりです。



NO.	掲　示　板	掲　示　内　容
①	外国語学部掲示板	各学部の授業（休講、補講）やレポート、平常授業時に行われる試験、留学等の内容に関すること。
②	経済学部掲示板	
③	不動産学部掲示板	
④	ホスピタリティ・ツーリズム学部掲示板	
⑤	呼び出し掲示板	呼び出し（履修、成績等の内容に関すること。）
⑥	全学共通掲示板	その他学生生活に関すること。
⑦	2101・2103大講義室横掲示板	履修関連、授業時間割、教室変更、定期試験、進級・卒業等に関すること。

5　シラバス

『シラバス』には、各授業科目の授業の概要、到達目標、履修条件、評価基準・方法及び教科書等が記載されています。受講計画を立てる際の授業科目選択の手引きとして、また、学修を進めていく上でも『シラバス』を確認し、授業の目標達成のため活用してください。

『シラバス』は、明海大学浦安キャンパスホームページから閲覧できます。

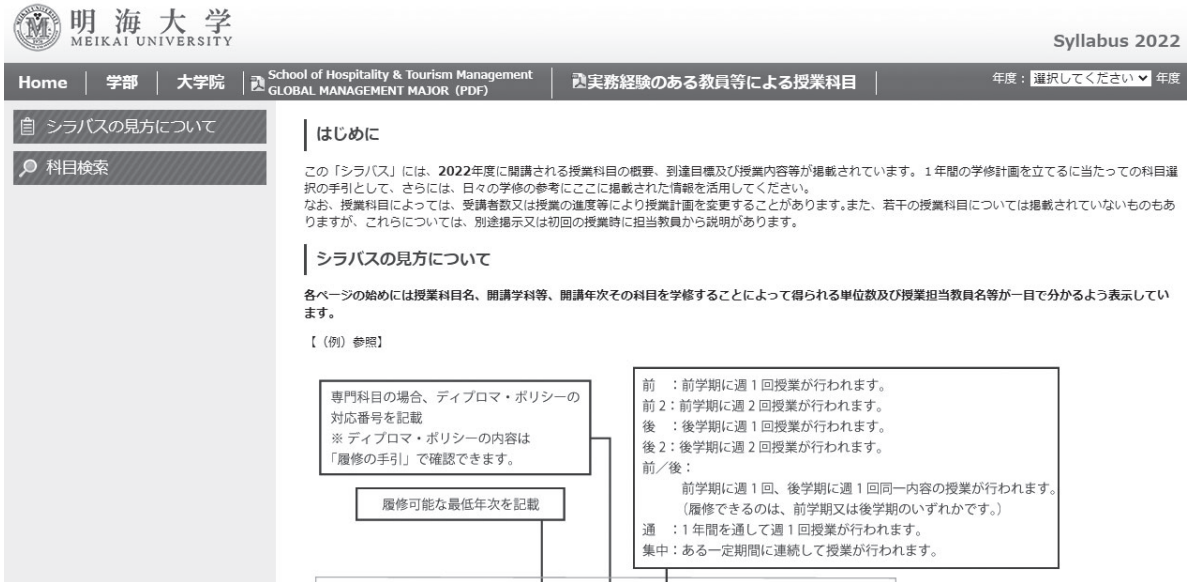
※授業科目によっては授業の進度等により授業計画を変更することがあります。

＜URL＞

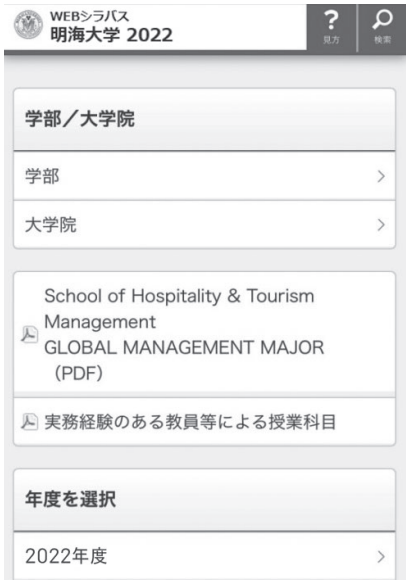
http://syllabus.meikai.sugawara-p.co.jp/web/show.php

＜ＱＲコード＞

＜パソコン版Webサイト画面＞



＜スマートフォン版サイト画面＞



6　manaba

e-Learning実施のプラットフォームとなる学習管理システム〔Learning Management System（LMS）〕として明海大学では「manaba（マナバ）」を導入しています。

「manaba」は、インターネットを利用し、講義資料の配布、レポートの提出、小テスト及びグループワーク等が行えるクラウド型の授業支援システムです。

「manaba」利用方法等の詳細については、利用マニュアル等を確認してください。

7　メールアカウントの付与

授業等において、講義資料の受領やレポート提出をスムーズに行えるようにするため、学生全員にメールアカウント（G-mail）を付与しています。メールアドレス及びパスワードについては、次のとおりです。

メール アドレス	s学籍番号@meikai.ac.jp （注：学籍番号は、学生証に記載されている８桁の番号です。）	
初期パスワード 確認方法	手順①	WebポータルシステムのPC版にログインする。
	手順②	ログイン後、「個人情報」の中の「学籍情報照会」を選択する。
	手順③	「学内LANパスワード」欄に記載されているパスワードを使用する。

※メールアカウントの使用にあたっては、CAMPUS GUIDE巻末資料に記載されている「明海大学浦安キャンパスネットワーク利用規則（学生用）」を確認してください。

8　交通機関の運休又は自然災害等による休講措置

1　交通機関が運休した場合

JR京葉線（東京－蘇我）が運転を中止した場合（一時的な運転見合わせを除く。）は休講とする。ただし、運行を開始した場合は、次のとおりとする。

（1）午前6時30分までに運行を開始した場合…1時限から平常通り授業を開始する。
（2）午前10時30分までに運行を開始した場合…3時限から平常通り授業を開始する。
（3）午前10時30分を過ぎても運休している場合…当日の授業を全て休講とする。

2　暴風警報または暴風雪警報が発令された場合

千葉県全域又は千葉県北西部に上記の警報が発令された場合は休講とする。ただし、警報が解除された場合は次のとおりとする。

（1）午前6時30分までに警報が解除された場合…1時限から平常通り授業を開始する。
（2）午前10時30分までに警報が解除された場合…3時限から平常通り授業を開始する。
（3）午前10時30分を過ぎても警報が解除されない場合…当日の授業を全て休講とする。

3　自然災害や大規模な事故の発生等で学長が必要と判断した場合

上記1または2の取扱いに関わらず、学長が必要と判断した場合は、休講措置を講ずる場合がある。

4　その他

（1）事前に被害が予想される場合は、前日までに休講措置を講ずる場合がある。
（2）休講に関する情報は、浦安キャンパスHP、Webポータルシステム、学内掲示等により周知する。
（3）定期試験期間及び追再試験期間に同様の状況が発生した場合は、これらの措置を準用する。

MEMO

8 教育課程の構成

1 授業科目の構成

本学の授業科目は、大きく分けて「共通科目」と「専門科目」の２つの学修区分から編成されています。「共通科目」は、基礎教育［特別科目］、人間力形成教育、キャリア形成教育から構成され、「専門科目」では、専攻又は履修モデルにより目的に応じたより専門性の高い知識やスキルを、一定のルールと自らの選択により４年間で系統的かつ計画的に学修します。

各年次の学修テーマと学修区分ごとの科目配当は、おおむね次のとおりです。

各学修区分にはそれぞれの目的があり、その内容は次のとおりです。

共通科目　全学部・学科共通科目

基礎教育 ［特別科目※］	学修の基礎Ⅰ	**<スタディプロモーション>** 自分自身の特性を知り、自分が学ぶ環境である大学を知り、４年間でどのように自分づくりをするか、目標を定めるための授業です。30人前後のクラス編成で少人数グループワークを行うことによって、自分自身の夢を探究し、浦安キャンパスの人と出会い、夢を実現するためのロードマップを作成します。
	学修の基礎Ⅱ	**<コミュニケーションスキル>** コミュニケーションができるとは、相手の話を的確に理解し、自分の意見を正確に表現・伝達できることを意味します。本学教員が作成した独自の教材で、コミュニケーションスキルの向上を図ります。
	学修の基礎Ⅲ－a	**<データリテラシー　数理・推論>** 正解のない課題に対して最善解を求めていく力、さらにそこから自分の創造性と合理性を高めるロジカルシンキング（推論）の基本を身につけることをめざします。データサイエンスが重視される現代社会においてデータを正しく読み取り、論理的推論に基づいて判断する力を高めるトレーニングを行います。
	学修の基礎Ⅲ－b （情報リテラシー）	**<情報リテラシー>** ビッグデータのAIによる活用が進むSociety 5.0に向けて、データサイエンスの入り口として、データを扱うための情報通信技術（ICT）の基礎、情報リテラシーを習得します。データの読み方をはじめとする分析スキルを習得し、現代社会における情報化の現状と情報倫理について理解することをめざします。

※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。

人間力形成教育	人間形成	幅広い分野の学問から自発的に学修計画を立てることによって、実社会のさまざまな場面で自らの課題を発見し、解決していくことを可能にする力 ―明海大学の「建学の精神」にある、社会性・創造性・合理性からなる人間力― を育成します。
	国際理解	
	社会生活	

キャリア形成教育	キャリアプランニングⅠ	社会に出て働くことを考えることを通して、大学生活の目標を設定し、さらに、実際に仕事を進めていく上で重要な実践力「基礎力（ジェネリックスキル）」を修得します。
	キャリアプランニングⅡ	
	キャリアプランニングⅢ	
	キャリアデザイン	
	単位認定科目	キャリア形成に関連する他学部・他学科専門科目の履修、企業との連携による教育プログラム等の学修、資格取得及び企業研修（インターンシップ）等を通じて、将来の目標に向けた幅広い知識とスキルを身につけます。
	他学部・他学科開放科目	
	産学連携教育プログラム	

専門科目　実学を中心とする目的別専門教育（専攻、履修モデル）

専門教育	専門領域について、高度な知識や技術を体系的に修得します。 〈他学部・他学科開放科目〉 自分の専門分野にプラスして、他学部・他学科の専門性の高い知識・スキルを修得します。

2　専門科目

専門科目では、将来の目的に応じた実学専門知識を修得することができるよう、２年次から専攻別に分かれて、学修していくことになります。

専攻の選択に当たっては、各専攻の概要及び教育課程表等を基に慎重に行うのはもちろんのこと、所定の時期に登録を完了しない場合、当該年度（学期）の履修は認められませんので注意してください。

[1] 専攻概要

日本語学科

専攻名	狙い・進路・カリキュラムの特徴等
日本語専攻	日本語教育と国語教育の教員を目指します。また、大学院進学も視野にあります。 日本語教育：日本語を母語としない児童生徒、学生、成人の心豊かな生活を支える日本語教育を目指す学生、海外で日本語を教える、日本語・日本文化の理解を広める仕事を目指す学生が対象です。 国語教育：国語科教員（中学校・高等学校）として、日本文化・日本語・国語を客観的にとらえて教える、外国人生徒を指導する仕事を目指す学生が対象です。 高度な日本語力が活かせる仕事に就きたい学生も対象です。
グローバル・スタディーズ専攻	グローバル時代に生き、グローバル化社会で活躍することを目指す学生が対象です。世界の民族、文化、宗教、言語、経済、人間等についての学修、英語・中国語・日本語でのコミュニケーション力の修得を通じ、状況に応じて柔軟に対処できる力、世代の違う人や外国人など異文化を背景とする人と適切に対応できる力、世界に貢献するための専門的な知識・経験を身に付けます。

※教育職員免許状については、日本語専攻のみ取得可能です。

英米語学科

専攻名	狙い・進路・カリキュラムの特徴等
英米語専攻	英米語専攻は、特に、「外国語（英語）」と「語学教育」と「欧米の文化・社会」について深く学びたい学生のための専攻です。ただし、ビジネスシーンで活かせる中国語を身につけるための科目や「グローバル・スタディーズ関連科目（の一部）」が必修もしくは選択必修となっており、この専攻にあっても、ビジネスに関する専門知識を高めることができます。 この専攻の学生は、教員のアドバイス（履修ガイダンス）を参考に、自分の卒業後の進路に特化した科目履修計画を立てることができます。 なお、教員免許の取得を目指す学生は、この専攻に所属すると同時に、所定の手続を行って教職課程科目を履修することになります。
グローバル・スタディーズ専攻	英米語学科におけるグローバル・スタディーズ専攻は、「外国語（英語）とビジネスの専門知識」を兼ね備えた「グローバル人材」を目指す学生のための専攻です。この専攻の学生は、実践的英語運用能力を高めながら、主として英米語圏の文化とビジネスを中心に、幅広く国際教養を学んでいくことになります。卒業後の進路として、諸外国・地域と関連の深い商社、企業、国際協力に関する政府機関やNGO、その他幅広い業種への就職を考えている学生に相応しい専攻です。 この専攻の学生は、専門科目として、「グローバル・スタディーズ関連科目（ビジネス経済学、社会統計学などのコア科目、北アメリカ研究、ヨーロッパ研究などのグローバル科目及びフィールドワーク科目からなる）」を履修し、これからのグローバル社会でたくましく生き抜く知識とスキルを身につけることができます。

※教育職員免許状については、英米語専攻のみ取得可能です。

中国語学科

専攻名	狙い・進路・カリキュラムの特徴等
中国語専攻	中国語専攻（CLM：Chinese Language Major）では、言語を通じて幅広く中国の歴史・社会・文化を理解し、現代・古典を問わず深い教養を身につけ、中国に精通した人材の育成を目指しています。中国の古典は、中国だけでなく、日本とも関係の深いさまざまな知恵を含んだ知識の宝庫です。 中国思想、中国文学など、言語の奥に横たわる中国の文化を深く知ることで、中国の現代社会の特質をよりよく理解できるほか、自分の生き方のヒントになったり、今後の中国社会への洞察力を養うこともできます。中国や台湾への長期留学の機会も用意されており、現地でより深く学ぶことも可能です。また、教職課程を履修して中国語教員を目指したり、さらに深く学ぶために大学院進学を目指す学生にも対応しています。卒業後は一般企業への就職や教員、通訳、大学院進学などを想定しています。
グローバル・スタディーズ専攻	グローバル・スタディーズ専攻（GSM：Global Studies Major）では、国際的教養を身につけると同時に、グローバル時代に対応した柔軟な発想と時代の変化に適応可能な人材の育成を目指しています。 異文化コミュニケーションのベースとなる中国語と英語の学修の上に、コア科目としてビジネス経済学、経営学総論、会計学総論、社会統計学、マーケティング論など、ビジネスに必須の社会系科目を学び、時代の変化に迅速に対応できる能力を身につけます。フィールドワーク科目では、社会との結びつきを肌で感じることができます。 グローバル科目には北アメリカ研究やASEAN研究などの地域研究や比較文化論なども設置され、国際的視野を大きく広げることが可能です。卒業後は国内企業はもちろんのこと、国際機関や多国籍企業への就職を想定しています。

※教育職員免許状については、中国語専攻のみ取得可能です。

[2] 専攻登録

専攻の登録に当たっては、オリエンテーションの際に手続等の詳細な説明や希望調査が行われますので、必ず出席してください。

学　科	日本語学科	英米語学科	中国語学科
専攻定員	定員は定められていません。		
専攻希望調査の時期	1年の後学期に行います。		
選抜方法	フレッシュパーソンセミナーⅠ・Ⅱの学修状況、面談での意思確認、適性等を踏まえて決定します。	フレッシュパーソンセミナーⅠ・Ⅱの授業等を通じて、本人の希望・適性等を見極めつつ指導を行い、専攻を決定します。一方の専攻に人数が集中した場合は、調整することもあります。	専攻希望調査に従って専攻分けを行います。特定の専攻に人数が集中した場合は、調整することもあります。
専攻発表・決定	1年の1月末		

※詳細については、別途掲示等で指示します。

[3] 専攻変更

学　科	日本語学科	英米語学科	中国語学科
専攻変更時期	３年進級時	３年進級時（２年終了時に必要な手続を取ること。）	２年４学期時 ※原則として学期開始時
注意事項・特記事項	専攻の変更は、変更を希望する学生が、変更希望の申請を学科主任及び教務委員に行い、許可された場合に限ります。	専攻の変更は、変更を希望する学生が、教務委員に願い出て、必要な書類を提出し、許可された場合に限ります。	専攻の変更は、変更を希望する学生が、学科主任及び教務委員に変更理由等を添えて願い出て、許可された場合に限ります。

※詳細については、別途掲示等にてお知らせします。

[4] 日本語教員養成課程修了証明書

日本語学科日本語専攻

外国語学部日本語学科日本語専攻の卒業要件を満たし、以下の科目を修得した者に対して、日本語教員養成課程修了証明書を発行します。

証明書の交付に係る詳細については、掲示等で告知します。

2021年度以降入学生

授業科目名〔（　）の数字は単位数〕			
日本語学概論（2）	⑤	検定対策Ⅳ（2）	⑤
日本語史Ⅰ（2）	⑤	音声指導法研究（2）	⑤
敬語表現法（2）	②	文型指導法研究（2）	④
表記法概論（2）	⑤	評価法研究（2）	④
言語学概論（2）	⑤	教案作成研究（2）	④
社会言語学（2）	②	日本語教育事情（2）	①
対照言語学（2）	⑤	第二言語習得論（2）	③
日本語教育概論（2）	④	日本語教育実習（4）	④
日本語教授法（2）	④	文化講義Ⅱ（異文化理解）（2）	①
日本語教材論（2）	④	年少者日本語教育概説（2）	④
検定対策Ⅰ（2）	⑤	児童生徒のための日本語教育論（2）	④
検定対策Ⅱ（2）	①	日本語学習支援・実地研究（2）	④
検定対策Ⅲ（2）	③④		
合計単位数　52単位			

※本養成課程は、文化審議会国語分科会が平成31年３月４日に取りまとめた「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改訂版」において示された「日本語教師［養成］における教育内容」に掲げられた必須の教育内容を全て含むものであり、①～⑤の数字については、同報告にて示された５つの区分です。① 社会・文化・地域　② 言語と社会　③ 言語と心理　④ 言語と教育　⑤ 言語

2017～2020年度入学生

授業科目名 〔(　)の数字は単位数〕			
日本語学概論（2）	⑤	検定対策Ⅱ（2）	⑤
日本語史Ⅰ（2）	⑤	検定対策Ⅲ（2）	③④
敬語表現法（2）	②	検定対策Ⅳ（2）	⑤
表記法概論（2）	⑤	音声指導法研究Ⅰ（2）	⑤
言語学概論（2）	⑤	文型指導法研究Ⅰ（2）	④
社会言語学Ⅰ（2）	②	評価法研究（2）	④
社会言語学Ⅱ（2）	②	教案作成研究（2）	④
日本語教育概論（2）	④	日本語教育事情（2）	①
日本語教授法（2）	④	第二言語習得論（2）	③
日本語教材論（2）	④	日本語教育実習（4）	④
検定対策Ⅰ（2）	①	文化講義Ⅱ（異文化理解）（2）	①
合計単位数　46単位			

※①～⑤の数字については、文化庁に設置された「日本語教員の養成に関する調査研究協力者会議」が平成12年３月30日に取りまとめた「日本語教育のための教員養成について」において示された「日本語教員養成において必要とされる教育内容」の５つの区分です。

① 社会・文化・地域　② 言語と社会　③ 言語と心理　④ 言語と教育　⑤ 言語

※本養成課程は、文化審議会国語分科会が平成31年３月４日に取りまとめた「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改訂版」において示された「日本語教師［養成］における教育内容」に掲げられた必須の教育内容を全て含むものです。

3　履修のガイドライン

2021年度以降入学生

日本語学科

国語教育、日本語教育、ビジネスなどの世界で活躍することを目指す学生諸君、日本語学科では、諸君の希望や専攻を配慮して、４年間の学修を系統的かつ効果的に行えるように専門科目を配置しています。下記の例を参考に学修計画を立ててください。

専攻共通

授業科目区分		１　年	２　年	３　年	４　年
専門科目	専門基礎	**外国語研究概論** **フレッシュパーソンセミナーⅠ・Ⅱ**	**課題探求セミナーⅠ・Ⅱ** **日本語基礎演習**	**現代社会事情**	

日本語専攻（JLM）履修登録の例

太字は必修科目

授業科目区分		１　年	２　年	３　年	４　年
専門科目	ＩＬＰ	**英語Ⅰ-a・b　英語Ⅱ-a・b**	**英語Ⅲ-a・b**		
	日本語・日本文化関連科目	**日本語教育概論** **日本語教授法** **日本語学概論** 日本語表現研究Ⅰ・Ⅱ	日本語学基礎演習 音声学概論 日本語音声学 日本語文法論Ⅰ・Ⅱ 敬語表現法 日本語方言学 言語学概論 日本文学概論 漢文学概論 日本語教育演習 日本語教材論 検定対策Ⅰ 評価法研究 教案作成研究 日本語教育事情 第二言語習得論　など	日本語講読Ⅰ・Ⅱ 応用言語学 日本語学講義Ⅰ 社会言語学 言語研究法 日本文学史 近現代文学 古典概説 音声指導法研究 文型指導法研究 年少者日本語教育概説 児童生徒のための日本語教育論 日本語学習支援・実地研修 など	日本語史Ⅰ 表記法概論 コンピュータ言語学 漢文学演習Ⅰ・Ⅱ 日本語教育実習 対照言語学 など
	グローバル・スタディーズ関連科目	Preparation for TOEICⅠ-a・b	文化講義Ⅰ・Ⅱ		Preparation for TOEICⅡ-a・b など
	卒業研究			**専門領域研究講座**	**卒業研究**
	他学部・他学科開放科目	＊履修できる授業科目等については、他学部・他学科開放科目一覧を参照してください。			

※教育職員免許状については日本語専攻のみ取得可能です。具体的な科目名称等は「教職課程表」を参照してください。→P.127

グローバル・スタディーズ専攻（GSM）履修登録の例

太字は必修科目

授業科目区分		１　年	２　年	３　年	４　年
専門科目	ＩＬＰ（母語以外の１言語を選択必修）	**英語Ⅰ-a・b　英語Ⅱ-a・b**	**英語Ⅲ-a・b** 中国語Ⅰ-a・b 中国語Ⅱ-a・b	※留学生は「日本語Ⅰ－a」～「日本語Ⅱ－b」の４単位を修得しなくてはならないので注意してください。	
	グローバル・スタディーズ関連科目	Preparation for TOEICⅠ-a・b	**ビジネス経済学** **経営学総論** **日本研究** **東アジア研究** 中国ビジネス入門 北アメリカ研究　など	**会計学総論** **社会統計学** **マーケティング論** 国際関係概論 時事英語a・b ビジネスキャリア特講a・b　など	文化講義Ⅱ Advanced Business English a・b Preparation for TOEICⅡ-a・b など
			<単位認定科目> GSM海外留学　GSMインターンシップⅠ　GSMボランティアⅠ GSM海外研修　GSMインターンシップⅡ　GSMボランティアⅡ		
	日本語・日本文化関連科目	**日本語学概論** **日本語教育概論** **日本語教授法** 日本語表現研究Ⅰ　など	日本語音声学 日本語文法論Ⅰ 敬語表現法 言語学概論 日本文学概論　など	日本語学講義Ⅰ 社会言語学 日本文学史　など	日本語史Ⅰ 表記法概論 コンピュータ言語学　など
	卒業研究			**専門領域研究講座**	**卒業研究**
	他学部・他学科開放科目	＊履修できる授業科目等については、他学部・他学科開放科目一覧を参照してください。			

※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は「日本語Ⅰ-a」～「日本語Ⅱ-b」の４単位を修得してください。

注意　上記の表は、履修のガイドラインの概要を示したもので、全科目を列挙せず、その専攻に特色ある科目を掲載しています。卒業要件単位数及び履修方法の詳細については、「教育課程表」等でよく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

英米語学科

英米語学科では、４年間の学修を系統的かつ効果的に行えるように、専門科目の履修条件を専攻ごとに定めています。履修科目の選択に当たっては、このカリキュラムの概要を参考に学修計画を立てて下さい。〔＊＝必修科目、（＊）＝特殊条件付き選択必修〕

区分：専門科目　専攻：専攻共通

１年次専門基礎科目
＊外国語研究概論（2）

２年次専門基礎科目
＊英米語基礎演習（4）

３年次専門基礎科目
＊現代社会事情（2）

科目配置上は、「卒業研究」

必修ゼミクラス
＊フレッシュパーソンセミナーⅠ（1）、Ⅱ（1）→ ＊課題探求セミナーⅠ（1）、Ⅱ（1）

＊専門領域研究講座（4）→ ＊卒業研究（4）

ILP １年次必修科目
＊Integrated EnglishⅠ（2）
＊Integrated EnglishⅡ（2）
＊Grammar a（1）、b（1）
＊ReadingⅠ-a（1）、Ⅰ-b（1）
＊WritingⅠ-a（1）、Ⅰ-b（1）
＊ListeningⅠ-a（1）、Ⅰ-b（1）

ILP ２年次必修科目
＊Integrated EnglishⅢ（2）
＊Integrated EnglishⅣ（2）
＊ReadingⅡ-a（1）、Ⅱ-b（1）
＊ReadingⅢ-a（1）、Ⅲ-b（1）
＊WritingⅡ-a（1）、Ⅱ-b（1）
＊ListeningⅡ-a（1）、Ⅱ-b（1）

＊Preparation for TOEICⅠ-a（1）、Ⅰ-b（1）　＊Preparation for TOEICⅡ-a（1）、Ⅱ-b（1）

科目配置上は、「グローバル・スタディーズ関連科目」

（＊）中国語Ⅰ-a（1）、Ⅰ-b（1）　（＊）日本語Ⅰ-a（1）、Ⅰ-b（1）
（＊）中国語Ⅱ-a（1）、Ⅱ-b（1）　（＊）日本語Ⅱ-a（1）、Ⅱ-b（1）

母語以外の１言語４科目を１年次に選択必修

専攻：英米語専攻

概論科目　※２分野８単位選択必修。１、２年次の修得が原則。
（＊）異文化コミュニケーション概論a（2）、b（2）
（＊）英語学概論 a（2）、b（2）
（＊）英米文学概論 a（2）、b（2）
（＊）英語教育学概論 a（2）、b（2）

１年次以降専攻基礎科目
TOEFL対策講座（2）

２年次以降の専攻基礎科目
英語音声学 a（2）、b（2）、英語史（2）
英文法研究 a（2）、b（2）、対照言語研究 a（2）、b（2）　※８単位選択必修

グローバル・スタディーズ関連科目（Preparation for TOEICⅠ、Ⅱを除く）
時事英語 a（2）、b（2）、その他　※２単位選択必修

SKILL科目、特講科目、特殊研究科目　※18単位選択必修
Interpreting Skills a（2）、b（2）、Discussion & Debate a（2）、b（2）、英語学特講Ⅰ-a（2）、Ⅰ-b（2）、文学特講Ⅰ-a（2）、Ⅰ-b（2）、他
※ELMのコアとなる科目群。自分の進路に相応しい科目を教員のアドバイスを参考に選択履修する。

専攻：グローバル・スタディーズ専攻

１年次以降専攻基礎科目
TOEFL対策講座（2）

２年次以降の専攻基礎科目
英語音声学 a（2）、b（2）、英語史（2）
英文法研究 a（2）、b（2）、対照言語研究a（2）、b（2）　※２単位選択必修

グローバル・スタディーズ関連科目（Preparation for TOEICⅠ、Ⅱを除く）：※28単位（必修18単位含）
※GSMのコアとなる科目群。「コア科目」〔ビジネス経済学（2）、社会統計学（2）、他〕、「グローバル科目」〔北アメリカ研究（2）、ヨーロッパ研究（2）、他〕、「フィールドワーク科目」（GSMインターンシップⅠ（2）、Ⅱ（2）、他）からなる。必修科目が多いので、計画的な履修が必要。

SKILL科目、特講科目　※８単位選択必修
Interpreting Skills a（2）、b（2）、コミュニケーション特講Ⅰ-a（2）、Ⅰ-b（2）、他。必要に応じて選択履修する。

概論科目
異文化コミュニケーション概論 a（2）、b（2）
英語学概論 a（2）、b（2）
英米文学概論 a（2）、b（2）
英語教育学概論 a（2）、b（2）

※その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】の２単位に含めることができる。

注意　上記の表は、カリキュラムの概要を視覚的に示したものです。卒業要件単位数及び履修方法の詳細については、「教育課程表」等でよく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得して下さい。

中国語学科

中国語学科では、グローバル社会に必要なスキルを身につけ、将来、日中関係の各分野で活躍しうる人材の養成を目的として、まず実践的中国語能力を習得し、その上で、各分野に特化した中国語運用能力、英語力、専門知識の修得が可能となるようカリキュラムを編成しています。

１・２年次では、聞く・話す・読む・書くという４技能を、「明海メソッド」を用いて徹底的に訓練し、身につけていきます。２年次には中国語専攻（CLM）とグローバル・スタディーズ専攻（GSM）に分かれ、３・４年次からは各専攻で専門的な知識を学んでいきます。CLMでは中国語学科目、中国文化科目、中国文学科目等が用意されており、主に３年次から修得が可能です。GSMではコア科目、グローバル科目、フィールドワーク科目等が用意されており、一部は２年次から修得が可能です。

３年次の長期留学では、留学先で修得した単位の一部を互換により修得することが可能です。自分の将来に向けて、計画的かつ意欲的に学習に取り組んでください。

	１　年	２　年	３　年	４　年
専攻共通	外国語研究概論 フレッシュパーソンセミナーⅠ・Ⅱ	課題探求セミナーⅠ・Ⅱ 中国語基礎演習Ａ又は 中国語基礎演習Ｂ	現代社会事情 専門領域研究講座	卒業研究

専攻共通	ＩＬＰ	漢語基礎Ⅰ・Ⅱ 漢語会話Ⅰ・Ⅱ 漢語実践Ⅰ・Ⅱ 漢語作文Ⅰ・Ⅱ 英語Ⅰ-a・Ⅰ-b 英語Ⅱ-a・Ⅱ-b 日本語Ⅰ-a・Ⅰ-b 日本語Ⅱ-a・Ⅱ-b ＊母語以外の１言語４科目選択必修	CLM	ＩＬＰ	漢語基礎Ⅲ・Ⅳ 漢語会話Ⅲ・Ⅳ 漢語実践Ⅲ・Ⅳ 中級漢語Ⅰ・Ⅱ
				中国語・中国文化関連科目	中国思想研究入門 中国文学研究入門 中国歴史研究入門 中国語学研究入門 中国語検定対策講座Ⅰ・Ⅱ 文章表現演習Ⅰ・Ⅱ 口頭表現演習Ⅰ・Ⅱ 日中通訳基礎演習Ⅰ・Ⅱ 日中翻訳基礎演習Ⅰ・Ⅱ 中国方言基礎演習Ⅰ・Ⅱ 中国語文法Ⅰ・Ⅱ 中国語史Ⅰ・Ⅱ 日中言語対照Ⅰ・Ⅱ 現当代文学Ⅰ・Ⅱ 古典文学Ⅰ・Ⅱ 東アジア比較思想論Ⅰ・Ⅱ 中国宗教・文化論Ⅰ・Ⅱ
				グローバル・スタディーズ関連科目	東アジア研究 ASEAN研究 中国経済Ⅰ・Ⅱ 日中観光実務Ⅰ・Ⅱ 時事中国語演習Ⅰ・Ⅱ
	中国社会研究入門 中国現代史研究入門		GSM	ＩＬＰ	漢語実践Ⅲ・Ⅳ
				グローバル・スタディーズ関連科目	ビジネス経済学 経営学総論 中国ビジネス入門 Preparation for TOEICⅠ-a Preparation for TOEICⅠ-b 東アジア研究 ASEAN研究 GSM海外研修 会計学総論 社会統計学 マーケティング論 北アメリカ研究 オセアニア研究 国際関係概論 ビジネスキャリア特講 a・b 中国経済Ⅰ・Ⅱ 日中観光実務Ⅰ・Ⅱ 時事中国語演習Ⅰ・Ⅱ ビジネス中国語演習Ⅰ・Ⅱ 文化講義Ⅰ（日本） 文化講義Ⅱ（異文化理解） GSMインターンシップⅠ・Ⅱ GSMボランティアⅠ・Ⅱ
				中国語・中国文化関連科目	中国語検定対策講座Ⅰ・Ⅱ 日中通訳基礎演習Ⅰ・Ⅱ 日中翻訳基礎演習Ⅰ・Ⅱ 中国現代史Ⅰ・Ⅱ

注意　上記の表は、履修のガイドラインを示したもので、専攻ごとに特色のある科目のみを掲載しています。卒業要件単位数及び履修方法の詳細については、「教育課程表」等でよく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

2020年度以前入学生

日本語学科

国語教育、日本語教育、ビジネスなどの世界で活躍することを目指す学生諸君、日本語学科では、諸君の希望や専攻を配慮して、４年間の学修を系統的かつ効果的に行えるように専門科目を配置しています。下記の例を参考に学修計画を立ててください。

専攻共通

授業科目区分		1　年	2　年	3　年	4　年
専門科目	専門基礎	**外国語研究概論** **フレッシュパーソンセミナーⅠ・Ⅱ**	**課題探求セミナーⅠ・Ⅱ** **日本語基礎演習**	**現代社会事情**	

日本語専攻（JLM）履修登録の例

太字は必修科目

授業科目区分		1　年	2　年	3　年	4　年
専門科目	ＩＬＰ（母語以外の２言語を選択必修）	英語Ⅰ-a・b　英語Ⅱ-a・b 中国語Ⅰ-a・b　中国語Ⅱ-a・b	英語Ⅲ-a・b	※留学生は「日本語Ⅰ－a」～「日本語Ⅲ－b」の６単位を修得しなくてはならないので注意してください。	
	日本語・日本文化関連科目	**日本語教育概論** **日本語教授法** **日本語学概論** 日本語表現研究Ⅰ・Ⅱ	日本語学基礎演習 音声学概論 日本語音声学 日本語文法論Ⅰ・Ⅱ 敬語表現法 日本語方言学 言語学概論 日本文学概論 漢文学概論 日本語教育演習 日本語教材論 検定対策Ⅰ 評価法研究 教案作成研究 日本語教育事情 第二言語習得論　など	日本語講読Ⅰ・Ⅱ 応用言語学 日本語学講義Ⅰ 社会言語学Ⅰ 日本文学史 近現代文学 古典概説 音声指導法研究Ⅰ 文型指導法研究Ⅰ　など	日本語史Ⅰ 表記法概論 コンピュータ言語学Ⅰ 漢文学演習Ⅰ・Ⅱ 日本語教育実習 日本語教育のための英語／中国語／韓国語 など
	グローバル・スタディーズ関連科目	Preparation for TOEICⅠ-a・b	文化講義Ⅰ・Ⅱ	比較文化論	Preparation for TOEICⅡ-a・b など
	卒業研究			**専門領域研究講座**	**卒業研究**
	他学部・他学科開放科目	＊履修できる授業科目等については、他学部・他学科開放科目一覧を参照してください。			

※１　教育職員免許状については日本語専攻のみ取得可能です。具体的な科目名称等は「教職課程表」を参照してください。→P.127
※２　外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は「日本語Ⅰ-a」～「日本語Ⅲ-b」の６単位を修得してください。

グローバル・スタディーズ専攻（GSM）履修登録の例

太字は必修科目

授業科目区分		1　年	2　年	3　年	4　年
専門科目	ＩＬＰ（母語以外の２言語を選択必修）	英語Ⅰ-a・b　英語Ⅱ-a・b 中国語Ⅰ-a・b 中国語Ⅱ-a・b	英語Ⅲ-a・b	※留学生は「日本語Ⅰ－a」～「日本語Ⅲ－b」の６単位を修得しなくてはならないので注意してください。	
	グローバル・スタディーズ関連科目	Preparation for TOEICⅠ-a・b	**ビジネス経済学** **経営学総論** **日本研究** **東アジア研究** 中国ビジネス入門 北アメリカ研究　など	**会計学総論** **社会統計学** **マーケティング論** 国際関係概論 国際ビジネス論a・b 時事英語a・b ビジネスキャリア特講a・b　など	文化講義Ⅱ 比較文化論 Advanced Business English a・b Preparation for TOEICⅡ-a・b など
			<単位認定科目> GSM海外留学　GSMインターンシップⅠ　GSMボランティアⅠ GSM海外研修　GSMインターンシップⅡ　GSMボランティアⅡ		
	日本語・日本文化関連科目	**日本語学概論** **日本語教育概論** **日本語教授法** 日本語表現研究Ⅰ　など	日本語音声学 日本語文法論Ⅰ 敬語表現法 言語学概論 日本文学概論　など	日本語学講義Ⅰ 社会言語学Ⅰ 日本文学史　など	日本語史Ⅰ 表記法概論 コンピュータ言語学Ⅰ　など
	卒業研究			**専門領域研究講座**	**卒業研究**
	他学部・他学科開放科目	＊履修できる授業科目等については、他学部・他学科開放科目一覧を参照してください。			

※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は「日本語Ⅰ-a」～「日本語Ⅲ-b」の６単位を修得してください。

注意　上記の表は、履修のガイドラインの概要を示したもので、全科目を列挙せず、その専攻に特色ある科目を掲載しています。卒業要件単位数及び履修方法の詳細については、「教育課程表」等でよく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

英米語学科

英米語学科では、４年間の学修を系統的かつ効果的に行えるように、専門科目の履修条件を専攻ごとに定めています。履修科目の選択に当たっては、このカリキュラムの概要を参考に学修計画を立てて下さい。〔＊＝必修科目、（＊）＝特殊条件付き選択必修〕

区分	専攻	１　年	２　年	３　年	４　年
専門科目	専攻共通	**１年次専門基礎科目** ＊外国語研究概論（2） **必修ゼミクラス** ＊フレッシュパーソンセミナーⅠ（1）、Ⅱ（1） →	**２年次専門基礎科目** ＊英米語基礎演習（4） ［2016年度以降入学生のみ］ ＊課題探求セミナーⅠ（1）、Ⅱ（1）	**３年次専門基礎科目** ＊現代社会事情（2） 科目配置上は、「卒業研究」 ＊専門領域研究講座（4） →	＊卒業研究（4）
		ILP １年次必修科目 ＊Integrated EnglishⅠ（2） ＊Integrated EnglishⅡ（2） ＊Grammar a（1）、b（1） ＊ReadingⅠ-a（1）、Ⅰ-b（1） ＊WritingⅠ-a（1）、Ⅰ-b（1） ＊ListeningⅠ-a（1）、Ⅰ-b（1） ＊Preparation for TOEICⅠ-a（1）、Ⅰ-b（1）	**ILP ２年次必修科目** ＊Integrated EnglishⅢ（2） ＊Integrated EnglishⅣ（2） ＊ReadingⅡ-a（1）、Ⅱ-b（1） ＊ReadingⅢ-a（1）、Ⅲ-b（1） ＊WritingⅡ-a（1）、Ⅱ-b（1） ＊ListeningⅡ-a（1）、Ⅱ-b（1） ＊Preparation for TOEICⅡ-a（1）、Ⅱ-b（1）	科目配置上は、「グローバル・スタディーズ関連科目」	
		（＊）中国語Ⅰ-a（1）、Ⅰ-b（1）　（＊）日本語Ⅰ-a（1）、Ⅰ-b（1） （＊）中国語Ⅱ-a（1）、Ⅱ-b（1）　（＊）日本語Ⅱ-a（1）、Ⅱ-b（1）		母語以外の１言語４科目を１年次に選択必修	
	英米語専攻	**概論科目**　※２分野８単位選択必修。１、２年次の修得が原則。 （＊）異文化コミュニケーション概論a（2）、b（2） （＊）英語学概論 a（2）、b（2） （＊）英米文学概論 a（2）、b（2） （＊）英語教育学概論 a（2）、b（2）			
		１年次以降専攻基礎科目 TOEFL対策講座（2）	**２年次以降の専攻基礎科目** 英語音声学 a（2）、b（2）、英米文学史（2）、英語圏の文化と社会（2） 英文法研究 a（2）、b（2）　英語史（2）、対照言語研究 a（2）、b（2）　※８単位選択必修		
			グローバル・スタディーズ関連科目（Preparation for TOEICⅠ、Ⅱを除く） 時事英語 a（2）、b（2）、国際ビジネス論a（2）、b（2）、国際協力論（2）、その他 2014・2015年度入学生 ※６単位選択必修 2016年度以降入学生 ※２単位選択必修		
				SKILL科目、特講科目、特殊研究科目　※18単位選択必修 Interpreting Skills a（2）、b（2）、Discussion & Debate a（2）、b（2）、英語学特講Ⅰ-a（2）、Ⅰ-b（2）、文学特講Ⅰ-a（2）、Ⅰ-b（2）、他 ※ELMのコアとなる科目群。自分の進路に相応しい科目を教員のアドバイスを参考に選択履修する。	
	グローバル・スタディーズ専攻	**１年次以降専攻基礎科目** TOEFL対策講座（2）	**２年次以降の専攻基礎科目** 英語音声学 a（2）、b（2）、英米文学史（2）、英語圏の文化と社会（2） 英文法研究 a（2）、b（2）　英語史（2）、対照言語研究a（2）、b（2）　※２単位選択必修		
			グローバル・スタディーズ関連科目（Preparation for TOEICⅠ、Ⅱを除く）：※30単位（必修20単位含） ※GSMのコアとなる科目群。「コア科目」〔ビジネス経済学（2）、社会統計学（2）、他〕、「グローバル科目」〔北アメリカ研究（2）、ヨーロッパ研究（2）、他〕、「フィールドワーク科目」（GSMインターンシップⅠ（2）、Ⅱ（2）、他）からなる。必修科目が多いので、計画的な履修が必要。		
				SKILL科目、特講科目　※８単位選択必修 English for Current Issues a（2）、b（2）、コミュニケーション特講Ⅰ-a（2）、Ⅰ-b（2）、他。必要に応じて選択履修する。	
		概論科目　※卒業要件には算入されません。 異文化コミュニケーション概論 a（2）、b（2） 英語学概論 a（2）、b（2） 英米文学概論 a（2）、b（2） 英語教育学概論 a（2）、b（2）			

注意　上記の表は、カリキュラムの概要を視覚的に示したものです。卒業要件単位数及び履修方法の詳細については、「教育課程表」等でよく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得して下さい。

中国語学科

中国語学科では、グローバル社会に必要なスキルを身につけ、将来、日中関係の各分野で活躍しうる人材の養成を目的として、まず実践的中国語能力を習得し、その上で、各分野に特化した中国語運用能力、英語力、専門知識の修得が可能となるようカリキュラムを編成しています。

１・２年次では、聞く・話す・読む・書くという４技能を、「明海メソッド」を用いて徹底的に訓練し、身につけていきます。２年次には中国語専攻（CLM）とグローバル・スタディーズ専攻（GSM）に分かれ、３・４年次からは各専攻で専門的な知識を学んでいきます。CLMでは中国語学科目、中国文化科目、中国文学科目等が用意されており、主に３年次から修得が可能です。GSMではコア科目、グローバル科目、フィールドワーク科目等が用意されており、一部は２年次から修得が可能です。

３年次の長期留学では、留学先で修得した単位の一部を互換により修得することが可能です。自分の将来に向けて、計画的かつ意欲的に学習に取り組んでください。

	１　年	２　年	３　年	４　年
専攻共通	外国語研究概論 フレッシュパーソンセミナーⅠ・Ⅱ	課題探求セミナーⅠ・Ⅱ 中国語基礎演習（2016年度入学生のみ） 中国語基礎演習Ａ又は 中国語基礎演習Ｂ（2017年度以降入学生のみ）	現代社会事情 専門領域研究講座	卒業研究

専攻共通	ＩＬＰ	漢語基礎Ⅰ・Ⅱ 漢語会話Ⅰ・Ⅱ 漢語実践Ⅰ・Ⅱ 漢語作文Ⅰ・Ⅱ	CLM	ＩＬＰ	漢語基礎Ⅲ・Ⅳ 漢語会話Ⅲ・Ⅳ 漢語実践Ⅲ・Ⅳ 中級漢語Ⅰ・Ⅱ
		英語Ⅰ-a・Ⅰ-b 英語Ⅱ-a・Ⅱ-b 日本語Ⅰ-a・Ⅰ-b 日本語Ⅱ-a・Ⅱ-b ＊母語以外の１言語４科目選択必修		中国語・中国文化関連科目	中国語検定対策講座Ⅱ～Ⅴ 中国思想研究入門 中国文学研究入門 中国歴史研究入門 中国語学研究入門 時事中国語演習Ⅰ・Ⅱ 文章表現演習Ⅰ・Ⅱ 日中翻訳基礎演習Ⅰ・Ⅱ 中国方言基礎演習Ⅰ・Ⅱ 中国語文法Ⅰ・Ⅱ 中国語史Ⅰ・Ⅱ 日中言語対照Ⅰ・Ⅱ 現当代文学Ⅰ・Ⅱ 古典文学Ⅰ・Ⅱ 東アジア比較思想論Ⅰ・Ⅱ 中国宗教・文化論Ⅰ・Ⅱ
				グローバル・スタディーズ関連科目	東アジア研究 ASEAN研究 中国経済Ⅰ・Ⅱ 日中観光実務Ⅰ・Ⅱ 日中通訳基礎演習Ⅰ・Ⅱ
	中国語検定対策講座Ⅰ 中国社会研究入門 中国現代史研究入門		GSM	ＩＬＰ	漢語実践Ⅲ・Ⅳ
				グローバル・スタディーズ関連科目	ビジネス経済学 経営学総論 中国ビジネス入門 Preparation for TOEICⅠ-a Preparation for TOEICⅠ-b 東アジア研究 ASEAN研究 GSM海外研修 会計学総論 社会統計学 マーケティング論 中国経済Ⅰ・Ⅱ 日中観光実務Ⅰ・Ⅱ 日中通訳基礎演習Ⅰ・Ⅱ 北アメリカ研究 GSMインターンシップⅠ・Ⅱ 国際関係概論 国際協力論 国際ビジネス論ａ・ｂ 文化講義Ⅰ（日本） 文化講義Ⅱ（異文化理解） 比較文化論 ビジネスキャリア特講ａ・ｂ オセアニア研究 GSMボランティアⅠ・Ⅱ
				中国語・中国文化関連科目	ビジネス総合講座Ⅰ・Ⅱ 時事中国語演習Ⅰ・Ⅱ ビジネス中国語演習Ⅰ・Ⅱ 日中翻訳基礎演習Ⅰ・Ⅱ 中国現代史Ⅰ・Ⅱ

注意　上記の表は、履修のガイドラインを示したもので、専攻ごとに特色のある科目のみを掲載しています。卒業要件単位数及び履修方法の詳細については、「教育課程表」等でよく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

4　カリキュラムマップ（履修系統図）

2021年度以降入学生

日本語学科　日本語専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シーケンス：学修経験の順次性と垂直的統合

ディプロマ・ポリシー（DP）（学位授与方針）	【DPJ1】 日本と世界の文化・社会・歴史に多面的な領域を把握することができる。	【DPJ2】 日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育、国語教育に関する知識と能力を身につけることができる。	【DPJ3】 日本語（国語）、日本語教育、国語教育を理解し、問題解決に寄与できる。	【DPG1】 日本語、英語、中国語を用い、適切な情報を集約・分析し、表現することができる。 【DPG2】 自己の主張をグローバル的視野で的確に表現できる。 【DPG3】 多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる。 【DPG4】 対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。
4年次履修		対照言語学(2)	日本語教育実習(4) ●卒業研究(4)	
3年次履修	日本文学史(2) 近現代文学(2) 古典概説(2) 漢文学概論(2) 漢文学講義(2)	日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2) 日本語史Ⅰ(2) 日本語史Ⅱ(2) 表記法概論(2) 応用言語学(2) 社会言語学(2) 言語研究法(2) コンピュータ言語学(2) 音声指導法研究(2) 文型指導法研究(2) 年少者日本語教育概説(2) 児童生徒のための日本語教育論(2) 日本語学習支援・実地研究(2)	●現代社会事情(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 古典演習(2) 漢文学演習Ⅰ(2) 漢文学演習Ⅱ(2) ●専門領域研究講座(4)	
2年次履修	日本文学概論(2)	日本語方言学(2) 音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2) 敬語表現法(2) 言語学概論(2) 日本語教材論(2) 検定対策Ⅰ(2) 検定対策Ⅱ(2) 検定対策Ⅲ(2) 検定対策Ⅳ(2) 評価法研究(2) 日本語教育事情(2) 第二言語習得論(2)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4) 日本語学基礎演習(2) 日本語教育演習(2) 教案作成研究(2)	●英語Ⅲ-a(1) ●英語Ⅲ-b(1) 文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)
1年次履修		●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2) ●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)	●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●外国語研究概論(2) ●英語Ⅰ-a(1) ●英語Ⅰ-b(1) ●英語Ⅱ-a(1) ●英語Ⅱ-b(1) 中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1) 日本人学生 日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1) 外国人留学生 Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)

※　「●」＝必修科目

日本語学科　グローバル・スタディーズ専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シーケンス：学修経験の順次性と垂直的統合

ディプロマ・ポリシー（DP）（学位授与方針）	【DPG1】 日本語、英語、中国語を用い、適切な情報を集約・分析し、表現することができる。	【DPG2】 自己の主張をグローバル的視野で的確に表現できる。	【DPG3】 多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる。	【DPG4】 対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。	【DPJ1】 日本と世界の文化・社会・歴史に多面的な領域を把握することができる。 【DPJ2】 日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育、国語教育に関する知識と能力を身につけることができる。 【DPJ3】 日本語（国語）、日本語教育、国語教育を理解し、問題解決に寄与できる。
4年次履修	Advanced Business English a（2） Advanced Business English b（2）	●卒業研究（4）	文化講義Ⅰ（日本）（2） 文化講義Ⅱ（異文化理解）（2）		日本語史Ⅰ（2） 日本語史Ⅱ（2） 対照言語学（2）
3年次履修	時事中国語演習Ⅰ（2） 時事中国語演習Ⅱ（2） ビジネス中国語演習Ⅰ（2） ビジネス中国語演習Ⅱ（2） 通訳の基礎 a（2） 通訳の基礎 b（2） 時事英語 a（2） 時事英語 b（2）	●専門領域研究講座（4）	●会計学総論（2） ●社会統計学（2） ●マーケティング論（2） 国際関係概論（2） ビジネスキャリア特講a（2） ビジネスキャリア特講b（2） 中国経済Ⅰ（2） 中国経済Ⅱ（2）	日中観光実務Ⅰ（2） 日中観光実務Ⅱ（2） GSM海外留学（4） GSMインターンシップⅡ（2） GSMボランティアⅡ（2）	●現代社会事情（2） 日本語学講義Ⅰ（2） 日本語学講義Ⅱ（2） 日本語学演習Ⅰ（2） 日本語学演習Ⅱ（2） 日本語講読Ⅰ（2） 日本語講読Ⅱ（2） 表記法概論（2） 応用言語学（2） 社会言語学（2） 言語研究法（2） コンピュータ言語学（2） 日本文学史（2） 近現代文学（2）
2年次履修	●英語Ⅲ-a（1） ●英語Ⅲ-b（1） 中国語Ⅰ-a（1） 中国語Ⅰ-b（1） 中国語Ⅱ-a（1） 中国語Ⅱ-b（1） （日本人学生） 日本語Ⅰ-a（1） 日本語Ⅰ-b（1） 日本語Ⅱ-a（1） 日本語Ⅱ-b（1） （外国人留学生） Preparation for TOEICⅡ-a（1） Preparation for TOEICⅡ-b（1）		●課題探求セミナーⅠ（1） ●課題探求セミナーⅡ（1） ●ビジネス経済学（2） ●経営学総論（2） ●日本研究（2） 北アメリカ研究（2） 南アメリカ研究（2） ヨーロッパ研究（2） オセアニア研究（2） ●東アジア研究（2） ASEAN研究（2） 中東研究（2） 中国ビジネス入門（2）	GSM海外研修（2） GSMインターンシップⅠ（2） GSMボランティアⅠ（2）	●日本語基礎演習（4） 音声学概論（2） 日本語音声学（2） 日本語文法論Ⅰ（2） 日本語文法論Ⅱ（2） 敬語表現法（2） 言語学概論（2） 日本文学概論（2）
1年次履修	●外国語研究概論（2） ●英語Ⅰ-a（1） ●英語Ⅰ-b（1） ●英語Ⅱ-a（1） ●英語Ⅱ-b（1） Preparation for TOEICⅠ-a（1） Preparation for TOEICⅠ-b（1）				●フレッシュパーソンセミナーⅠ（1） ●フレッシュパーソンセミナーⅡ（1） ●日本語学概論（2） 日本語表現研究Ⅰ（2） 日本語表現研究Ⅱ（2） ●日本語教育概論（2） ●日本語教授法（2）

※　「●」＝必修科目

英米語学科　英米語専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シーケンス：学修経験の順次性と垂直的統合

ディプロマ・ポリシー（DP）（学位授与方針）	【DP1】国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力を身につけることができる。	【DP2】言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力を身につけることができる。	【DP3】社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格を身につけることができる。	【DP4】教育・研究の分野で活躍できる能力を身につけることができる。
4年次履修	●卒業研究(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】			
	Translation Skills a(2) Translation Skills b(2)		中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	英語学特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅱ-b(2) 英語教育特講Ⅱ-a(2) 英語教育特講Ⅱ-b(2)
3年次履修	●専門領域研究講座(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】			
	Interpreting Skills a(2) Interpreting Skills b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Listening Skills a(2) Advanced Listening Skills b(2) コミュニケーション特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2) コミュニケーション特講Ⅱ-a(2) コミュニケーション特講Ⅱ-b(2)	ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) Advanced Business English a(2) Advanced Business English b(2)	●現代社会事情(2) Discussion & Debate a(2) Discussion & Debate b(2) 時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2)	Advanced Writing Skills a(2) Advanced Writing Skills b(2) Advanced Research & Presentation Skills(2) 英語学特講Ⅰ-a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅰ-a(2) 文学特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅱ-a(2) 文学特講Ⅱ-b(2) 英語教育特講Ⅰ-a(2) 英語教育特講Ⅰ-b(2)
2年次履修	●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1) 英文法研究a(2) 英文法研究b(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) ●Preparation for TOEICⅡ-a(1) ●Preparation for TOEICⅡ-b(1)	日本研究(2) 北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2) 中国ビジネス入門(2) 文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4) 特殊研究Ⅰ(4) 特殊研究Ⅱ(4) 海外実地研修(2) 国際関係概論(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2)	英語音声学a(2) 英語音声学b(2) 英語史(2) 対照言語研究a(2) 対照言語研究b(2)
1年次履修	●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1) 異文化コミュニケーション概論a(2) 異文化コミュニケーション概論b(2) 英米文学概論a(2) 英米文学概論b(2) TOEFL対策講座(2) ●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) 中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1) 日本人学生 日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1) 外国人留学生	英語学概論a(2) 英語学概論b(2) 英語教育学概論a(2) 英語教育学概論b(2)

※　「●」＝必修科目

英米語学科　グローバル・スタディーズ専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シーケンス：学修経験の順次性と垂直的統合

ディプロマ・ポリシー（DP）（学位授与方針）	【DP1】国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力を身につけることができる。	【DP2】言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力を身につけることができる。	【DP3】社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格を身につけることができる。	【DP4】教育・研究の分野で活躍できる能力を身につけることができる。
4年次履修	●卒業研究(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】			
	Advanced Listening Skills a(2) Advanced Listening Skills b(2)	日本研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2)	Discussion & Debate a(2) Discussion & Debate b(2)	Advanced Research & Presentation Skills(2) 英語学特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅱ-b(2)
3年次履修	●専門領域研究講座(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】			
	Interpreting Skills a(2) Interpreting Skills b(2) Translation Skills a(2) Translation Skills b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) コミュニケーション特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2) コミュニケーション特講Ⅱ-a(2) コミュニケーション特講Ⅱ-b(2)	ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) ●Advanced Business English a(2) ●Advanced Business English b(2)	●現代社会事情(2) 国際関係概論(2) ●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2) GSM海外留学(4) GSM海外研修(2)	Advanced Writing Skills a(2) Advanced Writing Skills b(2) 英語学特講Ⅰ-a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅰ-a(2) 文学特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅱ-a(2) 文学特講Ⅱ-b(2)
2年次履修	●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1) 英文法研究a(2) 英文法研究b(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) ●Preparation for TOEICⅡ-a(1) ●Preparation for TOEICⅡ-b(1)	●北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ●ヨーロッパ研究(2) 中国ビジネス入門(2) 文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4) ●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2) GSMインターンシップⅠ(2) GSMインターンシップⅡ(2) GSMボランティアⅠ(2) GSMボランティアⅡ(2)	英語音声学a(2) 英語音声学b(2) 英語史(2) 対照言語研究a(2) 対照言語研究b(2)
1年次履修	●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1) 異文化コミュニケーション概論a(2) 異文化コミュニケーション概論b(2) 英米文学概論a(2) 英米文学概論b(2) TOEFL対策講座(2) ●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) 中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1) （日本人学生） 日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1) （外国人留学生）	英語学概論a(2) 英語学概論b(2) 英語教育学概論a(2) 英語教育学概論b(2)

※　「●」＝必修科目

中国語学科　中国語専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シーケンス：学修経験の順次性と垂直的統合

ディプロマ・ポリシー（DP）（学位授与方針）	【DP1】中国語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく修得し、中国語による情報収集ができ、中国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。	【DP2】アジアにおけるグローバル社会に適応する能力として、中国の歴史・文化・経済・社会についての体系的知識を有し、これらの分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論することができる。	【DP3】多様な文化的背景を持つ人々と協働していくために、コミュニケーションに必要な実践的言語力（中国語・英語・日本語）を有するとともに、主体的に異文化コミュニケーションを実践することができる。	【DP4】中国語専攻学生は、通訳・翻訳に通じる高度な中国語能力を持ち、中国の文化・社会に対する知識を有し、中国語を必要とする仕事において活躍できる。
4年次履修	●卒業研究(4)			
4年次履修	●中級漢語Ⅰ(2) ●中級漢語Ⅱ(2) 文章表現演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2) 口頭表現演習Ⅰ(2) 口頭表現演習Ⅱ(2)	●専門領域研究講座(4) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2) 時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2)	●現代社会事情(2) 日中言語対照Ⅰ(2) 日中言語対照Ⅱ(2) 東アジア比較思想論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2) 中国語圏実地研修(2) 中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)	日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) 中国方言基礎演習Ⅰ(2) 中国方言基礎演習Ⅱ(2) 中国語文法Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2) 中国語史Ⅰ(2) 中国語史Ⅱ(2) 現当代文学Ⅰ(2) 現当代文学Ⅱ(2) 古典文学Ⅰ(2) 古典文学Ⅱ(2) 中国宗教・文化論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2)
3年次履修				
2年次履修	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●中国語基礎演習A(4) ●漢語基礎Ⅲ(2) ●漢語基礎Ⅳ(2) ●漢語会話Ⅲ(2) ●漢語会話Ⅳ(2) ●漢語実践Ⅲ(2) ●漢語実践Ⅳ(2) 中国語検定対策講座Ⅰ(2) 中国語検定対策講座Ⅱ(2)	●中国思想研究入門(2) ●中国文学研究入門(2) ●中国歴史研究入門(2) ●中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中国ビジネス入門(2)	Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)	
1年次履修	●漢語基礎Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2) ●漢語実践Ⅰ(2) ●漢語実践Ⅱ(2) ●漢語作文Ⅰ(2) ●漢語作文Ⅱ(2)	●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) ●中国社会研究入門(2) ●中国現代史研究入門(2)	●外国語研究概論(2) 英語Ⅰ-a(1) 英語Ⅰ-b(1) 英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅱ-b(1) 日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1)	

※　「●」＝必修科目

中国語学科　グローバル・スタディーズ専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シーケンス：学修経験の順次性と垂直的統合

ディプロマ・ポリシー（DP）（学位授与方針）	【DP1】中国語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく修得し、中国語による情報収集ができ、中国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。	【DP2】アジアにおけるグローバル社会に適応する能力として、中国の歴史・文化・経済・社会についての体系的知識を有し、これらの分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論することができる。	【DP3】多様な文化的背景を持つ人々と協働していくために、コミュニケーションに必要な実践的言語力（中国語・英語・日本語）を有するとともに、主体的に異文化コミュニケーションを実践することができる。	【DP5】グローバル・スタディーズ専攻学生は、経済・経営・会計・統計などビジネスに必要となる知識を持ち、グローバル社会で活躍できる。
	●卒業研究(4)			
4年次履修 3年次履修	中級漢語Ⅰ(2) 中級漢語Ⅱ(2) 文章表現演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2) 口頭表現演習Ⅰ(2) 口頭表現演習Ⅱ(2)	●専門領域研究講座(4) 日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) 中国方言基礎演習Ⅰ(2) 中国方言基礎演習Ⅱ(2) 中国語文法Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2) 中国語史Ⅰ(2) 中国語史Ⅱ(2) 現当代文学Ⅰ(2) 現当代文学Ⅱ(2) 古典文学Ⅰ(2) 古典文学Ⅱ(2) 中国宗教・文化論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2)	●現代社会事情(2) 日中言語対照Ⅰ(2) 日中言語対照Ⅱ(2) 東アジア比較思想論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2) 中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2) 日本研究(2) 北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) 中東研究(2) 国際関係概論(2) ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2) 時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2) Advanced Business English a(2) Advanced Business English b(2) 文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) GSM海外留学(4)
2年次履修	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) 中国語基礎演習A(4) 中国語基礎演習B(4) 漢語基礎Ⅲ(2) 漢語基礎Ⅳ(2) 漢語会話Ⅲ(2) 漢語会話Ⅳ(2) ●漢語実践Ⅲ(2) ●漢語実践Ⅳ(2) 中国語検定対策講座Ⅰ(2) 中国語検定対策講座Ⅱ(2)	中国思想研究入門(2) 中国文学研究入門(2) 中国歴史研究入門(2) 中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2)	●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)	●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2) ●東アジア研究(2) ●ASEAN研究(2) ●中国ビジネス入門(2) GSM海外研修(2) GSMインターンシップⅠ(2) GSMインターンシップⅡ(2) GSMボランティアⅠ(2) GSMボランティアⅡ(2)
1年次履修	●漢語基礎Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2) ●漢語実践Ⅰ(2) ●漢語実践Ⅱ(2) ●漢語作文Ⅰ(2) ●漢語作文Ⅱ(2)	●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) ●中国社会研究入門(2) ●中国現代史研究入門(2)	●外国語研究概論(2) 英語Ⅰ-a(1) 英語Ⅰ-b(1) 英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅱ-b(1) 日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1)	

※　「●」＝必修科目

2020年度以前入学生

日本語学科　日本語専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シーケンス：学修経験の順次性と垂直的統合

ディプロマ・ポリシー（DP）（学位授与方針）	【DPJ1】 日本と世界の文化・社会・歴史に多面的な関心をもつ。	【DPJ2】 日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育、国語教育に関する知識と能力を身につける。	【DPJ3】 日本語（国語）、日本語教育、国語教育の問題解決に寄与できる。	【DPG1】 日本語、英語、中国語を用い、情報を適切に集約・分析・表現ができる。 【DPG2】 自己の主張を的確に表現できる。 【DPG3】 多様な文化を理解し自らの文化を発信できる。 【DPG4】 対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。
4年次履修		日本語教育のための英語(2) 日本語教育のための中国語(2) 日本語教育のための韓国語(2)	日本語教育実習(4) ●卒業研究(4)	
3年次履修	日本文学史(2) 近現代文学(2) 古典概説(2) 漢文学概論(2) 漢文学講義(2)	日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2) 日本語史Ⅰ(2) 日本語史Ⅱ(2) 表記法概論(2) 応用言語学(2) 社会言語学Ⅰ(2) 社会言語学Ⅱ(2) コンピュータ言語学Ⅰ(2) コンピュータ言語学Ⅱ(2) 音声指導法研究Ⅰ(2) 音声指導法研究Ⅱ(2) 文型指導法研究Ⅰ(2) 文型指導法研究Ⅱ(2)	●現代社会事情(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 古典演習(2) 漢文学演習Ⅰ(2) 漢文学演習Ⅱ(2) ●専門領域研究講座(4)	
2年次履修	日本文学概論(2)	日本語方言学(2) 音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2) 敬語表現法(2) 言語学概論(2) 日本語教材論(2) 検定対策Ⅰ(2) 検定対策Ⅱ(2) 検定対策Ⅲ(2) 検定対策Ⅳ(2) 評価法研究(2) 日本語教育事情(2) 第二言語習得論(2)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4) 日本語学基礎演習(2) 日本語教育演習(2) 教案作成研究(2)	英語Ⅲ-a(1) 英語Ⅲ-b(1) 日本語Ⅲ-a(1) 日本語Ⅲ-b(1)　外国人留学生 文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) 比較文化論(2) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)
1年次履修		●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2) ●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)	●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●外国語研究概論(2) 英語Ⅰ-a(1) 英語Ⅰ-b(1) 英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅱ-b(1) 中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1)　日本人学生 日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1)　外国人留学生 Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)

※1　「●」＝必修科目
※2　他学部・他学科開放科目については、履修する科目によってDPが異なる。

日本語学科　グローバル・スタディーズ専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シーケンス：学修経験の順次性と垂直的統合

ディプロマ・ポリシー（DP）（学位授与方針）	【DPG1】日本語、英語、中国語を用い、情報を適切に集約・分析・表現ができる。	【DPG2】自己の主張を的確に表現できる。	【DPG3】多様な文化を理解し自らの文化を発信できる。	【DPG4】対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。	【DPJ1】日本と世界の文化・社会・歴史に多面的な関心をもつ。 【DPJ2】日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育、国語教育に関する知識と能力を身につける。 【DPJ3】日本語（国語）、日本語教育、国語教育の問題解決に寄与できる。
4年次履修	Advanced Business English a（2） Advanced Business English b（2）	●卒業研究（4）	文化講義Ⅰ（日本）（2） 文化講義Ⅱ（異文化理解）（2） 比較文化論（2）		日本語史Ⅰ（2） 日本語史Ⅱ（2）
3年次履修	日中通訳基礎演習Ⅰ（2） 日中通訳基礎演習Ⅱ（2） 通訳の基礎a（2） 通訳の基礎b（2） 時事英語a（2） 時事英語b（2）	●専門領域研究講座（4）	●会計学総論（2） ●社会統計学（2） ●マーケティング論（2） 国際関係概論（2） 国際協力論（2） 国際ビジネス論a（2） 国際ビジネス論b（2） ビジネスキャリア特講a（2） ビジネスキャリア特講b（2） 中国経済Ⅰ（2） 中国経済Ⅱ（2）	日中観光実務Ⅰ（2） 日中観光実務Ⅱ（2） GSM海外留学（4） GSMインターンシップⅡ（2） GSMボランティアⅡ（2）	●現代社会事情（2） 日本語学講義Ⅰ（2） 日本語学講義Ⅱ（2） 日本語学演習Ⅰ（2） 日本語学演習Ⅱ（2） 日本語講読Ⅰ（2） 日本語講読Ⅱ（2） 表記法概論（2） 応用言語学（2） 社会言語学Ⅰ（2） 社会言語学Ⅱ（2） コンピュータ言語学Ⅰ（2） コンピュータ言語学Ⅱ（2） 日本文学史（2） 近現代文学（2）
2年次履修	英語Ⅲ-a（1） 英語Ⅲ-b（1） 日本語Ⅲ-a（1） 日本語Ⅲ-b（1） （外国人留学生） Preparation for TOEICⅡ-a（1） Preparation for TOEICⅡ-b（1）		●課題探求セミナーⅠ（1） ●課題探求セミナーⅡ（1） ●ビジネス経済学（2） ●経営学総論（2） ●日本研究（2） 北アメリカ研究（2） 南アメリカ研究（2） ヨーロッパ研究（2） オセアニア研究（2） ●東アジア研究（2） ASEAN研究（2） 中東研究（2） 中国ビジネス入門（2）	GSM海外研修（2） GSMインターンシップⅠ（2） GSMボランティアⅠ（2）	●日本語基礎演習（4） 音声学概論（2） 日本語音声学（2） 日本語文法論Ⅰ（2） 日本語文法論Ⅱ（2） 敬語表現法（2） 言語学概論（2） 日本文学概論（2）
1年次履修	●外国語研究概論（2） 英語Ⅰ-a（1） 英語Ⅰ-b（1） 英語Ⅱ-a（1） 英語Ⅱ-b（1） 中国語Ⅰ-a（1） 中国語Ⅰ-b（1） 中国語Ⅱ-a（1） 中国語Ⅱ-b（1） （日本人学生） 日本語Ⅰ-a（1） 日本語Ⅰ-b（1） 日本語Ⅱ-a（1） 日本語Ⅱ-b（1） （外国人留学生） Preparation for TOEICⅠ-a（1） Preparation for TOEICⅠ-b（1）				●フレッシュパーソンセミナーⅠ（1） ●フレッシュパーソンセミナーⅡ（1） ●日本語学概論（2） 日本語表現研究Ⅰ（2） 日本語表現研究Ⅱ（2） ●日本語教育概論（2） ●日本語教授法（2）

※　「●」＝必修科目

英米語学科　英米語専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シーケンス：学修経験の順次性と垂直的統合

ディプロマ・ポリシー（DP）（学位授与方針）	【DP1】国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力を身につけていると判断できる。 ・基礎教養（主として共通科目で涵養） ・英語力 ・コミュニケーション能力	【DP2】言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力を身につけていると判断できる。 ・ELMに求められる幅広い専門知識（言語、文化、歴史、社会、教育、etc.）	【DP3】社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格を身につけていると判断できる。 ・実学、実社会で役立つ能力、行動力、資格	【DP4】教育・研究の分野で活躍できる能力を身につけていると判断できる。 ・英語教育 ・大学院進学
4年次履修	●卒業研究(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】			
	Translation Skills a(2) Translation Skills b(2) コミュニケーション特講Ⅲ-a(2) コミュニケーション特講Ⅲ-b(2)	English for Current Issues a(2) English for Current Issues b(2)	中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	英語学特講Ⅲ-a(2) 英語学特講Ⅲ-b(2) 文学特講Ⅲ-a(2) 文学特講Ⅲ-b(2) 英語教育特講Ⅱ-a(2) 英語教育特講Ⅱ-b(2)
3年次履修	●専門領域研究講座(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】			
	Interpreting Skills a(2) Interpreting Skills b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Listening Skills a(2) Advanced Listening Skills b(2) コミュニケーション特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2) コミュニケーション特講Ⅱ-a(2) コミュニケーション特講Ⅱ-b(2) Advanced Business English a(2) Advanced Business English b(2)	ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2)	●現代社会事情(2) Discussion & Debate a(2) Discussion & Debate b(2) ビジネス英語特講a(2) ビジネス英語特講b(2) 日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2)	Advanced Writing Skills a(2) Advanced Writing Skills b(2) Advanced Research & Presentation Skills(2) 英語学特講Ⅰ-a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2) 英語学特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅱ-b(2) 文学特講Ⅰ-a(2) 文学特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅱ-a(2) 文学特講Ⅱ-b(2) 英語教育特講Ⅰ-a(2) 英語教育特講Ⅰ-b(2)
2年次履修	●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1) 英文法研究a(2) 英文法研究b(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) ●Preparation for TOEICⅡ-a(1) ●Preparation for TOEICⅡ-b(1)	英語圏の文化と社会(2) 英米文学史(2) 日本研究(2) 北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2) 国際ビジネス論a(2) 国際ビジネス論b(2) 中国ビジネス入門(2) 文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) 比較文化論(2)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4) 特殊研究Ⅰ(4) 特殊研究Ⅱ(4) 海外実地研修(2) 国際関係概論(2) 国際協力論(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2)	英語音声学a(2) 英語音声学b(2) 英語史(2) 対照言語研究a(2) 対照言語研究b(2)
1年次履修	●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1) 異文化コミュニケーション概論a(2) 異文化コミュニケーション概論b(2) 英米文学概論a(2) 英米文学概論b(2) TOEFL対策講座(2) ●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) 中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1) 日本人学生 日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1) 外国人留学生	英語学概論a(2) 英語学概論b(2) 英語教育学概論a(2) 英語教育学概論b(2)

※1　「●」＝必修科目
※2　他学部・他学科開放科目については、履修する科目によってDPが異なる。

英米語学科　グローバル・スタディーズ専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シーケンス：学修経験の順次性と垂直的統合

ディプロマ・ポリシー（DP）（学位授与方針）	【DP1】国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力を身につけていると判断できる。 ・基礎教養（主として共通科目で涵養） ・英語力 ・コミュニケーション能力	【DP2】言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力を身につけていると判断できる。 ・GSMに求められる幅広い専門知識（ビジネス、経済、言語、文化、歴史、社会、etc.）	【DP3】社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格を身につけていると判断できる。 ・実学、実社会で役立つ能力、行動力、資格	【DP4】教育・研究の分野で活躍できる能力を身につけていると判断できる。 ・英語教育 ・大学院進学
4年次履修	●卒業研究(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】			
	コミュニケーション特講Ⅲ-a(2) コミュニケーション特講Ⅲ-b(2)	English for Current Issues a(2) English for Current Issues b(2) 日本研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2)	Discussion & Debate a(2) Discussion & Debate b(2) 国際協力論(2)	Advanced Research & Presentation Skills(2) 英語学特講Ⅲ-a(2) 英語学特講Ⅲ-b(2) 文学特講Ⅲ-a(2) 文学特講Ⅲ-b(2)
3年次履修	●専門領域研究講座(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】			
	Interpreting Skills a(2) Interpreting Skills b(2) Translation Skills a(2) Translation Skills b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Listening Skills a(2) Advanced Listening Skills b(2) コミュニケーション特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2) コミュニケーション特講Ⅱ-a(2) コミュニケーション特講Ⅱ-b(2) ●Advanced Business English a(2) ●Advanced Business English b(2)	国際ビジネス論a(2) 国際ビジネス論b(2) ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2)	●現代社会事情(2) ビジネス英語特講a(2) ビジネス英語特講b(2) 国際関係概論(2) ●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2) 日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2) GSM海外留学(4) GSM海外研修(2) GSMインターンシップⅡ(2) GSMボランティアⅡ(2)	Advanced Writing Skills a(2) Advanced Writing Skills b(2) 英語学特講Ⅰ-a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2) 英語学特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅱ-b(2) 文学特講Ⅰ-a(2) 文学特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅱ-a(2) 文学特講Ⅱ-b(2)
2年次履修	●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1) 英文法研究a(2) 英文法研究b(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) ●Preparation for TOEICⅡ-a(1) ●Preparation for TOEICⅡ-b(1)	英語圏の文化と社会(2) 英米文学史(2) ●北アメリカ研究(2) ●南アメリカ研究(2) ●ヨーロッパ研究(2) 中国ビジネス入門(2) 文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) 比較文化論(2)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4) ●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2) GSMインターンシップⅠ(2) GSMボランティアⅠ(2)	英語音声学a(2) 英語音声学b(2) 英語史(2) 対照言語研究a(2) 対照言語研究b(2)
1年次履修	●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1) 異文化コミュニケーション概論a(2) 異文化コミュニケーション概論b(2) 英米文学概論a(2) 英米文学概論b(2) TOEFL対策講座(2) ●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) 中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1) （日本人学生） 日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1) （外国人留学生）	英語学概論a(2) 英語学概論b(2) 英語教育学概論a(2) 英語教育学概論b(2)

※　「●」＝必修科目

中国語学科　中国語専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シーケンス：学修経験の順次性と垂直的統合

ディプロマ・ポリシー（DP）（学位授与方針）	【DP1】中国語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の４技能をバランスよく習得し、中国語による情報収集ができ、中国語を用いてコミュニケーションをはかることができる。	【DP2】アジアにおけるグローバル社会に適応する能力として、中国の歴史・文化・経済・社会についての体系的知識を有し、これらの分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論する力を有していること。	【DP3】多様な文化的背景を持つ人々と協働していくために、コミュニケーションに必要な実践的言語力（中国語・英語・日本語）を有するとともに、主体的に異文化コミュニケーションを実践する能力を有すること。	【DP4】中国語専攻学生は、通訳・翻訳に通じる高度な中国語能力を持ち、中国の文化・社会に対する知識を有し、中国語を必要とする仕事において活躍し得る能力を有していること。
４年次履修	高級漢語Ⅰ(2) 高級漢語Ⅱ(2)	●卒業研究(4)	●現代社会事情(2) 日中言語対照Ⅰ(2) 日中言語対照Ⅱ(2) 東アジア比較思想論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2) 中国芸術論Ⅰ(2) 中国芸術論Ⅱ(2) 中国語圏実地研修(2) 中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) 文章表現演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) 中国語コンピューター演習Ⅰ(2) 中国語コンピューター演習Ⅱ(2) 中国方言基礎演習Ⅰ(2) 中国方言基礎演習Ⅱ(2) 中国語通訳案内士試験対策講座(2) 現当代文学Ⅰ(2) 現当代文学Ⅱ(2) 古典文学Ⅰ(2) 古典文学Ⅱ(2) 中国宗教・文化論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2) 中国文化体験(2) 日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2)
3年次履修	●中級漢語Ⅰ(2) ●中級漢語Ⅱ(2) 中国語文法Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2) 中国語史Ⅰ(2) 中国語史Ⅱ(2)	ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2) ●専門領域研究講座(4)		
2年次履修	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●中国語基礎演習A(4) ●漢語基礎Ⅲ(2) ●漢語基礎Ⅳ(2) ●漢語会話Ⅲ(2) ●漢語会話Ⅳ(2) ●漢語実践Ⅲ(2) ●漢語実践Ⅳ(2) 中国語検定対策講座Ⅱ(2) 中国語検定対策講座Ⅲ(2) 中国語検定対策講座Ⅳ(2) 中国語検定対策講座Ⅴ(2)	ビジネス総合講座Ⅰ(2) ビジネス総合講座Ⅱ(2) ●中国思想研究入門(2) ●中国文学研究入門(2) ●中国歴史研究入門(2) ●中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中国ビジネス入門(2)	Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)	
１年次履修	●漢語基礎Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2) ●漢語実践Ⅰ(2) ●漢語実践Ⅱ(2) ●漢語作文Ⅰ(2) ●漢語作文Ⅱ(2) 中国語検定対策講座Ⅰ(2)	●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) ●中国社会研究入門(2) ●中国現代史研究入門(2)	●外国語研究概論(2) 英語Ⅰ-a(1) 英語Ⅰ-b(1) 英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅱ-b(1) 日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1)	

※1　「●」＝必修科目
※2　他学部・他学科開放科目については、履修する科目によってDPが異なる。

中国語学科　グローバル・スタディーズ専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シーケンス：学修経験の順次性と垂直的統合

ディプロマ・ポリシー（DP）（学位授与方針）	【DP1】中国語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の４技能をバランスよく習得し、中国語による情報収集ができ、中国語を用いてコミュニケーションをはかることができる。	【DP2】アジアにおけるグローバル社会に適応する能力として、中国の歴史・文化・経済・社会についての体系的知識を有し、これらの分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論する力を有していること。	【DP3】多様な文化的背景を持つ人々と協働していくために、コミュニケーションに必要な実践的言語力（中国語・英語・日本語）を有するとともに、主体的に異文化コミュニケーションを実践する能力を有すること。	【DP5】グローバル・スタディーズ専攻学生は、経済・経営・会計・統計などビジネスに必要となる知識を持ち、グローバル社会で実践的に活躍し得る能力を有していること。
４年次履修	高級漢語Ⅰ(2) 高級漢語Ⅱ(2)	●卒業研究(4)	●現代社会事情(2) 日中言語対照Ⅰ(2) 日中言語対照Ⅱ(2) 東アジア比較思想論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2) 中国芸術論Ⅰ(2) 中国芸術論Ⅱ(2) 中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)	ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) ●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2) 日本研究(2) 北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) 中東研究(2) 国際関係概論(2) 国際協力論(2) 国際ビジネス論a(2) 国際ビジネス論b(2) ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2) Advanced Business English a(2) Advanced Business English b(2) 文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) 比較文化論(2) GSM海外留学(4)
３年次履修	中級漢語Ⅰ(2) 中級漢語Ⅱ(2) 中国語文法Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2) 中国語史Ⅰ(2) 中国語史Ⅱ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) 文章表現演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) 中国語コンピューター演習Ⅰ(2) 中国語コンピューター演習Ⅱ(2) 中国方言基礎演習Ⅰ(2) 中国方言基礎演習Ⅱ(2) 中国語通訳案内士試験対策講座(2) 現当代文学Ⅰ(2) 現当代文学Ⅱ(2) 古典文学Ⅰ(2) 古典文学Ⅱ(2) 中国宗教・文化論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2) 中国文化体験(2) 日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2) ●専門領域研究講座(4)		
２年次履修	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) 中国語基礎演習A(4) 中国語基礎演習B(4) 漢語基礎Ⅲ(2) 漢語基礎Ⅳ(2) 漢語会話Ⅲ(2) 漢語会話Ⅳ(2) ●漢語実践Ⅲ(2) ●漢語実践Ⅳ(2) 中国語検定対策講座Ⅱ(2) 中国語検定対策講座Ⅲ(2) 中国語検定対策講座Ⅳ(2) 中国語検定対策講座Ⅴ(2)	中国思想研究入門(2) 中国文学研究入門(2) 中国歴史研究入門(2) 中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2)	●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)	ビジネス総合講座Ⅰ(2) ビジネス総合講座Ⅱ(2) ●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2) ●東アジア研究(2) ●ASEAN研究(2) ●中国ビジネス入門(2) GSM海外研修(2) GSMインターンシップⅠ(2) GSMインターンシップⅡ(2) GSMボランティアⅠ(2) GSMボランティアⅡ(2)
１年次履修	●漢語基礎Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2) ●漢語実践Ⅰ(2) ●漢語実践Ⅱ(2) ●漢語作文Ⅰ(2) ●漢語作文Ⅱ(2) 中国語検定対策講座Ⅰ(2)	●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) ●中国社会研究入門(2) ●中国現代史研究入門(2)	●外国語研究概論(2) 英語Ⅰ-a(1) 英語Ⅰ-b(1) 英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅱ-b(1) 日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1)	

※　「●」＝必修科目

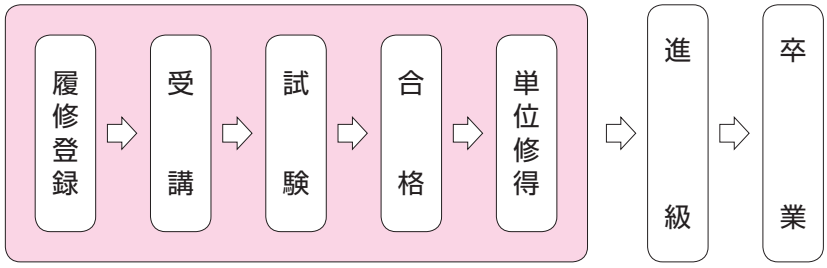
5　クラス担任制

専任教員による担任制度を設け、履修指導、進路指導及び生活指導等を含め幅広くきめ細かい指導・相談体制を構築します。

9 進級・卒業

卒業するためには、各学部・学科で定めている授業科目を一定の規則に従い習い修め、進級・卒業の要件を満たすことが必要となります。

在学中はこれらの要件を常に念頭に置き、無理や無駄のない履修登録を行い、確実に単位を修得するよう心がけてください。



1 進 級

[1] 進級要件

２年から３年へ進級する際に、以下の要件が定められています。この要件を満たせない場合、３年（５学期）に進級することができません。

●入学後２年（４学期）以上在籍していること。（休学期間を除く。）

●次の単位数を修得していること。

日本語学科

授 業 科 目 等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「日本語基礎演習（４単位）」を含む。）	14単位
「専門科目」のILP科目	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	12単位
合 計	44単位

英米語学科

授 業 科 目 等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（１単位）」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ（１単位）」及び「英米語基礎演習（４単位）」を含む。）	20単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	10単位
合 計	44単位

中国語学科

2017年度以降入学生

〈中国語専攻〉

授　業　科　目　等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」及び「中国語基礎演習A（4単位）」を含む。）	22単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	8単位
合　　計	44単位

〈グローバル・スタディーズ専攻〉

授　業　科　目　等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」及び「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」を含む。）	18単位
「専門科目」の「中国語基礎演習A（4単位）」又は「中国語基礎演習B（4単位）」のいずれか4単位	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	8単位
合　　計	44単位

2016年度入学生

授　業　科　目　等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」及び「中国語基礎演習（4単位）」を含む。）	22単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	8単位
合　　計	44単位

（社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生）

日本語学科

授　業　科　目　等	必要単位数
「専門科目」の必修科目（日本語基礎演習（4単位）を含む。）	14単位
「専門科目」のILP科目	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	26単位
合　　計	44単位

英米語学科

授　業　科　目　等	必要単位数
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」及び「英米語基礎演習（4単位）」を含む。	20単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	24単位
合　　計	44単位

参照➡具体的な授業科目名称等
→「教育課程表」

中国語学科

〈中国語専攻〉

授　業　科　目　等	必要単位数
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」及び「中国語基礎演習Ａ（4単位）」を含む。	22単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	22単位
合　　計	44単位

〈グローバル・スタディーズ専攻〉

授　業　科　目　等	必要単位数
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」及び「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」を含む。	18単位
「専門科目」の「中国語基礎演習Ａ（4単位）」又は「中国語基礎演習Ｂ（4単位）」のいずれか4単位	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	22単位
合　　計	44単位

参照➡具体的な授業科目名称等
→「教育課程表」

[2] 進級発表

進級要件を満たした者を、次のとおり発表します。

進級要件を満たした者は、翌学期から3年（5学期）に進級します。

発　表　日　時	3月15日（水）9：00
発　表　場　所	2101・2103大講義室横掲示板

※9月進級

9月に進級する者を対象に、9月8日（木）に履修登録修正方法や今後の学修計画についてのオリエンテーションを実施しますので、必ず出席してください。（オリエンテーションの実施時間・場所は別途通知します。）

発　表　日　時	9月5日（月）9：00
発　表　場　所	2101・2103大講義室横掲示板

2　卒　業

[1] 卒業要件

本学において４年（通算８学期）以上在学（休学期間を除く。）し、学則に定められた卒業所要単位を修得した者は、卒業が認定されます。

卒業に必要な単位数（最低）は、次のとおりです。

日本語学科

2021年度以降入学生

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

科目区分／専攻	共通科目							専門科目				合計
	基礎教育［特別科目※］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計	
		人間形成	国際理解	社会生活								
	必修	選択必修			必修	選択						
日本語専攻	8	4	4	4	6	6	32	32	46	14	92	124
グローバル・スタディーズ専攻	8	4	4	4	6	6	32	46	40	6	92	124

日本語専攻

共通科目（32単位）
① 基礎教育から必修８単位
※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 人間力形成教育の人間形成から４単位
③ 人間力形成教育の国際理解から４単位
④ 人間力形成教育の社会生活から４単位
⑤ キャリア形成教育から必修６単位
⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から６単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）
① 専門基礎から必修12単位
② ILPの英語から必修６単位
③ 日本語・日本文化関連科目の日本語学から必修２単位を含めて18単位
④ 日本語・日本文化関連科目の言語学から８単位
⑤ 日本語・日本文化関連科目の文学・文化から８単位
⑥ 日本語・日本文化関連科目の日本語教育から必修４単位を含めて18単位
⑦ 卒業研究から必修８単位
⑧ ①から⑦によるもののほか、ILP、日本語・日本文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から14単位以上［他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。］

グローバル・スタディーズ専攻

共通科目（32単位）
① 基礎教育から必修８単位
※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 人間力形成教育の人間形成から４単位
③ 人間力形成教育の国際理解から４単位
④ 人間力形成教育の社会生活から４単位
⑤ キャリア形成教育から必修６単位
⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から６単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）
① 専門基礎から必修12単位
② ILPの英語から必修６単位
③ ILPの中国語または日本語から母語以外の１言語４単位
④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位
⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修４単位を含めて20単位
⑥ 日本語・日本文化関連科目から必修６単位を含めて26単位
⑦ 卒業研究から必修８単位
⑧ ①から⑦によるもののほか、グローバル・スタディーズ関連科目及び日本語・日本文化関連科目から６単位以上［他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。］

参照１➡具体的な授業科目名称及び必修･選択必修･選択の内訳等→「教育課程表」

参照２➡編入学生の卒業要件等→P.137「卒業要件」

（社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生）

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

科目区分 / 専攻	共通科目							専門科目				合計
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計	
		人間形成	国際理解	社会生活								
		選択必修				選択						
日本語専攻	−	4	4	4	−	20	32	32	46	14	92	124
グローバル・スタディーズ専攻	−	4	4	4	−	20	32	46	40	6	92	124

日本語専攻

共通科目（32単位）
① 人間力形成教育の人間形成から４単位
② 人間力形成教育の国際理解から４単位
③ 人間力形成教育の社会生活から４単位
④ ①から③によるもののほか、共通科目全体（基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育）から20単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）
① 専門基礎から必修12単位
② ILPの英語から必修６単位
③ 日本語・日本文化関連科目の日本語学から必修２単位を含めて18単位
④ 日本語・日本文化関連科目の言語学から８単位
⑤ 日本語・日本文化関連科目の文学・文化から８単位
⑥ 日本語・日本文化関連科目の日本語教育から必修４単位を含めて18単位
⑦ 卒業研究から必修８単位
⑧ ①から⑦によるもののほか、ILP、日本語･日本文化関連科目及びグローバル･スタディーズ関連科目から14単位以上［他学部･他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。］

グローバル・スタディーズ専攻

共通科目（32単位）
① 人間力形成教育の人間形成から４単位
② 人間力形成教育の国際理解から４単位
③ 人間力形成教育の社会生活から４単位
④ ①から③によるもののほか、共通科目全体（基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育）から20単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）
① 専門基礎から必修12単位
② ILPの英語から必修６単位
③ ILPの中国語または日本語から母語以外の１言語４単位
④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位
⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修４単位を含めて20単位
⑥ 日本語・日本文化関連科目から必修６単位を含めて26単位
⑦ 卒業研究から必修８単位
⑧ ①から⑦によるもののほか、グローバル・スタディーズ関連科目及び日本語・日本文化関連科目から６単位以上［他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。］

参照➡具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

2020年度以前入学生

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

専攻＼科目区分	共通科目							専門科目				合計
	基礎教育［特別科目※］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計	
		人間形成	国際理解	社会生活								
	必修	選択必修			必修	選択						
日本語専攻	8	4	4	4	6	6	32	26	48	18	92	124
グローバル・スタディーズ専攻	8	4	4	4	6	6	32	40	48	4	92	124

日本語専攻

共通科目（32単位）
① 基礎教育から必修８単位
※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 人間力形成教育の人間形成から４単位
③ 人間力形成教育の国際理解から４単位
④ 人間力形成教育の社会生活から４単位
⑤ キャリア形成教育から必修６単位
⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から６単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）
① 専門基礎から必修12単位
② ILPの英語、中国語または日本語から母語以外の２言語10単位
③ 日本語・日本文化関連科目の日本語学から必修２単位を含めて16単位
④ 日本語・日本文化関連科目の言語学から４単位
⑤ 日本語・日本文化関連科目の文学・文化から４単位
⑥ 日本語・日本文化関連科目の日本語教育から必修４単位を含めて16単位
⑦ 卒業研究から必修８単位
⑧ 他学部・他学科開放科目（専門科目）から４単位
⑨ ①から⑧によるもののほか、日本語・日本文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から18単位以上［他学部・他学科開放科目（専門科目）で４単位を超えて修得した単位を含む。］

グローバル・スタディーズ専攻

共通科目（32単位）
① 基礎教育から必修８単位
※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 人間力形成教育の人間形成から４単位
③ 人間力形成教育の国際理解から４単位
④ 人間力形成教育の社会生活から４単位
⑤ キャリア形成教育から必修６単位
⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から６単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）
① 専門基礎から必修12単位
② ILPの英語、中国語または日本語から母語以外の２言語10単位
③ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位
④ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルのA分野から必修４単位を含めて12単位
⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルのB分野から８単位
⑥ グローバル・スタディーズ関連科目のフィールドワークから２単位
⑦ 日本語・日本文化関連科目から必修６単位を含めて26単位
⑧ 卒業研究から必修８単位
⑨ ①から⑧によるもののほか、グローバル・スタディーズ関連科目及び日本語・日本文化関連科目から４単位以上［他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。］

参照１➡具体的な授業科目名称及び必修･選択必修･選択の内訳等→「教育課程表」

参照２➡編入学生の卒業要件等→P.137「卒業要件」

英米語学科

2021年度以降入学生

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

科目区分 / 専攻	共通科目							専門科目				合計
	基礎教育［特別科目※］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計	
		人間形成	国際理解	社会生活								
	必修	選択必修			必修	選択						
英米語専攻	8	4	4	4	6	6	32	48	40	4	92	124
グローバル・スタディーズ専攻	8	4	4	4	6	6	32	66	24	2	92	124

英米語専攻

共通科目（32単位）
① 基礎教育から必修８単位
※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 人間力形成教育の人間形成から４単位
③ 人間力形成教育の国際理解から４単位
④ 人間力形成教育の社会生活から４単位
⑤ キャリア形成教育から必修６単位
⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から６単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）
① 専門基礎から必修12単位
② ILPの英語から必修24単位
③ ILPの中国語または日本語から母語以外の１言語４単位
④ 英米語・英米文化関連科目の概論科目から２分野８単位
（「異文化コミュニケーション」、「英語学」、「英米文学」及び「英語教育学」の４分野のうち２分野）
⑤ 英米語・英米文化関連科目の専攻基礎科目から８単位
⑥ 英米語・英米文化関連科目のSKILL科目から８単位
⑦ 英米語・英米文化関連科目の特講科目及び特殊研究科目から10単位
⑧ グローバル・スタディーズ関連科目から必修４単位含めて６単位
⑨ 卒業研究から必修８単位
⑩ ①から⑨によるもののほか、英米語・英米文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から４単位以上［他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。］

グローバル・スタディーズ専攻

共通科目（32単位）
① 基礎教育から必修８単位
※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 人間力形成教育の人間形成から４単位
③ 人間力形成教育の国際理解から４単位
④ 人間力形成教育の社会生活から４単位
⑤ キャリア形成教育から必修６単位
⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から６単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）
① 専門基礎から必修12単位
② ILPの英語から必修24単位
③ ILPの中国語または日本語から母語以外の１言語４単位
④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位
⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修12単位を含めて22単位
⑥ 英米語・英米文化関連科目の専攻基礎科目から２単位
⑦ 英米語・英米文化関連科目のSKILL科目から４単位
⑧ 英米語・英米文化関連科目の特講科目から４単位
⑨ 卒業研究から必修８単位
⑩ ①から⑨によるもののほか、グローバル・スタディーズ関連科目及び英米語・英米文化関連科目から２単位以上［他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。］

参照１➡具体的な授業科目名称及び必修･選択必修･選択の内訳等→「教育課程表」

参照２➡編入学生の卒業要件等→P.137「卒業要件」

（社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生）

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

科目区分 ＼ 専攻	共通科目							専門科目				合計
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計	
		人間形成	国際理解	社会生活								
		選択必修				選択						
英米語専攻	−	4	4	4	−	20	32	48	40	4	92	124
グローバル・スタディーズ専攻	−	4	4	4	−	20	32	66	24	2	92	124

英米語専攻

共通科目（32単位）
① 人間力形成教育の人間形成から４単位
② 人間力形成教育の国際理解から４単位
③ 人間力形成教育の社会生活から４単位
④ ①から③によるもののほか、共通科目全体（基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育）から20単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）
① 専門基礎から必修12単位
② ILPの英語から必修24単位
③ ILPの中国語または日本語から母語以外の１言語４単位
④ 英米語・英米文化関連科目の概論科目から２分野８単位
（「異文化コミュニケーション」、「英語学」、「英米文学」及び「英語教育学」の４分野のうち２分野）
⑤ 英米語・英米文化関連科目の専攻基礎科目から８単位
⑥ 英米語・英米文化関連科目のSKILL科目から８単位
⑦ 英米語・英米文化関連科目の特講科目及び特殊研究科目から10単位
⑧ グローバル・スタディーズ関連科目から必修４単位含めて６単位
⑨ 卒業研究から必修８単位
⑩ ①から⑨によるもののほか、英米語・英米文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から４単位以上［他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。］

グローバル・スタディーズ専攻

共通科目（32単位）
① 人間力形成教育の人間形成から４単位
② 人間力形成教育の国際理解から４単位
③ 人間力形成教育の社会生活から４単位
④ ①から③によるもののほか、共通科目全体（基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育）から20単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）
① 専門基礎から必修12単位
② ILPの英語から必修24単位
③ ILPの中国語または日本語から母語以外の１言語４単位
④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位
⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修12単位を含めて22単位
⑥ 英米語・英米文化関連科目の専攻基礎科目から２単位
⑦ 英米語・英米文化関連科目のSKILL科目から４単位
⑧ 英米語・英米文化関連科目の特講科目から４単位
⑨ 卒業研究から必修８単位
⑩ ①～⑨によるもののほか、グローバル・スタディーズ関連科目及び英米語・英米文化関連科目から２単位以上［他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。］

参照➡具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

2020年度以前入学生

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

専攻＼科目区分	共通科目							専門科目				合計
	基礎教育［特別科目※］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計	
		人間形成	国際理解	社会生活								
	必修	選択必修			必修	選択						
英米語専攻	8	4	4	4	6	6	32	48	44		92	124
グローバル・スタディーズ専攻	8	4	4	4	6	6	32	68	24		92	124

英米語専攻

共通科目（32単位）

① 基礎教育から必修８単位
※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 人間力形成教育の人間形成から４単位
③ 人間力形成教育の国際理解から４単位
④ 人間力形成教育の社会生活から４単位
⑤ キャリア形成教育から必修６単位
⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から６単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）

① 専門基礎から必修12単位
② ILPの英語から必修24単位
③ ILPの中国語または日本語から母語以外の１言語４単位
④ 英米語・英米文化関連科目の概論科目から２分野８単位
（「異文化コミュニケーション」、「英語学」、「英米文学」及び「英語教育学」の４分野のうち２分野）
⑤ 英米語・英米文化関連科目の専攻基礎科目から８単位
⑥ 英米語・英米文化関連科目のSKILL科目から８単位
⑦ 英米語・英米文化関連科目の特講科目及び特殊研究科目から10単位
⑧ グローバル・スタディーズ関連科目から必修４単位含めて６単位
⑨ 卒業研究から必修８単位
⑩ 他学部・他学科開放科目（専門科目）から４単位

グローバル・スタディーズ専攻

共通科目（32単位）

① 基礎教育から必修８単位
※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 人間力形成教育の人間形成から４単位
③ 人間力形成教育の国際理解から４単位
④ 人間力形成教育の社会生活から４単位
⑤ キャリア形成教育から必修６単位
⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から６単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）

① 専門基礎から必修12単位
② ILPの英語から必修24単位
③ ILPの中国語または日本語から母語以外の１言語４単位
④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位
⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修14単位を含めて22単位
⑥ グローバル・スタディーズ関連科目のフィールドワークから２単位
⑦ 英米語・英米文化関連科目の専攻基礎科目から２単位
⑧ 英米語・英米文化関連科目のSKILL科目から４単位
⑨ 英米語・英米文化関連科目の特講科目から４単位
⑩ 卒業研究から必修８単位

参照１➡具体的な授業科目名称及び必修･選択必修･選択の内訳等→「教育課程表」

参照２➡編入学生の卒業要件等→P.137「卒業要件」

中国語学科

2021年度以降入学生

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

専攻＼科目区分	共通科目							専門科目				合計
	基礎教育［特別科目※］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計	
		人間形成	国際理解	社会生活								
	必修	選択必修			必修	選択						
中国語専攻	8	4	4	4	6	6	32	64	24	4	92	124
グローバル・スタディーズ専攻	8	4	4	4	6	6	32	58	30	4	92	124

中国語専攻

共通科目（32単位）
① 基礎教育から必修８単位
※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 人間力形成教育の人間形成から４単位
③ 人間力形成教育の国際理解から４単位
④ 人間力形成教育の社会生活から４単位
⑤ キャリア形成教育から必修６単位
⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から６単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）
① 専門基礎から必修12単位
② ILPの中国語から必修32単位
③ ILPの英語または日本語から母語以外の１言語４単位
④ 中国語・中国文化関連科目の中国研究から必修12単位
⑤ 中国語・中国文化関連科目のSKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から20単位
⑥ 卒業研究から必修８単位
⑦ ①から⑥によるもののほか、中国語・中国文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から４単位以上［他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。］

グローバル・スタディーズ専攻

共通科目（32単位）
① 基礎教育から必修８単位
※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 人間力形成教育の人間形成から４単位
③ 人間力形成教育の国際理解から４単位
④ 人間力形成教育の社会生活から４単位
⑤ キャリア形成教育から必修６単位
⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から６単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）
① 専門基礎から必修８単位を含めて12単位
② ILPの中国語から必修20単位
③ ILPの英語または日本語から母語以外の１言語４単位
④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位
⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修８単位を含めて18単位
⑥ 中国語・中国文化関連科目の中国研究から必修４単位を含めて８単位
⑦ 中国語・中国文化関連科目のSKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から８単位
⑧ 卒業研究から必修８単位
⑨ ①から⑧によるもののほか、グローバル・スタディーズ関連科目及び中国語・中国文化関連科目から４単位以上［他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。］

参照➡具体的な授業科目名称及び必修･選択必修･選択の内訳等→「教育課程表」

（社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生）

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

科目区分 / 専攻	共通科目							専門科目				合計
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計	
		人間形成	国際理解	社会生活								
		選択必修				選択						
中国語専攻	−	4	4	4	−	20	32	64	24	4	92	124
グローバル・スタディーズ専攻	−	4	4	4	−	20	32	58	30	4	92	124

中国語専攻

共通科目（32単位）

① 人間力形成教育の人間形成から４単位
② 人間力形成教育の国際理解から４単位
③ 人間力形成教育の社会生活から４単位
④ ①から③によるもののほか、共通科目全体（基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育）から20単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）

① 専門基礎から必修12単位
② ILPの中国語から必修32単位
③ ILPの英語または日本語から母語以外の１言語４単位
④ 中国語・中国文化関連科目の中国研究から必修12単位
⑤ 中国語・中国文化関連科目のSKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から20単位
⑥ 卒業研究から必修８単位
⑦ ①から⑥によるもののほか、中国語・中国文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から４単位以上［他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。］

グローバル・スタディーズ専攻

共通科目（32単位）

① 人間力形成教育の人間形成から４単位
② 人間力形成教育の国際理解から４単位
③ 人間力形成教育の社会生活から４単位
④ ①から③によるもののほか、共通科目全体（基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育）から20単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）

① 専門基礎から必修８単位を含めて12単位
② ILPの中国語から必修20単位
③ ILPの英語または日本語から母語以外の１言語４単位
④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位
⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修８単位を含めて18単位
⑥ 中国語・中国文化関連科目の中国研究から必修４単位を含めて８単位
⑦ 中国語・中国文化関連科目のSKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から８単位
⑧ 卒業研究から必修８単位
⑨ ①から⑧によるもののほか、グローバル・スタディーズ関連科目及び中国語・中国文化関連科目から４単位以上［他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。］

参照➡具体的な授業科目名称及び必修･選択必修･選択の内訳等→「教育課程表」

2020年度以前入学生

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

科目区分 / 専攻	共通科目							専門科目				合計
	基礎教育［特別科目※］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計	
		人間形成	国際理解	社会生活								
	必修	選択必修			必修	選択						
中国語専攻	8	4	4	4	6	6	32	64	28		92	124
2017~2020年度入学生 グローバル・スタディーズ専攻	8	4	4	4	6	6	32	58	30	4	92	124
2016年度入学生 グローバル・スタディーズ専攻	8	4	4	4	6	6	32	62	26	4	92	124

中国語専攻

共通科目（32単位）
① 基礎教育から必修８単位
※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 人間力形成教育の人間形成から４単位
③ 人間力形成教育の国際理解から４単位
④ 人間力形成教育の社会生活から４単位
⑤ キャリア形成教育から必修６単位
⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から６単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）
① 専門基礎から必修12単位
② ILPの中国語から必修32単位
③ ILPの英語または日本語から母語以外の１言語４単位
④ 中国語・中国文化関連科目のSKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から16単位
⑤ 中国語・中国文化関連科目の中国研究から必修12単位
⑥ グローバル・スタディーズ関連科目から４単位
⑦ 卒業研究から必修８単位
⑧ 他学部・他学科開放科目（専門科目）から４単位

グローバル・スタディーズ専攻

共通科目（32単位）
① 基礎教育から必修８単位
※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 人間力形成教育の人間形成から４単位
③ 人間力形成教育の国際理解から４単位
④ 人間力形成教育の社会生活から４単位
⑤ キャリア形成教育から必修６単位
⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から６単位以上［他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。］

専門科目（92単位）
① ［2017～2020年度入学生］
専門基礎から必修８単位を含めて12単位
［2016年度入学生］
専門基礎から必修12単位
② ILPの中国語から必修20単位
③ ILPの英語または日本語から母語以外の１言語４単位
④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位
⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修８単位を含めて16単位
⑥ グローバル・スタディーズ関連科目のフィールドワークから２単位
⑦ 中国語・中国文化関連科目のSKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から８単位
⑧ 中国語・中国文化関連科目の中国研究から必修４単位を含めて８単位
⑨ 卒業研究から必修８単位
⑩ ①から⑨によるもののほか、グローバル・スタディーズ関連科目及び中国語・中国文化関連科目から４単位以上［他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。］

参照➡具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

[2] 卒業単位充足者・卒業予定者発表

卒業要件を満たした者を、次のとおり発表します。

卒業単位充足者発表	2月13日（月）9：00 発表場所：2101・2103大講義室横掲示板

※卒業単位充足者：後学期定期試験終了時までの成績で卒業の要件を満たした者

卒業予定者発表	3月1日（水）9：00 発表場所：2101・2103大講義室横掲示板

※卒業予定者：後学期追・再試験終了時までの成績で卒業の要件を満たし、当該年度末に卒業が認定される予定の者

学位記授与式	3月15日（水）

※9月卒業

2022年度前学期に4年（8学期）に在籍する者は、9月卒業を希望する･しないにかかわらず、9月卒業対象者となりますので、諸手続の日程（成績表交付、成績調査等）に十分注意してください。

卒業単位充足者発表	8月19日（金）9：00 発表場所：2101・2103大講義室横掲示板

※卒業単位充足者：前学期定期試験終了時までの成績で卒業の要件を満たした者

卒業予定者発表	9月5日（月）9：00 発表場所：2101・2103大講義室横掲示板

※卒業予定者：前学期追・再試験終了時までの成績で卒業の要件を満たし、前学期末に卒業が認定される予定の者

学位記授与式	9月14日（水）

[3] 学　位

卒業要件を満たした者には、次のとおり学士の学位が授与されます。

学　科	学　位
日本語学科	学士（日本語学）
英米語学科	学士（英米語学）
中国語学科	学士（中国語学）

3　年次（学期）別基準単位数

年次（学期）別基準単位数は、４年（８学期）間で卒業要件単位数（最低）を充足するために、各年次終了時までに修得しておくことが望ましい単位数の目安を科目区分別に示しています。４年（８学期）間の学修計画を立てる際の参考として活用してください。また、修得単位数がこの年次（学期）別基準単位数を著しく下回っている場合は、今後の修学を滞りなく行うためにも、早い時期に指導教員又は学事課（教務担当）へ相談するようにしてください。

なお、この年次（学期）別基準単位数は、あくまでも最低限修得しておくことが望ましい単位数の目安を提示しているもので、進級や卒業を保証するものではありません。

年次（学期）別基準単位数の見方

自分が入学した年度及び在籍する専攻の年次（学期）別基準単位数を確認してください。

卒業に必要な単位数（最低）を授業科目区分ごとに表示

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育［特別科目＊］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間
		人間形成	国際理解	社会生活										
	必修	選択必修			必修	選択								
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	32	46	14	92	124		
1年（1学期）	4	※（4～）					8	7	2		9	17	17	36
1年（2学期）	8	※（8～）			2		18	14	4		18	36	19	

修得しておくことが望ましい単位数の目安を学年（学期）毎に**累計**で表示

＊　修得単位数とは、成績評価の結果、合格（S～C）又は認定（N）となった単位数

留意点

修得単位数は、単位が認定される学期に計上されますので、通年科目については注意してください。

例

		前学期科目（2単位）	後学期科目（2単位）	通年科目（4単位）
修得単位数	前学期	2	－	0
	後学期	－	2	4

2021年度以降入学生

日本語学科　　日本語専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育［特別科目＊］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計			
		人間形成	国際理解	社会生活										
	必修	選択必修			必修	選択							学期	年間
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	32	46	14	92	124		
1年（1学期）	4	※（4～）					8	7	2		9	17	17	36
1年（2学期）	8	※（8～）			2		18	14	4		18	36	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計36単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 1年次の必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 選択必修科目（※印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）	8	※（8～）			4		20	16	18		34	54	18	36
2年（4学期）	8	4	4	4	6		26	22	24		46	72	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計72単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 2年次までの必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）	8	4	4	4	6	2	28	22	38		60	88	16	36
3年（6学期）	8	4	4	4	6	6	32	28	46	2	76	108	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計108単位を目安とする。

4年（7学期）	8	4	4	4	6	6	32	28	46	8	82	114	6	16
4年（8学期）	8	4	4	4	6	6	32	32	46	14	92	124	10	

日本語学科　　グローバル・スタディーズ専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育［特別科目＊］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計			
		人間形成	国際理解	社会生活										
	必修	選択必修			必修	選択							学期	年間
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	46	40	6	92	124		
1年（1学期）	4	※（2～）					6	7	4		11	17	17	36
1年（2学期）	8	※（4～）			2		14	14	8		22	36	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計36単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 1年次の必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 選択必修科目（※印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）	8	※（8～）			4		20	20	14		34	54	18	36
2年（4学期）	8	4	4	4	6		26	30	16		46	72	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計72単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 2年次までの必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）	8	4	4	4	6	2	28	34	26		60	88	16	36
3年（6学期）	8	4	4	4	6	6	32	42	34		76	108	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計108単位を目安とする。

4年（7学期）	8	4	4	4	6	6	32	42	40		82	114	6	16
4年（8学期）	8	4	4	4	6	6	32	46	40	6	92	124	10	

（社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生）

日本語学科　　日本語専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間
		人間形成	国際理解	社会生活										
		選択必修				選択								
卒業要件単位数		4	4	4		20	32	32	46	14	92	124		
1年（1学期）		※（2～）				※（4～）	6	7	4		11	17	17	36
1年（2学期）		※（4～）				※（10～）	14	14	8		22	36	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計36単位を目安とする。
＜留意点＞ ① 1年次の必修科目（専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）		※（8～）				※（12～）	20	16	18		34	54	18	36
2年（4学期）		4	4	4		※（14～）	26	22	24		46	72	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計72単位を目安とする。
＜留意点＞ ① 2年次までの必修科目（専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）		4	4	4		※（16～）	28	24	36		60	88	16	36
3年（6学期）		4	4	4		20	32	28	46	2	76	108	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計108単位を目安とする。

4年（7学期）		4	4	4		20	32	28	46	8	82	114	6	16
4年（8学期）		4	4	4		20	32	32	46	14	92	124	10	

日本語学科　　グローバル・スタディーズ専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間
		人間形成	国際理解	社会生活										
		選択必修				選択								
卒業要件単位数		4	4	4		20	32	46	40	6	92	124		
1年（1学期）		※（2～）				※（4～）	6	7	4		11	17	17	36
1年（2学期）		※（4～）				※（10～）	14	14	8		22	36	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計36単位を目安とする。
＜留意点＞ ① 1年次の必修科目（専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）		※（8～）				※（12～）	20	20	14		34	54	18	36
2年（4学期）		4	4	4		※（14～）	26	30	16		46	72	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計72単位を目安とする。
＜留意点＞ ① 2年次までの必修科目（専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）		4	4	4		※（16～）	28	34	26		60	88	16	36
3年（6学期）		4	4	4		20	32	42	34		76	108	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計108単位を目安とする。

4年（7学期）		4	4	4		20	32	42	40		82	114	6	16
4年（8学期）		4	4	4		20	32	46	40	6	92	124	10	

英米語学科　英米語専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育［特別科目＊］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計			
		人間形成	国際理解	社会生活										
	必修	選択必修			必修	選択							学期	年間
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	48	40	4	92	124		
1年（1学期）	4	※（0～2）					4	10	2～4		12	16	16	32
1年（2学期）	8	※（0～4）			2		10	18	4～8		22	32	16	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計32単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 1年次の必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）	8	※（4～）			4		16	26	8		34	50	18	36
2年（4学期）	8	※（8～）			6		22	38	8		46	68	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計68単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 2年次までの必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）	8	4	4	4	6	2	28	40	18		58	86	18	38
3年（6学期）	8	4	4	4	6	6	32	44	30		74	106	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計106単位を目安とする。

4年（7学期）	8	4	4	4	6	6	32	44	38		82	114	8	18
4年（8学期）	8	4	4	4	6	6	32	48	40	4	92	124	10	

英米語学科　グローバル・スタディーズ専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育［特別科目＊］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計			
		人間形成	国際理解	社会生活										
	必修	選択必修			必修	選択							学期	年間
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	66	24	2	92	124		
1年（1学期）	4	※（0～4）					4	10	2		12	16	16	32
1年（2学期）	8	※（0～8）			2		10	18	4		22	32	16	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計32単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 1年次の必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）	8	※（2～）			4		14	30	6		36	50	18	36
2年（4学期）	8	※（2～）			6		16	46	6		52	68	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計68単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 2年次までの必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）	8	4	4	4	6		26	52	8		60	86	18	38
3年（6学期）	8	4	4	4	6	6	32	62	12		74	106	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計106単位を目安とする。

4年（7学期）	8	4	4	4	6	6	32	62	20		82	114	8	18
4年（8学期）	8	4	4	4	6	6	32	66	24	2	92	124	10	

（社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生）

英米語学科　　英米語専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間
		人間形成	国際理解	社会生活										
		選択必修				選択								
卒業要件単位数		4	4	4		20	32	48	40	4	92	124		
1年（1学期）		※（2～）				※（2～）	4	10	2～4		12	16	16	32
1年（2学期）		※（4～）				※（6～）	10	18	4～8		22	32	16	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計32単位を目安とする。
＜留意点＞　① 1年次の必修科目（専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）		※（4～）				※（12～）	16	26	8		34	50	18	36
2年（4学期）		※（8～）				※（14～）	22	38	8		46	68	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計68単位を目安とする。
＜留意点＞　① 2年次までの必修科目（専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）		4	4	4		※（16～）	28	40	18		58	86	18	38
3年（6学期）		4	4	4		20	32	44	30		74	106	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計106単位を目安とする。

4年（7学期）		4	4	4		20	32	44	38		82	114	8	18
4年（8学期）		4	4	4		20	32	48	40	4	92	124	10	

英米語学科　　グローバル・スタディーズ専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間
		人間形成	国際理解	社会生活										
		選択必修				選択								
卒業要件単位数		4	4	4		20	32	66	24	2	92	124		
1年（1学期）		※（4～）					4	10	2		12	16	16	32
1年（2学期）		※（8～）				※（2～）	10	18	4		22	32	16	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計32単位を目安とする。
＜留意点＞　① 1年次の必修科目（専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）		※（8～）				※（6～）	14	30	4		36	50	18	36
2年（4学期）		※（8～）				※（8～）	16	46	4		52	68	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計68単位を目安とする。
＜留意点＞　① 2年次までの必修科目（専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）		4	4	4		※（14～）	26	52	8		60	86	18	38
3年（6学期）		4	4	4		20	32	62	12		74	106	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計106単位を目安とする。

4年（7学期）		4	4	4		20	32	62	20		82	114	8	18
4年（8学期）		4	4	4		20	32	66	24	2	92	124	10	

中国語学科　　中国語専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育［特別科目＊］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計			
		人間形成	国際理解	社会生活										
	必修	選択必修			必修	選択							学期	年間
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	64	24	4	92	124		
1年（1学期）	4	※（0～2）					4	13	2		15	19	19	38
1年（2学期）	8	※（0～4）			2		10	24	4		28	38	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計38単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 1年次の必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）	8	※（4～）			4		16	35	6		41	57	19	36
2年（4学期）	8	※（4～）			6		18	50	6		56	74	17	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計74単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 2年次までの必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）	8	4	4	4	6		26	52	12		64	90	16	36
3年（6学期）	8	4	4	4	6	6	32	60	18		78	110	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計110単位を目安とする。

4年（7学期）	8	4	4	4	6	6	32	60	22	2	84	116	6	14
4年（8学期）	8	4	4	4	6	6	32	64	24	4	92	124	8	

中国語学科　　グローバル・スタディーズ専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育［特別科目＊］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計			
		人間形成	国際理解	社会生活										
	必修	選択必修			必修	選択							学期	年間
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	58	30	4	92	124		
1年（1学期）	4	※（0～2）					4	13	2		15	19	19	38
1年（2学期）	8	※（0～4）			2		10	24	4		28	38	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計38単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 1年次の必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）	8	※（4～）			4		16	30	6		36	52	14	36
2年（4学期）	8	※（8～）			6		22	42	10		52	74	22	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計74単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 2年次までの必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）	8	4	4	4	6		26	46	18		64	90	16	36
3年（6学期）	8	4	4	4	6	6	32	54	24		78	110	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計110単位を目安とする。

4年（7学期）	8	4	4	4	6	6	32	54	28	2	84	116	6	14
4年（8学期）	8	4	4	4	6	6	32	58	30	4	92	124	8	

（社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生）

中国語学科　　中国語専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間
		人間形成	国際理解	社会生活										
		選択必修				選択								
卒業要件単位数		4	4	4		20	32	64	24	4	92	124		
1年（1学期）		※（0～2）				※（4～）	4	13	2		15	19	19	38
1年（2学期）		※（0～4）				※（10～）	10	24	4		28	38	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計38単位を目安とする。
＜留意点＞　① 1年次の必修科目（専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）		※（4～）				※（12～）	16	35	6		41	57	19	36
2年（4学期）		※（4～）				※（14～）	18	50	6		56	74	17	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計74単位を目安とする。
＜留意点＞　① 2年次までの必修科目（専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）		4	4	4		※（14～）	26	52	12		64	90	16	36
3年（6学期）		4	4	4		20	32	60	18		78	110	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計110単位を目安とする。

4年（7学期）		4	4	4		20	32	60	22	2	84	116	6	14
4年（8学期）		4	4	4		20	32	64	24	4	92	124	8	

中国語学科　　グローバル・スタディーズ専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間
		人間形成	国際理解	社会生活										
		選択必修				選択								
卒業要件単位数		4	4	4		20	32	58	30	4	92	124		
1年（1学期）		※（0～2）				※（4～）	4	13	2		15	19	19	38
1年（2学期）		※（0～4）				※（10～）	10	24	4		28	38	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計38単位を目安とする。
＜留意点＞　① 1年次の必修科目（専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）		※（4～）				※（12～）	16	30	6		36	52	14	36
2年（4学期）		※（8～）				※（14～）	22	42	10		52	74	22	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計74単位を目安とする。
＜留意点＞　① 2年次までの必修科目（専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）		4	4	4		※（14～）	26	46	18		64	90	16	36
3年（6学期）		4	4	4		20	32	54	24		78	110	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計110単位を目安とする。

4年（7学期）		4	4	4		20	32	54	28	2	84	116	6	14
4年（8学期）		4	4	4		20	32	58	30	4	92	124	8	

2020年度以前入学生

日本語学科　日本語専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育［特別科目＊］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間
		人間形成	国際理解	社会生活										
	必修	選択必修			必修	選択								
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	26	48	18	92	124		
1年（1学期）	4	※（2～）					6	5	6		11	17	17	36
1年（2学期）	8	※（4～）			2		14	10	12		22	36	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計36単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 1年次の必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 選択必修科目（※印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）	8	※（8～）			4		20	11	23		34	54	18	36
2年（4学期）	8	4	4	4	6		26	16	30		46	72	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計72単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 2年次までの必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）	8	4	4	4	6	2	28	18	42		60	88	16	36
3年（6学期）	8	4	4	4	6	6	32	22	48	6	76	108	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計108単位を目安とする。

4年（7学期）	8	4	4	4	6	6	32	22	48	12	82	114	6	16
4年（8学期）	8	4	4	4	6	6	32	26	48	18	92	124	10	

日本語学科　グローバル・スタディーズ専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育［特別科目＊］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間
		人間形成	国際理解	社会生活										
	必修	選択必修			必修	選択								
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	40	48	4	92	124		
1年（1学期）	4	※（2～）					6	5	6		11	17	17	36
1年（2学期）	8	※（4～）			2		14	10	12		22	36	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計36単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 1年次の必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 選択必修科目（※印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）	8	※（8～）			4		20	15	19		34	54	18	36
2年（4学期）	8	4	4	4	6		26	24	22		46	72	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計72単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 2年次までの必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）	8	4	4	4	6	2	28	28	32		60	88	16	36
3年（6学期）	8	4	4	4	6	6	32	36	40		76	108	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計108単位を目安とする。

4年（7学期）	8	4	4	4	6	6	32	36	46		82	114	6	16
4年（8学期）	8	4	4	4	6	6	32	40	48	4	92	124	10	

英米語学科　英米語専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育［特別科目＊］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計			
		人間形成	国際理解	社会生活										
	必修	選択必修			必修	選択							学期	年間
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	48	44		92	124		
1年（1学期）	4	※（0～2）					4	10	2～4		12	16	16	32
1年（2学期）	8	※（0～4）			2		10	18	4～8		22	32	16	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計32単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 1年次の必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。

＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。

② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）	8	※（4～）			4		16	26	8		34	50	18	36
2年（4学期）	8	※（8～）			6		22	38	8		46	68	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計68単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 2年次までの必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。

② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）	8	4	4	4	6	2	28	40	18		58	86	18	38
3年（6学期）	8	4	4	4	6	6	32	44	30		74	106	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計106単位を目安とする。

4年（7学期）	8	4	4	4	6	6	32	44	38		82	114	8	18
4年（8学期）	8	4	4	4	6	6	32	48	44		92	124	10	

英米語学科　グローバル・スタディーズ専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育［特別科目＊］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計			
		人間形成	国際理解	社会生活										
	必修	選択必修			必修	選択							学期	年間
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	68	24		92	124		
1年（1学期）	4	※（0～4）					4	10	2		12	16	16	32
1年（2学期）	8	※（0～8）			2		10	18	4		22	32	16	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計32単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 1年次の必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。

＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。

② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）	8	※（2～）			4		14	32	4		36	50	18	36
2年（4学期）	8	※（2～）			6		16	48	4		52	68	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計68単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 2年次までの必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。

② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）	8	4	4	4	6		26	54	6		60	86	18	38
3年（6学期）	8	4	4	4	6	6	32	64	10		74	106	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計106単位を目安とする。

4年（7学期）	8	4	4	4	6	6	32	64	18		82	114	8	18
4年（8学期）	8	4	4	4	6	6	32	68	24		92	124	10	

中国語学科　　中国語専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育［特別科目＊］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計			
		人間形成	国際理解	社会生活										
	必修	選択必修			必修	選択							学期	年間
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	64	28		92	124		
1年（1学期）	4	※（0～2）					4	13	2		15	19	19	38
1年（2学期）	8	※（0～4）			2		10	24	4		28	38	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計38単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 1年次の必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）	8	※（4～）			4		16	35	6		41	57	19	36
2年（4学期）	8	※（4～）			6		18	50	6		56	74	17	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計74単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 2年次までの必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）	8	4	4	4	6		26	52	12		64	90	16	36
3年（6学期）	8	4	4	4	6	6	32	60	18		78	110	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計110単位を目安とする。

4年（7学期）	8	4	4	4	6	6	32	60	24		84	116	6	14
4年（8学期）	8	4	4	4	6	6	32	64	28		92	124	8	

中国語学科　　グローバル・スタディーズ専攻

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育［特別科目＊］	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計			
		人間形成	国際理解	社会生活										
	必修	選択必修			必修	選択							学期	年間
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	58	30	4	92	124		
1年（1学期）	4	※（0～2）					4	13	2		15	19	19	38
1年（2学期）	8	※（0～4）			2		10	24	4		28	38	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計38単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 1年次の必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）	8	※（4～）			4		16	30	10		40	56	18	36
2年（4学期）	8	※（8～）			6		22	42	10		52	74	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計74単位を目安とする。

＜留意点＞ ① 2年次までの必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
② 選択必修科目（※ 印）は、各自の履修計画に従い、上表の（　）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）	8	4	4	4	6		26	46	18		64	90	16	36
3年（6学期）	8	4	4	4	6	6	32	54	24		78	110	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計110単位を目安とする。

4年（7学期）	8	4	4	4	6	6	32	54	28	2	84	116	6	14
4年（8学期）	8	4	4	4	6	6	32	58	30	4	92	124	8	

10 教育課程表

外国語学部　日本語学科　日本語専攻　教育課程表（2021年度以降入学生用）

2022年度版（21・22日－日）

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）(2) 特別科目：アカデミック日本語Ⅰ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅱ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅲ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。			8	32	124
	人間力形成教育 人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2)　文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2)　からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2)　スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)　ボランティア活動B(2)	人間形成ゼミナール(2)			4		
	人間力形成教育 国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2)　国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B（留）(2)　フランス語とフランス文化A(2)　フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2)　ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2)　韓国語と韓国文化B(2)　中国語と中国文化A(2)　中国語と中国文化B(2)　英語文化研究A(2) 英語文化研究B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)　異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)			4		
	人間力形成教育 社会生活	法学(2)　日本国憲法(2)　経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2)　自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)　身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)			4		
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			6		
				キャリアデザイン(4)				
		＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
			特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
		＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
		＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12	92	
	ILP 英語	●英語Ⅰ-a(1)　●英語Ⅱ-a(1) ●英語Ⅰ-b(1)　●英語Ⅱ-b(1)	●英語Ⅲ-a(1) ●英語Ⅲ-b(1)			6		
	ILP 中国語	中国語Ⅰ-a(1)　中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)　中国語Ⅱ-b(1)	＜ILP（中国語及び日本語）の履修上の注意点＞ 各言語（中国語または日本語）を母語とする者は、当該科目を履修できません。					
	ILP 日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
	日本語・日本文化関連科目 日本語学	●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2)	日本語学基礎演習(2) 日本語方言学(2) 音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2) 敬語表現法(2)	日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2)	日本語史Ⅰ(2) 日本語史Ⅱ(2) 表記法概論(2)	18		
	日本語・日本文化関連科目 言語学		言語学概論(2)	応用言語学(2) 社会言語学(2) 対照言語学(2)	言語研究法（2） コンピュータ言語学(2)	8		
	日本語・日本文化関連科目 文学・文化		日本文学概論(2) 漢文学概論(2) 漢文学講義(2)	日本文学史(2) 近現代文学(2) 古典概説(2) 古典演習(2)	漢文学演習Ⅰ(2) 漢文学演習Ⅱ(2)	8		
	日本語・日本文化関連科目 日本語教育	●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)	日本語教育演習(2) 日本語教材論(2) 検定対策Ⅰ(2) 検定対策Ⅱ(2) 検定対策Ⅲ(2) 検定対策Ⅳ(2) 評価法研究(2) 教案作成研究(2) 日本語教育事情(2) 第二言語習得論(2)	音声指導法研究(2) 文型指導法研究(2) 日本語教育実習(4)	年少者日本語教育概説(2) 児童生徒のための日本語教育論(2) 日本語学習支援・実地研究(2)	18		
	グローバル・スタディーズ関連科目	Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)						
			文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2)	Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)				
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
		＜他学部・他学科開放科目（専門科目）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
合計卒業要件単位数（最低）						124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	社会人※	履修方法	社会人※
共通科目	基礎教育［特別科目］		⑧	—	必修 全4科目8単位修得 ＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	（＊修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
共通科目	人間力形成教育	人間形成	4	4	選択必修 人間形成の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
共通科目	人間力形成教育	国際理解	4	4	選択必修 国際理解の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
共通科目	人間力形成教育	社会生活	4	4	選択必修 社会生活の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
共通科目	キャリア形成教育		⑥	—	必修 全3科目6単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	（＊修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
共通科目	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6	20	選択 上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	選択 上記共通科目12単位のほかに、共通科目から20単位修得
共通科目	計		32		—	
専門科目	専門基礎		⑫		必修 全7科目12単位修得	
専門科目	ILP	英語	⑥		必修 全6科目6単位修得	
専門科目	ILP	中国語 日本語	—		各言語（中国語または日本語）を母語とする者は、当該科目を履修できません。 （＊修得した単位→「その他【ILP、日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）	
専門科目	日本語・日本文化関連科目	日本語学	18		選択必修 日本語学から必修2単位を含め18単位修得 （＊18単位を超えて修得した単位→「その他【ILP、日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）	
専門科目	日本語・日本文化関連科目	言語学	8		選択必修 言語学から8単位修得 （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【ILP、日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）	
専門科目	日本語・日本文化関連科目	文学・文化	8		選択必修 文学・文化から8単位修得 （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【ILP、日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）	
専門科目	日本語・日本文化関連科目	日本語教育	18		選択必修 日本語教育から必修4単位を含め18単位修得 （＊18単位を超えて修得した単位→「その他【ILP、日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）	
専門科目	グローバル・スタディーズ関連科目		—		（＊修得した単位→「その他【ILP、日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）	
専門科目	卒業研究		⑧		必修 全2科目8単位修得	
専門科目	その他【ILP、日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】		14		選択 上記専門科目78単位のほかに、ILP、日本語・日本文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から14単位修得 ＊他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。	
専門科目	計		92		—	
合計			124		—	

※社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生

■ 進級要件

2年（4学期）から3年（5学期）への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「日本語基礎演習（4単位）」を含む。）	14単位
「専門科目」のILP科目	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	12単位
合計	44単位

（社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生）

授業科目等	必要単位数
「専門科目」の必修科目（「日本語基礎演習（4単位）」を含む。）	14単位
「専門科目」のILP科目	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	26単位
合計	44単位

外国語学部　日本語学科　グローバル・スタディーズ専攻　教育課程表（2021年度以降入学生用）

2022年度版（21・22日ーグ）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）(2) 特別科目：アカデミック日本語Ⅰ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅱ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅲ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。			8	32	124
	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2)　文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2)　からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2)　スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)　ボランティア活動B(2)	人間形成ゼミナール(2)			4		
		国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2)　国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B（留）(2)　フランス語とフランス文化A(2)　フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2)　ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2)　韓国語と韓国文化B(2)　中国語と中国文化A(2)　中国語と中国文化B(2)　英語文化研究A(2) 英語文化研究B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)　異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)			4		
		社会生活	法学(2)　日本国憲法(2)　経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2)　自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)　身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)			4		
	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			6		
					キャリアデザイン(4)				
			＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
				特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
			＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
			＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12	92	
	ILP	英語	●英語Ⅰ-a(1)　●英語Ⅱ-a(1) ●英語Ⅰ-b(1)　●英語Ⅱ-b(1)	●英語Ⅲ-a(1) ●英語Ⅲ-b(1)			6		
		中国語	中国語Ⅰ-a(1)　中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)　中国語Ⅱ-b(1)	＜ILP（中国語及び日本語）の履修上の注意点＞ 各言語（中国語または日本語）を母語とする者は、当該科目を履修できません。			母語以外の1言語4単位		
		日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア		●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)		10		
		グローバル		中国ビジネス入門(2)			20		
				●日本研究(2) 北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) ●東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2)	国際関係概論(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2)	文化講義Ⅰ（日本）(2) 文化講義Ⅱ（異文化理解）(2) Preparation for TOEICⅡ－a(1) Preparation for TOEICⅡ－b(1)			
			Preparation for TOEIC Ⅰ-a(1) Preparation for TOEIC Ⅰ-b(1)		ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) Advanced Business English a(2) Advanced Business English b(2)			
		フィールドワーク		＜単位認定科目＞ GSM海外留学(4) GSM海外研修(2)	GSMインターンシップⅠ(2) GSMインターンシップⅡ(2)	GSMボランティアⅠ(2) GSMボランティアⅡ(2)			
	日本語・日本文化関連科目	日本語学	●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2)	音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2) 敬語表現法(2)	日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2)	日本語史Ⅰ(2) 日本語史Ⅱ(2) 表記法概論(2)	26		
		言語学		言語学概論(2)	応用言語学(2) 社会言語学(2) 対照言語学(2)	言語研究法(2) コンピュータ言語学(2)			
		文学・文化		日本文学概論(2)	日本文学史(2) 近現代文学(2)				
		日本語教育	●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)						
	卒業研究				●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
			＜他学部・他学科開放科目（専門科目）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
合計卒業要件単位数（最低）							124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	社会人※	履修方法	社会人※
共通科目	基礎教育［特別科目］		⑧	―	必修 全4科目8単位修得 ＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	（＊修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	人間力形成教育	人間形成	4	4	選択必修 人間形成の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
		国際理解	4	4	選択必修 国際理解の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
		社会生活	4	4	選択必修 社会生活の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
	キャリア形成教育		⑥	―	必修 全3科目6単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	（＊修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6	20	選択 上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	選択 上記共通科目12単位のほかに、共通科目から20単位修得
	計		32		―	
専門科目	専門基礎		⑫		必修 全7科目12単位修得	
	ILP	英語	⑥		必修 全6科目6単位修得	
		中国語 日本語	4		母語以外の1言語4科目4単位修得 （＊選択した言語以外は、履修できません。）	
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア	⑩		必修 全5科目10単位修得	
		グローバル	20		選択必修 グローバルから必修4単位を含め20単位修得 （＊20単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入）	
		フィールドワーク	―		（＊修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入）	
	日本語・日本文化関連科目		26		選択必修 必修科目6単位を含め26単位修得 （＊26単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入）	
	卒業研究		⑧		必修 全2科目8単位修得	
	その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】		6		選択 上記専門科目86単位のほかに、グローバル・スタディーズ関連科目及び日本語・日本文化関連科目から6単位修得 ＊他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。	
	計		92		―	
合計			124		―	

※社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生

■ 進級要件

2年（4学期）から3年（5学期）への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「日本語基礎演習（4単位）」を含む。）	14単位
「専門科目」のILP科目	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	12単位
合計	44単位

（社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生）

授業科目等	必要単位数
「専門科目」の必修科目（「日本語基礎演習（4単位）」を含む。）	14単位
「専門科目」のILP科目	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	26単位
合計	44単位

外国語学部　日本語学科　日本語専攻　教育課程表（2016～2020年度入学生用）

2022年度版（16－20日－日）

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）	
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）(2) 特別科目：アカデミック日本語Ⅰ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅱ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅲ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。			8	32
人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)	文学の世界(2)　心理学(2) からだと健康(2) スポーツ科学講義B(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2) 人間形成ゼミナール(2)	人類と文化(2)　日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2)	美とは何か(2)　性格とは何か(2) ボランティア講義(2)	4	
	国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2) 日本語と日本文化B（留）(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 英語文化研究B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2)　民族と宗教(2) フランス語とフランス文化A(2)　フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2)　韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2) 国際理解ゼミナール(2)	ドイツ語とドイツ文化A(2) 中国語と中国文化A(2)	異文化コミュニケーション論(2)　日本語と日本文化A(留)(2) ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2) 中国語と中国文化B(2)　英語文化研究A(2)	4	
	社会生活	法学(2)　日本国憲法(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)	経済のしくみ(2)　社会と生活(2) 自然環境論(2)　都市と生活(2) 身近な物理(2)　現代物理のはなし(2) 社会生活ゼミナール(2)		政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 生活と安全(2)　行動科学(2) 身近な化学(2)　科学技術と社会(2)	4	
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			6	
				キャリアデザイン(4)			
		＜単位認定科目＞　インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2)　インターンシップC(2) ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2) 特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)		インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)		
		＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118					
		＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム					
専門科目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12	124
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8	
	ILP 日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)	日本語Ⅲ-a(1) 日本語Ⅲ-b(1)	＜ILP科目の履修上の注意点＞（母語以外の２言語） 母語以外の２言語のみ履修することができます。 なお、日本語と英語を履修した場合、10単位を超えて修得した単位は卒業要件には算入されません。 ・日本人学生＝英語＋中国語 ・外国人留学生＝日本語６単位＋母語以外（英語又は中国語）		10	
	ILP 英語	英語Ⅰ-a(1)　英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1)　英語Ⅱ-b(1)	英語Ⅲ-a(1) 英語Ⅲ-b(1)				
	ILP 中国語	中国語Ⅰ-a(1)　中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)　中国語Ⅱ-b(1)					
	日本語・日本文化関連科目 日本語学	●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2)	日本語学基礎演習(2) 日本語方言学(2) 音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2) 敬語表現法(2)	日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2)	日本語史Ⅰ(2) 日本語史Ⅱ(2) 表記法概論(2)	16	62
	言語学		言語学概論(2)	応用言語学(2) 社会言語学Ⅰ(2) 社会言語学Ⅱ(2)	コンピュータ言語学Ⅰ(2) コンピュータ言語学Ⅱ(2)	4	
	文学・文化		日本文学概論(2) 漢文学概論(2) 漢文学講義(2)	日本文学史(2) 近現代文学(2) 古典概説(2) 古典演習(2)	漢文学演習Ⅰ(2) 漢文学演習Ⅱ(2)	4	
	日本語教育	●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)	日本語教育演習(2) 日本語教材論(2) 検定対策Ⅰ(2) 検定対策Ⅱ(2) 検定対策Ⅲ(2) 検定対策Ⅳ(2) 評価法研究(2) 教案作成研究(2) 日本語教育事情(2) 第二言語習得論(2)	音声指導法研究Ⅰ(2) 音声指導法研究Ⅱ(2) 文型指導法研究Ⅰ(2) 文型指導法研究Ⅱ(2)	日本語教育実習(4) 日本語教育のための英語(2) 日本語教育のための中国語(2) 日本語教育のための韓国語(2)	16	
	グローバル・スタディーズ関連科目	Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)					
			文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) 比較文化論(2)	Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)			
	他学部・他学科開放科目	＜他学部・他学科開放科目（専門科目）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118				4	
合計卒業要件単位数（最低）						124	

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	履　修　方　法
共通科目	基礎教育［特別科目］		⑧	必　修　全4科目8単位修得 ＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修　人間形成の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
		国際理解	4	選択必修　国際理解の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
		社会生活	4	選択必修　社会生活の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	キャリア形成教育		⑥	必　修　全3科目6単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6	選　択　上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得
	計		32	−
専門科目	専門基礎		⑫	必　修　全7科目12単位修得
	卒業研究		⑧	必　修　全2科目8単位修得
	ILP	日本語 英語 中国語	10	選択必修　母語以外の2言語10科目10単位修得 ・日本人学生＝英語＋中国語 ・外国人留学生＝日本語6単位＋母語以外（英語又は中国語） （＊母語以外の2言語のみ履修することができます。なお、日本語と英語を履修した場合、10単位を超えて修得した単位は卒業要件には算入されません。）
	日本語・日本文化関連科目	日本語学	16	選択必修　日本語学から必修2単位を含め16単位修得 （＊16単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）
		言語学	4	選択必修　言語学から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）
		文学・文化	4	選択必修　文学・文化から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）
		日本語教育	16	選択必修　日本語教育から必修4単位を含め16単位修得 （＊16単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）
	グローバル・スタディーズ関連科目		−	（＊修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）
	他学部・他学科開放科目		4	選択必修　他学部・他学科開放科目（専門科目）から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）
	その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】		18	選　択　上記専門科目74単位のほかに、日本語・日本文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から18単位修得 ＊他学部・他学科開放科目（専門科目）で4単位を超えて修得した単位を含む。
	計		92	−
合計			124	−

■ 進級要件

2年（4学期）から3年（5学期）への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「日本語基礎演習（4単位）」を含む。）	14単位
「専門科目」のILP科目	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	12単位
合計	44単位

外国語学部　日本語学科　グローバル・スタディーズ専攻　教育課程表（2016~2020年度入学生用）

2022年度版（16－20日－グ）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）(2) 特別科目：アカデミック日本語Ⅰ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅱ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅲ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。			8	32	124
	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2)　文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2)　からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2)　スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)　ボランティア活動B(2)	人間形成ゼミナール(2)			4		
		国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2)　国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B（留）(2)　フランス語とフランス文化A(2)　フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2)　ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2)　韓国語と韓国文化B(2)　中国語と中国文化A(2)　中国語と中国文化B(2)　英語文化研究A(2) 英語文化研究B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)　異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)			4		
		社会生活	法学(2)　日本国憲法(2)　経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2)　自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)　身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)			4		
	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			6		
					キャリアデザイン(4)				
			＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
				特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
			＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
			＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12		
	卒業研究				●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
	ILP	日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)	日本語Ⅲ-a(1) 日本語Ⅲ-b(1)	＜ILP科目の履修上の注意点＞（母語以外の２言語） 母語以外の２言語のみ履修することができます。 なお、英語と日本語を履修した場合、10単位を超えて修得した単位は卒業要件には算入されません。 ・日本人学生＝英語＋中国語 ・外国人留学生＝日本語６単位＋母語以外（英語又は中国語）		10		
		英語	英語Ⅰ-a(1)　英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1)　英語Ⅱ-b(1)	英語Ⅲ-a(1) 英語Ⅲ-b(1)					
		中国語	中国語Ⅰ-a(1)　中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)　中国語Ⅱ-b(1)						
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア		●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)		10		
		グローバル A		中国ビジネス入門(2)	中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2)		12	52	
				●日本研究(2) ●東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2)	国際関係概論(2) 国際協力論(2) 国際ビジネス論a(2) 国際ビジネス論b(2)	文化講義Ⅰ（日本）(2) 文化講義Ⅱ（異文化理解）(2) 比較文化論(2)			
		グローバル B	Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)		ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2) Advanced Business English a(2) Advanced Business English b(2)	8		
				北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2)	通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2)	Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)			
		フィールドワーク		＜単位認定科目＞ GSM海外留学(4) GSM海外研修(2)	GSMインターンシップⅠ(2) GSMインターンシップⅡ(2)	GSMボランティアⅠ(2) GSMボランティアⅡ(2)	2		
	日本語・日本文化関連科目	日本語学	●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2)	音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2) 敬語表現法(2)	日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2)	日本語史Ⅰ(2) 日本語史Ⅱ(2) 表記法概論(2)	26		
		言語学		言語学概論(2)	応用言語学(2) 社会言語学Ⅰ(2) 社会言語学Ⅱ(2)	コンピュータ言語学Ⅰ(2) コンピュータ言語学Ⅱ(2)			
		文学・文化		日本文学概論(2)	日本文学史(2) 近現代文学(2)				
		日本語教育	●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)						
	他学部・他学科開放科目		＜他学部・他学科開放科目（専門科目）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
合計卒業要件単位数（最低）							124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	履修方法
共通科目	基礎教育［特別科目］		⑧	必修　全4科目8単位修得 ＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
共通科目	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修　人間形成の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
共通科目	人間力形成教育	国際理解	4	選択必修　国際理解の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
共通科目	人間力形成教育	社会生活	4	選択必修　社会生活の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
共通科目	キャリア形成教育		⑥	必修　全3科目6単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
共通科目	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6	選択　上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得
共通科目	計		32	−
専門科目	専門基礎		⑫	必修　全7科目12単位修得
専門科目	卒業研究		⑧	必修　全2科目8単位修得
専門科目	ILP	日本語	10	選択必修　母語以外の2言語10科目10単位修得 ・日本人学生＝英語＋中国語 ・外国人留学生＝日本語6単位＋母語以外（英語又は中国語） （＊母語以外の2言語のみ履修することができます。なお、日本語と英語を履修した場合、10単位を超えて修得した単位は卒業要件には算入されません。）
専門科目	ILP	英語		
専門科目	ILP	中国語		
専門科目	グローバル・スタディーズ関連科目	コア	⑩	必修　全5科目10単位修得
専門科目	グローバル・スタディーズ関連科目	グローバル A	12	選択必修　グローバルのA分野から必修4単位を含め12単位修得 （＊12単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入）
専門科目	グローバル・スタディーズ関連科目	グローバル B	8	選択必修　グローバルのB分野から8単位修得 （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入）
専門科目	グローバル・スタディーズ関連科目	フィールドワーク	2	選択必修　フィールドワークから2単位修得 （＊2単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入）
専門科目	日本語・日本文化関連科目		26	選択必修　必修科目6単位を含め26単位修得 （＊26単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入）
専門科目	その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】		4	選択　上記専門科目88単位のほかに、グローバル・スタディーズ関連科目及び日本語・日本文化関連科目から4単位修得 ＊他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。
専門科目	計		92	−
合計			124	−

■ 進級要件

2年（4学期）から3年（5学期）への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「日本語基礎演習（4単位）」を含む。）	14単位
「専門科目」のILP科目	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	12単位
合計	44単位

外国語学部　英米語学科　英米語専攻　教育課程表（2021年度以降入学生用）

2022年度版（21・22英－英）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b （情報リテラシー）(2) 特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。			8	32	124
	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2)　文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2)　からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2)　スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)　ボランティア活動B(2)	人間形成ゼミナール(2)			4		
		国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2)　国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B（留）(2)　フランス語とフランス文化A(2)　フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2)　ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2)　韓国語と韓国文化B(2)　中国語と中国文化A(2)　中国語と中国文化B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)　異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)			4		
		社会生活	法学(2)　日本国憲法(2)　経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2)　自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)　身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)			4		
	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			6		
					キャリアデザイン(4)				
			＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
				特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
			＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
			＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12	92	
	ILP	英語	●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1)	●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1)			24		
		中国語	中国語Ⅰ-a(1)　中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)　中国語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語4単位		
		日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	【異文化コミュニケーション分野】 異文化コミュニケーション概論a(2) 異文化コミュニケーション概論b(2) 【英米文学分野】 英米文学概論a(2) 英米文学概論b(2)	【英語学分野】 英語学概論a(2) 英語学概論b(2) 【英語教育学分野】 英語教育学概論a(2) 英語教育学概論b(2)			2分野8単位		
		専攻基礎科目	TOEFL対策講座(2)	英語音声学a(2)　対照言語研究a(2)　英文法研究a(2)　英語史(2) 英語音声学b(2)　対照言語研究b(2)　英文法研究b(2)			8		
		SKILL科目			Interpreting Skills a(2) Interpreting Skills b(2) Translation Skills a(2) Translation Skills b(2) Advanced Writing Skills a(2) Advanced Writing Skills b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Research & Presentation Skills(2) Advanced Listening Skills a(2) Advanced Listening Skills b(2) Discussion & Debate a(2) Discussion & Debate b(2)		8		
		特講科目			コミュニケーション特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2) コミュニケーション特講Ⅱ-a(2) コミュニケーション特講Ⅱ-b(2) 英語学特講Ⅰ-a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2) 英語学特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅱ-b(2) 文学特講Ⅰ-a(2) 文学特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅱ-a(2) 文学特講Ⅱ-b(2) 英語教育特講Ⅰ-a(2) 英語教育特講Ⅰ-b(2) 英語教育特講Ⅱ-a(2) 英語教育特講Ⅱ-b(2)		10		
		卒業研究科目		＜単位認定科目＞　特殊研究Ⅰ(4)　特殊研究Ⅱ(4)　海外実地研修(2)					

（次ページに続く）

（前ページからの続き）

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（ ）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
専門科目	グローバル・スタディーズ関連科目	●Preparation for TOEIC Ⅰ-a (1) ●Preparation for TOEIC Ⅰ-b (1)	中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEIC Ⅱ-a (1) ●Preparation for TOEIC Ⅱ-b (1)	ビジネスキャリア特講a (2) ビジネスキャリア特講b (2) 中国経済Ⅰ (2) 中国経済Ⅱ (2) 日中観光実務Ⅰ (2) 日中観光実務Ⅱ (2)	時事中国語演習Ⅰ (2) 時事中国語演習Ⅱ (2) ビジネス中国語演習Ⅰ (2) ビジネス中国語演習Ⅱ (2) Advanced Business English a (2) Advanced Business English b (2)	6	(92)	(124)
			日本研究(2) 北アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) 南アメリカ研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2)	中東研究(2) 国際関係概論(2) 通訳の基礎a (2) 通訳の基礎b (2) 時事英語a (2) 時事英語b (2) 文化講義Ⅰ(日本) (2)	文化講義Ⅱ(異文化理解) (2)			
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
		＜他学部・他学科開放科目(専門科目)＞ ＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
合計卒業要件単位数(最低)						124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	社会人※	履修方法	社会人※
共通科目	基礎教育［特別科目］		⑧	−	必修 全4科目8単位修得 ＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	（＊修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	人間力形成教育	人間形成	4	4	選択必修 人間形成の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
		国際理解	4	4	選択必修 国際理解の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
		社会生活	4	4	選択必修 社会生活の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
	キャリア形成教育		⑥	−	必修 全3科目6単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	（＊修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6	20	選択 上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	選択 上記共通科目12単位のほかに、共通科目から20単位修得
	計		32		−	
専門科目	専門基礎		⑫		必修 全7科目12単位修得	
	ILP	英語	㉔		必修 全20科目24単位修得	
		中国語 日本語	4		選択必修 母語以外の1言語4科目4単位修得 （＊選択した言語以外は履修できません。）	
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	8		選択必修 概論科目から2分野8単位修得 （「異文化コミュニケーション」、「英語学」、「英米文学」及び「英語教育学」の4分野のうち2分野） （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）	
		専攻基礎科目	8		選択必修 専攻基礎科目から8単位修得 （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）	
		SKILL科目	8		選択必修 SKILL科目から8単位修得 （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）	
		特講科目／特殊研究科目	10		選択必修 特講科目・特殊研究科目から10単位修得 （＊10単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）	
	グローバル・スタディーズ関連科目		6		選択必修 グローバル・スタディーズ関連科目から必修4単位を含め6単位修得 （＊6単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）	
	卒業研究		⑧		必修 全2科目8単位修得	
	その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】		4		選択 上記専門科目88単位のほかに、英米語・英米文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から4単位修得 ＊他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。	
	計		92		−	
合計			124		−	

※社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生

■ 進級要件

2年（4学期）から3年（5学期）への進級については、「進級要件」を参照してください。→ P.68

外国語学部　英米語学科　グローバル・スタディーズ専攻　教育課程表（2021年度以降入学生用）

2022年度版（21・22英ーグ）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b （情報リテラシー）(2) 特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。			8	32	124
	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2)　文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2)　からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2)　スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)　ボランティア活動B(2)	人間形成ゼミナール(2)			4		
		国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2)　国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B（留）(2)　フランス語とフランス文化A(2)　フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2)　ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2)　韓国語と韓国文化B(2)　中国語と中国文化A(2)　中国語と中国文化B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)　異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)			4		
		社会生活	法学(2)　日本国憲法(2)　経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2)　自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)　身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)			4		
	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			6		
					キャリアデザイン(4)				
			＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
				特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
			＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
			＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12	92	
	ILP	英語	●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1)	●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1)			24		
		中国語	中国語Ⅰ-a(1)　中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)　中国語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語4単位		
		日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア		●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)		10		
		グローバル	●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)	中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEICⅡ-a(1) ●Preparation for TOEICⅡ-b(1)	ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) ●Advanced Business English a(2) ●Advanced Business English b(2)	22		
				日本研究(2) ●北アメリカ研究(2) ●ヨーロッパ研究(2) 南アメリカ研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2)	国際関係概論(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2) 文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2)				
		フィールドワーク		＜単位認定科目＞ GSM海外留学(4) GSM海外研修(2)	GSMインターンシップⅠ(2) GSMインターンシップⅡ(2)	GSMボランティアⅠ(2) GSMボランティアⅡ(2)			
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	異文化コミュニケーション概論 a(2) 異文化コミュニケーション概論 b(2) 英米文学概論a(2) 英米文学概論b(2)	英語学概論a(2) 英語学概論b(2) 英語教育学概論a(2) 英語教育学概論b(2)					
		専攻基礎科目	TOEFL対策講座(2)	英語音声学a(2)　対照言語研究a(2)　英文法研究a(2)　英語史(2) 英語音声学b(2)　対照言語研究b(2)　英文法研究b(2)			2		
		SKILL科目			Interpreting Skills a(2) Interpreting Skills b(2) Translation Skills a(2) Translation Skills b(2) Advanced Writing Skills a(2) Advanced Writing Skills b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Research & Presentation Skills(2)	Advanced Listening Skills a(2) Advanced Listening Skills b(2) Discussion & Debate a(2) Discussion & Debate b(2)	4		

（次ページに続く）

（前ページからの続き）

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数）				卒業要件単位数（最低）		
		1年次	2年次	3年次	4年次			
専門科目	英米語・英米文化関連科目 特講科目			コミュニケーション特講Ⅰ-a(2)　文学特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2)　文学特講Ⅰ-b(2) コミュニケーション特講Ⅱ-a(2)　文学特講Ⅱ-a(2) コミュニケーション特講Ⅱ-b(2)　文学特講Ⅱ-b(2) 英語学特講Ⅰ-a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2) 英語学特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅱ-b(2)		4	(92)	(124)
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
		＜他学部・他学科開放科目（専門科目）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
合計卒業要件単位数(最低)						124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	社会人※	履修方法	社会人※
共通科目	基礎教育［特別科目］		⑧	－	必修　全4科目8単位修得 ＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	（＊修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	人間力形成教育	人間形成	4	4	選択必修　人間形成の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
		国際理解	4	4	選択必修　国際理解の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
		社会生活	4	4	選択必修　社会生活の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
	キャリア形成教育		⑥	－	必修　全3科目6単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	（＊修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6	20	選択　上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	選択　上記共通科目12単位のほかに、共通科目から20単位修得
	計		32		－	
専門科目	専門基礎		⑫		必修　全7科目12単位修得	
	ILP	英語	㉔		必修　全20科目24単位修得	
		中国語 日本語	4		選択必修　母語以外の1言語4科目4単位修得 （＊選択した言語以外は履修できません。）	
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア	⑩		必修　全5科目10単位修得	
		グローバル	22		選択必修　グローバルから必修12単位を含め22単位修得 （＊22単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入）	
		フィールドワーク	－		（修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入）	
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	－		（修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入）	
		専攻基礎科目	2		選択必修　専攻基礎科目から2単位修得 （＊2単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入）	
		SKILL科目	4		選択必修　SKILL科目から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入）	
		特講科目	4		選択必修　特講科目から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入）	
	卒業研究		⑧		必修　全2科目8単位修得	
	その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】		2		選択　上記専門科目90単位のほかに、グローバル・スタディーズ関連科目及び英米語・英米文化関連科目から2単位修得 ＊他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。	
	計		92		－	
合計			124		－	

※社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生

■ 進級要件

2年（4学期）から3年（5学期）への進級については、「進級要件」を参照してください。→ P.68

外国語学部　英米語学科　英米語専攻　教育課程表（2016～2020年度入学生用）

2022年度版（16－20英－英）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b （情報リテラシー）(2) 特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。			8	32	124
	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2)　文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2)　からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2)　スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)　ボランティア活動B(2)	人間形成ゼミナール(2)			4		
		国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2)　国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B（留）(2)　フランス語とフランス文化A(2)　フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2)　ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2)　韓国語と韓国文化B(2)　中国語と中国文化A(2)　中国語と中国文化B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)　異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)			4		
		社会生活	法学(2)　日本国憲法(2)　経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2)　自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)　身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)			4		
	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			6		
					キャリアデザイン(4)				
			＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
				特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
			＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
			＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12	92	
	ILP	英語	●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1)	●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1)			24		
		中国語	中国語Ⅰ-a(1)　中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)　中国語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語4単位		
		日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	【異文化コミュニケーション分野】 異文化コミュニケーション概論a(2) 異文化コミュニケーション概論b(2) 【英米文学分野】 英米文学概論a(2) 英米文学概論b(2)	【英語学分野】 英語学概論a(2) 英語学概論b(2) 【英語教育学分野】 英語教育学概論a(2) 英語教育学概論b(2)			2分野8単位		
		専攻基礎科目	TOEFL対策講座(2)	英語音声学a(2)　対照言語研究a(2)　英文法研究a(2)　英語史(2)　英語圏の文化と社会(2) 英語音声学b(2)　対照言語研究b(2)　英文法研究b(2)　英米文学史(2)			8		
		SKILL科目			Interpreting Skills a(2)　Advanced Listening Skills a(2) Interpreting Skills b(2)　Advanced Listening Skills b(2) Translation Skills a(2)　Discussion & Debate a(2) Translation Skills b(2)　Discussion & Debate b(2) Advanced Writing Skills a(2)　English for Current Issues a(2) Advanced Writing Skills b(2)　English for Current Issues b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Research & Presentation Skills(2)		8		
		特講科目			コミュニケーション特講Ⅰ-a(2)　英語学特講Ⅱ-a(2)　文学特講Ⅲ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2)　英語学特講Ⅱ-b(2)　文学特講Ⅲ-b(2) コミュニケーション特講Ⅱ-a(2)　英語学特講Ⅲ-a(2)　英語教育特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅱ-b(2)　英語学特講Ⅲ-b(2)　英語教育特講Ⅰ-b(2) コミュニケーション特講Ⅲ-a(2)　文学特講Ⅰ-a(2)　英語教育特講Ⅱ-a(2) コミュニケーション特講Ⅲ-b(2)　文学特講Ⅰ-b(2)　英語教育特講Ⅱ-b(2) 英語学特講Ⅰ-a(2)　文学特講Ⅱ-a(2)　ビジネス英語特講a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2)　文学特講Ⅱ-b(2)　ビジネス英語特講b(2)		10		
		卒研科目		＜単位認定科目＞　特殊研究Ⅰ(4)　特殊研究Ⅱ(4)　海外実地研修(2)					

（次ページに続く）

（前ページからの続き）

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
専門科目	グローバル・スタディーズ関連科目	●Preparation for TOEIC Ⅰ-a (1) ●Preparation for TOEIC Ⅰ-b (1)	中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEIC Ⅱ-a (1) ●Preparation for TOEIC Ⅱ-b (1)	ビジネスキャリア特講a (2) ビジネスキャリア特講b (2) 中国経済Ⅰ (2) 中国経済Ⅱ (2) 日中観光実務Ⅰ (2)	日中観光実務Ⅱ (2) 日中通訳基礎演習Ⅰ (2) 日中通訳基礎演習Ⅱ (2) Advanced Business English a (2) Advanced Business English b (2)	6	(92)	(124)
			日本研究(2) 北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2)	中東研究(2) 国際関係概論(2) 国際協力論(2) 国際ビジネス論a (2) 国際ビジネス論b (2) 通訳の基礎a (2) 通訳の基礎b (2)	時事英語a (2) 時事英語b (2) 文化講義Ⅰ(日本) (2) 文化講義Ⅱ(異文化理解) (2) 比較文化論 (2)			
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
	他学部・他学科開放科目	＜他学部・他学科開放科目(専門科目)＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118				4		
合計卒業要件単位数(最低)						124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	履修方法
共通科目	基礎教育［特別科目］		⑧	必修　全4科目8単位修得 ＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修　人間形成の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
		国際理解	4	選択必修　国際理解の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
		社会生活	4	選択必修　社会生活の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	キャリア形成教育		⑥	必修　全3科目6単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6	選択　上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得
	計		32	−
専門科目	専門基礎		⑫	必修　全7科目12単位修得
	ILP	英語	㉔	必修　全20科目24単位修得
		中国語 日本語	4	選択必修　母語以外の1言語4科目4単位修得 （＊選択した言語以外は履修できません。）
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	8	選択必修　概論科目から2分野8単位修得 （「異文化コミュニケーション」、「英語学」、「英米文学」及び「英語教育学」の4分野のうち2分野）
		専攻基礎科目	8	選択必修　専攻基礎科目から8単位修得
		SKILL科目	8	選択必修　SKILL科目から8単位修得
		特講科目／特殊研究科目	10	選択必修　特講科目・特殊研究科目から10単位修得
	グローバル・スタディーズ関連科目		6	選択必修　グローバル・スタディーズ関連科目から必修4単位を含め6単位修得
	卒業研究		⑧	必修　全2科目8単位修得
	他学部・他学科開放科目		4	選択必修　他学部・他学科開放科目（専門科目）から4単位修得
	計		92	−
合計			124	−

■ 進級要件

2年（4学期）から3年（5学期）への進級については、「進級要件」を参照してください。→ P.68

外国語学部　英米語学科　グローバル・スタディーズ専攻　教育課程表（2016~2020年度入学生用）

2022年度版（16－20英－グ）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b （情報リテラシー）(2) 特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。			8	32	124
	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2)　文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2)　からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2)　スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)　ボランティア活動B(2)	人間形成ゼミナール(2)			4		
		国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2)　国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B（留）(2)　フランス語とフランス文化A(2)　フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2)　ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2)　韓国語と韓国文化B(2)　中国語と中国文化A(2)　中国語と中国文化B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)　異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)			4		
		社会生活	法学(2)　日本国憲法(2)　経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2)　自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)　身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)			4		
	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			6		
					キャリアデザイン(4)				
			＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
				特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
			＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
			＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12	92	
	ILP	英語	●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1)	●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1)			24		
		中国語	中国語Ⅰ-a(1)　中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)　中国語Ⅱ-b(1)				母語以外の1語4単位		
		日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア		●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)		10		
		グローバル	●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)	中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEICⅡ-a(1) ●Preparation for TOEICⅡ-b(1)	ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2) ●Advanced Business English a(2) ●Advanced Business English b(2)	22		
				日本研究(2) ●北アメリカ研究(2) ●南アメリカ研究(2) ●ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2)	国際関係概論(2) 国際協力論(2) 国際ビジネス論a(2) 国際ビジネス論b(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2)	文化講義Ⅰ（日本）(2) 文化講義Ⅱ（異文化理解）(2) 比較文化論(2)			
		フィールドワーク		＜単位認定科目＞ GSM海外留学(4) GSM海外研修(2)	GSMインターンシップⅠ(2) GSMインターンシップⅡ(2)	GSMボランティアⅠ(2) GSMボランティアⅡ(2)	2		
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	異文化コミュニケーション概論 a(2) 異文化コミュニケーション概論 b(2) 英米文学概論a(2) 英米文学概論b(2)	英語学概論a(2) 英語学概論b(2) 英語教育学概論a(2) 英語教育学概論b(2)			－		
		専攻基礎科目	TOEFL対策講座(2)	英語音声学a(2)　対照言語研究a(2)　英文法研究a(2)　英語史(2)　英語圏の文化と社会(2) 英語音声学b(2)　対照言語研究b(2)　英文法研究b(2)　英米文学史(2)			2		
		SKILL科目			Interpreting Skills a(2) Interpreting Skills b(2) Translation Skills a(2) Translation Skills b(2) Advanced Writing Skills a(2) Advanced Writing Skills b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Research & Presentation Skills(2)	Advanced Listening Skills a(2) Advanced Listening Skills b(2) Discussion & Debate a(2) Discussion & Debate b(2) English for Current Issues a(2) English for Current Issues b(2)	4		

（次ページに続く）

（前ページからの続き）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
専門科目	英米語・英米文化関連科目	特講科目			コミュニケーション特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2) コミュニケーション特講Ⅱ-a(2) コミュニケーション特講Ⅱ-b(2) コミュニケーション特講Ⅲ-a(2) コミュニケーション特講Ⅲ-b(2) 英語学特講Ⅰ-a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2) 英語学特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅱ-b(2) 英語学特講Ⅲ-a(2) 英語学特講Ⅲ-b(2) 文学特講Ⅰ-a(2) 文学特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅱ-a(2) 文学特講Ⅱ-b(2) 文学特講Ⅲ-a(2) 文学特講Ⅲ-b(2) ビジネス英語特講a(2) ビジネス英語特講b(2)		4	(92)	(124)
	卒業研究				●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
合計卒業要件単位数(最低)							124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

注意 ＜他学部・他学科開放科目（専門科目）＞の単位を修得した場合、その単位数は卒業要件に算入されません。→P.118

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	履修方法
共通科目	基礎教育［特別科目］		⑧	必修　全4科目8単位修得 ＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修　人間形成の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
		国際理解	4	選択必修　国際理解の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
		社会生活	4	選択必修　社会生活の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	キャリア形成教育		⑥	必修　全3科目6単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6	選択　上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得
	計		32	−
専門科目	専門基礎		⑫	必修　全7科目12単位修得
	ILP	英語	㉔	必修　全20科目24単位修得
		中国語 日本語	4	選択必修　母語以外の1言語4科目4単位修得 （＊選択した言語以外は履修できません。）
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア	⑩	必修　全5科目10単位修得
		グローバル	22	選択必修　グローバルから必修14単位を含め22単位修得
		フィールドワーク	2	選択必修　フィールドワークから2単位修得
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	−	（卒業要件には算入されません。）
		専攻基礎科目	2	選択必修　専攻基礎科目から2単位修得
		SKILL科目	4	選択必修　SKILL科目から4単位修得
		特講科目	4	選択必修　特講科目から4単位修得
	卒業研究		⑧	必修　全2科目8単位修得
	計		92	−
合計			124	−

■ 進級要件

2年（4学期）から3年（5学期）への進級については、「進級要件」を参照してください。→ P.68

外国語学部　中国語学科　中国語専攻　教育課程表（2021年度以降入学生用）

2022年度版（21・22中－中）

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）(2) 特別科目：アカデミック日本語Ⅰ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅱ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅲ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。			8	32	124
	人間力形成教育 人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2)　文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2)　からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2)　スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)　ボランティア活動B(2)	人間形成ゼミナール(2)			4		
	国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2)　国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B(留)(2)　フランス語とフランス文化A(2)　フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2)　ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2)　韓国語と韓国文化B(2)　英語文化研究A(2)　英語文化研究B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)　異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)			4		
	社会生活	法学(2)　日本国憲法(2)　経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2)　自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)　身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)			4		
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			6		
				キャリアデザイン(4)				
		＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
			特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
		＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
		＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●中国語基礎演習A(4)	●現代社会事情(2)		12	92	
	ILP 中国語	●漢語基礎Ⅰ(2)　●漢語実践Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2)　●漢語実践Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2)　●漢語作文Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2)　●漢語作文Ⅱ(2)	●漢語基礎Ⅲ(2)　●漢語実践Ⅲ(2) ●漢語基礎Ⅳ(2)　●漢語実践Ⅳ(2) ●漢語会話Ⅲ(2) ●漢語会話Ⅳ(2)	●中級漢語Ⅰ(2) ●中級漢語Ⅱ(2)		32		
	ILP 英語	英語Ⅰ-a(1)　英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1)　英語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語4単位		
	ILP 日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
	中国語・中国文化関連科目 中国研究	●中国社会研究入門(2) ●中国現代史研究入門(2)	●中国思想研究入門(2) ●中国文学研究入門(2) ●中国歴史研究入門(2) ●中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2)			12		
	SKILL		中国語検定対策講座Ⅰ(2) 中国語検定対策講座Ⅱ(2)	文章表現演習Ⅰ(2)　日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2)　日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) 口頭表現演習Ⅰ(2)　中国方言基礎演習Ⅰ(2) 口頭表現演習Ⅱ(2)　中国方言基礎演習Ⅱ(2) 日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2)		20		
	中国語学			中国語文法Ⅰ(2)　日中言語対照Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2)　日中言語対照Ⅱ(2) 中国語史Ⅰ(2) 中国語史Ⅱ(2)				
	中国文学			現当代文学Ⅰ(2)　古典文学Ⅰ(2) 現当代文学Ⅱ(2)　古典文学Ⅱ(2)				
	中国文化			東アジア比較思想論Ⅰ(2)　中国宗教・文化論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2)　中国宗教・文化論Ⅱ(2)				
	中国社会			中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2)				
			＜単位認定科目＞　中国語圏実地研修(2)					
	グローバル・スタディーズ関連科目		中国ビジネス入門(2) Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)	中国経済Ⅰ(2)　時事中国語演習Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2)　時事中国語演習Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2)　ビジネス中国語演習Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)　ビジネス中国語演習Ⅱ(2)				
			東アジア研究(2) ASEAN研究(2)	Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)				
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
		＜他学部・他学科開放科目（専門科目）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
合計卒業要件単位数（最低）						124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）		履修方法	
				社会人※		社会人※
共通科目	基礎教育［特別科目］		⑧	ー	必修 全4科目8単位修得 ＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	（＊修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	人間力形成教育	人間形成	4	4	選択必修 人間形成の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
		国際理解	4	4	選択必修 国際理解の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
		社会生活	4	4	選択必修 社会生活の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
	キャリア形成教育		⑥	ー	必修 全3科目6単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	（＊修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6	20	選択 上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	選択 上記共通科目12単位のほかに、共通科目から20単位修得
	計		32		ー	
専門科目	専門基礎		⑫		必修 全7科目12単位修得	
	ILP	中国語	㉜		必修 中国語から16科目32単位修得	
		英語 日本語	4		選択必修 母語以外の1言語4科目4単位修得 （＊選択した言語以外は履修できません。）	
	中国語・中国文化関連科目	中国研究	⑫		必修 中国研究から6科目12単位修得 （＊12単位を超えて修得した単位→「その他【中国語・中国文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）	
		SKILL 中国語学 中国文学 中国文化 中国社会	20		選択必修 SKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から20単位修得 （＊20単位を超えて修得した単位→「その他【中国語・中国文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）	
	グローバル・スタディーズ関連科目		ー		（＊修得した単位→「その他【中国語・中国文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）	
	卒業研究		⑧		必修 全2科目8単位修得	
	その他【中国語・中国文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】		4		選択 上記専門科目88単位のほかに、中国語・中国文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から4単位修得 ＊他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。	
	計		92		ー	
合計			124		ー	

※社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生

■ 進級要件

2年（4学期）から3年（5学期）への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」及び「中国語基礎演習A（4単位）」を含む。）	22単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	8単位
合計	44単位

（社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生）

授業科目等	必要単位数
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」及び「中国語基礎演習A（4単位）」を含む。）	22単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	22単位
合計	44単位

外国語学部　中国語学科　グローバル・スタディーズ専攻　教育課程表（2021年度以降入学生用）

2022年度版（21・22中ーグ）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b （情報リテラシー）(2) 特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。			8	32	124
	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2)　文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2)　からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2)　スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)　ボランティア活動B(2)	人間形成ゼミナール(2)			4		
		国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2)　国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B（留）(2)　フランス語とフランス文化A(2)　フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2)　ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2)　韓国語と韓国文化B(2)　英語文化研究A(2)　英語文化研究B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)　異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)			4		
		社会生活	法学(2)　日本国憲法(2)　経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2)　自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)　身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)			4		
	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			6		
					キャリアデザイン(4)				
			＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
				特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
			＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
			＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎	A	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1)	●現代社会事情(2)		8	92	
		B		中国語基礎演習A(4) 中国語基礎演習B(4)			4		
	ILP	中国語	●漢語基礎Ⅰ(2)　●漢語実践Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2)　●漢語実践Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2)　●漢語作文Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2)　●漢語作文Ⅱ(2)	漢語基礎Ⅲ(2)　●漢語実践Ⅲ(2) 漢語基礎Ⅳ(2)　●漢語実践Ⅳ(2) 漢語会話Ⅲ(2) 漢語会話Ⅳ(2)	中級漢語Ⅰ(2) 中級漢語Ⅱ(2)		20		
		英語	英語Ⅰ-a(1)　英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1)　英語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語4単位		
		日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア		●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)		10		
		グローバル		●中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)	ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) Advanced Business English a(2) Advanced Business English b(2)	18		
				日本研究(2) 北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) ●東アジア研究(2) ●ASEAN研究(2)	中東研究(2) 国際関係概論(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2)	文化講義Ⅰ（日本）(2) 文化講義Ⅱ（異文化理解）(2) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)			
		フィールドワーク		＜単位認定科目＞ GSM海外留学(4)　GSMインターンシップⅠ(2)　GSMボランティアⅠ(2) GSM海外研修(2)　GSMインターンシップⅡ(2)　GSMボランティアⅡ(2)					
	中国語・中国文化関連科目	中国研究	●中国社会研究入門(2) ●中国現代史研究入門(2)	中国思想研究入門(2) 中国文学研究入門(2) 中国歴史研究入門(2) 中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2)			8		
		SKILL		中国語検定対策講座Ⅰ(2) 中国語検定対策講座Ⅱ(2)	文章表現演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2) 口頭表現演習Ⅰ(2) 口頭表現演習Ⅱ(2) 日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2)	日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) 中国方言基礎演習Ⅰ(2) 中国方言基礎演習Ⅱ(2)	8		
		中国語学			中国語文法Ⅰ(2)　中国語史Ⅰ(2)　日中言語対照Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2)　中国語史Ⅱ(2)　日中言語対照Ⅱ(2)				
		中国文学			現当代文学Ⅰ(2) 現当代文学Ⅱ(2)	古典文学Ⅰ(2) 古典文学Ⅱ(2)			
		中国文化			東アジア比較思想論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2)	中国宗教・文化論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2)			
		中国社会			中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2)				
	卒業研究				●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
			＜他学部・他学科開放科目（専門科目）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
合計卒業要件単位数（最低）							124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	社会人※	履修方法	社会人※
共通科目	基礎教育［特別科目］		⑧	–	必修 全4科目8単位修得 ＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	（＊修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
共通科目	人間力形成教育	人間形成	4	4	選択必修 人間形成の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
共通科目	人間力形成教育	国際理解	4	4	選択必修 国際理解の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
共通科目	人間力形成教育	社会生活	4	4	選択必修 社会生活の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	
共通科目	キャリア形成教育		⑥	–	必修 全3科目6単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）	（＊修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
共通科目	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6	20	選択 上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	選択 上記共通科目12単位のほかに、共通科目から20単位修得
共通科目	計		32		–	
専門科目	専門基礎	A	⑧		必修 専門基礎のA分野から全6科目8単位修得	
専門科目	専門基礎	B	4		選択必修 専門基礎のB分野から「中国語基礎演習A」又は「中国語基礎演習B」のいずれか4単位 （＊4単位を超えて修得した単位→卒業要件には算入されません。）	
専門科目	ILP	中国語	⑳		必修 中国語から10科目20単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→卒業要件には算入されません。）	
専門科目	ILP	英語 日本語	4		選択必修 母語以外の1言語4科目4単位修得 （＊選択した言語以外は履修できません。）	
専門科目	グローバル・スタディーズ関連科目	コア	⑩		必修 全5科目10単位修得	
専門科目	グローバル・スタディーズ関連科目	グローバル	18		選択必修 グローバルから必修8単位を含め18単位修得 （＊18単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）	
専門科目	グローバル・スタディーズ関連科目	フィールドワーク	–		（＊修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）	
専門科目	中国語・中国文化関連科目	中国研究	8		選択必修 中国研究から必修4単位を含め8単位修得 （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）	
専門科目	中国語・中国文化関連科目	SKILL 中国語学 中国文学 中国文化 中国社会	8		選択必修 SKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から8単位修得 （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）	
専門科目	卒業研究		⑧		必修 全2科目8単位修得	
専門科目	その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】		4		選択 上記専門科目88単位のほかに、グローバル・スタディーズ関連科目及び中国語・中国文化関連科目から4単位修得 ＊他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。	
専門科目	計		92		–	
合計			124		–	

※社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生

■ 進級要件

2年（4学期）から3年（5学期）への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」及び「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」を含む。）	18単位
「専門科目」の「中国語基礎演習A」又は「中国語基礎演習B」のいずれか4単位	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	8単位
合計	44単位

（社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生）

授業科目等	必要単位数
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」を含む。）	18単位
「専門科目」の「中国語基礎演習A」又は「中国語基礎演習B」のいずれか4単位	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	22単位
合計	44単位

外国語学部　中国語学科　中国語専攻　教育課程表（2017～2020年度入学生用）

2022年度版（17－20中－中）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）(2) 特別科目：アカデミック日本語Ⅰ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅱ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅲ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。			8	32	124
	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2)　文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2)　からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2)　スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)　ボランティア活動B(2)	人間形成ゼミナール(2)			4		
		国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2)　国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B(留)(2)　フランス語とフランス文化A(2)　フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2)　ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2)　韓国語と韓国文化B(2)　英語文化研究A(2)　英語文化研究B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)　異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)			4		
		社会生活	法学(2)　日本国憲法(2)　経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2)　自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)　身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)			4		
	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			6		
					キャリアデザイン(4)				
			＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
				特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
			＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
			＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●中国語基礎演習A(4)	●現代社会事情(2)		12	92	124
	ILP	中国語	●漢語基礎Ⅰ(2)　●漢語実践Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2)　●漢語実践Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2)　●漢語作文Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2)　●漢語作文Ⅱ(2)	●漢語基礎Ⅲ(2)　●漢語実践Ⅲ(2) ●漢語基礎Ⅳ(2)　●漢語実践Ⅳ(2) ●漢語会話Ⅲ(2) ●漢語会話Ⅳ(2)	●中級漢語Ⅰ(2) ●中級漢語Ⅱ(2)	高級漢語Ⅰ(2) 高級漢語Ⅱ(2)	32		
		英語	英語Ⅰ-a(1)　英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1)　英語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語4単位		
		日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
	中国語・中国文化関連科目	SKILL	中国語検定対策講座Ⅰ(2)	中国語検定対策講座Ⅱ(2) 中国語検定対策講座Ⅲ(2) 中国語検定対策講座Ⅳ(2) 中国語検定対策講座Ⅴ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) 文章表現演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2) 中国語通訳案内士試験対策講座(2)	日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) 中国語コンピューター演習Ⅰ(2) 中国語コンピューター演習Ⅱ(2) 中国方言基礎演習Ⅰ(2) 中国方言基礎演習Ⅱ(2)	16	92	
		中国語学			中国語文法Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2) 中国語史Ⅰ(2) 中国語史Ⅱ(2)	日中言語対照Ⅰ(2) 日中言語対照Ⅱ(2)			
		中国文学			現当代文学Ⅰ(2) 現当代文学Ⅱ(2)	古典文学Ⅰ(2) 古典文学Ⅱ(2)			
		中国文化			東アジア比較思想論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2) 中国宗教・文化論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2)	中国文化体験(2) 中国芸術論Ⅰ(2) 中国芸術論Ⅱ(2)			
		中国社会		ビジネス総合講座Ⅰ(2) ビジネス総合講座Ⅱ(2)	中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2)				
				＜単位認定科目＞　中国語圏実地研修(2)					
		中国研究	●中国社会研究入門(2) ●中国現代史研究入門(2)	●中国思想研究入門(2) ●中国文学研究入門(2) ●中国歴史研究入門(2) ●中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2)			12		
	グローバル・スタディーズ関連科目			中国ビジネス入門(2) Preparation for TOEIC Ⅰ-a(1) Preparation for TOEIC Ⅰ-b(1)	中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2)	4		
				東アジア研究(2) ASEAN研究(2)	Preparation for TOEIC Ⅱ-a(1) Preparation for TOEIC Ⅱ-b(1)				
	卒業研究				●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
	他学部・他学科開放科目		＜他学部・他学科開放科目（専門科目）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118				4		
合計卒業要件単位数（最低）							124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	履修方法
共通科目	基礎教育［特別科目］		⑧	必修　全4科目8単位修得 ＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修　人間形成の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
		国際理解	4	選択必修　国際理解の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
		社会生活	4	選択必修　社会生活の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	キャリア形成教育		⑥	必修　全3科目6単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6	選択　上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得
	計		32	−
専門科目	専門基礎		⑫	必修　全7科目12単位修得
	ILP	中国語	㉜	必修　中国語から16科目32単位修得
		英語 日本語	4	選択必修　母語以外の1言語4科目4単位修得 （＊選択した言語以外は履修できません。）
	中国語・中国文化関連科目	SKILL 中国語学 中国文学 中国文化 中国社会	16	選択必修　SKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から16単位修得
		中国研究	⑫	必修　中国研究から6科目12単位修得
	グローバル・スタディーズ関連科目		4	選択必修　グローバル・スタディーズ関連科目から4単位修得
	卒業研究		⑧	必修　全2科目8単位修得
	他学部・他学科開放科目		4	選択必修　他学部・他学科開放科目（専門科目）から4単位修得
	計		92	−
合計			124	−

■ 進級要件

2年（4学期）から3年（5学期）への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」及び「中国語基礎演習A（4単位）」を含む。）	22単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	8単位
合計	44単位

外国語学部　中国語学科　グローバル・スタディーズ専攻　教育課程表（2017～2020年度入学生用）

2022年度版（17－20中－グ）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b （情報リテラシー）(2) 特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。			8	32	124
	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2)　文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2)　からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2)　スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)　ボランティア活動B(2) 人間形成ゼミナール(2)				4		
		国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2)　国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B（留）(2)　フランス語とフランス文化A(2)　フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2)　ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2)　韓国語と韓国文化B(2)　英語文化研究A(2)　英語文化研究B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)　異文化実地研修B(2) 国際理解ゼミナール(2)				4		
		社会生活	法学(2)　日本国憲法(2)　経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2)　自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)　身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2) 社会生活ゼミナール(2)				4		
	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			6		
					キャリアデザイン(4)				
			＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
				特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
			＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
			＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎	A	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1)	●現代社会事情(2)		8	92	
		B		中国語基礎演習A(4) 中国語基礎演習B(4)			4		
	ILP	中国語	●漢語基礎Ⅰ(2)　●漢語実践Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2)　●漢語実践Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2)　●漢語作文Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2)　●漢語作文Ⅱ(2)	漢語基礎Ⅲ(2)　●漢語実践Ⅲ(2) 漢語基礎Ⅳ(2)　●漢語実践Ⅳ(2) 漢語会話Ⅲ(2) 漢語会話Ⅳ(2)	中級漢語Ⅰ(2) 中級漢語Ⅱ(2)	高級漢語Ⅰ(2) 高級漢語Ⅱ(2)	20		
		英語	英語Ⅰ-a(1)　英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1)　英語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語4単位		
		日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア		●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)		10		
		グローバル		●中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)	ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2) Advanced Business English a(2) Advanced Business English b(2)	16		
				日本研究(2)　●ASEAN研究(2)　通訳の基礎a(2)　比較文化論(2) 北アメリカ研究(2)　中東研究(2)　通訳の基礎b(2)　Preparation for TOEICⅡ-a(1) 南アメリカ研究(2)　国際関係概論(2)　時事英語a(2)　Preparation for TOEICⅡ-b(1) ヨーロッパ研究(2)　国際協力論(2)　時事英語b(2) オセアニア研究(2)　国際ビジネス論a(2)　文化講義Ⅰ（日本）(2) ●東アジア研究(2)　国際ビジネス論b(2)　文化講義Ⅱ（異文化理解）(2)					
		フィールドワーク		＜単位認定科目＞ GSM海外留学(4)　GSMインターンシップⅠ(2)　GSMボランティアⅠ(2) GSM海外研修(2)　GSMインターンシップⅡ(2)　GSMボランティアⅡ(2)			2		
	中国語・中国文化関連科目	SKILL	中国語検定対策講座Ⅰ(2)	中国語検定対策講座Ⅱ(2) 中国語検定対策講座Ⅲ(2) 中国語検定対策講座Ⅳ(2) 中国語検定対策講座Ⅴ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) 文章表現演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2) 中国語通訳案内士試験対策講座(2)	日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) 中国語コンピューター演習Ⅰ(2) 中国語コンピューター演習Ⅱ(2) 中国方言基礎演習Ⅰ(2) 中国方言基礎演習Ⅱ(2)	8		
		中国語学			中国語文法Ⅰ(2)　中国語史Ⅰ(2)　日中言語対照Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2)　中国語史Ⅱ(2)　日中言語対照Ⅱ(2)				
		中国文学			現当代文学Ⅰ(2) 現当代文学Ⅱ(2)	古典文学Ⅰ(2) 古典文学Ⅱ(2)			
		中国文化			東アジア比較思想論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2) 中国宗教・文化論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2)	中国文化体験(2) 中国芸術論Ⅰ(2) 中国芸術論Ⅱ(2)			
		中国社会		ビジネス総合講座Ⅰ(2) ビジネス総合講座Ⅱ(2)	中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2)				
		中国研究	●中国社会研究入門(2) ●中国現代史研究入門(2)	中国思想研究入門(2) 中国文学研究入門(2) 中国歴史研究入門(2) 中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2)			8		
	卒業研究				●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
	他学部・他学科開放科目		＜他学部・他学科開放科目（専門科目）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
合計卒業要件単位数（最低）							124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	履修方法
共通科目	基礎教育［特別科目］		⑧	必修　全4科目8単位修得 ＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修　人間形成の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
		国際理解	4	選択必修　国際理解の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
		社会生活	4	選択必修　社会生活の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	キャリア形成教育		⑥	必修　全3科目6単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6	選択　上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得
	計		32	−
専門科目	専門基礎	A	⑧	必修　専門基礎のA分野から全6科目8単位修得
		B	4	選択必修　専門基礎のB分野から「中国語基礎演習A」又は「中国語基礎演習B」のいずれか4単位 （＊4単位を超えて修得した単位→卒業要件には算入されません。）
	ILP	中国語	⑳	必修　中国語から10科目20単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→卒業要件には算入されません。）
		英語 日本語	4	選択必修　母語以外の1言語4科目4単位修得 （＊選択した言語以外は履修できません。）
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア	⑩	必修　全5科目10単位修得
		グローバル	16	選択必修　グローバルから必修8単位を含め16単位修得 （＊16単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）
		フィールドワーク	2	選択必修　フィールドワークから2単位修得 （＊2単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）
	中国語・中国文化関連科目	SKILL 中国語学 中国文学 中国文化 中国社会	8	選択必修　SKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から8単位修得 （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）
		中国研究	8	選択必修　中国研究から必修4単位を含め8単位修得 （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）
	卒業研究		⑧	必修　全2科目8単位修得
	その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】		4	選択　上記専門科目88単位のほかに、グローバル・スタディーズ関連科目及び中国語・中国文化関連科目から4単位修得 ＊他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。
	計		92	−
合計			124	−

■ 進級要件

2年（4学期）から3年（5学期）への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」及び「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」を含む。）	18単位
「専門科目」の「中国語基礎演習A（4単位）」又は「中国語基礎演習B（4単位）」のいずれか4単位	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	8単位
合計	44単位

外国語学部　中国語学科　グローバル・スタディーズ専攻　教育課程表（2016年度入学生用）

2022年度版（16中ーグ）

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等（●は必修、（留）は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位数（最低）		
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）(2) 特別科目：アカデミック日本語Ⅰ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅱ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅲ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。			8	32	124
	人間力形成教育 人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2)　文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2)　からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2)　スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)　ボランティア活動B(2) 人間形成ゼミナール(2)				4		
	人間力形成教育 国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2)　国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B（留）(2)　フランス語とフランス文化A(2)　フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2)　ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2)　韓国語と韓国文化B(2)　英語文化研究A(2)　英語文化研究B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)　異文化実地研修B(2) 国際理解ゼミナール(2)				4		
	人間力形成教育 社会生活	法学(2)　日本国憲法(2)　経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2)　自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)　身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2) 社会生活ゼミナール(2)				4		
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			6		
				キャリアデザイン(4)				
		＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
			特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
		＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
		＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●中国語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12	92	
	ILP 中国語	●漢語基礎Ⅰ(2)　●漢語実践Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2)　●漢語実践Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2)　●漢語作文Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2)　●漢語作文Ⅱ(2)	漢語基礎Ⅲ(2)　●漢語実践Ⅲ(2) 漢語基礎Ⅳ(2)　●漢語実践Ⅳ(2) 漢語会話Ⅲ(2) 漢語会話Ⅳ(2)	中級漢語Ⅰ(2) 中級漢語Ⅱ(2)	高級漢語Ⅰ(2) 高級漢語Ⅱ(2)	20		
	ILP 英語	英語Ⅰ-a(1)　英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1)　英語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語4単位		
	ILP 日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
	グローバル・スタディーズ関連科目 コア		●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)		10		
	グローバル・スタディーズ関連科目 グローバル		●中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)	ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2) Advanced Business English a(2) Advanced Business English b(2)	16		
			日本研究(2)　●ASEAN研究(2)　通訳の基礎a(2)　比較文化論(2) 北アメリカ研究(2)　中東研究(2)　通訳の基礎b(2)　Preparation for TOEICⅡ-a(1) 南アメリカ研究(2)　国際関係概論(2)　時事英語a(2)　Preparation for TOEICⅡ-b(1) ヨーロッパ研究(2)　国際協力論(2)　時事英語b(2) オセアニア研究(2)　国際ビジネス論a(2)　文化講義Ⅰ（日本）(2) ●東アジア研究(2)　国際ビジネス論b(2)　文化講義Ⅱ（異文化理解）(2)						
	グローバル・スタディーズ関連科目 フィールドワーク		＜単位認定科目＞ GSM海外留学(4)　GSMインターンシップⅠ(2)　GSMボランティアⅠ(2) GSM海外研修(2)　GSMインターンシップⅡ(2)　GSMボランティアⅡ(2)			2		
	中国語・中国文化関連科目 SKILL	中国語検定対策講座Ⅰ(2)	中国語検定対策講座Ⅱ(2) 中国語検定対策講座Ⅲ(2) 中国語検定対策講座Ⅳ(2) 中国語検定対策講座Ⅴ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) 文章表現演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2) 中国語通訳案内士試験対策講座(2)	日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) 中国語コンピューター演習Ⅰ(2) 中国語コンピューター演習Ⅱ(2) 中国方言基礎演習Ⅰ(2) 中国方言基礎演習Ⅱ(2)	8		
	中国語・中国文化関連科目 中国語学			中国語文法Ⅰ(2)　中国語史Ⅰ(2)　日中言語対照Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2)　中国語史Ⅱ(2)　日中言語対照Ⅱ(2)				
	中国語・中国文化関連科目 中国文学			現当代文学Ⅰ(2) 現当代文学Ⅱ(2)	古典文学Ⅰ(2) 古典文学Ⅱ(2)			
	中国語・中国文化関連科目 中国文化			東アジア比較思想論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2) 中国宗教・文化論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2)	中国文化体験(2) 中国芸術論Ⅰ(2) 中国芸術論Ⅱ(2)			
	中国語・中国文化関連科目 中国社会		ビジネス総合講座Ⅰ(2) ビジネス総合講座Ⅱ(2)	中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2)				
	中国語・中国文化関連科目 中国研究	●中国社会研究入門(2) ●中国現代史研究入門(2)	中国思想研究入門(2) 中国文学研究入門(2) 中国歴史研究入門(2) 中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2)			8		
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
	他学部・他学科開放科目	＜他学部・他学科開放科目（専門科目）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
合計卒業要件単位数（最低）						124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	履　修　方　法
共通科目	基礎教育［特別科目］		⑧	必　修　全4科目8単位修得 ＊外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修　人間形成の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
		国際理解	4	選択必修　国際理解の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
		社会生活	4	選択必修　社会生活の分野から4単位修得 （＊4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	キャリア形成教育		⑥	必　修　全3科目6単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6	選　択　上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得
	計		32	－
専門科目	専門基礎		⑫	必　修　全7科目12単位修得
	ILP	中国語	⑳	必　修　中国語から10科目20単位修得 （＊必修科目以外で修得した単位→卒業要件には算入されません。）
		英語 日本語	4	選択必修　母語以外の1言語4科目4単位修得 （＊選択した言語以外は履修できません。）
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア	⑩	必　修　全5科目10単位修得
		グローバル	16	選択必修　グローバルから必修8単位を含め16単位修得 （＊16単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）
		フィールドワーク	2	選択必修　フィールドワークから2単位修得 （＊2単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）
	中国語・中国文化関連科目	SKILL 中国語学 中国文学 中国文化 中国社会	8	選択必修　SKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から8単位修得 （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）
		中国研究	8	選択必修　中国研究から必修4単位を含め8単位修得 （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）
	卒業研究		⑧	必　修　全2科目8単位修得
	その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】		4	選　択　上記専門科目88単位のほかに、グローバル・スタディーズ関連科目及び中国語・中国文化関連科目から4単位修得 ＊他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。
	計		92	－
合　計			124	－

■ 進級要件

2年（4学期）から3年（5学期）への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」及び「中国語基礎演習（4単位）」を含む。）	22単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	8単位
合　計	44単位

11 他学部・他学科開放科目 産学連携教育プログラム

他学部・他学科開放科目の履修

専門領域にとらわれない幅広い分野の中から、目的や興味に応じた学修を通して、より幅広い知識を修得することを目的として、他学部・他学科において開放されている授業科目（開放科目）を履修することができます。

1 履　修　方　法

開放科目一覧から自分の履修したい授業科目を選び、授業担当教員の許可を得た上で履修登録してください。

履修上の注意点

① 授業科目によっては、一定の条件を満たさなければ履修できない科目がありますので、授業担当教員の説明や『シラバス』の「履修条件」欄で確認してください。
　なお、他学部の『シラバス』は明海大学浦安キャンパスホームページ上で閲覧することができます。
② 履修に当たっては、必ず授業担当教員の許可を得てください。授業担当教員に無断で登録した場合、単位が認定されないことがあります。
③ 下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。
④ 学部・学科・専攻・コース・メジャー等により、他学部・他学科開放科目の履修が認められない場合があります。卒業要件単位数に算入される区分等を含め、詳細は教育課程表を確認してください。
⑤ 今年度開講されない授業科目については、授業時間割等で確認してください。

2 共通科目【キャリア形成教育】に含めることができる開放科目

開講学科	開放科目〔(　)の数字は単位数〕	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可	
			2021年度以降	2016～2020年度
日本語学科	日本研究(2)	2・3・4	●	
	東アジア研究(2)	2・3・4	●	
	文化講義Ⅰ(日本)(2)	2・3・4	●	
	文化講義Ⅱ(異文化理解)(2)	2・3・4	●	
	応用言語学(2)	3・4	●	
	社会言語学(2)	3・4	●	
	比較文化論(2)	2		●
	日本語教育のための英語(2)	3・4		●
	日本語教育のための中国語(2)	3・4		●
	日本語教育のための韓国語(2)	3・4		●
英米語学科	英語圏の文化と社会(2)	2		●
	英語史(2)	2	●	●
	対照言語研究a(2)	2	●	●
	対照言語研究b(2)	2	●	●
	英文法研究a(2)	2	●	●
	英文法研究b(2)	2	●	●
	英米文学史(2)	2		●
	時事英語a(2)	2	●	●

開講学科	開放科目 〔(　)の数字は単位数〕	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可	
			2021年度 以　降	2016～ 2020年度
英米語学科	時事英語b(2)	2	●	●
	Interpreting Skills a(2)	3・4	●	●
	Interpreting Skills b(2)	3・4	●	●
	Translation Skills a(2)	3・4	●	●
	Translation Skills b(2)	3・4	●	●
	Advanced Writing Skills a(2)	3・4	●	●
	Advanced Writing Skills b(2)	3・4	●	●
	Advanced Reading Skills a(2)	3・4	●	●
	Advanced Reading Skills b(2)	3・4	●	●
	Advanced Listening Skills a(2)	3・4	●	●
	Advanced Listening Skills b(2)	3・4	●	●
	Discussion & Debate a(2)	3・4	●	●
	Discussion & Debate b(2)	3・4	●	●
	English for Current Issues a(2)	3・4		●
	English for Current Issues b(2)	3・4		●
	Advanced Business English a(2)	3・4	●	●
	Advanced Business English b(2)	3・4	●	●
	Advanced Research & Presentation Skills(2)	3・4	●	●
中国語学科	中国社会研究入門(2)	1	●	●
	中国現代史研究入門(2)	1	●	●
	中国思想研究入門(2)	2	●	●
	中国文学研究入門(2)	2	●	●
	中国歴史研究入門(2)	2	●	●
	中国ビジネス入門(2)	2	●	●
	中国現代史Ⅰ(2)	3・4	●	●
	中国現代史Ⅱ(2)	3・4	●	●
	中国経済Ⅰ(2)	3・4	●	●
	中国経済Ⅱ(2)	3・4	●	●
	日中観光実務Ⅰ(2)	3・4	●	●
	日中観光実務Ⅱ(2)	3・4	●	●
経済学科	キャリア講座Ⅰ(2)	1～4	●	●
	キャリア講座Ⅱ(2)	1～4	●	●
不動産学科	不動産実務演習Ⅰ(2)	1～4		●
	不動産実務演習Ⅱ(2)	1～4		●

※外国語学部の学科・専攻によっては「共通科目【キャリア形成教育】に含めることができる開放科目」の対象外となる科目があります。詳細は教育課程表等で確認してください。

3 専門科目に含めることができる開放科目

開講学科	開放科目 〔(　) の数字は単位数〕	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可		
			2021年度 以　降	2017～ 2020年度	2016年度
日本語学科	日本語学概論(2)	1	●	●	●
	日本語表現研究Ⅰ(2)	1	●	●	●
	日本語表現研究Ⅱ(2)	1	●	●	●
	日本語教授法(2)	1	●	●	●
	音声学概論(2)	2	●	●	●
	日本語音声学(2)	2	●	●	●
	日本語文法論Ⅰ(2)	2	●	●	●
	日本語文法論Ⅱ(2)	2	●	●	●
	言語学概論(2)	2	●	●	●
	日本語教材論(2)	2	●	●	●
	検定対策Ⅰ(2)	2	●	●	●
	検定対策Ⅱ(2)	2	●	●	●
	検定対策Ⅲ(2)	2	●	●	●
	検定対策Ⅳ(2)	2	●	●	●
	評価法研究(2)	2	●	●	●
	教案作成研究(2)	2	●	●	●
	日本語教育事情(2)	2	●	●	●
	第二言語習得論(2)	2	●	●	●
	日本語史Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	日本語史Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	日本語教育実習(4)	3・4	●	●	●
英米語学科	異文化コミュニケーション概論a(2)	1・2	●	●	●
	異文化コミュニケーション概論b(2)	1・2	●	●	●
	英語学概論a(2)	1・2	●	●	●
	英語学概論b(2)	1・2	●	●	●
	英米文学概論a(2)	1・2	●	●	●
	英米文学概論b(2)	1・2	●	●	●
	英語教育学概論a(2)	1・2	●	●	●
	英語教育学概論b(2)	1・2	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅰ－a(2)	3・4	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅰ－b(2)	3・4	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅱ－a(2)	3・4	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅱ－b(2)	3・4	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅲ－a(2)	3・4		●	●
	コミュニケーション特講Ⅲ－b(2)	3・4		●	●
	英語学特講Ⅰ－a(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅰ－b(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅱ－a(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅱ－b(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅲ－a(2)	3・4		●	●
	英語学特講Ⅲ－b(2)	3・4		●	●
	文学特講Ⅰ－a(2)	3・4	●	●	●
	文学特講Ⅰ－b(2)	3・4	●	●	●
	文学特講Ⅱ－a(2)	3・4	●	●	●
	文学特講Ⅱ－b(2)	3・4	●	●	●
	文学特講Ⅲ－a(2)	3・4		●	●
	文学特講Ⅲ－b(2)	3・4		●	●
中国語学科	中国方言基礎演習Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	中国方言基礎演習Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	中国語文法Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	中国語文法Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	中国語史Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	中国語史Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	日中言語対照Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	日中言語対照Ⅱ(2)	3・4	●	●	●

開講学科	開放科目 〔(　)の数字は単位数〕	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可		
			2021年度 以　降	2017～ 2020年度	2016年度
中国語学科	現当代文学Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	現当代文学Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	古典文学Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	古典文学Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	東アジア比較思想論Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	東アジア比較思想論Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	中国宗教・文化論Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	中国宗教・文化論Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	中国芸術論Ⅰ(2)	3・4		●	●
	中国芸術論Ⅱ(2)	3・4		●	●
	中国文化体験(2)	3・4		●	●
経済学科	日本経済論Ⅰ(2)	1		●	●
	日本経済論Ⅱ(2)	1		●	●
	日本経済史(2)	1	●	●	●
	経営史Ⅰ(2)	1		●	●
	経営史Ⅱ(2)	1		●	●
	東洋経済史(2)	1	●	●	●
	経済学史Ⅰ(2)	1	●	●	●
	経済学史Ⅱ(2)	1	●	●	●
	民法(2)	1	●	●	●
	西洋経済史Ⅰ(2)	1	●	●	●
	西洋経済史Ⅱ(2)	1	●	●	●
	日本経済論Ⅰ(2)	2	●		
	日本経済論Ⅱ(2)	2	●		
	社会保障論Ⅰ(2)	2	●	●	●
	社会保障論Ⅱ(2)	2	●	●	●
	経営戦略論Ⅰ(2)	2	●		
	経営戦略論Ⅱ(2)	2	●		
	環境経済論Ⅰ(2)	2		●	●
	環境経済論Ⅱ(2)	2		●	●
	会社法Ⅰ(2)	2	●	●	●
	会社法Ⅱ(2)	2	●	●	●
	税法総論(2)	2	●	●	●
	アメリカ経済論Ⅰ(2)	2	●	●	●
	アメリカ経済論Ⅱ(2)	2	●	●	●
	ヨーロッパ経済論Ⅰ(2)	2	●	●	●
	ヨーロッパ経済論Ⅱ(2)	2	●	●	●
	アジア経済論Ⅰ(2)	2	●	●	●
	アジア経済論Ⅱ(2)	2	●	●	●
	サービス経済論Ⅰ(2)	2	●	●	●
	サービス経済論Ⅱ(2)	2	●	●	●
	地方財政論Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	地方財政論Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	交通経済論Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	交通経済論Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	マーケティング論Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	マーケティング論Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	生産管理論Ⅰ(2)	3・4	●		
	生産管理論Ⅱ(2)	3・4	●		
不動産学科	財産法の基礎(2)	1	●	●	●
	ミクロ経済学(2)	1	●	●	●
	都市計画の基礎(2)	1	●	●	●
	建築一般構造論(2)	1	●	●	●
	不動産公法(2)	1	●	●	●
	不動産学のための数学と統計(2)	2	●	●	●
	担保物権法(2)	2	●	●	●
	債権法(4)	2	●	●	●
	マクロ経済学(2)	2	●	●	●

開講学科	開放科目 〔(　)の数字は単位数〕	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可		
			2021年度 以　降	2017～ 2020年度	2016年度
不動産学科	土地と住宅の経済学(2)	2	●	●	●
	会計学の基礎(2)	2	●	●	●
	経営分析(2)	2	●	●	●
	都市計画(2)	2	●	●	●
	測量と地図(2)	2	●	●	●
	地籍と不動産登記(2)	2	●	●	●
	ハウジング論(2)	2	●	●	●
	物権法(2)	2	●	●	●
	都市と建築の基本法(2)	2	●	●	●
	不動産政策史(2)	2	●	●	●
	建築史(2)	2	●	●	●
	住宅計画(2)	2	●	●	●
	不動産数理(2)	2	●	●	●
	都市と環境の経済学(2)	2	●		
	不動産鑑定評価論(4)	2	●		
	借地借家法・区分所有法(2)	3	●	●	●
	開発行政法(2)	3	●	●	●
	会社法(2)	3	●	●	●
	家族法(2)	3	●	●	●
	不動産トラブルと法(2)	3	●	●	●
	不動産金融法・不動産税法(2)	3	●	●	●
	環境法(2)	3	●	●	●
	都市と環境の経済学(2)	3		●	●
	不動産金融論(4)	3	●	●	●
	不動産鑑定評価論(4)	3		●	●
	不動産会計財務論(2)	3	●	●	●
	不動産ファイナンス(4)	3	●	●	●
	法と政策の経済学(2)	3	●	●	●
	不動産経営戦略(2)	3	●	●	●
	集合住宅管理論(2)	3	●	●	●
	不動産経営計画(2)	3	●	●	●
	都市開発と社会基盤(2)	3	●	●	●
	都市環境と防災(2)	3	●	●	●
	建築計画(2)	3	●	●	●
	建築環境計画(2)	3	●	●	●
	建築材料学(2)	3	●	●	●
	建築構造計画(2)	3	●	●	●
	建築環境デザイン(2)	3	●	●	●
	建築設備(2)	3	●	●	●
	構造力学Ⅰ(2)	3	●	●	●
	構造力学Ⅱ(2)	3	●	●	●
	建築生産(2)	4	●	●	●
HT学科	日本文化論(2)	1～4	●	●	●
	世界遺産論(2)	1～4	●	●	●
	デスティネーション研究A(日本)(2)	1～4	●	●	
	デスティネーション研究B(ヨーロッパ)(2)	1～4	●	●	
	デスティネーション研究C(南北アメリカ)(2)	1～4	●	●	
	デスティネーション研究D(アジア)(2)	1～4	●	●	
	デスティネーション研究E(オセアニア、太平洋地域)(2)	1～4	●	●	
	デスティネーション研究F(アフリカ、中東地域等)(2)	1～4	●	●	
	ディスティネーション研究Ⅰ(日本)(2)	1～4			●
	ディスティネーション研究Ⅱ(ヨーロッパ)(2)	1～4			●
	ディスティネーション研究Ⅲ(南北アメリカ)(2)	1～4			●
	ディスティネーション研究Ⅳ(アジア)(2)	1～4			●
	ディスティネーション研究Ⅴ(オセアニア、太平洋地域)(2)	1～4			●
	ディスティネーション研究Ⅵ(アフリカ、中東地域等)(2)	1～4			●

※英語で行われる科目（グローバル・マネジメント　メジャー専門科目）は、他学部・他学科開放科目の対象外です。

産学連携教育プログラムの履修

産学連携教育プログラムとは、社会との接点、いわば大学教育と企業等社会とのパイプとなるもので、本学の実学教育の一環として開設する実学・実践的なプログラムです。

履修希望者は、必ず３月31日（木）の産学連携教育プログラム履修ガイダンスに出席してください。履修が許可されたプログラムについては、やむを得ない理由を除き、原則として途中で辞退することはできません。

なお、**修得単位は、共通科目の「キャリア形成教育」の卒業要件単位に算入**されます。詳細は、産学連携教育プログラム履修ガイダンス時に配布される資料及び『シラバス』で確認してください。

1 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム

株式会社ANA総合研究所との連携によるプログラムです。国際的な視野に立ったツーリズム、CS（顧客満足）及びサービスに関する実学知識・スキルを修得することを目的としています。

	授業科目名（単位数）	年次
ツーリズム（観光）	ツーリズム概論(2)	2
	航空サービス論(2)	2
	フライトアテンダント・グランドスタッフ研究(2)	2
	ホテル・リゾート研究(2)	2
CS（顧客満足）・サービス	ホスピタリティ論Ⅰ（ホスピタリティ基礎）(2)	2
	ホスピタリティ論Ⅱ（ホスピタリティと産業）(2)	2
	ホスピタリティ論Ⅲ（ホスピタリティ・マナー演習）(2) ＊定員24名	2

【履修方法】

1　産学連携教育プログラム履修ガイダンスに出席し、「履修希望カード」を提出。

2　履修希望科目の初回授業に出席。

※担当教員から注意事項の説明がありますので指示に従ってください。（ホスピタリティ論Ⅲについては、初回授業で抽選を行う場合があります。）

3　履修登録期間中にWebポータルシステムで履修登録を行う。

2 ビジネスコミュニケーションプログラム　【先着順／定員各回20名】

本プログラムは、人間関係構築の視点からマナーと日本語によるコミュニケーションについて学び、人間が人間らしく生き、日常生活をスムーズに送り、そしてビジネスの世界においては安心と信頼から成る人間関係を構築するためのスキルを修得することを目的としたプログラムです。

授業科目名（単位数）	年次
ビジネスコミュニケーションA(1)	1
ビジネスコミュニケーションB(1)	1

【履修方法】

1　手続期間等〈前学期〉

第１・２回　　４月５日（火）から先着順

第３回　　７月８日（金）から先着順

2　取扱窓口

学事課（教務担当）窓口

注意１　後学期開講スケジュール等については、後学期の授業開始前に掲示します。

注意２　授業内容はA・B同一で、２科目２単位（２回）まで受講できます。

注意３　本プログラムの単位数は、履修単位数の上限には含まれません。

3 野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座） 【選抜／定員50名】

野村證券株式会社との連携による寄附講座です。日常生活を取り巻く環境が著しく変化している中、「自己責任の原則」の下、一般生活者・消費者又は貯蓄・投資者として賢くふるまうためのファイナンスに関する実践的な知識を修得することができます。野村證券株式会社の現役スタッフが証券市場の話題を中心に授業を行います。

授業科目名（単位数）	年次
資本市場の役割と証券投資（2）	2

【履修方法】

1　産学連携教育プログラム履修ガイダンスに出席し、「履修希望カード」を提出する。
2　履修許可者発表を確認する。
　4月5日（火）2101・2103大講義室横掲示板
　※履修希望者が定員に満たない場合、追加募集を行います。
3　履修登録期間中にWebポータルシステムで履修登録を行う。

参 考　野村證券ファイナンスプログラム【2021年度まで】

授業科目名（単位数）	年次
〈野村證券提供科目〉 資本市場の役割と証券投資（2）	2
〈明海大学開設科目〉 証券投資シミュレーション(2)	2

注 意　2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

4 日経・ビジネスプログラム

日経メディアプロモーション株式会社との連携によるプログラムです。

授業科目名（単位数）	年次
日経・ビジネスプログラム（4）	2

5 サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム 【選抜／定員2名】

株式会社サイマル・インターナショナルとの連携による英語通訳者養成のプログラムです。同社が開設しているサイマル・アカデミーの通訳コースに入り本格的な通訳スキルを修得するもので、サイマル・アカデミーの授業料等の減免及び本学からの奨学金の給付制度があります。また、本プログラムを履修する希望者は、通訳業務に関連したインターンシップを行うことができます。

なお、2022年度については、10月入学（履修）の募集となります。詳細については、掲示を確認してください。

サイマルにおける対応コース及びクラス等（英語コース）		本学における単位認定科目名（単位数）
サイマル・インターナショナルにおける通訳補助業務研修		サイマル・インターンシップ（2）
通訳コース （それぞれ週4時間　半年）	通訳Ⅰ	通訳入門Ⅰ（英語）（4）
	通訳Ⅱ	通訳入門Ⅱ（英語）（4）
	通訳Ⅲ 通訳Ⅳ	逐次通訳基礎Ⅰ（英語）（4） 逐次通訳基礎Ⅱ（英語）（4）

12 教職課程

1　趣　旨

教育職員として、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校において教育に携わろうとする者は、教育職員免許法に基づき、教育職員免許状を有していなければなりません。

本学部には、卒業後教育職員を志望する者のために教職課程が設置されています。

2　取得できる免許状の種類

学　　科	取得できる免許状	免許教科
日本語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国　語 国　語
英米語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英　語 英　語
中国語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	中国語 中国語

3　免許状の授与条件

本学部において免許状を取得するためには、卒業に必要な単位のほかに、取得希望する免許状に応じた教職課程科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。

参照➡「教職課程表」

4　教職課程の履修

教職課程は、入学年度や所属する学科によって履修方法等が異なります。履修希望者は、該当する学年の「教職課程ガイダンス」に出席し、「教職課程表」を確認の上、学修の負担等を考えながら計画的に履修してください。

※免許状を取得するためには、２年次の専攻選択において日本語専攻、英米語専攻及び中国語専攻を選択する必要があります。

5　教職課程の履修開始から教育職員免許状取得まで

年次	教職課程関連行事	
	日本語学科・英米語学科	中国語学科
1年	**4月　教職課程ガイダンス（教職課程の履修について）** ↓ 4月　「文部科学省令で定める科目」、「教科及び教科の指導法に関する科目（各教科の指導法を除く。）」及び「大学が独自に設定する科目（英米語学科のみ）」　履修開始 ↓	4月　「文部科学省令で定める科目」及び「教科及び教科の指導法に関する科目（各教科の指導法を除く。）」　履修開始 ↓
2年	**3月　教職課程ガイダンス（教職課程の履修について）** ↓ 教職課程履修費納入 ↓ 4月　「教育の基礎的理解に関する科目」及び「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」　履修開始 ↓ **12月　教職課程ガイダンス（介護等の体験※及び教育実習校開拓等について）** ↓ 3月～　教育実習校開拓 ↓	
3年	4月　「各教科の指導法」及び「大学が独自に設定する科目」　履修開始 ↓ 4月～5月　教育実習依頼状作成 ↓ 4月～9月　教育実習校決定 ↓	**3月　介護等の体験※事前ガイダンス** ↓ 介護等の体験申込書類提出 介護等の体験費及び保険料納入 ↓ 5月下旬　介護等の体験受入施設　決定 ↓ 6月～2月　介護等の体験実施
4年	**3月　教育実習事前ガイダンス** ↓ 4月　「教職実践に関する科目」　履修開始 ↓ 教育実習費及び保険料納入 ↓ 5月～　教育実習実施 9月末頃　教育職員免許状授与一括申請に係る戸籍抄本提出 ↓ **12月　教育職員免許状授与一括申請ガイダンス** ↓ 教育職員免許状授与一括申請書類提出 教育職員免許状授与申請費納入 ↓ 3月　教育職員免許状取得	

※中学校教諭一種免許状取得希望者のみ

注意1　教職課程ガイダンスでは、教職課程を履修する上で重要な事項の説明がありますので、履修者（履修希望者）は必ず出席してください。なお、詳しい日程等については、教職課程履修の手引及び掲示等で確認してください。

注意2　教育職員免許状を取得するために、教育職員免許状一括申請ガイダンスに先立ち、4年次の9月末頃に戸籍抄本を提出する必要があります。詳しい日程等については掲示で確認してください。

6　教職課程表

外国語学部　日本語学科　教職課程表（2022年度入学生用）

2022年度版

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数 中	単位数 高	本学で定める授業科目等 授業科目	単位数 必修	単位数 選択	配当年次 1	配当年次 2	配当年次 3	配当年次 4	最低修得単位数 中	最低修得単位数 高	履修方法等
文部科学省令で定める科目	日本国憲法	2	2	日本国憲法	2		○	○	○	○	2	2	次のとおり修得しなければならない。 1　日本国憲法2単位 2　体育から2単位 3　外国語コミュニケーションから2単位 4　数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作2単位
	体育	2	2	スポーツ科学講義A		2	○	○	○	○	2	2	
				スポーツ科学講義B		2	○	○	○	○			
				スポーツ科学演習A		2	○	○	○	○			
				スポーツ科学演習B		2	○	○	○	○			
	外国語コミュニケーション	2	2	英語Ⅰ－a		1	○				2	2	
				英語Ⅰ－b		1	○						
				英語Ⅱ－a		1	○						
				英語Ⅱ－b		1	○						
				英語Ⅲ－a		1		○					
				英語Ⅲ－b		1		○					
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	2	学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）	2		○				2	2	
教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1以上	1以上	日本語表現研究Ⅰ		2	○				22	22	1　中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり54単位以上修得しなければならない。 （1）国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）から必修6単位を含め22単位以上 （2）国文学（国文学史を含む。）から必修2単位を含め8単位以上 （3）漢文学から必修2単位を含め4単位以上 （4）書道4単位 （5）教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目8単位 （6）各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）8単位 2　高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり48単位以上修得しなければならない。 （1）国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）から必修6単位を含め22単位以上 （2）国文学（国文学史を含む。）から必修2単位を含め8単位以上 （3）漢文学から必修2単位を含め6単位以上 （4）教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目8単位 （5）各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）から国語科教育法Ⅰ及び国語科教育法Ⅱの2科目、計4単位
				日本語表現研究Ⅱ		2	○						
				日本語学概論	2		○						
				日本語文法論Ⅰ		2		○					
				日本語文法論Ⅱ		2		○					
				日本語教育概論	2		○						
				日本語史Ⅰ		2			○	○			
				音声学概論	2			○					
				日本語音声学		2		○					
				日本語学基礎演習		2		○					
				言語学概論		2		○					
				敬語表現法		2		○					
				表記法概論		2			○	○			
	国文学（国文学史を含む。）	1以上	1以上	日本文学史	2				○	○	8	8	
				近現代文学		2			○	○			
				古典概説		2			○	○			
				古典演習		2			○	○			
				日本語講読Ⅰ		2			○	○			
				日本語講読Ⅱ		2			○	○			
	漢文学	1以上	1以上	漢文学概論	2			○			4	6	
				漢文学講義		2		○					
				漢文学演習Ⅰ		2			○	○			
				漢文学演習Ⅱ		2			○	○			
	書道（書写を中心とする。）	1以上	—	▲書道Ⅰ		2		○			4	—	
				▲書道Ⅱ		2		○					
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	—	—	教職基礎セミナーⅠ（国語科）	2		○				8	8	
				教職基礎セミナーⅡ（国語科）	2		○						
				教職基礎セミナーⅢ（国語科）	2			○					
				教職基礎セミナーⅣ（国語科）	2			○					
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8以上	4以上	国語科教育法Ⅰ	2				○		8	4	
				国語科教育法Ⅱ	2				○				
				▲国語科教育法Ⅲ		2			○				
				▲国語科教育法Ⅳ		2			○				
	教科及び教科の指導法に関する科目最低修得単位数	28	24								54	48	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	2			○			12	12	1　中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり31単位修得しなければならない。 （1）教育の基礎的理解に関する科目12単位 （2）道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目12単位 （3）教育実践に関する科目7単位 2　高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり27単位修得しなければならない。 （1）教育の基礎的理解に関する科目12単位 （2）道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目から、「総合的な学習の時間」の指導法、特別活動論、教育方法論、生徒指導・進路指導論、教育相談の5科目、計10単位 （3）教育実践に関する科目から、教育実習Ⅰ及び教職実践演習（中・高）の2科目、計5単位
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教師論	2			○					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			教育行政学	2				○				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2			○					
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	2				○				
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			教育課程論	2			○					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	▲道徳教育の理論と実践		2		○			12	10	
	総合的な学習の時間の指導法			「総合的な学習の時間」の指導法	2				○				
	特別活動の指導法			特別活動論	2			○					
	教育の方法及び技術			教育方法論	2			○					
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法												
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導論	2				○				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法												
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			教育相談	2				○				
教育実践に関する科目	教育実習	7	5	教育実習Ⅰ	3					○	7	5	
				▲教育実習Ⅱ		2				○			
	教職実践演習			教職実践演習（中・高）	2					○			
大学が独自に設定する科目		4	12	教職インターンシップ		4			○	○	—	—	教育職員免許法施行規則に規定する大学が独自に設定する科目の必要単位数（中：4単位、高：12単位）は、本学で定める授業科目等の教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数の修得をもってこれに充てる。

備考

▲：中学校教諭一種免許状取得希望者は必修　　中：中学校教諭一種免許状　　高：高等学校教諭一種免許状

注1：下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。

注2：必修・選択の区分及び最低修得単位数は卒業要件とは異なります。

注3：中・高両方の免許状取得希望者は、両方の取得要件を満たすよう履修してください。

外国語学部　日本語学科　教職課程表（2019～2021年度入学生用）

2022年度版

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数 中	単位数 高	本学で定める授業科目等 授業科目	単位数 必修	単位数 選択	配当年次 1	配当年次 2	配当年次 3	配当年次 4	最低修得単位数 中	最低修得単位数 高	履修方法等
文部科学省令で定める科目	日本国憲法	2	2	日本国憲法	2		○	○	○	○	2	2	次のとおり修得しなければならない。 1　日本国憲法２単位 2　体育から２単位 3　外国語コミュニケーションから２単位 4　情報機器の操作２単位
	体育	2	2	スポーツ科学講義Ａ		2	○	○	○	○	2	2	
				スポーツ科学講義Ｂ		2	○	○	○	○			
				スポーツ科学演習Ａ		2	○	○	○	○			
				スポーツ科学演習Ｂ		2	○	○	○	○			
	外国語コミュニケーション	2	2	英語Ⅰ－ａ		1	○				2	2	
				英語Ⅰ－ｂ		1	○						
				英語Ⅱ－ａ		1	○						
				英語Ⅱ－ｂ		1	○						
				英語Ⅲ－ａ		1		○					
				英語Ⅲ－ｂ		1		○					
	情報機器の操作	2	2	学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）	2		○				2	2	
教科及び教科の指導法に関する科目 / 教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1以上	1以上	日本語表現研究Ⅰ		2	○				22	22	1　中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり54単位以上修得しなければならない。 （1）国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）から必修６単位を含め22単位以上 （2）国文学（国文学史を含む。）から必修２単位を含め８単位以上 （3）漢文学から必修２単位を含め４単位以上 （4）書道４単位 （5）教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目８単位 （6）各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）８単位 2　高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり48単位以上修得しなければならない。 （1）国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）から必修６単位を含め22単位以上 （2）国文学（国文学史を含む。）から必修２単位を含め８単位以上 （3）漢文学から必修２単位を含め６単位以上 （4）教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目８単位 （5）各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）から国語科教育法Ⅰ及び国語科教育法Ⅱの２科目、計４単位
				日本語表現研究Ⅱ		2	○						
				日本語学概論	2		○						
				日本語文法論Ⅰ		2		○					
				日本語文法論Ⅱ		2		○					
				日本語教育概論	2		○						
				日本語史Ⅰ		2			○	○			
				音声学概論	2			○					
				日本語音声学		2		○					
				日本語学基礎演習		2		○					
				言語学概論		2		○					
				敬語表現法		2		○					
				表記法概論		2			○	○			
	国文学（国文学史を含む。）	1以上	1以上	日本文学史	2				○	○	8	8	
				近現代文学		2			○	○			
				古典概説		2			○	○			
				古典演習		2			○	○			
				日本語講読Ⅰ		2			○	○			
				日本語講読Ⅱ		2			○	○			
	漢文学	1以上	1以上	漢文学概論	2			○			4	6	
				漢文学講義		2		○					
				漢文学演習Ⅰ		2			○	○			
				漢文学演習Ⅱ		2			○	○			
	書道（書写を中心とする。）	1以上	—	▲書道Ⅰ		2		○			4	—	
				▲書道Ⅱ		2		○					
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	—	—	教職基礎セミナーⅠ（国語科）	2		○				8	8	
				教職基礎セミナーⅡ（国語科）	2		○						
				教職基礎セミナーⅢ（国語科）	2			○					
				教職基礎セミナーⅣ（国語科）	2			○					
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8以上	4以上	国語科教育法Ⅰ	2				○		8	4	
				国語科教育法Ⅱ	2				○				
				▲国語科教育法Ⅲ		2			○				
				▲国語科教育法Ⅳ		2			○				
	教科及び教科の指導法に関する科目最低修得単位数	28	24								54	48	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	2			○			12	12	1　中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり31単位修得しなければならない。 （1）教育の基礎的理解に関する科目12単位 （2）道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目12単位 （3）教育実践に関する科目７単位 2　高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり27単位修得しなければならない。 （1）教育の基礎的理解に関する科目12単位 （2）道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目から、「総合的な学習の時間」の指導法、特別活動論、教育方法論、生徒指導・進路指導論、教育相談の５科目、計10単位 （3）教育実践に関する科目から、教育実習Ⅰ及び教職実践演習（中・高）の２科目、計５単位
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教師論	2			○					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			教育行政学	2				○				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2			○					
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	2				○				
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			教育課程論	2			○					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	▲道徳教育の理論と実践		2		○			12	10	
	総合的な学習の時間の指導法			「総合的な学習の時間」の指導法	2				○				
	特別活動の指導法			特別活動論	2			○					
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			教育方法論	2			○					
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導論	2				○				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法												
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			教育相談	2				○				
教育実践に関する科目	教育実習	7	5	教育実習Ⅰ	3					○	7	5	
				▲教育実習Ⅱ		2				○			
	教職実践演習			教職実践演習（中・高）	2					○			
大学が独自に設定する科目		4	12	教職インターンシップ		4			○	○	—	—	教育職員免許法施行規則に規定する大学が独自に設定する科目の必要単位数（中：４単位、高：１２単位）は、本学で定める授業科目等の教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数の修得をもってこれに充てる。

備考

▲：中学校教諭一種免許状取得希望者は必修　　中：中学校教諭一種免許状　　高：高等学校教諭一種免許状

注１：下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。

注２：必修・選択の区分及び最低修得単位数は卒業要件とは異なります。

注３：中・高両方の免許状取得希望者は、両方の取得要件を満たすよう履修してください。

外国語学部　英米語学科　教職課程表（2022年度入学生用）

2022年度版

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数 中	単位数 高	本学で定める授業科目等 授業科目	単位数 必修	単位数 選択	配当年次 1	配当年次 2	配当年次 3	配当年次 4	最低修得単位数 中	最低修得単位数 高	履修方法等
文部科学省令で定める科目	日本国憲法	2	2	日本国憲法	2		○	○	○	○	2	2	次のとおり修得しなければならない。 1　日本国憲法2単位 2　体育から2単位 3　外国語コミュニケーションから2単位 4　数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作2単位
	体育	2	2	スポーツ科学講義A		2	○	○	○	○	2	2	
				スポーツ科学講義B		2	○	○	○	○			
				スポーツ科学演習A		2	○	○	○	○			
				スポーツ科学演習B		2	○	○	○	○			
	外国語コミュニケーション	2	2	Integrated English Ⅰ		2	○				2	2	
				Listening Ⅰ－a		1	○						
				Listening Ⅰ－b		1	○						
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	2	学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）	2		○				2	2	
教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	英語学	1以上	1以上	英語学概論　a	2		○	○			16	16	1　中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり42単位以上修得しなければならない。 （1）英語学から必修12単位を含め16単位以上 （2）英語文学から英米文学概論a又は英米文学概論ｂのいずれか２単位を含め４単位以上 （3）英語コミュニケーション４単位 （4）異文化理解から２単位以上 （5）教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目８単位 （6）各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）８単位 2　高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり38単位以上修得しなければならない。 （1）英語学から必修12単位を含め16単位以上 （2）英語文学から英米文学概論a又は英米文学概論ｂのいずれか２単位を含め４単位以上 （3）英語コミュニケーション４単位 （4）異文化理解から２単位以上 （5）教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目８単位 （6）各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）から英語科教育法Ⅰ及び英語科教育法Ⅱの２科目、計４単位
				英語学概論　b	2		○	○					
				英語教育学概論　a	2		○	○					
				英語教育学概論　b	2		○	○					
				英語音声学　a	2			○	○	○			
				英語音声学　b	2			○	○	○			
				英語史		2		○	○	○			
				英語教育特講Ⅰ－a		2			○	○			
				英語教育特講Ⅰ－b		2			○	○			
	英語文学	1以上	1以上	英米文学概論　a		2	○	○			4	4	
				英米文学概論　b		2	○	○					
				文学特講Ⅱ－a		2			○	○			
				文学特講Ⅱ－b		2			○	○			
	英語コミュニケーション	1以上	1以上	Integrated English Ⅳ	2			○			4	4	
				Writing Ⅱ－a	1			○					
				Writing Ⅱ－b	1			○					
	異文化理解	1以上	1以上	異文化コミュニケーション概論 a		2	○	○			2	2	
				異文化コミュニケーション概論 b		2	○	○					
	教科及び教科の指導法に関する複数の事項を合わせた内容に係る科目	—	—	教職基礎セミナーⅠ（英語科）	2		○				8	8	
				教職基礎セミナーⅡ（英語科）	2		○						
				教職基礎セミナーⅢ（英語科）	2			○					
				教職基礎セミナーⅣ（英語科）	2			○					
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8以上	4以上	英語科教育法Ⅰ	2				○		8	4	
				英語科教育法Ⅱ	2				○				
				▲英語科教育法Ⅲ		2			○				
				▲英語科教育法Ⅳ		2			○				
	教科及び教科の指導法に関する科目最低修得単位数	28	24								42	38	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	2			○			12	12	1　中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり31単位修得しなければならない。 （1）教育の基礎的理解に関する科目12単位 （2）道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目12単位 （3）教育実践に関する科目７単位 2　高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり27単位修得しなければならない。 （1）教育の基礎的理解に関する科目12単位 （2）道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目から、「総合的な学習の時間」の指導法、特別活動論、教育方法論、生徒指導・進路指導論、教育相談の５科目、計10単位 （3）教育実践に関する科目から、教育実習Ⅰ及び教職実践演習（中・高）の２科目、計５単位
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教師論	2			○					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			教育行政学	2				○				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2			○					
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	2				○				
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			教育課程論	2			○					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	▲道徳教育の理論と実践		2		○			12	10	
	総合的な学習の時間の指導法			「総合的な学習の時間」の指導法	2				○				
	特別活動の指導法			特別活動論	2			○					
	教育の方法及び技術			教育方法論	2			○					
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法												
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導論	2				○				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法												
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			教育相談	2				○				
教育実践に関する科目	教育実習	7	5	教育実習Ⅰ	3					○	7	5	
				▲教育実習Ⅱ		2				○			
	教職実践演習			教職実践演習（中・高）	2					○			
大学が独自に設定する科目		4	12	教職インターンシップ		4			○	○	4	4	教育職員免許法施行規則に規定する大学が独自に設定する科目の必要単位数（中：４単位、高：12単位）は、本学で定める授業科目等の教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数をもってこれに充てる。 さらに、Four Skills for Teaching a及びFour Skills for Teaching bの必修２科目、計４単位以上修得しなければならない。
				Four Skills for Teaching　a	2				○	○			
				Four Skills for Teaching　b	2				○	○			
				小学校英語基礎概論Ⅰ		2	○	○	○	○			
				小学校英語基礎概論Ⅱ		2	○	○	○	○			

備考	
	▲：中学校教諭一種免許状取得希望者は必修　　中：中学校教諭一種免許状　　高：高等学校教諭一種免許状 注１：下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。 注２：必修・選択の区分及び最低修得単位数は卒業要件とは異なります。 注３：中・高両方の免許状取得希望者は、両方の取得要件を満たすよう履修してください。

外国語学部　英米語学科　教職課程表（2019～2021年度入学生用）

2022年度版

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数 中	単位数 高	本学で定める授業科目等 授業科目	単位数 必修	単位数 選択	配当年次 1	配当年次 2	配当年次 3	配当年次 4	最低修得単位数 中	最低修得単位数 高	履修方法等
文部科学省令で定める科目	日本国憲法	2	2	日本国憲法	2		○	○	○	○	2	2	次のとおり修得しなければならない。 1　日本国憲法２単位 2　体育から２単位 3　外国語コミュニケーションから２単位 4　情報機器の操作２単位
	体育	2	2	スポーツ科学講義Ａ		2	○	○	○	○	2	2	
				スポーツ科学講義Ｂ		2	○	○	○	○			
				スポーツ科学演習Ａ		2	○	○	○	○			
				スポーツ科学演習Ｂ		2	○	○	○	○			
	外国語コミュニケーション	2	2	Integrated English Ⅰ		2	○				2	2	
				Listening Ⅰ－a		1	○						
				Listening Ⅰ－b		1	○						
	情報機器の操作	2	2	学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）	2		○				2	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項：英語学	1以上	1以上	英語学概論　a	2		○	○			16	16	1　中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり42単位以上修得しなければならない。 （1）英語学から必修12単位を含め16単位以上 （2）英語文学から英米文学概論ａ又は英米文学概論ｂのいずれか２単位を含め４単位以上 （3）英語コミュニケーション４単位 （4）異文化理解から２単位以上 （5）教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目８単位 （6）各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）８単位 2　高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり38単位以上修得しなければならない。 （1）英語学から必修12単位を含め16単位以上 （2）英語文学から英米文学概論a又は英米文学概論ｂのいずれか２単位を含め４単位以上 （3）英語コミュニケーション４単位 （4）異文化理解から２単位以上 （5）教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目８単位 （6）各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）から英語科教育法Ⅰ及び英語科教育法Ⅱの２科目、計４単位
				英語学概論　b	2		○	○					
				英語教育学概論　a	2		○	○					
				英語教育学概論　b	2		○	○					
				英語音声学　a	2			○	○	○			
				英語音声学　b	2			○	○	○			
				英語史		2		○	○	○			
				英語教育特講Ⅰ－a		2			○	○			
				英語教育特講Ⅰ－b		2			○	○			
	英語文学	1以上	1以上	英米文学概論　a		2	○	○			4	4	
				英米文学概論　b		2	○	○					
				文学特講Ⅱ－a		2			○	○			
				文学特講Ⅱ－b		2			○	○			
	英語コミュニケーション	1以上	1以上	Integrated English Ⅳ	2			○			4	4	
				Writing Ⅱ－a	1			○					
				Writing Ⅱ－b	1			○					
	異文化理解	1以上	1以上	異文化コミュニケーション概論ａ		2	○	○			2	2	
				異文化コミュニケーション概論ｂ		2	○	○					
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	—	—	教職基礎セミナーⅠ（英語科）	2		○				8	8	
				教職基礎セミナーⅡ（英語科）	2		○						
				教職基礎セミナーⅢ（英語科）	2			○					
				教職基礎セミナーⅣ（英語科）	2			○					
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8以上	4以上	英語科教育法Ⅰ	2				○		8	4	
				英語科教育法Ⅱ	2				○				
				▲英語科教育法Ⅲ		2			○				
				▲英語科教育法Ⅳ		2			○				
	教科及び教科の指導法に関する科目最低修得単位数	28	24								42	38	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	2			○			12	12	1　中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり31単位修得しなければならない。 （1）教育の基礎的理解に関する科目12単位 （2）道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目12単位 （3）教育実践に関する科目７単位 2　高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり27単位修得しなければならない。 （1）教育の基礎的理解に関する科目12単位 （2）道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目から、「総合的な学習の時間」の指導法、特別活動論、教育方法論、生徒指導・進路指導論、教育相談の５科目、計10単位 （3）教育実践に関する科目から、教育実習Ⅰ及び教職実践演習（中・高）の２科目、計５単位
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教師論	2			○					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			教育行政学	2				○				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2			○					
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	2				○				
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			教育課程論	2			○					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	▲道徳教育の理論と実践		2		○			12	10	
	総合的な学習の時間の指導法			「総合的な学習の時間」の指導法	2				○				
	特別活動の指導法			特別活動論	2			○					
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			教育方法論	2			○					
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導論	2				○				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法												
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			教育相談	2				○				
教育実践に関する科目	教育実習	7	5	教育実習Ⅰ	3					○	7	5	
				▲教育実習Ⅱ		2				○			
	教職実践演習			教職実践演習（中・高）	2					○			
大学が独自に設定する科目		4	12	教職インターンシップ		4			○	○	4	4	教育職員免許法施行規則に規定する大学が独自に設定する科目の必要単位数（中：４単位、高：12単位）は、本学で定める授業科目等の教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数をもってこれに充てる。 さらに、Four Skills for Teaching a及びFour Skills for Teaching bの必修２科目、計４単位以上修得しなければならない。
				Four Skills for Teaching　a	2				○	○			
				Four Skills for Teaching　b	2				○	○			
				小学校英語基礎概論Ⅰ		2	○	○	○	○			
				小学校英語基礎概論Ⅱ		2	○	○	○	○			

備　考

▲：中学校教諭一種免許状取得希望者は必修　　中：中学校教諭一種免許状　　高：高等学校教諭一種免許状

注１：下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。

注２：必修・選択の区分及び最低修得単位数は卒業要件とは異なります。

注３：中・高両方の免許状取得希望者は、両方の取得要件を満たすよう履修してください。

外国語学部　中国語学科　教職課程表（2022年度入学生用）

2022年度版

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数 中	単位数 高	本学で定める授業科目等 授業科目	単位数 必修	単位数 選択	配当年次 1	配当年次 2	配当年次 3	配当年次 4	最低修得単位数 中	最低修得単位数 高	履修方法等
文部科学省令で定める科目	日本国憲法	2	2	日本国憲法	2		○	○	○	○	2	2	次のとおり修得しなければならない。 1　日本国憲法2単位 2　体育から2単位 3　外国語コミュニケーションから2単位 4　数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作2単位
	体育	2	2	スポーツ科学講義A		2	○	○	○	○	2	2	
				スポーツ科学講義B		2	○	○	○	○			
				スポーツ科学演習A		2	○	○	○	○			
				スポーツ科学演習B		2	○	○	○	○			
	外国語コミュニケーション	2	2	漢語基礎Ⅰ		2	○				2	2	
				漢語基礎Ⅱ		2	○						
				漢語基礎Ⅲ		2		○					
				漢語基礎Ⅳ		2		○					
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	2	学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）	2		○				2	2	
教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	中国語学	1以上	1以上	中国語音声学入門	2			○			8	8	1　中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり44単位以上修得しなければならない。 （1）中国語学から必修4単位を含め8単位以上 （2）中国文学から必修4単位を含め8単位以上 （3）中国語コミュニケーション16単位 （4）異文化理解から必修2単位を含め4単位以上 （5）各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）8単位 2　高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり40単位以上修得しなければならない。 （1）中国語学から必修4単位を含め8単位以上 （2）中国文学から必修4単位を含め8単位以上 （3）中国語コミュニケーション16単位 （4）異文化理解から必修2単位を含め4単位以上 （5）各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）から、中国語科教育法Ⅰ及び中国語科教育法Ⅱの2科目、計4単位
				中国語音声学研究入門	2			○					
				中国語文法Ⅰ		2			○	○			
				中国語文法Ⅱ		2			○	○			
				中国語史Ⅰ		2			○	○			
				中国語史Ⅱ		2			○	○			
				日中言語対照Ⅰ		2			○	○			
				日中言語対照Ⅱ		2			○	○			
	中国文学	1以上	1以上	中国思想研究入門	2			○			8	8	
				中国文学研究入門	2			○					
				古典文学Ⅰ		2			○	○			
				古典文学Ⅱ		2			○	○			
				現当代文学Ⅰ		2			○	○			
				現当代文学Ⅱ		2			○	○			
	中国語コミュニケーション	1以上	1以上	漢語会話Ⅰ	2		○				16	16	
				漢語会話Ⅱ	2		○						
				漢語会話Ⅲ	2			○					
				漢語会話Ⅳ	2			○					
				漢語実践Ⅰ	2		○						
				漢語実践Ⅱ	2		○						
				漢語実践Ⅲ	2			○					
				漢語実践Ⅳ	2			○					
	異文化理解	1以上	1以上	東アジア比較思想論Ⅰ	2				○	○	4	4	
				東アジア比較思想論Ⅱ		2			○	○			
				中国宗教・文化論Ⅰ		2			○	○			
				中国宗教・文化論Ⅱ		2			○	○			
				中国現代史Ⅰ		2			○	○			
				中国現代史Ⅱ		2			○	○			
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8以上	4以上	中国語科教育法Ⅰ	2				○		8	4	
				中国語科教育法Ⅱ	2				○				
				▲中国語科教育法Ⅲ		2			○				
				▲中国語科教育法Ⅳ		2			○				
	教科及び教科の指導法に関する科目最低修得単位数	28	24								44	40	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	2			○			12	12	1　中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり31単位修得しなければならない。 （1）教育の基礎的理解に関する科目12単位 （2）道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目12単位 （3）教育実践に関する科目7単位 2　高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり27単位修得しなければならない。 （1）教育の基礎的理解に関する科目12単位 （2）道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目から、「総合的な学習の時間」の指導法、特別活動論、教育方法論、生徒指導・進路指導論、教育相談の5科目、計10単位 （3）教育実践に関する科目から、教育実習Ⅰ及び教職実践演習（中・高）の2科目、計5単位
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教師論	2			○					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			教育行政学	2				○				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2			○					
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	2				○				
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			教育課程論	2			○					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	▲道徳教育の理論と実践		2		○			12	10	
	総合的な学習の時間の指導法			「総合的な学習の時間」の指導法	2				○				
	特別活動の指導法			特別活動論	2			○					
	教育の方法及び技術			教育方法論	2			○					
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法												
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導論	2				○				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法												
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			教育相談	2				○				
教育実践に関する科目	教育実習	7	5	教育実習Ⅰ	3					○	7	5	
				▲教育実習Ⅱ		2				○			
	教職実践演習			教職実践演習（中・高）	2					○			
大学が独自に設定する科目		4	12	教職インターンシップ		4			○	○	－	－	教育職員免許法施行規則に規定する大学が独自に設定する科目の必要単位数（中：4単位、高：12単位）は、本学で定める授業科目等の教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数の修得をもってこれに充てる。

備考

▲：中学校教諭一種免許状取得希望者は必修　　中：中学校教諭一種免許状　　高：高等学校教諭一種免許状

注1：下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。

注2：必修・選択の区分及び最低修得単位数は卒業要件とは異なります。

注3：中・高両方の免許状取得希望者は、両方の取得要件を満たすよう履修してください。

外国語学部　中国語学科　教職課程表（2019～2021年度入学生用）

2022年度版

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数 中	単位数 高	本学で定める授業科目等 授業科目	単位数 必修	単位数 選択	配当年次 1	配当年次 2	配当年次 3	配当年次 4	最低修得単位数 中	最低修得単位数 高	履修方法等
文部科学省令で定める科目	日本国憲法	2	2	日本国憲法	2		○	○	○	○	2	2	次のとおり修得しなければならない。 1　日本国憲法2単位 2　体育から2単位 3　外国語コミュニケーションから2単位 4　情報機器の操作2単位
	体育	2	2	スポーツ科学講義A		2	○	○	○	○	2	2	
				スポーツ科学講義B		2	○	○	○	○			
				スポーツ科学演習A		2	○	○	○	○			
				スポーツ科学演習B		2	○	○	○	○			
	外国語コミュニケーション	2	2	漢語基礎Ⅰ		2	○				2	2	
				漢語基礎Ⅱ		2	○						
				漢語基礎Ⅲ		2		○					
				漢語基礎Ⅳ		2		○					
	情報機器の操作	2	2	学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）	2		○				2	2	
教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	中国語学	1以上	1以上	中国語音声学入門	2			○			8	8	1　中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり44単位以上修得しなければならない。 （1）中国語学から必修4単位を含め8単位以上 （2）中国文学から必修4単位を含め8単位以上 （3）中国語コミュニケーション16単位 （4）異文化理解から必修2単位を含め4単位以上 （5）各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）8単位 2　高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり40単位以上修得しなければならない。 （1）中国語学から必修4単位を含め8単位以上 （2）中国文学から必修4単位を含め8単位以上 （3）中国語コミュニケーション16単位 （4）異文化理解から必修2単位を含め4単位以上 （5）各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）から、中国語科教育法Ⅰ及び中国語科教育法Ⅱの2科目、計4単位
				中国語学研究入門	2			○					
				中国語文法Ⅰ		2			○	○			
				中国語文法Ⅱ		2			○	○			
				中国語史Ⅰ		2			○	○			
				中国語史Ⅱ		2			○	○			
				日中言語対照Ⅰ		2			○	○			
				日中言語対照Ⅱ		2			○	○			
	中国文学	1以上	1以上	中国思想研究入門	2			○			8	8	
				中国文学研究入門	2			○					
				古典文学Ⅰ		2			○	○			
				古典文学Ⅱ		2			○	○			
				現当代文学Ⅰ		2			○	○			
				現当代文学Ⅱ		2			○	○			
	中国語コミュニケーション	1以上	1以上	漢語会話Ⅰ	2		○				16	16	
				漢語会話Ⅱ	2		○						
				漢語会話Ⅲ	2			○					
				漢語会話Ⅳ	2			○					
				漢語実践Ⅰ	2		○						
				漢語実践Ⅱ	2		○						
				漢語実践Ⅲ	2			○					
				漢語実践Ⅳ	2			○					
	異文化理解	1以上	1以上	東アジア比較思想論Ⅰ	2				○	○	4	4	
				東アジア比較思想論Ⅱ		2			○	○			
				中国宗教・文化論Ⅰ		2			○	○			
				中国宗教・文化論Ⅱ		2			○	○			
				中国現代史Ⅰ		2			○	○			
				中国現代史Ⅱ		2			○	○			
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8以上	4以上	中国語科教育法Ⅰ	2				○		8	4	
				中国語科教育法Ⅱ	2				○				
				▲中国語科教育法Ⅲ		2			○				
				▲中国語科教育法Ⅳ		2			○				
	教科及び教科の指導法に関する科目最低修得単位数	28	24								44	40	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	2			○			12	12	1　中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり31単位修得しなければならない。 （1）教育の基礎的理解に関する科目12単位 （2）道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目12単位 （3）教育実践に関する科目7単位 2　高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり27単位修得しなければならない。 （1）教育の基礎的理解に関する科目12単位 （2）道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目から、「総合的な学習の時間」の指導法、特別活動論、教育方法論、生徒指導・進路指導論、教育相談の5科目、計10単位 （3）教育実践に関する科目から、教育実習Ⅰ及び教職実践演習（中・高）の2科目、計5単位
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教師論	2			○					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			教育行政学	2				○				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2			○					
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	2				○				
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			教育課程論	2			○					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	▲道徳教育の理論と実践		2		○			12	10	
	総合的な学習の時間の指導法			「総合的な学習の時間」の指導法	2				○				
	特別活動の指導法			特別活動論	2			○					
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			教育方法論	2			○					
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導論	2				○				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法												
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			教育相談	2				○				
教育実践に関する科目	教育実習	7	5	教育実習Ⅰ	3					○	7	5	
				▲教育実習Ⅱ		2				○			
	教職実践演習			教職実践演習（中・高）	2					○			
大学が独自に設定する科目		4	12	教職インターンシップ		4			○	○	－	－	教育職員免許法施行規則に規定する大学が独自に設定する科目の必要単位数（中：4単位、高：12単位）は、本学で定める授業科目等の教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数の修得をもってこれに充てる。

備考

▲：中学校教諭一種免許状取得希望者は必修　　中：中学校教諭一種免許状　　高：高等学校教諭一種免許状

注1：下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。

注2：必修・選択の区分及び最低修得単位数は卒業要件とは異なります。

注3：中・高両方の免許状取得希望者は、両方の取得要件を満たすよう履修してください。

MEMO

Ⅱ 編入学生特記事項

編入学生を対象とした項目です。

編入学生特記事項

1　修業年限と在学期間

修業年限とは、本学の教育課程を修了するために必要な期間で、３年次に編入学した者については通算２年（４学期）と定めています。また、在学期間とは、本学に在籍することができる期間で、上限を通算４年（８学期）と定めています。

修業年限　通算２年（４学期）　　在学期間　通算4年（8学期）以内

2　２年間の学修計画

編入学生は、３年次から本学での学修を開始しますが、卒業までの２年間で、個々の興味に応じた体系的な履修を行うためには、既修得単位の取扱いや卒業要件はもちろんのこと、履修上の規則等を十分理解し、綿密な学修計画を立てることが必要です。

3　既修得単位の認定

［1］包括・弾力認定

編入学前の短期大学等において修得した単位は、当該短期大学等における学修を尊重し、その科目の分野等を問わず、62単位を包括・弾力的に本学において修得したものとして認定します。

［2］個別認定（α）　－英米語学科2022年度編入学生－

英米語学科では、［1］で認定される62単位の他に、編入学前に下表の学修の種類等に該当する資格等を取得している者に対して、次のとおり追加認定します。

学修の種類等	認定単位数の上限	授業科目（単位数）
TOEFL iBT　64点以上　70点未満 TOEIC Listening & Reading Test　650点以上　700点未満	2	Integrated EnglishⅢ（2） Integrated EnglishⅣ（2） ReadingⅢ－a（1） ReadingⅢ－b（1） Preparation for TOEICⅡ－a(1) Preparation for TOEICⅡ－b(1)
実用英語技能検定 準１級 TOEFL iBT　70点以上　76点未満 TOEIC Listening & Reading Test　700点以上　800点未満	4	
TOEFL iBT　76点以上　89点未満 TOEIC Listening & Reading Test　800点以上　945点未満	6	
実用英語技能検定 １級 TOEFL iBT　89点以上 TOEIC Listening & Reading Test　945点以上	8	
備考　実用英語技能検定は、（財）日本英語検定協会が実施するものとします。		

個別認定申請方法

対　　象	入学前（2022年度編入学生）
申　請　期　間	3月30日（水）～4月5日（火）
申　請　書　類	①　単位認定申請書兼単位認定通知書（本学所定様式） ②　知識及び技能に関する審査の成果に係る証明書（原本） ＊手続終了後返却します。 a　実用英語技能検定：合格証書 b　TOEFL・TOEIC Listening & Reading Test：スコアレポート
所定様式配布及び申請書類提出先	学事課（教務担当）
個別認定発表	4月12日（火） 学事課（教務担当）で単位認定通知書を直接本人へ交付します。

個別認定申請と履修登録

個別認定申請と履修登録手続の流れは、次のとおりです。

年間の受講計画を立てる際は、**申請する科目がすべて認定されることを前提に検討し、履修登録は行わないでください**。

なお、履修登録修正期間は、授業開始から数日が経過しており、学修に支障をきたすことがあるので、認定申請に当たっては、十分に検討し、安易な申請は慎んでください。

個別認定申請科目を決める

↓

個別認定申請必要書類準備

↓

個別認定申請　3月30日(水)～4月5日(火)

履修登録期間　3月29日(火)～4月1日(金)
※個別認定申請する科目は、履修登録を行わないでください。

↓

個別認定発表　4月12日(火)

履修登録修正期間　4月12日(火)～17日(日)

注意　認定されなかった科目がある場合は、年間受講計画を見直し、履修登録内容を修正する必要がある場合は履修登録修正期間内に必ず修正してください。

4　専攻選択(2022年度編入学生)

2022年度編入学生は、入学時（3年次）から各専攻に分かれて学修していくことになります。専攻選択は、各専攻の概要及び教育課程表等を基に慎重に行ってください。

なお、専攻の登録等詳細については、オリエンテーションでお知らせします。

5　卒業要件

３年次に編入学した者は、本学において２年（通算４学期）以上在学（休学期間を除く。）し、学則に定められた卒業所要単位を修得した場合に卒業が認定されます。

卒業に必要な単位数（最低）は、次のとおりです。

日本語学科

●日本語専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数
共通科目		32	32	－
専門科目	必修	26	16	10
	選択必修	48 ┐ 18	14 ┐ －	34 ┐ 18
	選択			
合計		124	62	62

参照➡具体的な授業科目名称及び必修･選択必修･選択の内訳等→「教育課程表」

●グローバル・スタディーズ専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数
共通科目		32	32	－
専門科目	必修	40	16	24
	選択必修	48 ┐ 4	14 ┐ －	34 ┐ 4
	選択			
合計		124	62	62

参照➡具体的な授業科目名称及び必修･選択必修･選択の内訳等→「教育課程表」

英米語学科

●英米語専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数
共通科目		32	32	－
専門科目	必修	48	26	22
	選択必修	44	4	40
	選択	－	－	－
合計		124	62（＋α）	62（－α）

注意　αは個別認定の単位数で上限は８単位。ただし、62単位と合わせて編入学前に修得した総単位数を超えてはならない。

参照➡具体的な授業科目名称及び必修･選択必修･選択の内訳等→「教育課程表」

●グローバル・スタディーズ専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数
共通科目		32	32	－
専門科目	必修	68	26	42
	選択必修	24 ┐ －	4 ┐ －	20 ┐ －
	選択			
合計		124	62（＋α）	62（－α）

注意　αは個別認定の単位数で上限は８単位。ただし、62単位と合わせて編入学前に修得した総単位数を超えてはならない。

参照➡具体的な授業科目名称及び必修･選択必修･選択の内訳等→「教育課程表」

中国語学科

●中国語専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数
共通科目		32	32	–
専門科目	必修	64	26	38
	選択必修	28 –	4 –	24 –
	選択			
合計		124	62	62

参照➡具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

●グローバル・スタディーズ専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数
共通科目		32	32	–
専門科目	必修	58	22	36
	選択必修	30 4	8 –	22 4
	選択			
合計		124	62	62

参照➡具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

6 その他

[1] クラス指定

編入学生のクラス分けは行いません。ただし、授業科目の性質から、適正人数（少人数等）で授業を行うためにクラス指定された場合は、授業担当教員の指示に従ってください。

[2] 修得(認定)済科目の履修

編入学時に個別に認定された科目及び編入学後に単位を修得又は認定された科目は、履修することができません。

7　教育課程表（編入学生用）

外国語学部　日本語学科　日本語専攻　教育課程表

2022年度版（18－22日編－日）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数（最低）	
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）(2)				32 (編入学包括認定)	－	－
	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)	文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ボランティア活動B(2)					
				人間形成ゼミナール(2)					
		国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2) フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2)　中国語と中国文化A(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　フランス語とフランス文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2)　スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2) 中国語と中国文化B(2)　英語文化研究A(2)　英語文化研究B(2) 異文化実地研修B(2)					
				国際理解ゼミナール(2)					
		社会生活	法学(2)　日本国憲法(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)	経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) 身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)					
				社会生活ゼミナール(2)					
	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)				－	
					キャリアデザイン(4)				
			＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2)　ビジネススキルB(2)　インターンシップC(2)　ビジネススキルC(2)　インターンシップD(2)　ビジネススキルD(2)					
				特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
			＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
			＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		10 (編入学弾力認定)	2	62
	ILP	英語	英語Ⅰ-a(1)　英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1)　英語Ⅱ-b(1)	英語Ⅲ-a(1) 英語Ⅲ-b(1)			母語以外の2言語 10 (編入学弾力認定)	－	
		中国語	中国語Ⅰ-a(1)　中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)　中国語Ⅱ-b(1)						
		日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)	日本語Ⅲ-a(1) 日本語Ⅲ-b(1)					
	日本語・日本文化関連科目	日本語学	●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2)	敬語表現法(2) 日本語学基礎演習(2) 日本語方言学(2) 音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2)	日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2)	日本語史Ⅰ(2) 日本語史Ⅱ(2) 表記法概論(2)	4 (編入学弾力認定)	12	
		言語学		言語学概論(2)	応用言語学(2) 社会言語学Ⅰ(2) 社会言語学Ⅱ(2)	コンピュータ言語学Ⅰ(2) コンピュータ言語学Ⅱ(2)	－	4	
		文学・文化		日本文学概論(2) 漢文学概論(2) 漢文学講義(2)	日本文学史(2) 近現代文学(2) 古典概説(2) 古典演習(2)	漢文学演習Ⅰ(2) 漢文学演習Ⅱ(2)	2 (編入学弾力認定)	2	
		日本語教育	●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)	日本語教育演習(2) 日本語教材論(2) 検定対策Ⅰ(2) 検定対策Ⅱ(2) 検定対策Ⅲ(2) 検定対策Ⅳ(2) 評価法研究(2) 教案作成研究(2) 日本語教育事情(2) 第二言語習得論(2)	音声指導法研究Ⅰ(2) 音声指導法研究Ⅱ(2) 文型指導法研究Ⅰ(2) 文型指導法研究Ⅱ(2)	日本語教育実習(4) 日本語教育のための英語(2) 日本語教育のための中国語(2) 日本語教育のための韓国語(2)	4 (編入学弾力認定)	12	
	グローバル・スタディーズ関連科目		Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)				－		
				文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) 比較文化論(2)	Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)				
	卒業研究				●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	－	8	
	他学部・他学科開放科目		＜他学部・他学科開放科目(専門科目)＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118				－	4	
							62	62	
合計卒業要件単位数（最低）							124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数	履修方法
共通科目	基礎教育		⑧	32	−	（履修できません。）
	人間力形成教育	人間形成	4			（卒業要件には算入されません。）
		国際理解	4			
		社会生活	4			
	キャリア形成教育		⑥			（履修できません。）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6			（卒業要件には算入されません。）
	計		32	32	−	−
専門科目	専門基礎		⑫	10	2	必修 「現代社会事情」2単位修得
	ILP	英語	10	10	−	（履修できません。）
		中国語				
		日本語				
	日本語・日本文化関連科目	日本語学	16	4	12	選択必修 日本語学から12単位修得 （＊12単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）
		言語学	4	−	4	選択必修 言語学から４単位修得 （＊４単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）
		文学・文化	4	2	2	選択必修 文学・文化から２単位修得 （＊２単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）
		日本語教育	16	4	12	選択必修 日本語教育から12単位修得 （＊12単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）
	グローバル・スタディーズ関連科目		−	−	−	（＊修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）
	卒業研究		⑧	−	8	必修 全２科目８単位修得
	他学部・他学科開放科目		4	−	4	選択必修 他学部・他学科開放科目（専門科目）から４単位修得 （＊４単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入）
	その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】		18	−	18	選択 上記専門科目44単位のほかに、日本語・日本文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から18単位修得 ＊他学部・他学科開放科目（専門科目）で4単位を超えて修得した単位を含む。
	計		92	30	62	−
合計			124	62	62	−

卒業要件単位数	124単位
編入学時認定単位数	62単位
編入学後に修得しなければならない単位数	62単位

外国語学部　日本語学科　グローバル・スタディーズ専攻　教育課程表

2022年度版（18－22日編－グ）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（　）の数字は単位数）1年次	2年次	3年次	4年次	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数（最低）	
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）(2)				32（編入学包括認定）	–	–
	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)	文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ボランティア活動B(2)					–
				人間形成ゼミナール(2)					
		国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2) フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2)　中国語と中国文化A(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　フランス語とフランス文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2)　スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2) 中国語と中国文化B(2)　英語文化研究A(2)　英語文化研究B(2) 異文化実地研修B(2)					–
				国際理解ゼミナール(2)					
		社会生活	法学(2)　日本国憲法(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)	経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) 身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)					–
				社会生活ゼミナール(2)					
	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)					–
					キャリアデザイン(4)				
			＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
				特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
			＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
			＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		10（編入学弾力認定）	2	62
	ILP	英語	英語Ⅰ-a(1)　英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1)　英語Ⅱ-b(1)	英語Ⅲ-a(1) 英語Ⅲ-b(1)			母語以外の2言語 10（編入学弾力認定）	–	
		中国語	中国語Ⅰ-a(1)　中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)　中国語Ⅱ-b(1)						
		日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)	日本語Ⅲ-a(1) 日本語Ⅲ-b(1)					
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア		●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)		–	10	
		グローバル A		中国ビジネス入門(2)	中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2)		–	12	
				●日本研究(2) ●東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2)	国際関係概論(2) 国際協力論(2) 国際ビジネス論a(2) 国際ビジネス論b(2)	文化講義Ⅰ（日本）(2) 文化講義Ⅱ（異文化理解）(2) 比較文化論(2)			
		グローバル B	Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)		ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2) Advanced Business English a(2) Advanced Business English b(2)	–	8	
				北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2)	通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2)	Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)			
		フィールドワーク		＜単位認定科目＞ GSM海外留学(4) GSM海外研修(2)	GSMインターンシップⅠ(2) GSMインターンシップⅡ(2)	GSMボランティアⅠ(2) GSMボランティアⅡ(2)	–	2	
	日本語・日本文化関連科目	日本語学	●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2)	敬語表現法(2) 音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2)	日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2)	日本語史Ⅰ(2) 日本語史Ⅱ(2) 表記法概論(2)	10（編入学弾力認定）	16	
		言語学		言語学概論(2)	応用言語学(2) 社会言語学Ⅰ(2) 社会言語学Ⅱ(2)	コンピュータ言語学Ⅰ(2) コンピュータ言語学Ⅱ(2)			
		文学		日本文学概論(2)	日本文学史(2) 近現代文学(2)				
		日本語教育	●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)						
	卒業研究				●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	–	8	
	他学部・他学科開放科目		＜他学部・他学科開放科目（専門科目）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118				–		
							62	62	
合計卒業要件単位数（最低）							124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数	履修方法
共通科目	基礎教育		⑧	32	−	（履修できません。）
	人間力形成教育	人間形成	4			（卒業要件には算入されません。）
		国際理解	4			
		社会生活	4			
	キャリア形成教育		⑥			（履修できません。）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6			（卒業要件には算入されません。）
	計		32	32	−	−
専門科目	専門基礎		⑫	10	2	必修 「現代社会事情」2単位修得
	ILP	英語	10	10	−	（履修できません。）
		中国語				
		日本語				
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア	⑩	−	10	必修 全5科目10単位修得
		グローバル A	12	−	12	選択必修 グローバルのA分野から必修4単位を含め12単位修得 （＊12単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入）
		グローバル B	8	−	8	選択必修 グローバルのB分野から8単位修得 （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入）
		フィールドワーク	2	−	2	選択必修 フィールドワークから2単位修得 （＊2単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入）
	日本語・日本文化関連科目		26	10	16	選択必修 日本語・日本文化関連科目から16単位修得 （＊16単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入）
	卒業研究		⑧	−	8	必修 全2科目8単位修得
	その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】		4	−	4	選択 上記専門科目58単位のほかに、グローバル・スタディーズ関連科目及び日本語・日本文化関連科目から4単位修得 ＊他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。
	計		92	30	62	−
合計			124	62	62	−

卒業要件単位数	124単位
編入学時認定単位数	62単位
編入学後に修得しなければならない単位数	62単位

外国語学部　英米語学科　英米語専攻　教育課程表

2022年度版（18－22英編－英）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数（最低）	
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)(2)				32 (編入学包括認定)	－	－
共通科目	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2)　文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2)　からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2)　スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)　ボランティア活動B(2)	人間形成ゼミナール(2)				－	
共通科目	人間力形成教育	国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2)　国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　フランス語とフランス文化A(2) フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2)　ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2)　スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2)　中国語と中国文化A(2)　中国語と中国文化B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)　異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)				－	
共通科目	人間力形成教育	社会生活	法学(2)　日本国憲法(2)　経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2)　自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)　身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)				－	
共通科目	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)				－	
共通科目	キャリア形成教育				キャリアデザイン(4)				
共通科目	キャリア形成教育		＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)	特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
共通科目	キャリア形成教育		＜他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
共通科目	キャリア形成教育		＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		10 (編入学弾力認定)	2	62
専門科目	ILP	英語	●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1)	●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1)			14 (編入学弾力認定)	10	
専門科目	ILP	中国語	中国語Ⅰ-a(1)　中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)　中国語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語 4 (編入学弾力認定)	－	
専門科目	ILP	日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
専門科目	英米語・英米文化関連科目	概論科目	【異文化コミュニケーション分野】 異文化コミュニケーション概論a(2) 異文化コミュニケーション概論b(2) 【英米文学分野】 英米文学概論a(2) 英米文学概論b(2)	【英語学分野】 英語学概論a(2) 英語学概論b(2) 【英語教育学分野】 英語教育学概論a(2) 英語教育学概論b(2)			－	2分野8単位	
専門科目	英米語・英米文化関連科目	専攻基礎科目	TOEFL対策講座(2)	英語音声学a(2)　対照言語研究a(2)　英文法研究a(2)　英語史(2)　英語圏の文化と社会(2) 英語音声学b(2)　対照言語研究b(2)　英文法研究b(2)　英米文学史(2)			－	8	
専門科目	英米語・英米文化関連科目	SKILL科目			Interpreting Skills a(2)　Advanced Listening Skills a(2) Interpreting Skills b(2)　Advanced Listening Skills b(2) Translation Skills a(2)　Discussion & Debate a(2) Translation Skills b(2)　Discussion & Debate b(2) Advanced Writing Skills a(2)　English for Current Issues a(2) Advanced Writing Skills b(2)　English for Current Issues b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Research & Presentation Skills(2)	－	8	
専門科目	英米語・英米文化関連科目	特講科目			コミュニケーション特講Ⅰ-a(2)　英語学特講Ⅱ-a(2)　文学特講Ⅲ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2)　英語学特講Ⅱ-b(2)　文学特講Ⅲ-b(2) コミュニケーション特講Ⅱ-a(2)　英語学特講Ⅲ-a(2)　英語教育特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅱ-b(2)　英語学特講Ⅲ-b(2)　英語教育特講Ⅰ-b(2) コミュニケーション特講Ⅲ-a(2)　文学特講Ⅰ-a(2)　英語教育特講Ⅱ-a(2) コミュニケーション特講Ⅲ-b(2)　文学特講Ⅰ-b(2)　英語教育特講Ⅱ-b(2) 英語学特講Ⅰ-a(2)　文学特講Ⅱ-a(2)　ビジネス英語特講a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2)　文学特講Ⅱ-b(2)　ビジネス英語特講b(2)	－	10	
専門科目	英米語・英米文化関連科目	卒業研究科目		＜単位認定科目＞　特殊研究Ⅰ(4)　特殊研究Ⅱ(4)　海外実地研修(2)			－		

（次ページに続く）

（前ページからの続き）

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等（●は必修、（ ）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数（最低）	
専門科目	グローバル・スタディーズ関連科目	●Preparation for TOEIC Ⅰ-a（1） ●Preparation for TOEIC Ⅰ-b（1）	中国ビジネス入門（2） ●Preparation for TOEIC Ⅱ-a（1） ●Preparation for TOEIC Ⅱ-b（1）	ビジネスキャリア特講a（2） ビジネスキャリア特講b（2） 中国経済Ⅰ（2） 中国経済Ⅱ（2） 日中観光実務Ⅰ（2）	日中観光実務Ⅱ（2） 日中通訳基礎演習Ⅰ（2） 日中通訳基礎演習Ⅱ（2） Advanced Business English a（2） Advanced Business English b（2）	2（編入学弾力認定）	4	(62)
			日本研究（2） 北アメリカ研究（2） 南アメリカ研究（2） ヨーロッパ研究（2） オセアニア研究（2） 東アジア研究（2） ASEAN研究（2）	中東研究（2） 国際関係概論（2） 国際協力論（2） 国際ビジネス論a（2） 国際ビジネス論b（2） 通訳の基礎a（2） 通訳の基礎b（2）	時事英語a（2） 時事英語b（2） 文化講義Ⅰ（日本）（2） 文化講義Ⅱ（異文化理解）（2） 比較文化論（2）			
	卒業研究			●専門領域研究講座（4）	●卒業研究（4）	－	8	
	他学部・他学科開放科目	＜他学部・他学科開放科目（専門科目）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118				－	4	
						62	62	
合計卒業要件単位数（最低）						124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数	履修方法
共通科目	基礎教育		⑧	32	－	（履修できません。）
	人間力形成教育	人間形成	4			（卒業要件には算入されません。）
		国際理解	4			
		社会生活	4			
	キャリア形成教育		⑥			（履修できません。）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6			（卒業要件には算入されません。）
	計		32	32	－	－
専門科目	専門基礎		⑫	10	2	必修　「現代社会事情」2単位修得
	ILP	英語	㉔	14	10	必修　全8科目10単位修得
		中国語	4	4	－	（履修できません。）
		日本語				
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	8	－	8	選択必修　概論科目から2分野8単位修得（「異文化コミュニケーション」、「英語学」、「英米文学」及び「英語教育学」の4分野のうち2分野）
		専攻基礎科目	8	－	8	選択必修　専攻基礎科目から8単位修得
		SKILL科目	8	－	8	選択必修　SKILL科目から8単位修得
		特講科目／特殊研究科目	10	－	10	選択必修　特講科目・特殊研究科目から10単位
	グローバル・スタディーズ関連科目		6	2	4	選択必修　グローバル・スタディーズ関連科目から必修2単位を含め4単位修得
	卒業研究		⑧	－	8	必修　全2科目8単位修得
	他学部・他学科開放科目		4	－	4	選択必修　他学部・他学科開放科目（専門科目）から4単位修得
	計		92	30	62	－
合計			124	62（＋α）	62（－α）	－

卒業要件単位数	124単位
編入学時認定単位数	62単位（＋α）
編入学後に修得しなければならない単位数	62単位（－α）

＜個別認定（α）＞

個別認定（α）については、「3　既修得単位の認定　[2] 個別認定（α）」を参照してください。→ P.135

外国語学部　英米語学科　グローバル・スタディーズ専攻　教育課程表

2022年度版（18－22英編－グ）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数（最低）	
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)(2)				32 (編入学包括認定)	－	－
	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2)　文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2)　からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2)　スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)　ボランティア活動B(2)	人間形成ゼミナール(2)				－	
		国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2)　国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　フランス語とフランス文化A(2) フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2)　ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2)　スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2)　中国語と中国文化A(2)　中国語と中国文化B(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)　異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)				－	
		社会生活	法学(2)　日本国憲法(2)　経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2)　自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)　身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)				－	
	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)				－	
					キャリアデザイン(4)				
			＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
				特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
			＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
			＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)※ 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		10 (編入学弾力認定)	2	62
	ILP	英語	●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1)	●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1)			14 (編入学弾力認定)	10	
		中国語	中国語Ⅰ-a(1)　中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)　中国語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語 4 (編入学弾力認定)	－	
		日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア		●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)		－	10	
		グローバル	●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)	中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEICⅡ-a(1) ●Preparation for TOEICⅡ-b(1)	ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2) ●Advanced Business English a(2) ●Advanced Business English b(2)	2 (編入学弾力認定)	20	
				日本研究(2) ●北アメリカ研究(2) ●南アメリカ研究(2) ●ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2)	国際関係概論(2) 国際協力論(2) 国際ビジネス論a(2) 国際ビジネス論b(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2)	文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) 比較文化論(2)	－		
		フィールドワーク		＜単位認定科目＞ GSM海外留学(4) GSM海外研修(2)	GSMインターンシップⅠ(2) GSMインターンシップⅡ(2)	GSMボランティアⅠ(2) GSMボランティアⅡ(2)	－	2	
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	異文化コミュニケーション概論a(2) 異文化コミュニケーション概論b(2) 英米文学概論a(2) 英米文学概論b(2)	英語学概論a(2) 英語学概論b(2) 英語教育学概論a(2) 英語教育学概論b(2)			－		
		専攻基礎科目	TOEFL対策講座(2)	英語音声学a(2)　対照言語研究a(2)　英文法研究a(2)　英語史(2)　英語圏の文化と社会(2) 英語音声学b(2)　対照言語研究b(2)　英文法研究b(2)　英米文学史(2)			－	2	
		SKILL科目			Interpreting Skills a(2) Interpreting Skills b(2) Translation Skills a(2) Translation Skills b(2) Advanced Writing Skills a(2) Advanced Writing Skills b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Research & Presentation Skills(2)	Advanced Listening Skills a(2) Advanced Listening Skills b(2) Discussion & Debate a(2) Discussion & Debate b(2) English for Current Issues a(2) English for Current Issues b(2)	－	4	

（次ページに続く）

（前ページからの続き）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（ ）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数(最低)	
専門科目	英米語・英米文化関連科目	特講科目			コミュニケーション特講Ⅰ-a(2) 英語学特講Ⅱ-a(2) 文学特講Ⅲ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2) 英語学特講Ⅱ-b(2) 文学特講Ⅲ-b(2) コミュニケーション特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅲ-a(2) ビジネス英語特講a(2) コミュニケーション特講Ⅱ-b(2) 英語学特講Ⅲ-b(2) ビジネス英語特講b(2) コミュニケーション特講Ⅲ-a(2) 文学特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅲ-b(2) 文学特講Ⅰ-b(2) 英語学特講Ⅰ-a(2) 文学特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅱ-b(2)		−	4	(62)
	卒業研究				●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	−	8	
							62	62	
合計卒業要件単位数(最低)							124		

※ 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位)」及び「証券投資シミュレーション（2単位)」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座)」は履修できません。

注意 <他学部・他学科開放科目（専門科目）>の単位を修得した場合、その単位数は卒業要件に算入されません。→P.118

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数	履修方法
共通科目	基礎教育		⑧	32	−	（履修できません。）
	人間力形成教育	人間形成	4			（卒業要件には算入されません。）
		国際理解	4			
		社会生活	4			
	キャリア形成教育		⑥			（履修できません。）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6			（卒業要件には算入されません。）
	計		32	32	−	−
専門科目	専門基礎		⑫	10	2	必修 「現代社会事情」2単位修得
	ILP	英語	㉔	14	10	必修 全8科目10単位修得
		中国語 日本語	4	4	−	（履修できません。）
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア	⑩	−	10	必修 全5科目10単位修得
		グローバル	22	2	20	選択必修 グローバルから必修12単位を含め20単位修得
		フィールドワーク	2	−	2	選択必修 フィールドワークから2単位修得
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	−	−	−	（卒業要件には算入されません。）
		専攻基礎科目	2	−	2	選択必修 専攻基礎科目から2単位修得
		SKILL科目	4	−	4	選択必修 SKILL科目から4単位修得
		特講科目	4	−	4	選択必修 特講科目から4単位
	卒業研究		⑧	−	8	必修 全2科目8単位修得
	計		92	30	62	−
合計			124	62（＋α）	62（−α）	−

卒業要件単位数	124単位
編入学時認定単位数	62単位（＋α）
編入学後に修得しなければならない単位数	62単位（−α）

＜個別認定（α）＞

個別認定（α）については、「3　既修得単位の認定　[2] 個別認定（α）」を参照してください。→ P.135

外国語学部　中国語学科　中国語専攻　教育課程表

2022年度版（19－22中編－中）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（　）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数（最低）	
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）(2)				32 (編入学包括認定)	－	－
	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)	文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ボランティア活動B(2)					
				人間形成ゼミナール(2)					
		国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2) フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2)　英語文化研究A(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　フランス語とフランス文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2)　スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2) 英語文化研究B(2) 異文化実地研修B(2)					
				国際理解ゼミナール(2)					
		社会生活	法学(2)　日本国憲法(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)	経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) 身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)					
				社会生活ゼミナール(2)					
	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)				－	
					キャリアデザイン(4)				
			＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
				特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
			＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
			＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)※3 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎		●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●中国語基礎演習A(4)	●現代社会事情(2)		10 (編入学弾力認定)	2	62
	ILP	中国語	●漢語基礎Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2)	●漢語基礎Ⅲ(2) ●漢語基礎Ⅳ(2) ●漢語会話Ⅲ(2) ●漢語会話Ⅳ(2)	●中級漢語Ⅰ(2) ●中級漢語Ⅱ(2)	高級漢語Ⅰ(2) 高級漢語Ⅱ(2)	8 (編入学弾力認定)	24 ※2	
			●漢語実践Ⅰ(2)＊ ●漢語実践Ⅱ(2)＊ ●漢語作文Ⅰ(2)＊ ●漢語作文Ⅱ(2)＊	●漢語実践Ⅲ(2)＊ ●漢語実践Ⅳ(2)＊			【8】※1 (編入学弾力認定)		
		英語	英語Ⅰ-a(1)　英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1)　英語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語 4 (編入学弾力認定)	－	
		日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
	中国語・中国文化関連科目	SKILL	中国語検定対策講座Ⅰ(2)	中国語検定対策講座Ⅱ(2) 中国語検定対策講座Ⅲ(2) 中国語検定対策講座Ⅳ(2) 中国語検定対策講座Ⅴ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) 文章表現演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2) 中国語通訳案内士試験対策講座(2)	日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) 中国語コンピューター演習Ⅰ(2) 中国語コンピューター演習Ⅱ(2) 中国方言基礎演習Ⅰ(2) 中国方言基礎演習Ⅱ(2)	－	16	
		中国語学			中国語文法Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2) 中国語史Ⅰ(2) 中国語史Ⅱ(2)	日中言語対照Ⅰ(2) 日中言語対照Ⅱ(2)			
		中国文学			現当代文学Ⅰ(2) 現当代文学Ⅱ(2)	古典文学Ⅰ(2) 古典文学Ⅱ(2)			
		中国文化			東アジア比較思想論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2) 中国宗教・文化論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2)	中国文化体験(2) 中国芸術論Ⅰ(2) 中国芸術論Ⅱ(2)			
		中国社会		ビジネス総合講座Ⅰ(2) ビジネス総合講座Ⅱ(2)	中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2)				
				＜単位認定科目＞　中国語圏実地研修(2)					
		中国研究	●中国社会研究入門(2)＊ ●中国現代史研究入門(2)＊	●中国思想研究入門(2) ●中国文学研究入門(2) ●中国歴史研究入門(2) ●中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2)			【8】※1 (編入学弾力認定)	12 ※2	
	グローバル・スタディーズ関連科目			中国ビジネス入門(2) Preparation for TOEIC Ⅰ-a(1) Preparation for TOEIC Ⅰ-b(1)	中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2)	－	4	
				東アジア研究(2) ASEAN研究(2)	Preparation for TOEIC Ⅱ-a(1) Preparation for TOEIC Ⅱ-b(1)				
	卒業研究				●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	－	8	
	他学部・他学科開放科目		＜他学部・他学科開放科目(専門科目)＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118				－	4	
							62	62	
合計卒業要件単位数（最低）							124		

※1　入学前の学修状況（修得科目等）により、＊の付いた必修科目の中から個別に8単位認定する。
※2　編入学後に修得が必要な授業科目は、※1で認定される授業科目により異なる。
※3　2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数	履修方法
共通科目	基礎教育		⑧	32	−	（履修できません。）
	人間力形成教育	人間形成	4			（卒業要件には算入されません。）
		国際理解	4			
		社会生活	4			
	キャリア形成教育		⑥			（履修できません。）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6			（卒業要件には算入されません。）
	計		32	32	−	−
専門科目	専門基礎		⑫	10	2	必修 「現代社会事情」2単位修得
	ILP	中国語	㉜	8※	24※	必修 中国語から12科目24単位修得（認定単位数を含む。）
		英語	4	4	−	（履修できません。）
		日本語				
	中国語・中国文化関連科目	SKILL	16	−	16	選択必修 SKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から16単位修得
		中国語学				
		中国文学				
		中国文化				
		中国社会				
		中国研究	⑫	8※	12※	必修 中国研究から6科目12単位修得（認定単位数を含む。）
	グローバル・スタディーズ関連科目		4	−	4	選択必修 グローバル・スタディーズ関連科目から4単位修得
	卒業研究		⑧	−	8	必修 全2科目8単位修得
	他学部・他学科開放科目		4	−	4	選択必修 他学部・他学科開放科目（専門科目）から4単位修得
	計		92	30	62	−
合計			124	62	62	−

※入学前の学修状況（修得科目等）により、教育課程表における＊の付いた必修科目の中から個別に8単位認定する。したがって、編入学後に修得が必要な授業科目は、認定される授業科目により異なる。

卒業要件単位数	124単位
編入学時認定単位数	62単位
編入学後に修得しなければならない単位数	62単位

外国語学部　中国語学科　グローバル・スタディーズ専攻　教育課程表

2022年度版（19－22中編－グ）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（　）の数字は単位数）1年次	2年次	3年次	4年次	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数（最低）	
共通科目	基礎教育		●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）(2)				32 (編入学包括認定)	－	－
	人間力形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)　社会生活と倫理(2) コミュニケーション論(2)　心理学(2) スポーツ科学講義A(2)　スポーツ科学講義B(2) ＜単位認定科目＞　ボランティア活動A(2)	文学の世界(2)　人類と文化(2)　美とは何か(2)　記号と論理(2) からだと健康(2)　日本人の生活意識(2)　性格とは何か(2)　生命と遺伝子(2) スポーツ科学演習A(2)　スポーツ科学演習B(2)　ボランティア講義(2) ボランティア活動B(2)					
				人間形成ゼミナール(2)					
		国際理解	日本の歴史(2)　国際関係論(2) フランス語とフランス文化B(2)　ドイツ語とドイツ文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2)　英語文化研究A(2) ＜単位認定科目＞　異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2)　民族と宗教(2)　異文化コミュニケーション論(2)　フランス語とフランス文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2)　スペイン語とスペイン文化A(2)　スペイン語とスペイン文化B(2)　韓国語と韓国文化A(2) 英語文化研究B(2) 異文化実地研修B(2)					
				国際理解ゼミナール(2)					
		社会生活	法学(2)　日本国憲法(2) 日本企業論(2)　地理と環境(2) データのまとめ方(2)　数理の世界(2)	経済のしくみ(2)　社会と生活(2)　政治のしくみ(2)　社会思想史(2) 自然環境論(2)　都市と生活(2)　生活と安全(2)　行動科学(2) 身近な物理(2)　現代物理のはなし(2)　身近な化学(2)　科学技術と社会(2)					
				社会生活ゼミナール(2)					
	キャリア形成教育		●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)				－	
					キャリアデザイン(4)				
			＜単位認定科目＞　インターンシップA(2)　インターンシップB(2)　インターンシップC(2)　インターンシップD(2) ビジネススキルA(2)　ビジネススキルB(2)　ビジネススキルC(2)　ビジネススキルD(2)						
				特別聴講科目A(2)　特別聴講科目B(2)　特別聴講科目C(2)　特別聴講科目D(2)					
			＜他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118						
			＜産学連携教育プログラム＞　＊「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.123 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム　ビジネスコミュニケーションプログラム　野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)※3 日経・ビジネスプログラム　サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門科目	専門基礎	A	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1)	●現代社会事情(2)		6 (編入学弾力認定)	2	62
		B		中国語基礎演習A(4) 中国語基礎演習B(4)			4 (編入学弾力認定)	－	
	ILP	中国語	●漢語基礎Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2)	漢語基礎Ⅲ(2) 漢語基礎Ⅳ(2) 漢語会話Ⅲ(2) 漢語会話Ⅳ(2)	中級漢語Ⅰ(2) 中級漢語Ⅱ(2)	高級漢語Ⅰ(2) 高級漢語Ⅱ(2)	8 (編入学弾力認定)	12 ※2	
			●漢語実践Ⅰ(2)＊ ●漢語実践Ⅱ(2)＊ ●漢語作文Ⅰ(2)＊ ●漢語作文Ⅱ(2)＊	●漢語実践Ⅲ(2)＊ ●漢語実践Ⅳ(2)＊			【8】※1 (編入学弾力認定)		
		英語	英語Ⅰ-a(1)　英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1)　英語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語 4 (編入学弾力認定)	－	
		日本語	日本語Ⅰ-a(1)　日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)　日本語Ⅱ-b(1)						
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア		●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)		－	10	
		グローバル		●中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)	ビジネスキャリア特講a(2)　日中通訳基礎演習Ⅰ(2) ビジネスキャリア特講b(2)　日中通訳基礎演習Ⅱ(2) 中国経済Ⅰ(2)　Advanced Business English a(2) 中国経済Ⅱ(2)　Advanced Business English b(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)		－	16	
				日本研究(2)　●ASEAN研究(2)　通訳の基礎a(2)　比較文化論(2) 北アメリカ研究(2)　中東研究(2)　通訳の基礎b(2)　Preparation for TOEICⅡ-a(1) 南アメリカ研究(2)　国際関係概論(2)　時事英語a(2)　Preparation for TOEICⅡ-b(1) ヨーロッパ研究(2)　国際協力論(2)　時事英語b(2) オセアニア研究(2)　国際ビジネス論a(2)　文化講義Ⅰ(日本)(2) ●東アジア研究(2)　国際ビジネス論b(2)　文化講義Ⅱ(異文化理解)(2)					
		フィールドワーク		＜単位認定科目＞ GSM海外留学(4)　GSMインターンシップⅠ(2)　GSMボランティアⅠ(2) GSM海外研修(2)　GSMインターンシップⅡ(2)　GSMボランティアⅡ(2)			－	2	
	中国語・中国文化関連科目	SKILL	中国語検定対策講座Ⅰ(2)	中国語検定対策講座Ⅱ(2) 中国語検定対策講座Ⅲ(2) 中国語検定対策講座Ⅳ(2) 中国語検定対策講座Ⅴ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2)　日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2)　日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2)　中国語コンピューター演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2)　中国語コンピューター演習Ⅱ(2) 文章表現演習Ⅰ(2)　中国方言基礎演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2)　中国方言基礎演習Ⅱ(2) 中国語通訳案内士試験対策講座(2)		－	8	
		中国語学			中国語文法Ⅰ(2)　中国語史Ⅰ(2)　日中言語対照Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2)　中国語史Ⅱ(2)　日中言語対照Ⅱ(2)				
		中国文学			現当代文学Ⅰ(2)　古典文学Ⅰ(2) 現当代文学Ⅱ(2)　古典文学Ⅱ(2)				
		中国文化			東アジア比較思想論Ⅰ(2)　中国文化体験(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2)　中国芸術論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅰ(2)　中国芸術論Ⅱ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2)				
		中国社会		ビジネス総合講座Ⅰ(2) ビジネス総合講座Ⅱ(2)	中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2)				

（次ページに続く）

（前ページからの続き）

授業科目区分			授業科目名称・配当年次等（●は必修、（ ）の数字は単位数） 1年次	2年次	3年次	4年次	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数（最低）	
専門科目	中国語・中国文化関連科目	中国研究	●中国社会研究入門(2)＊ ●中国現代史研究入門(2)＊	中国思想研究入門(2) 中国文学研究入門(2) 中国歴史研究入門(2) 中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2)			【8】※1（編入学弾力認定）	8 ※2	(62)
	卒業研究				●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	−	8	
	他学部・他学科開放科目		＜他学部・他学科開放科目（専門科目）＞　＊「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.118				−		
							62	62	
合計卒業要件単位数（最低）							124		

※1　入学前の学修状況（修得科目等）により、＊の付いた必修科目の中から個別に8単位認定する。
※2　編入学後に修得が必要な授業科目は、※1で認定される授業科目により異なる。
※3　2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。（具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。）

授業科目区分			卒業要件単位数（○は必修）	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数	履修方法
共通科目	基礎教育		⑧	32	−	（履修できません。）
	人間力形成教育	人間形成	4			（卒業要件には算入されません。）
		国際理解	4			
		社会生活	4			
	キャリア形成教育		⑥			（履修できません。）
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】		6			（卒業要件には算入されません。）
	計		32	32	−	−
専門科目	専門基礎	A	⑧	6	2	必修　「現代社会事情」2単位修得
		B	4	4	−	（履修できません。）
	ILP	中国語	⑳	8※	12※	必修　中国語から6科目12単位修得（認定単位数を含む。） （＊必修科目以外で修得した単位→卒業要件には算入されません。）
		英語	4	4	−	（履修できません。）
		日本語				
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア	⑩	−	10	必修　全5科目10単位修得
		グローバル	16	−	16	選択必修　グローバルから必修8単位を含め16単位修得 （＊16単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）
		フィールドワーク	2	−	2	選択必修　フィールドワークから2単位修得 （＊2単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）
	中国語・中国文化関連科目	SKILL	8	−	8	選択必修　SKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から8単位修得 （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）
		中国語学				
		中国文学				
		中国文化				
		中国社会				
		中国研究	8	8※	8※	選択必修　中国研究から必修4単位を含め8単位修得（認定単位数を含む。） （＊8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入）
	卒業研究		⑧	−	8	必修　全2科目8単位修得
	その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】		4	−	4	選択　上記専門科目58単位のほかに、グローバル・スタディーズ関連科目及び中国語・中国文化関連科目から4単位修得 ＊他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。
	計		92	30	62	−
合計			124	62	62	−

※入学前の学修状況（修得科目等）により、教育課程表における＊の付いた必修科目の中から個別に8単位認定する。したがって、編入学後に修得が必要な授業科目は、認定される授業科目により異なる。

卒業要件単位数	124単位
編入学時認定単位数	62単位
編入学後に修得しなければならない単位数	62単位

MEMO

時　間　割（控）

時限・開講期		月			火			水			木			金			土		
		授業コード	授業科目名（単位数）	担当教員名 / 教室	授業コード	授業科目名（単位数）	担当教員名 / 教室	授業コード	授業科目名（単位数）	担当教員名 / 教室	授業コード	授業科目名（単位数）	担当教員名 / 教室	授業コード	授業科目名（単位数）	担当教員名 / 教室	授業コード	授業科目名（単位数）	担当教員名 / 教室
1 9:00 ～ 10:30	前学期・通年		（　）			（　）			（　）			（　）			（　）			（　）	
	後学期・通年		（　）			（　）			（　）			（　）			（　）			（　）	
2 10:40 ～ 12:10	前学期・通年		（　）			（　）			（　）			（　）			（　）			（　）	
	後学期・通年		（　）			（　）			（　）			（　）			（　）			（　）	
3 13:00 ～ 14:30	前学期・通年		（　）			（　）			（　）			（　）			（　）				
	後学期・通年		（　）			（　）			（　）			（　）			（　）				
4 14:40 ～ 16:10	前学期・通年		（　）			（　）			（　）			（　）			（　）				
	後学期・通年		（　）			（　）			（　）			（　）			（　）				
5 16:20 ～ 17:50	前学期・通年		（　）			（　）			（　）			（　）			（　）				
	後学期・通年		（　）			（　）			（　）			（　）			（　）				

記入例１：必修（共通科目）

2001	学修の基礎Ⅰ（2）	明海 太郎 2101

※必修科目の場合は、授業コードに丸を付してください。

記入例２：選択必修（共通科目）

1001	政治のしくみ（2）	浦安 花子 2201

1　前年度までに修得した単位数を「A　修得済単位数」欄に記入してください。
2　今年度履修する「B　必修（共通科目）」、「C　必修（専門科目）」、「D　選択必修・選択（共通・専門科目）」の履修単位数を記入してください。
3　上記B、C、Dを学期ごとに合計し、「E　履修単位数」欄に記入してください。
4　「A　修得済単位数」と「E　履修中単位数」を合計し、「F　合計単位数」欄に記入してください。

A　修得済単位数	B　必修（共通科目）	C　必修（専門科目）	D　選択必修・選択(共通・専門科目)
	前学期	前学期	前学期
	後学期	後学期	後学期

B＋C＋D →

E　履修単位数（※1）
前学期
後学期

A＋E →

F　合計単位数（※2）

※1　注意事項
・履修単位数を算出する際、通年科目については単位数の1/2を前学期及び後学期にそれぞれ算入してください。
　例：４単位の通年科目 → ２単位（前学期）、２単位（後学期）
・履修単位数の上限は学年により異なります。
　２年生：各学期24単位、３年生：各学期26単位、４年生：各学期28単位

※2　参考
合計単位数の学修状況については、「履修の手引」の「年次（学期）別基準単位数」を確認し、学修計画を立てる際の参考にしてください。

MEMO

教科書の購入について

「シラバス」、「授業時間割」等で授業科目名、担当教員、教科書名をよく確認し、また、授業時における担当教員からの指示に従い、各自必ず販売期間内に購入してください。

＜教科書対面販売期間＞　3月25日（金）～4月 1日（金）10：00～15：00
4月 4日（月）～4月27日（水）10：00～16：00
〔土曜日及び日曜日除く。〕
＜販売会場＞　30周年記念館１階スチューデントホール

※別途、明海ショップ教科書販売WebサイトにてWeb販売も行う予定です。
※教科書販売については、丸善明海ショップへお問い合わせください。

2022年度 履修の手引
外国語学部

2022年４月発行

編　　集　明海大学浦安キャンパス学務部
学事課（教務担当）

発　　行　明海大学
〒279-8550
千葉県浦安市明海1丁目
TEL（047）350－4993（直通）
https://www.meikai.ac.jp

MEIKAI UNIVERSITY

https://www.meikai.ac.jp